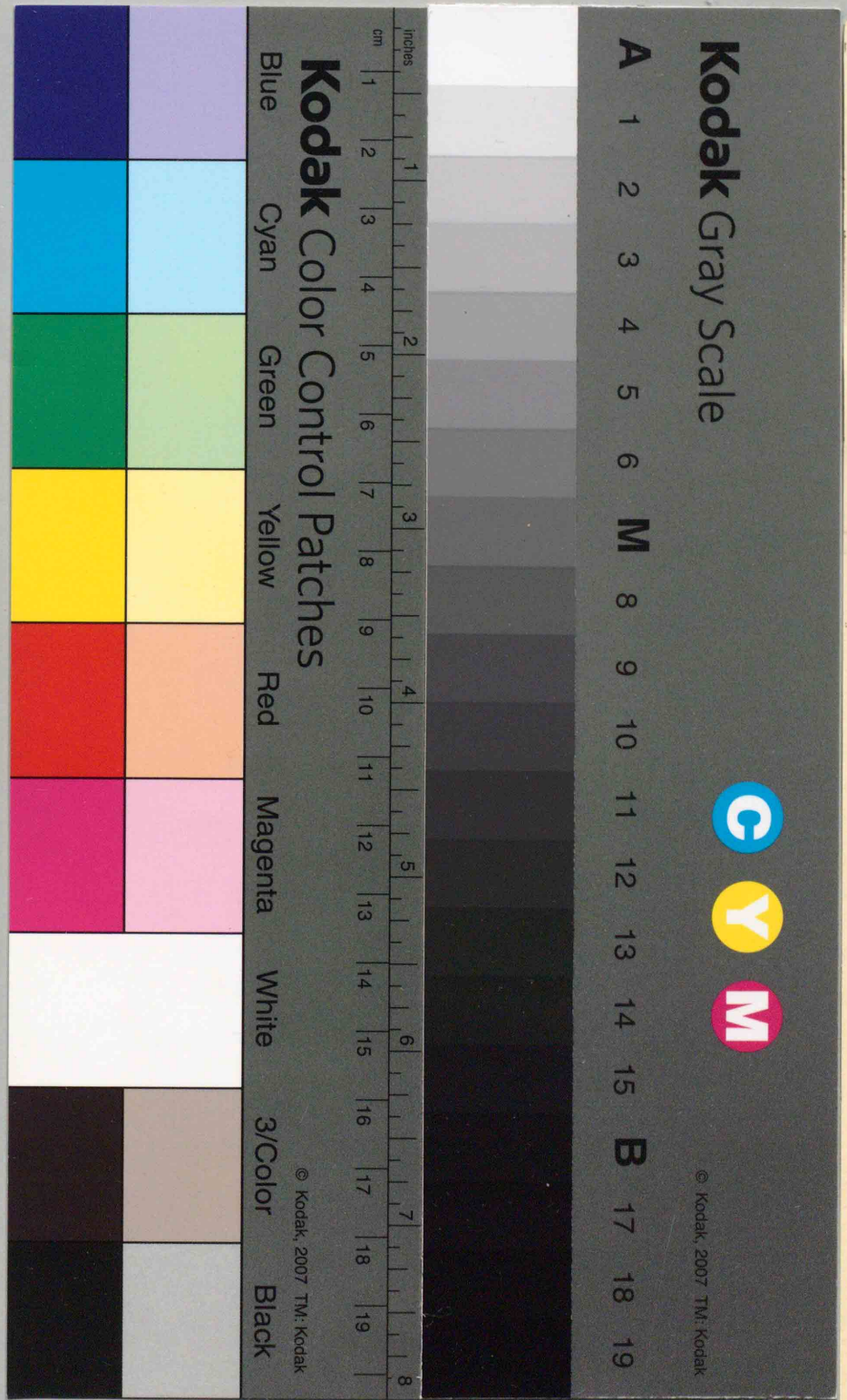


著雄美荒屋守  
 據準令新  
**理地選新**  
 篇本日

武會式保  
 完書國家

教  
 42-  
 2000



43138  
 教科書文庫  
 4  
 290  
 42-1938  
 2000.0  
 39780



資料 都帝の等我



堂事議新會議國帝

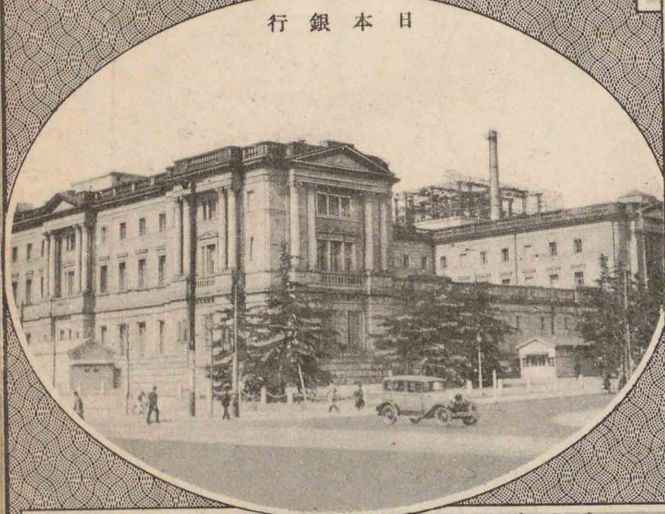


宮神治明

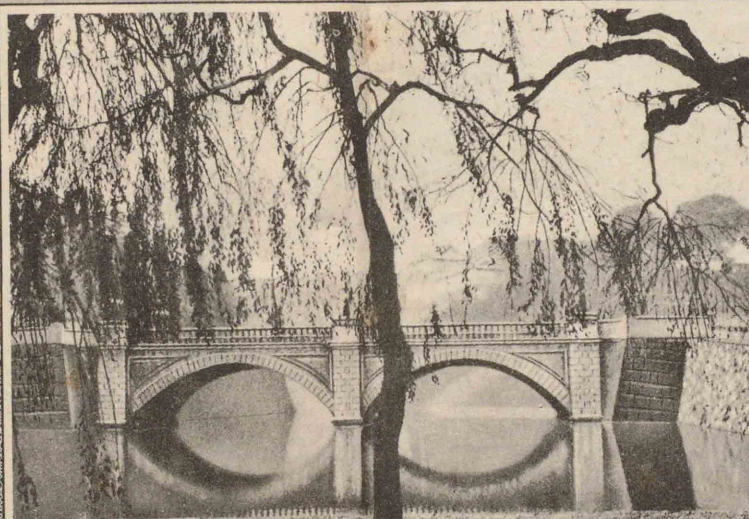


堂念記災震

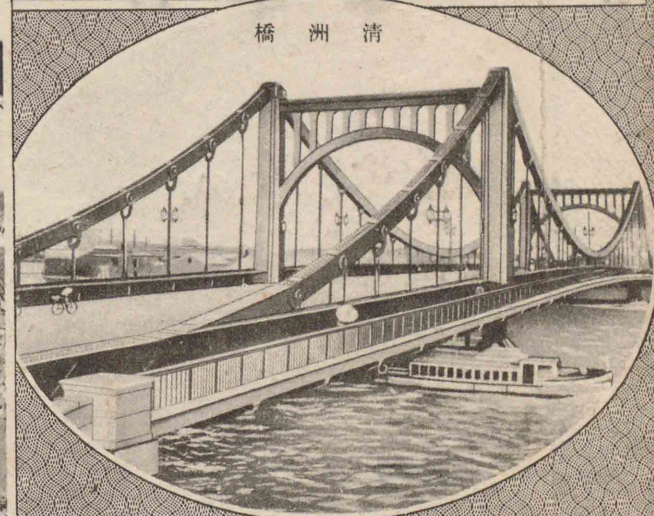
1259  
Mar 8



行銀本日



城宮



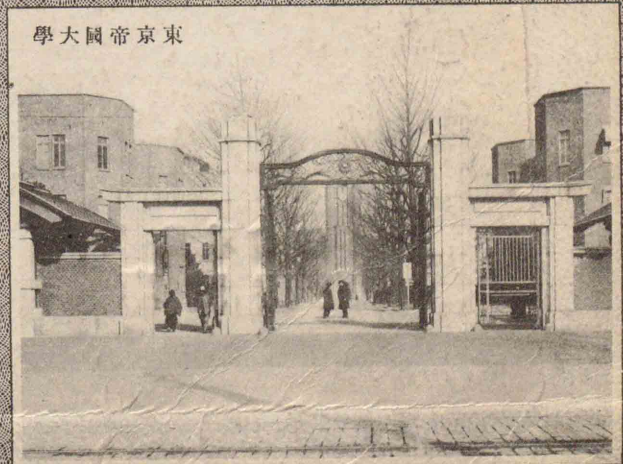
橋洲清



(舟る採を苔海)



驛京東



學大國帝京東



文部省検定済  
昭和三十三年二月十八日 高等女学校理科

教科書文庫

4

290

42-1938

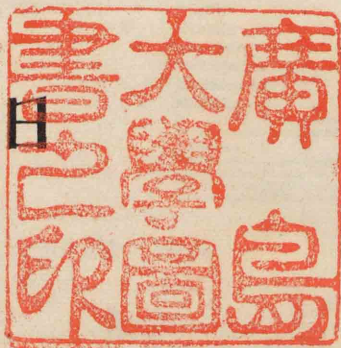
2000039780

守屋荒美雄著

新令準據

# 冬季新選地理

本篇



富士の遠望(赤外線寫眞)

広島大学図書

2000039780



株式会社  
南國書院

## 道府縣別耕地面積比較

耕地總面積五八七五〇六ヘクタール

(昭和十年)

畑

田

總面積二八四九三二ヘクタール 總面積二九一三九二ヘクタール

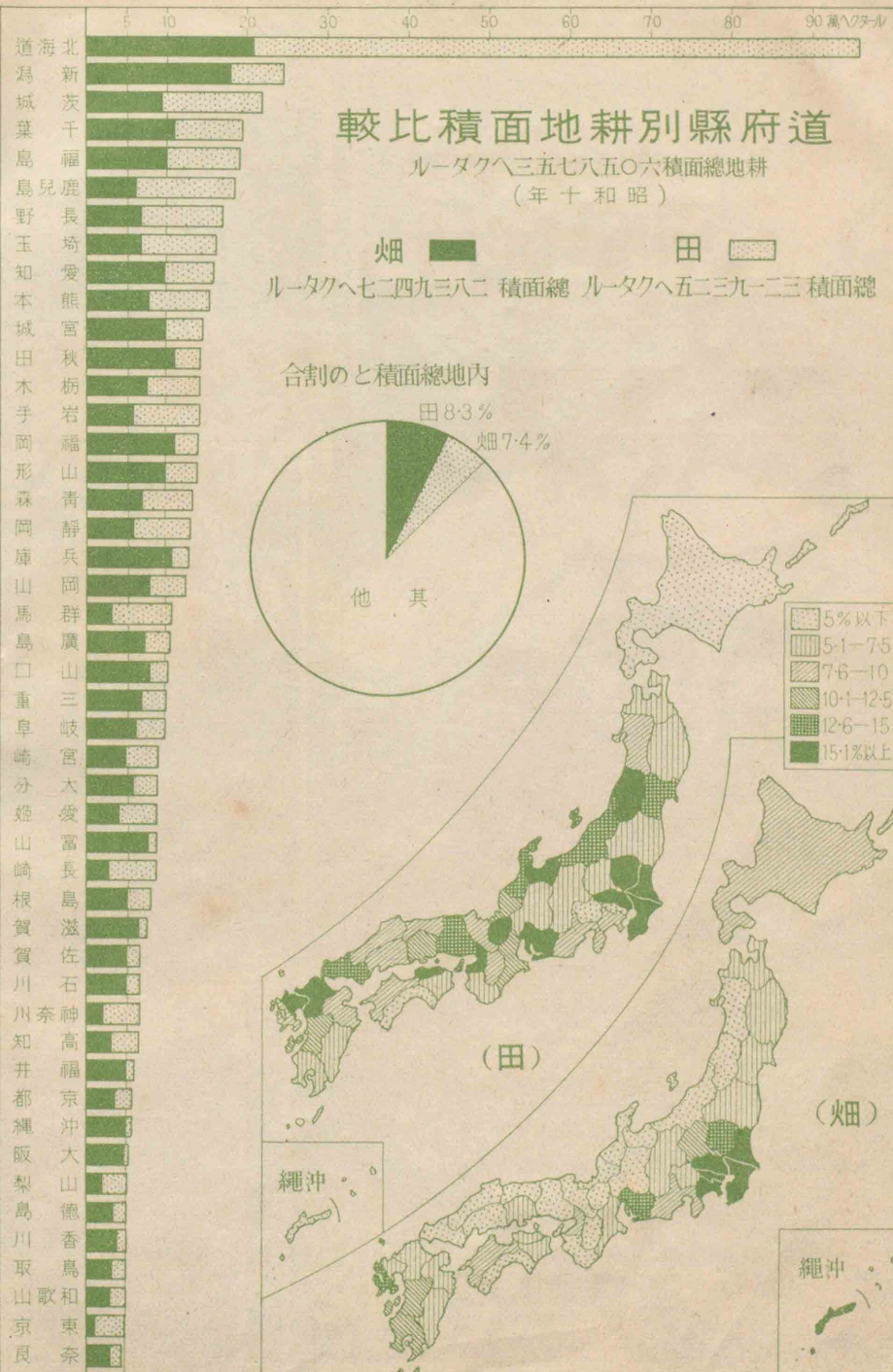
内地總面積の割合

田 8.3%

畑 7.4%

其他

- 5%以下
- 5.1-7.5
- 7.6-10
- 10.1-12.5
- 12.6-15
- 15.1以上



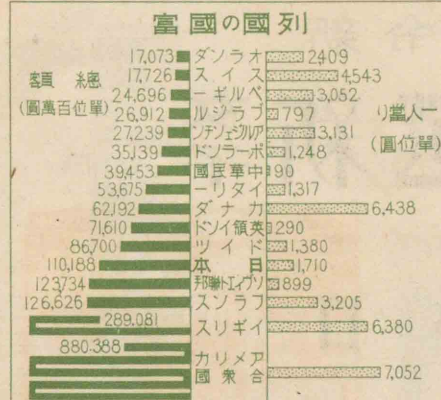




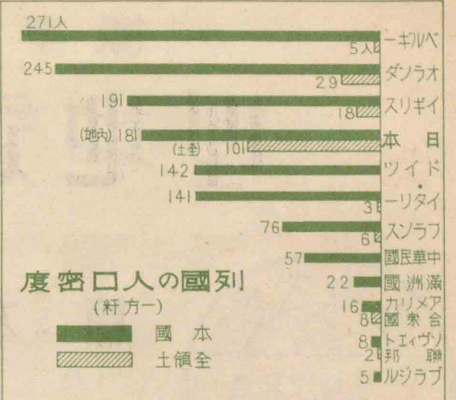
火・國の山・國の海で弧島列曲褶む圍を亞東は國帝本日大が我  
 々恵にと量雨な當適と温氣い良に共とるあで國の泉温・國の山  
 觀景絶秀の景風ばれさるゐでん富にと物植動と形地の々種れ  
 もなき大にも響影すば及に性民國がれこし絶冠に界世は化變の  
 の其で様有の(米八五四二)嶽燒の中脈山火鞍乗は圖るあがの  
 うよ來出が事よ言と一の觀景的表代の國が我は景風な麗秀嚴莊

# 我が國の問題

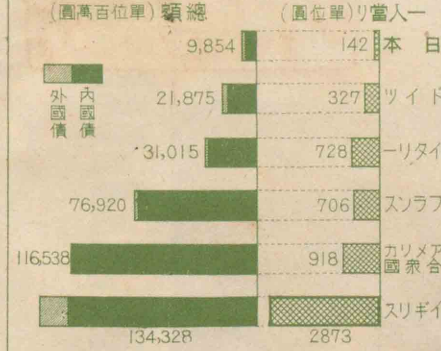
## 財政問題



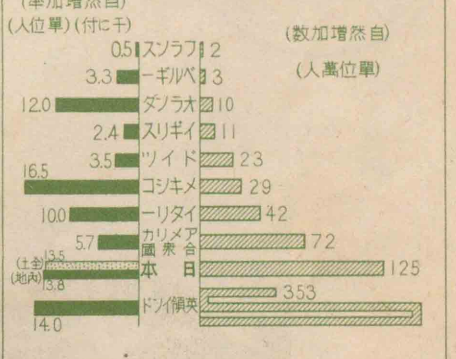
## 人口問題



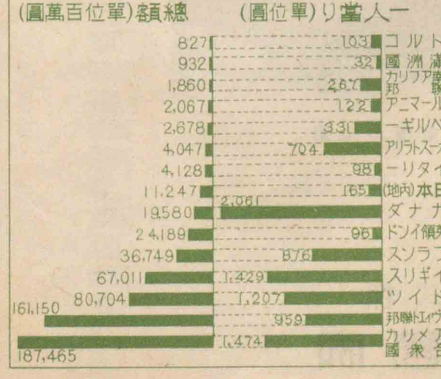
## 債國の國列



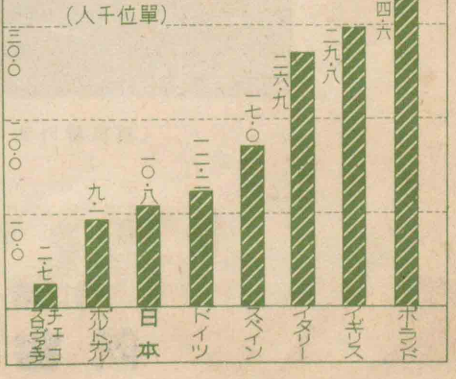
## 加増人口の國列



## 得所民國の國列



## 民移の國列





## 例言

著者は過去三十餘年、専ら中等學校の地理教科書の改善進歩に向つて力を竭し、特に記述の重點を、人文活動と國家的精神の涵養とに置いて來たのであるが、幸に實地教育家諸彦の絶大な支持を受け、江湖の異常な歓迎を得たことは、著者の感激に堪へない所である。而して今回發表せられた地理教授要目が、大體に於て著者の從來の方針と一致したことは、邦家教育の爲誠に喜ばしい次第である。本書は著者從來の方針を一層強調し、且新要目の趣旨を十分に尊重し、以て世に送つたもので、今其の編纂上特に意を用ひた點を左に列擧する。

### 一、重點を國民精神の涵養に置いたこと 地理學

は自然と人類とが交互的全面的に接觸して、地域的に特異な文化景觀を作つてゐる事實を闡明する科學で、我が國の特異性を理論的に明徴し、以て國民精神を涵養する重大な任務を果すものである。されば本書は、各小地理區の特性

を究め、これを綜合して各地方の特性を知り、更に國家的にこれをまとめ、我が國の特性を十分に認識するやう筆を執つた。

### 一、目標を人文活動に置いたこと 本書の記述は

左の順に従ひ、最も理論的に、人類が自然を利用開發してゐる有様を、地域的に究明してある。



(イ)概観 主として位置的條件を擧げ、これが影響を考察せしめる。

(ロ)地形區 一地方の地形を概見せしめて、地形區を分たしめる。

(ハ)自然景觀 その地方の地形を、特異の人文を伴つた條件として觀察せしめる。

(ニ)氣候 その地方の特異な人文性に、作用してゐる條件として、氣候を觀察せしめる。

(ホ)原始産業 如上の位置地形氣候が住民的要素とも關係して、如何なる原始産業、農業、牧畜業、林業、水産業を起してゐるかを觀察し、以下の人文活動の伏線とする。

(ヘ)工業 如上の位置的條件、地形的條件、氣候的條件、原始産業條件と、住民的要素との上に、如何なる工業が起つたかを究める。

(ト)交通商業 上述の産業は、他の地方と如何なる經濟的緊張關係にあり、如何なる交通的施

設を利用して、商取引が行はれてゐるかを究める。

(チ)聚落生活 以上述べた人類の經濟活動の綜合的結果として、各地形區には如何なる聚落が起つて、如何なる特色をもつた生活區域となつてゐるかを究める。

(リ)各地の特性總括 各地形區に分つて究めた事柄を、一地方にまとめ、その地方の特性を知らしめる。

一其の他特に留意したこと 尙左の事柄は著者の教科書が従來から注意してゐた事項で、本書に於ても亦一層その特色を發揮し、より效果的ならしめたものである。

(イ)記述を景觀的にし、教師の景觀的説述に必要な寫眞類を多くして、各地の實景を目睹する如く、教授を進められるやうにした。

(ロ)讀圖材料を多くして、地理的觀察眼を養ひ、且

これを利用して、種々の作業をなし得るやうにした。

(ハ)地理用語の提示に留意し、學習者の發達階段に適應するやうにした。

(ニ)欄外の細説は教授の系統を亂し、生徒の負擔を過多にする缺點あるに鑑み、これを廢した。

終りに臨み本書の編纂に關して、挿畫の蒐集、其の他につき、多大の援助を與へられた鐵道省當局、各新聞社、國勢社、各地中等學校教官諸賢に對して、深甚なる謝意を表す。特に陸測圖を重要な教材として採用した點につき、陸地測量部に對し、謹んで敬意を表す。

昭和十二年初夏

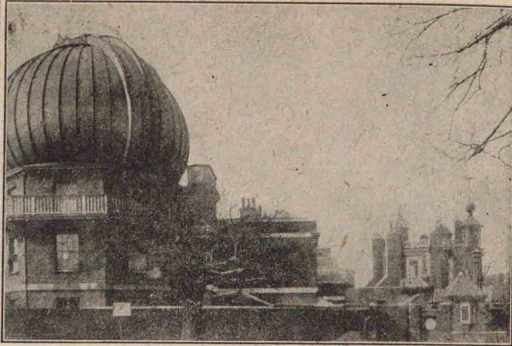
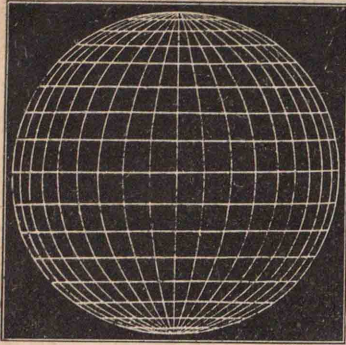
著者識



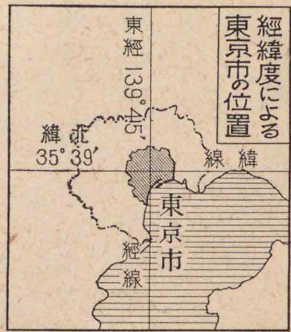




地理を學ぶ準備

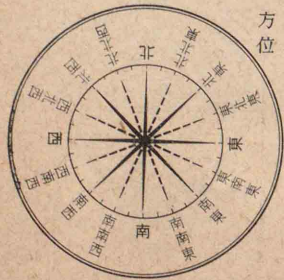


度 緯 經 臺 文 天 千 ニ リ グ



方位の見方 普通は、地圖の上方を北とするが、然らざる場合は、矢じるし又は經緯線によつて知る。

距離の測り方 糸や物差で、圖上の二點間を測り、それを地圖の縮尺に合は

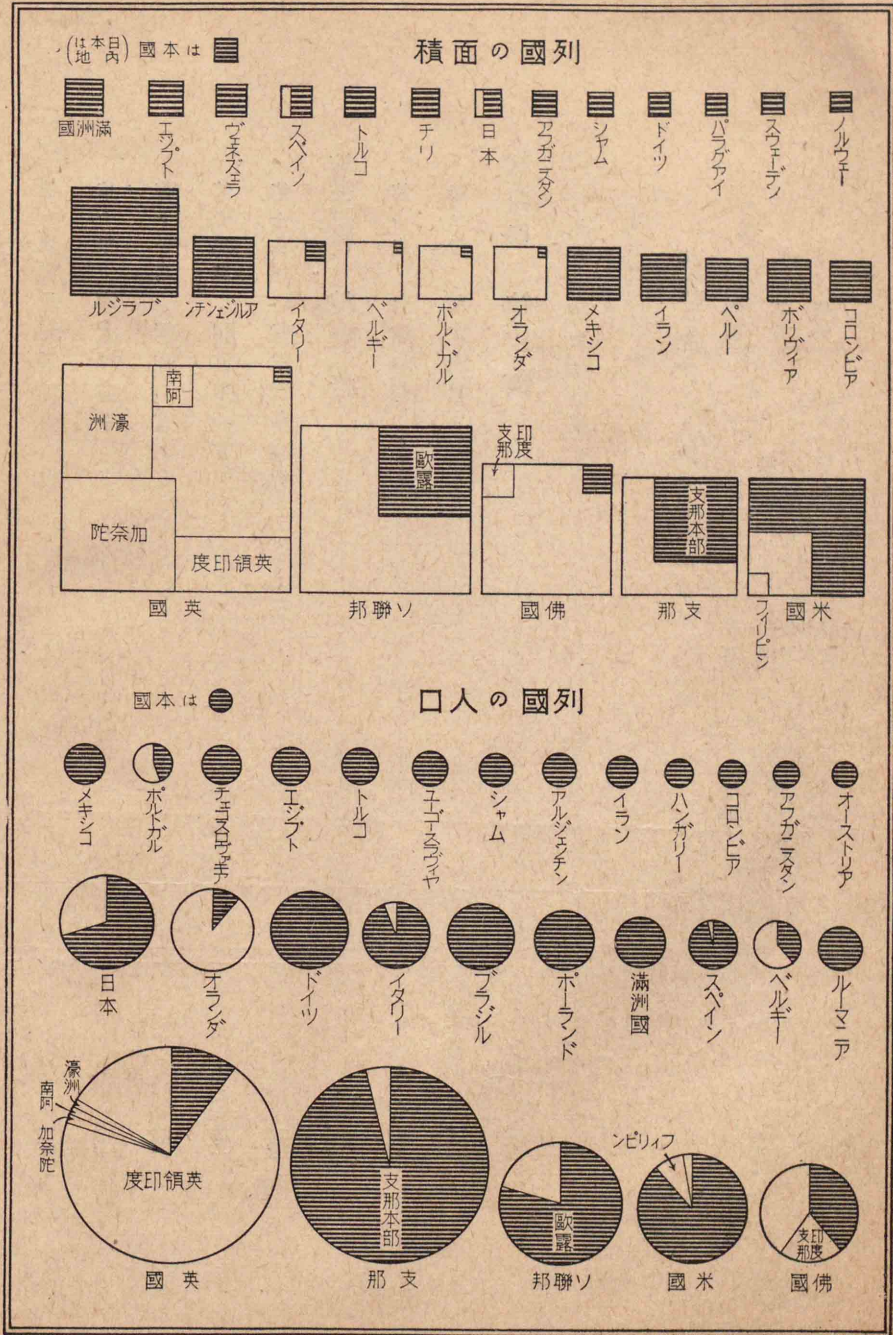


び、緯度は赤道をもとにして、南北各九十度に及ぶ。

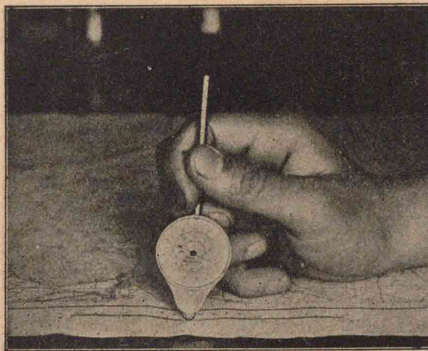
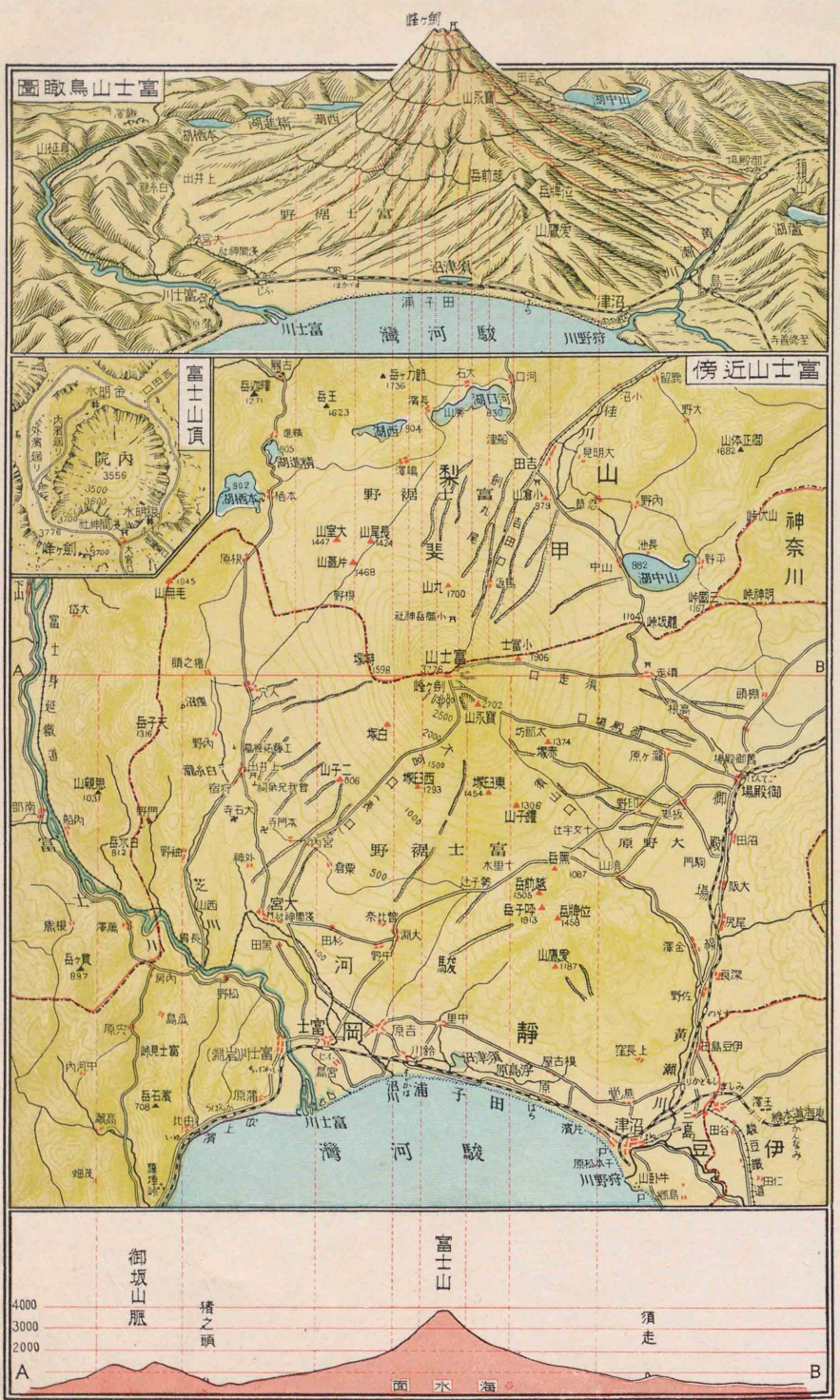
位置の見方 隣りの土地との關係による見方(關係的)と、經緯度による見方(數理的)との二つがある。經度は、英國グリニチ天文臺を通る經線をもとにして、東西各百八十度に及

地理を學ぶ準備

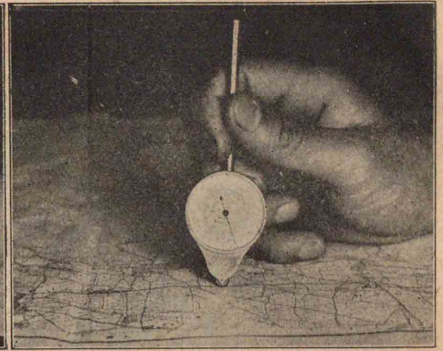
一 地圖の読み方、地理の實習







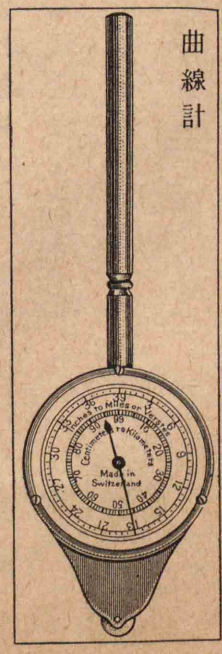
る知を離距てしどもを上尺縮けた數轉廻



す廻を計線曲に上圖

地理を學ぶ準備

せて見る。縮尺がない場合には、圖上の距離を縮めた分  
 數で割つて出す。  
 又曲線計でも測  
 られる。  
 面積の測り方  
 測らうとする地圖と同じ縮尺で方眼紙を作り、圖上に置  
 いて測る。



曲線計

高低の見方 等高線(水線)は、海面から等しい高さにある  
 諸地點を連れ、之を或る割合に縮めて、圖に描いたもので  
 ある。

等高線の描き方 例へば富士山の周囲には、一千米二千米等の高さを有  
 する地點がある。それを線で連ねると、その線が山を一周する。之を自  
 分の望む比例で縮め、それから真下に線を下せば、別圖の中の様な同心圓  
 圖が得られる。之が即ち等高線で描いた富士山附近の地形圖である。



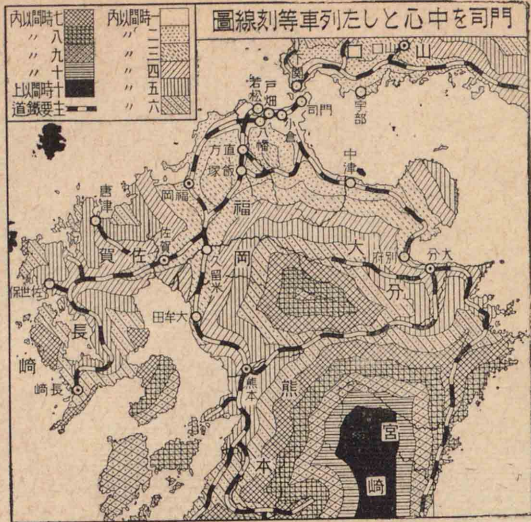
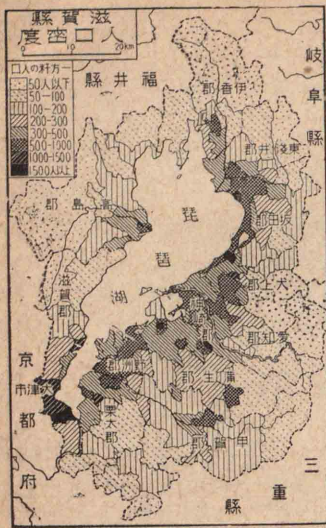






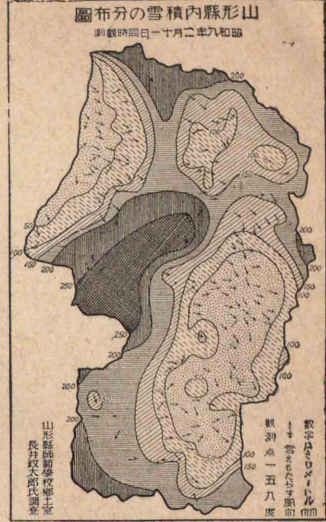
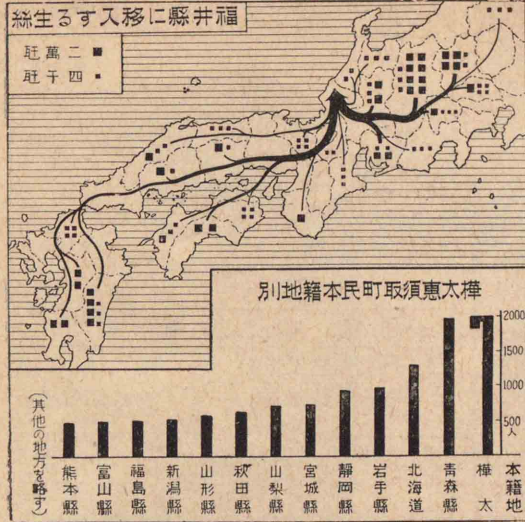


地理を学ぶ準備



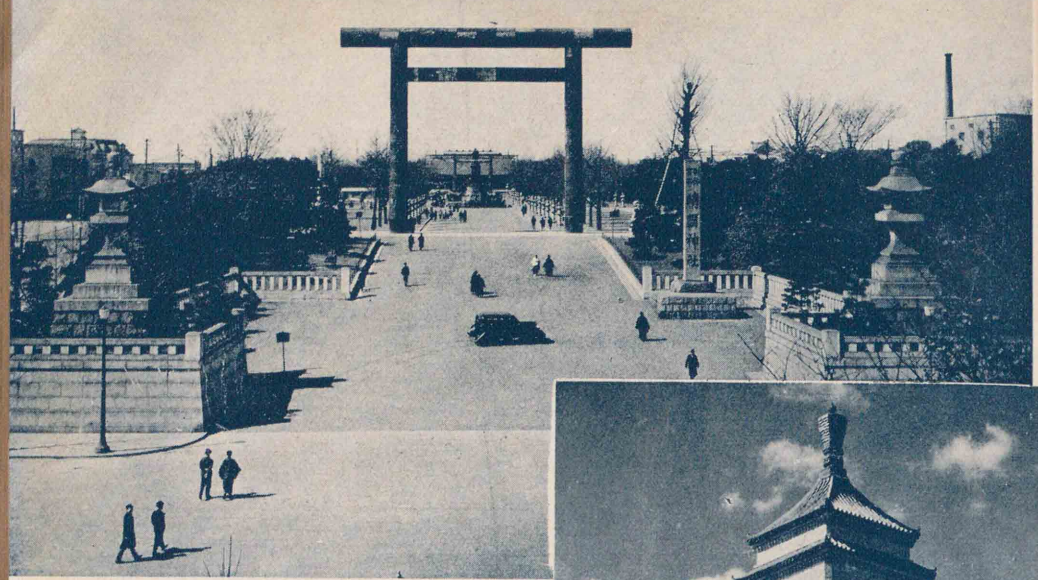
聚	業 商 ・ 通 交	
<p>① こんな地文条件と人文条件との結果として、どんな特徴を持つ聚落が、どんな</p>	<p>② その交通を利用して、どんな風に商業が行はれてゐるか。</p>	<p>① からした位置地形産業の土地に、どんな風に交通が行はれてゐるか。</p>
<p>聚落型。 街村集村・散村・城下町・門前町・市場町 生産別による聚落の分類。</p>	<p>商品・商圏・移輸・出入品 移輸・出入先 金融・機関連業組合 業會議所。</p>	<p>交通機關の種類。 鐵道・國道・縣道等の起點・終點。 自動車・自轉車の數。 一分間の交通量。 通信ラヂオ・航空等の状態。</p>
<p>石器包含 分布圖 神社佛閣</p>	<p>商圏圖 移輸・出入 經路圖</p>	<p>鐵道圖 交通量圖 可航水路 圖 列車等刻 線圖 航空路圖</p>

地理を学ぶ準備

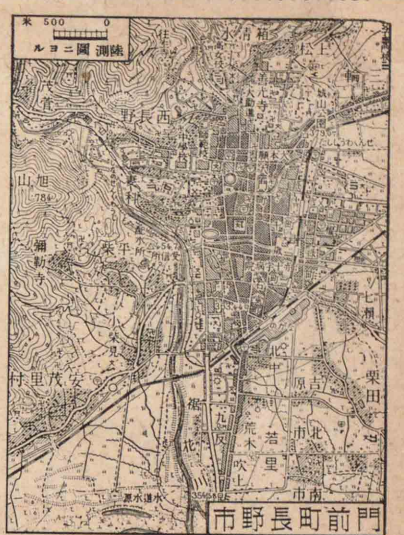
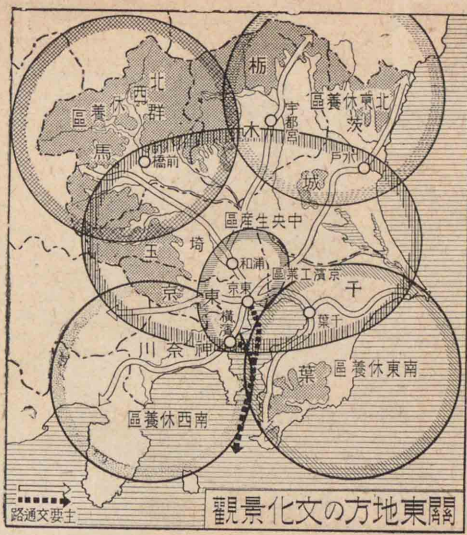


業 工	(續) 業 産 始 原 ・ 候 氣 ・ 形 地
<p>① こんな位置地形・海流・氣候・原始産業の處に、どんな工業が起つてゐるか。</p>	<p>海流・氣候の處に、どんな原始産業(牧・農・林・鑛・水産)が起つてゐるか。</p>
<p>工業の種類。 労働者の數・性別・出身地・其他の状態。 原料の移輸入。 工業の起つてゐるわけ。</p>	<p>鑛・農・牧・林・漁業等の主要産物の量や價格。 郷土の需要を満たしてゐるかどうか。 灌漑・排水・開墾等に関する先輩の事業。 豊作凶作の種類。 農牧の方法。 林相・樹種の檢べ。 魚族・漁法のしらべ。 養殖されるものの檢べ。</p>
<p>工業都市 分布圖 労働者出身縣別圖</p>	<p>土地類別 圖 家畜分布 圖 森林分布 圖 農産物分布 圖 魚介の採 集</p>





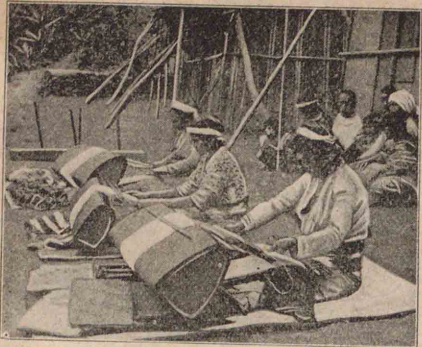
我が國の特異な自然的條件と優秀な人文的條件とは互に相關聯して遂に世界無比の特異な國家を形成し建國以來茲に幾千年 皇統連綿として些のゆるぎもなく國運の無窮發展は天祖の詔勅を幾千年後の今日尙目のあたりに實證してゐるのである。されば大和民族足跡の及ぶ處この意氣と理想とを強く象徴した事々物々を見ることが出来る。上は國運發展の礎として散つた拾參萬餘柱の英靈を祀る東京九段坂上の靖國神社。中は我が大陸發展の先頭に立つて滿洲國建國の爲赤い夕陽うつつく荒野に屍を曝した勇士の忠烈を偲ぶ新京の忠靈塔。下は祖國を世界的に躍進せしめられた。明治大帝の御徳を仰ぐ東京明治神宮外苑の競技場である。



察考・括總	活生・落
<p>① 郷土の人はどんな特徴をもつた生活をしてゐるか。</p> <p>② 要するに郷土の地理的景觀には、どんな特徴があるか。</p> <p>③ 郷土の將來について考察せよ。</p>	<p>な分布をもつて發達してゐるか。</p> <p>② 人のこんな活動地に、どんな名所舊蹟があるか。</p>
<p>地名の起原。</p> <p>地形區産業圖等を對照して、地形と人文とが如何に關係してゐるかを考へよ。</p>	<p>田地村・畑地村・畑地村・養蠶村・蔬菜村・漁村・林村混合村。</p> <p>生産都市か。</p> <p>消費都市か。</p> <p>名所舊蹟・神社とその由來。</p> <p>人口人口分布種別動態密度。</p> <p>地方語風俗習慣教育の狀態。</p>
<p>作文科と連絡し郷土の將來、郷土人士の責務等について論文を作れ。</p>	<p>層分布圖</p> <p>人口分布圖</p> <p>人口増減グラフ</p> <p>學校の分布圖</p>



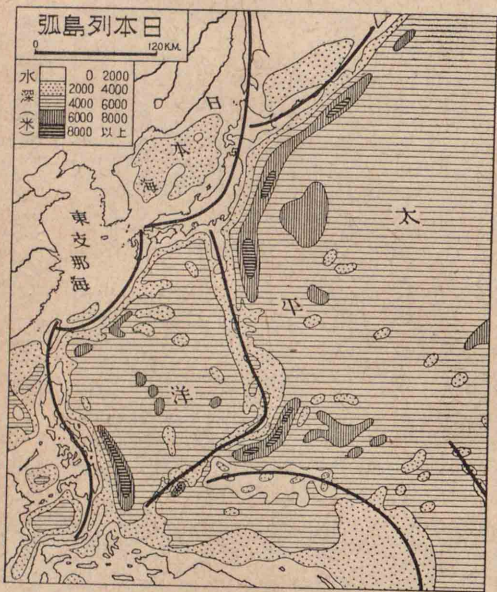
緒論



(織機) 族砂高



(釣魚るけに於川内幌) 族コッロオ



境界

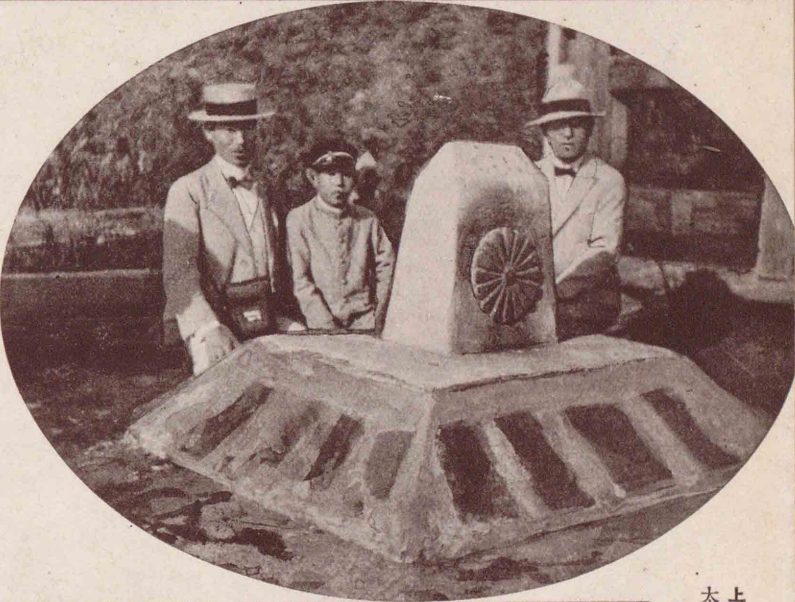
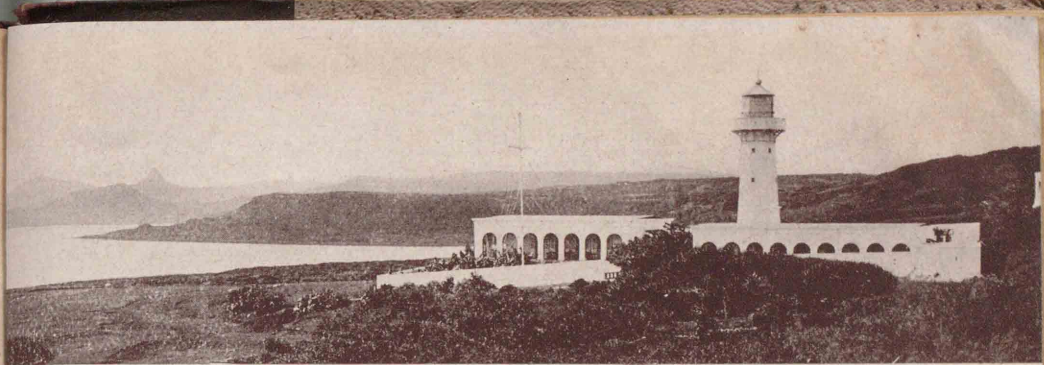
我が國は、アジア大陸の東の日本列島と、朝鮮半島

第一編 緒論

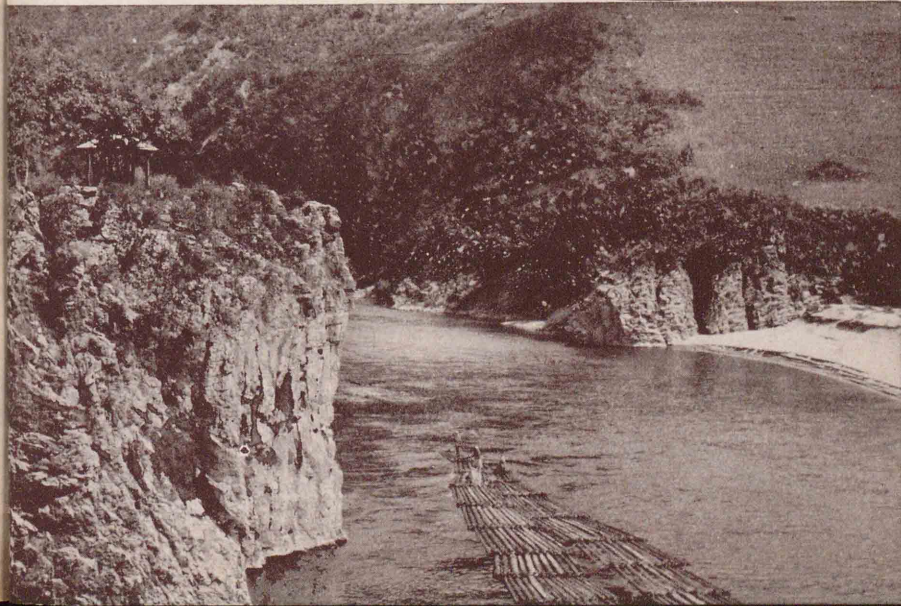
新令子女 新選地理 日本篇

と、關東州(租借)と、南洋群島(委任統治)とから成つてゐる。

特殊國家 我が國は海國で、優秀な大和民族を中堅とし、古くから世界無比の美しい國を建ててゐる。



明治維新以來の我が國勢の發展は實に世界歴史上の偉觀と言ふべきである。その境域の擴張に見るも明治八年には面積三八・二萬方呎に過ぎなかつたが現今は其の約二倍六八萬方呎となり外に不可分關係の友邦滿洲國は一三〇萬方呎の面積がある。而してその境域の擴張は列強が世界各地に散在的に領土を有すると異り、圓塊的に近接地域に向つて勢力を伸べてゐる。この現象は其の膨脹の必然性と堅實性と平和性を物語るものと言ふべく、又一方北は北緯五〇度の寒帶性の樺太から南は〇度の熱帶性の南洋に西は大陸性氣候の地に及んでゐるのは我が民族が地球上の如何なる地域にも發展し得ることを示すものである。



上 我が南方發展地域臺灣後壁臺島の燈臺 中 我が北方發展地域樺太安別國境 下 我が西方發展地域の鮮滿國境鴨綠江上流

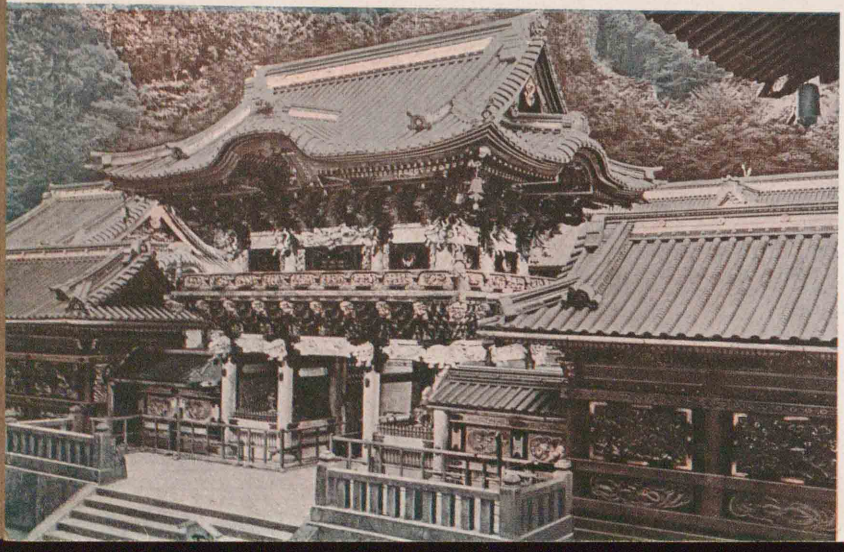




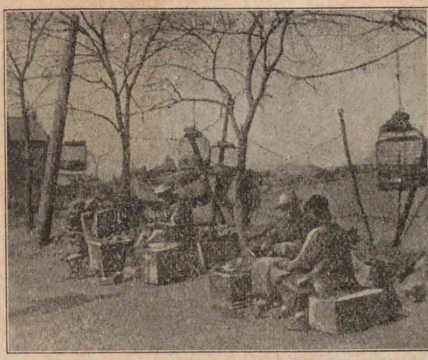
妙義山 割れ目の多い集塊岩の侵蝕された奇岩怪石の突兀たる妙義山は古來上毛三山の一と稱せられ秋の紅葉は特によく京濱人士の一遊覽地である



箱根蘆ノ湖 近景は箱根町で昔の街道は町の中央を通り關所は遠くの町外れにあつた 半島は塔島 遠方の山は駒岳 京濱人士の一休養地である



日光廟陽明門 日光は自然美人工美の粹を蒐めた 國立公園 日光廟の彫刻色彩等の裝飾は精巧善美を盡し京濱人士の遊覽地訪日外人の旅行地である



關東州の露天商人



朝鮮族(子供)

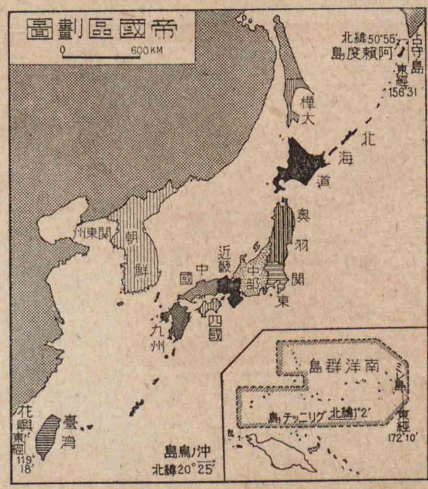
本州	九州	5.5	朝鮮	33
	他其	3		道海北
	關東	5.5	遼東	5.5
	關西	5.5	大連	5.5

各地方別面積比較

無窮に發展し、領土も次第に膨脹し、今は内地(又九州、本州、四國、北海道)外地(日清戰役後の領土、臺灣、南洋羣島)を合せて、面積は六十八萬方呎、人口は九千九百萬となつてゐる。

内地	72%	朝鮮	23%
外地	5%	臺灣	5%

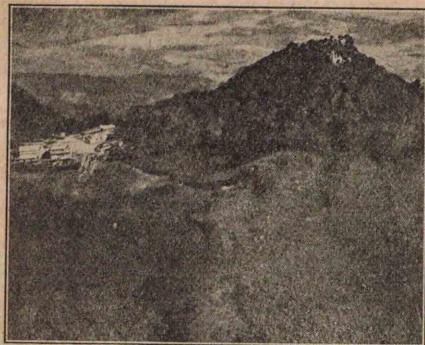
各地方別人口比較



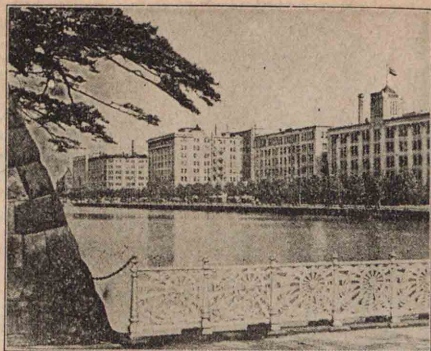
地理の學習 日本地理は日本各地の有様をしらべて、我が國の特殊な國柄を知り、又生活上に必要な知識を得る爲に學ぶものである。

區分 我が國はもと畿内八道即ち八十五ヶ國であつたが、今は一道三府四十三縣五外地に分れてゐる。本書はこれを十三地方に分つて説述した。





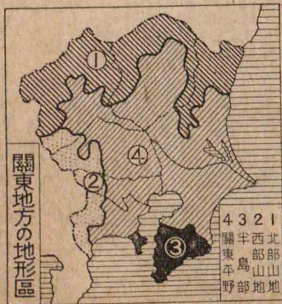
筑波山



丸の内馬場先門附近

地方誌 關東地方概観、地形・氣候・原始産業

山脈は北境を限り、其の南側に沿うて那須火山脈が走り、南端に筑波山が峙つ。帝釋山脈・三國



地形區 北部に阿武隈帝釋三國、西部に關東山脈南部に房總三浦兩丘陵が連つて關東平野を抱き、四區に分れる。

二 地形・氣候・原始産業

日本の中央に當り、關東平野を有し、日本で一番開けた地方である。行政上、一府六縣に分れる。

第一章 關東地方

面積 三、三六方軒  
人口 一、五七萬人  
人口密度 四四人(一方軒)

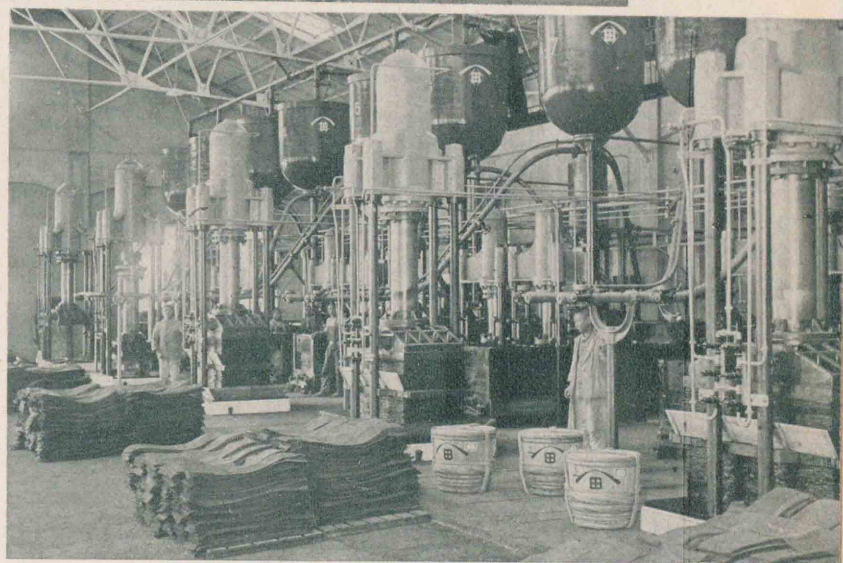
第二編 地方誌

一 概観

府縣名	管轄區域	廳所在地
東京府	武藏一部・豆南諸島	東京市
神奈川縣	武藏一部・相模	横浜市
千葉縣	安房・上總・下總大部	千葉市
埼玉縣	武藏北部	浦和市
群馬縣	上野	前橋市
栃木縣	下野	宇都宮市
茨城縣	常陸・下總一部	水戸市



横濱港 倉庫が並び鐵道線路が深く入つてゐる。ドックが多く岸壁の長いことは港の價値の大を示し、汽船の煙が海面に漂つてゐるのも港氣分である。

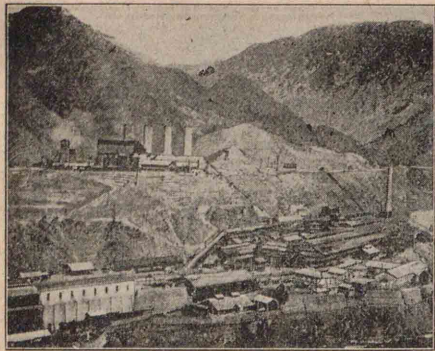


諸味壓搾室 銚子は醸造業地、特に山サ・ヒゲタ醬油は野田の龜甲萬と共に最も名高い。圖は銚子ヒゲタ醬油工場内部である。



中禪寺湖と男體山 中禪寺湖は男體山の熔岩流による堰塞湖で、水清く藍色を呈し、コニーデ型の端麗な男體山と相俟つて日光自然美の一つである。





足尾山鑛山精錬所



草津温泉

地方誌 關東地方(地形・氣候・原始産業)

半島部

房總三浦兩半島は、丘

山岩の石材を産する。

青梅では石灰石、根府川では火

山を連ね、南方諸島に及ぶ。

連り、富士火山脈は、箱根山・三原山

西部山地、關東山脈は西境に

探掘され、大谷では凝灰岩を産する。

を産する。足尾山塊では銅・金・銀鑛が

義等の勝地がある。

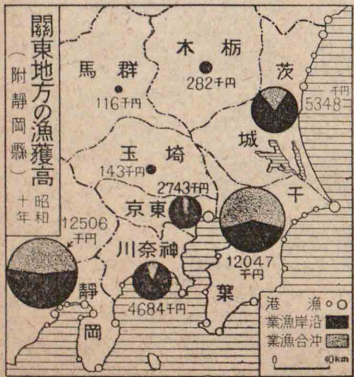
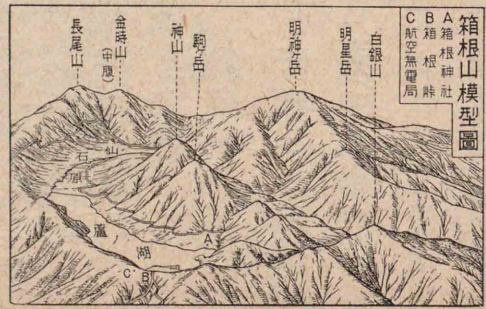
那須男體・赤城・榛名・淺間の諸火山、

鹽原・伊香保・草津等の温泉、日光・妙

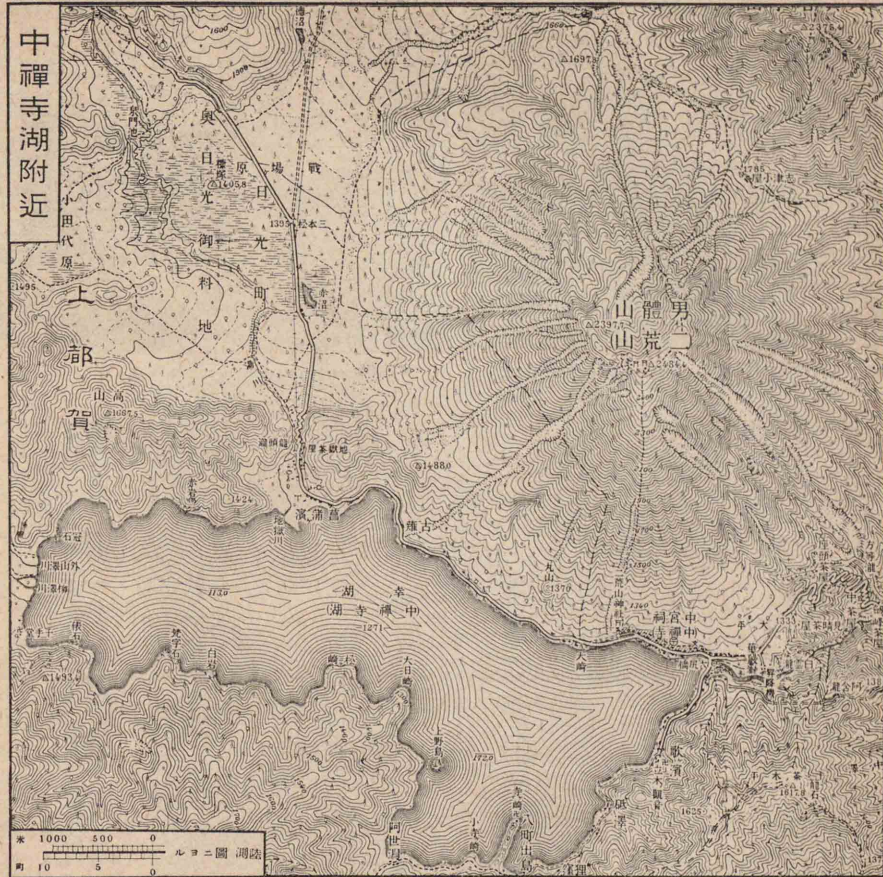
阿武隈山脈の一部に常磐炭田

があり、其の南部から、銅・金・銀鑛(立

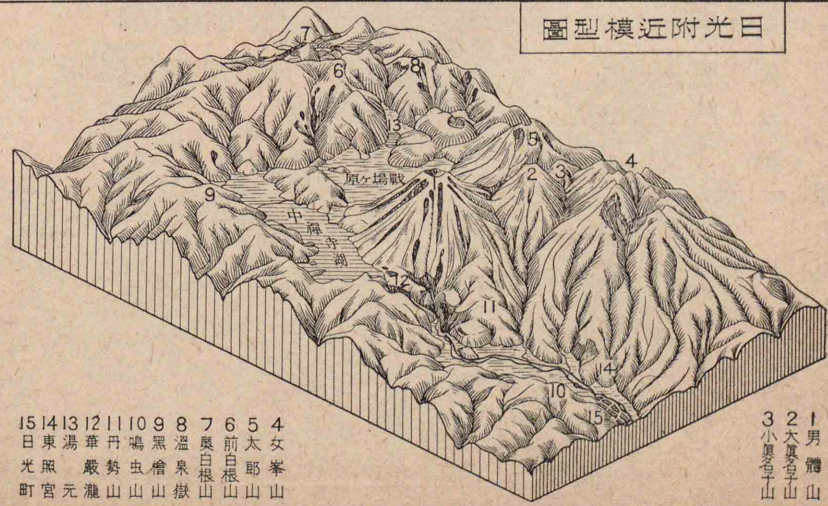
買鑛も多い)、大理石(太田の寒水石)、花崗岩(加波



中禪寺湖附近



日光附近模型圖

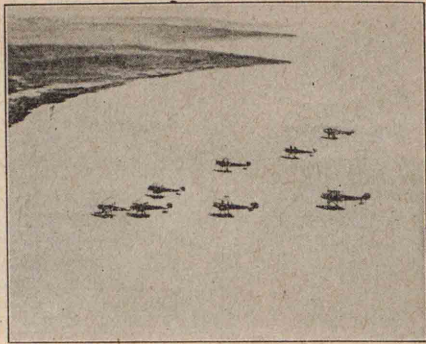


- 15 日光町
- 14 東宮元
- 13 湯元
- 12 華山
- 11 丹山
- 10 鳴山
- 9 無虫
- 8 温泉
- 7 風白根山
- 6 前白根山
- 5 太郎山
- 4 女峰山
- 3 小倉山
- 2 大倉山
- 1 男體山

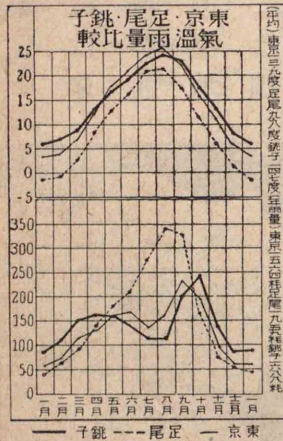




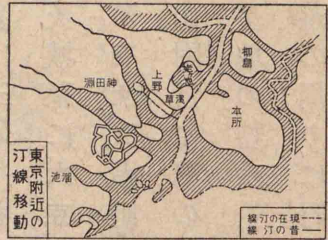
(近附越川) 畑 藷 甘



浦 々 霞

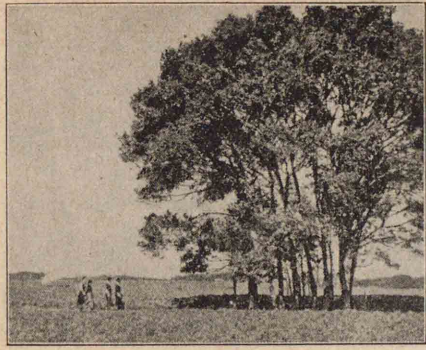
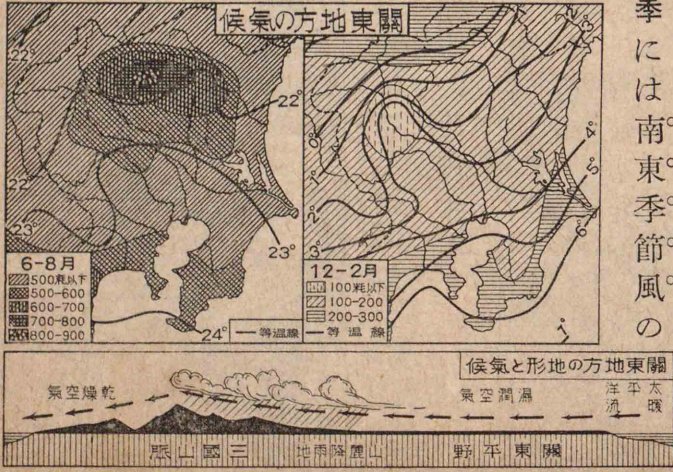


風下となつて、涸風が多い。  
灌漑の至便な河筋の低地



島灘九十九里濱及び相模灘東京灣岸等の地形は、土地の隆起を示してゐる。

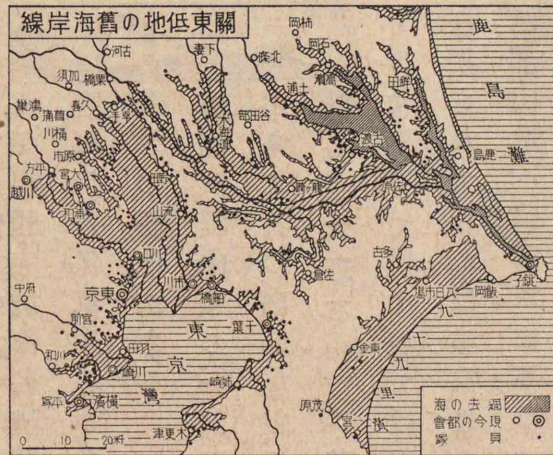
南部は、温暖な表日本式氣候區の東端で、北部は、夏季には南東季節風の爲雨が多く、冬季には北西季節風の



觀景の野藏武

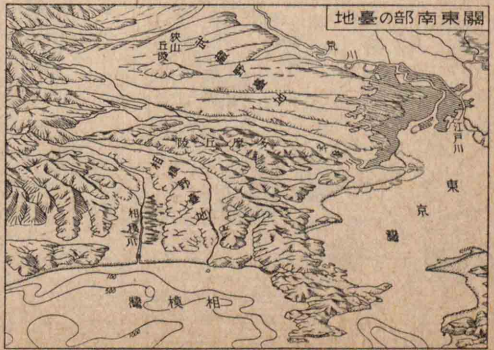


網曳地の濱里九十九

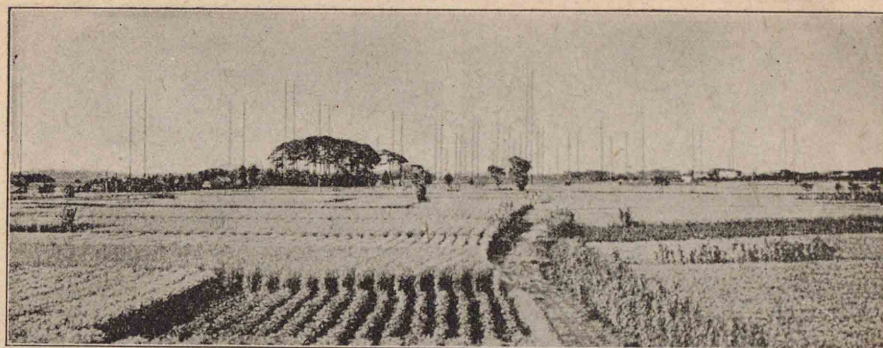


近海には、日本海流(黒潮)や千島海流が流れて魚族に富み、漁港(館山、北三崎)の發達を促し、九十九里濱の漁業は衰へたが、鉾子及び半島部の漁港を

關東平野 帝國最大の平野で臺地と低地とに分れ、那珂利根、江戸荒川、多摩(六馬入)模相等の諸川が、これを灌漑してゐる。北浦霞浦(海跡湖)に鹿

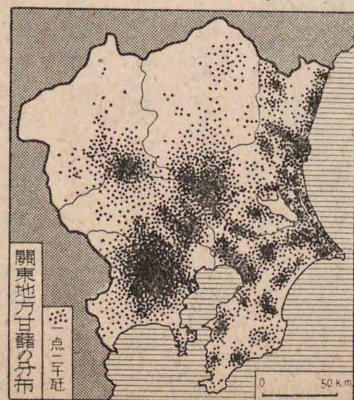
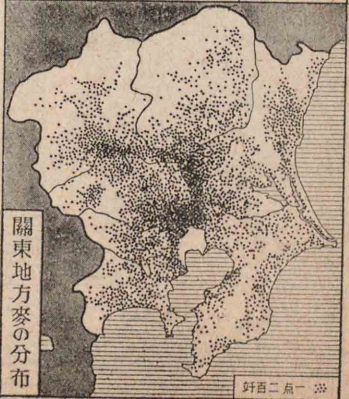
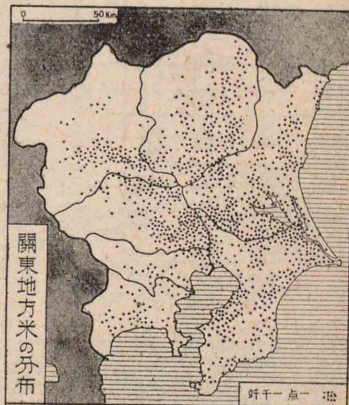




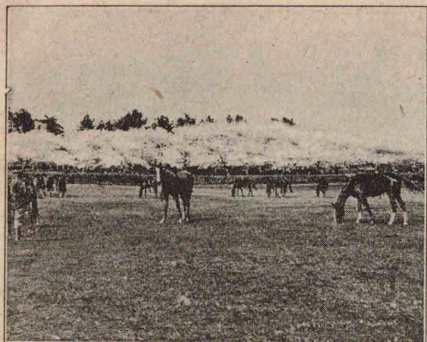


(近附所信受岡福) 野 平 東 關

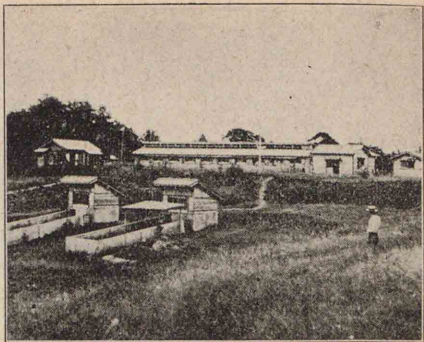
(特に葉茨千城)  
には、米田が連り、臺地には畑地が連つて盛に麥作が行はれ、大麥(茨城、埼玉、栃木)は全國の約二分、一、小麦は三分、一を産出し、多く他地方に移出する。



茨城縣に大豆、千葉、神奈川、二縣に落花生、武藏野、常總臺地に甘藷、狹山附近に茶の畑の多いのは、共に臺地の特殊景觀で、京濱大工業聚落の周りに、野菜栽培(安房、成房、房州)養禽、養豚が盛なのは、都市附近の共

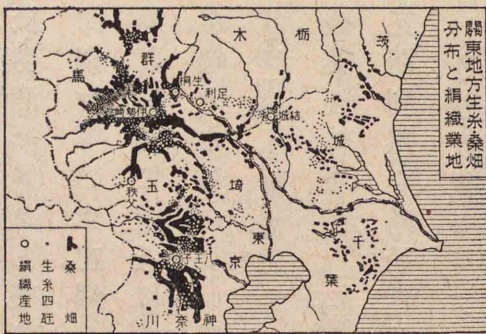


場 牧 料 御 塚 里 三

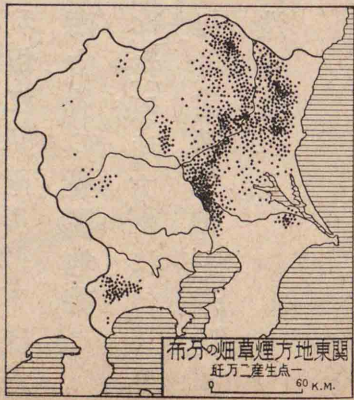


(近附倉佐) 豚 養

通景觀である。常總臺地の南部



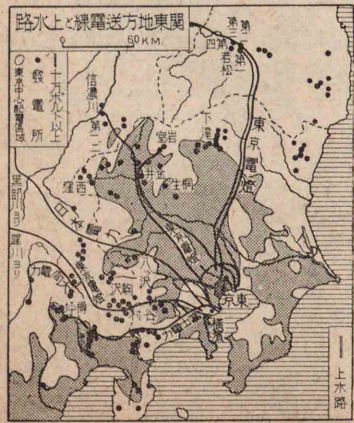
には牧場(里)があり、又雑木林が廣くて、京濱に薪炭を供給する。北西部の山麓帯は畑が廣く、那珂川流域(茂木、鳥山)太田、秦野、一帯は煙草を作る。



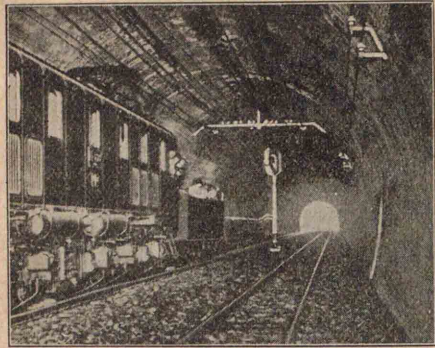
栃木縣は大麻の畑が多く、西部の山麓地方は桑畑が連り、主要の養蠶地帯である。

### 三 工業

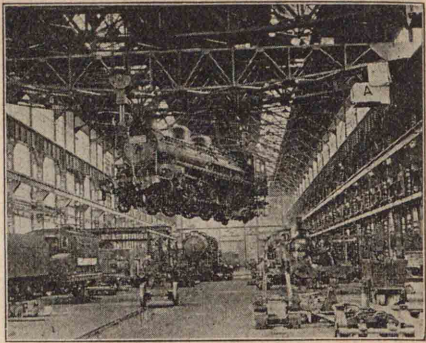
關東平野は大生産地である上、





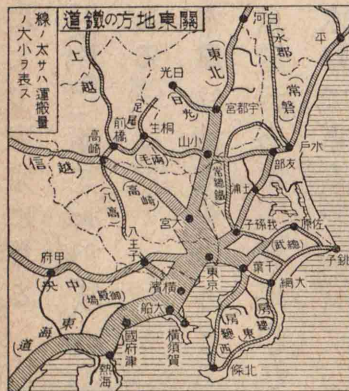


ルネント那丹

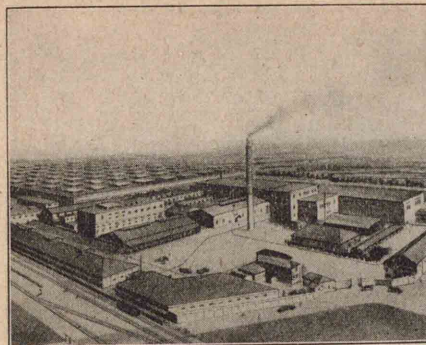
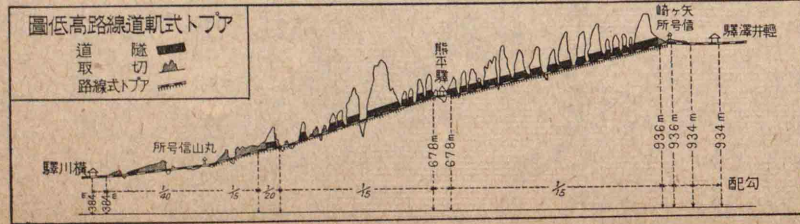


(宮大)場工道鐵

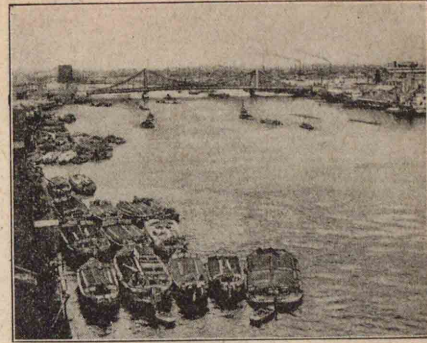
地方誌 關東地方 交通・商業



交通 古來、東海道(箱根・甲州)・中山道(水碓)・越後(國)・奥羽(河)・濱(宮)等の諸街道が、勿來・白河・三國・碓氷・小佛・足柄・箱根等を通つて、東京に集つてゐる。今も東海道(東京・神戶)・中央(東京・名古屋)・信越(新潟)・高崎(高崎)・上越(新潟)・東北(東京)・常磐(東京)の諸線は、清水・丹那等の大トンネルや、碓氷峠のアプト式軌道など



場工油營の田野

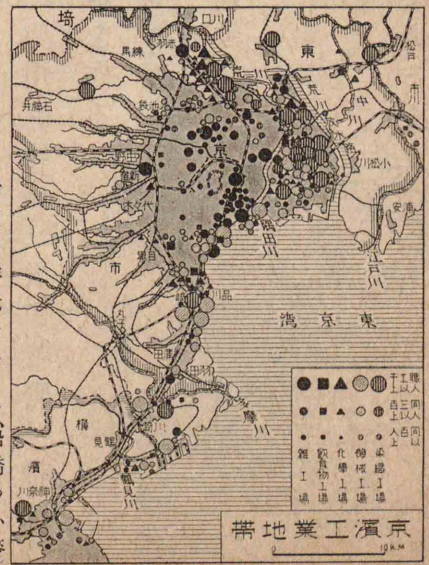


帶地業工の岸河川田隅

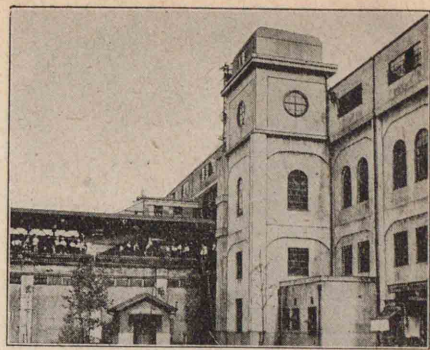
地方誌 關東地方(交通商業)

水力電氣に恵まれ、常磐炭田をひかへてゐるから、その中心は京濱工業地帯となり、綿・絲・綿織物・機械・肥料・洋紙・麥酒・セメント・藥劑・印刷物等の大工場が連り、引いて附近にも種々の工業粉・市川の洋紙・モスリンの鑄物・犬宮の鐵道工場(小麥)が起り、水質のよい原料の豊かな利根・江戸兩川の下流地方(野田)は、釀造地帯となつた。北西山麓の養蠶地帯には、機業・製絲地(足利・桐生・伊勢・崎・富岡・秩父・本庄・深谷・熊谷・八王子)が並び、茂原地方(千葉)には、天然瓦斯利用の硝子・電球等の工業が起り、尙飛行機(田)・消防ポンプ(沼)・板紙・セロファン紙(共)の製造も著れる。

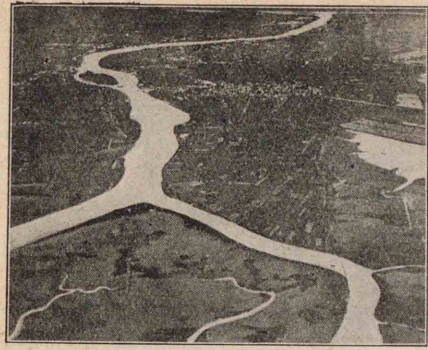
四 交通商業







(驛原葉秋京東)線架高超と線架高

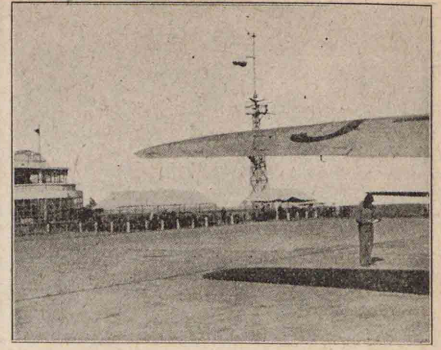
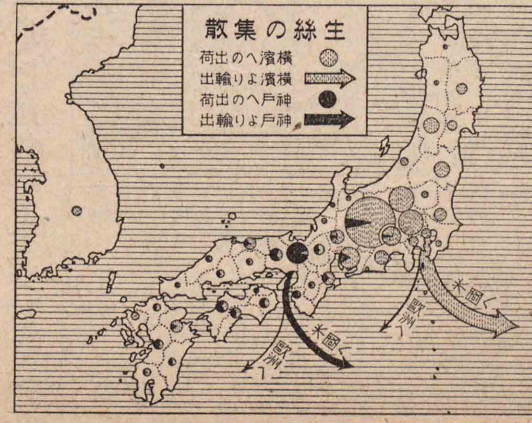


川戸江のてしと路水陸内  
資可許部令司衛防部東日八廿月六年三十和昭

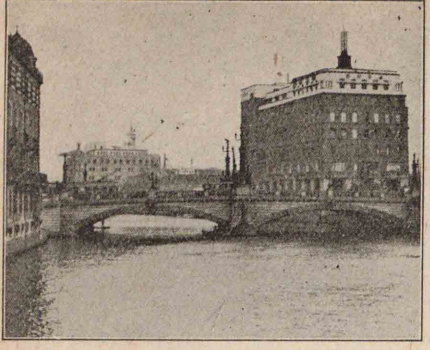
により東京に集る。尚、總武(銚子・東京)・房總(千葉・鴨川)・成田(成田・孫子)・水戸(水戸)・兩毛(小山・高崎)・八高(八王子・高崎)などの鐵道も、よく備はつてゐる。海運は、横濱を中心として内外の諸港に通じ、帝都には、東京港がある。利根川・江戸川・霞浦・北浦は、本邦第一の内陸水路である。

電信電話が発達し、海底電線は小笠原諸島中の父島で米國線と接続する。東京無線電信局(送信所栃木縣小山千代田)は、對米對歐の大無電局で、大阪の無電局と共に我が國の重要通信機關である。定期航空路も亦、東京(羽田)を中心として、北海道・大阪・新潟・富山・札幌清水方面に通じてゐる。

商業 東京は産業の發達、交通



場行飛田羽



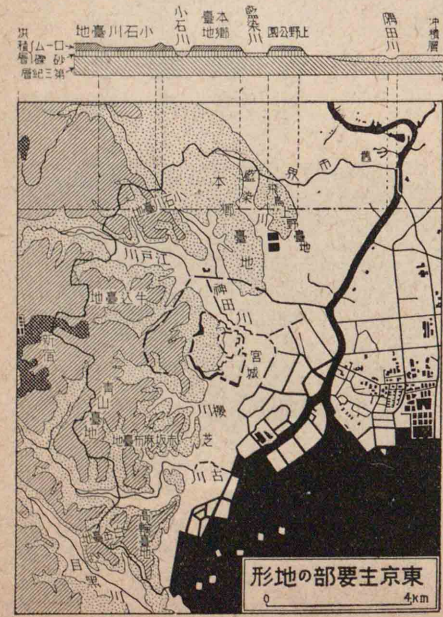
橋本日市京東

機關の整備によつて商業が榮え、大阪に對して、内地の東半を商圏とする。横濱は生絲・絹織物の大輸出港で、神戸・大阪と共に、我が國の三大貿易港である。

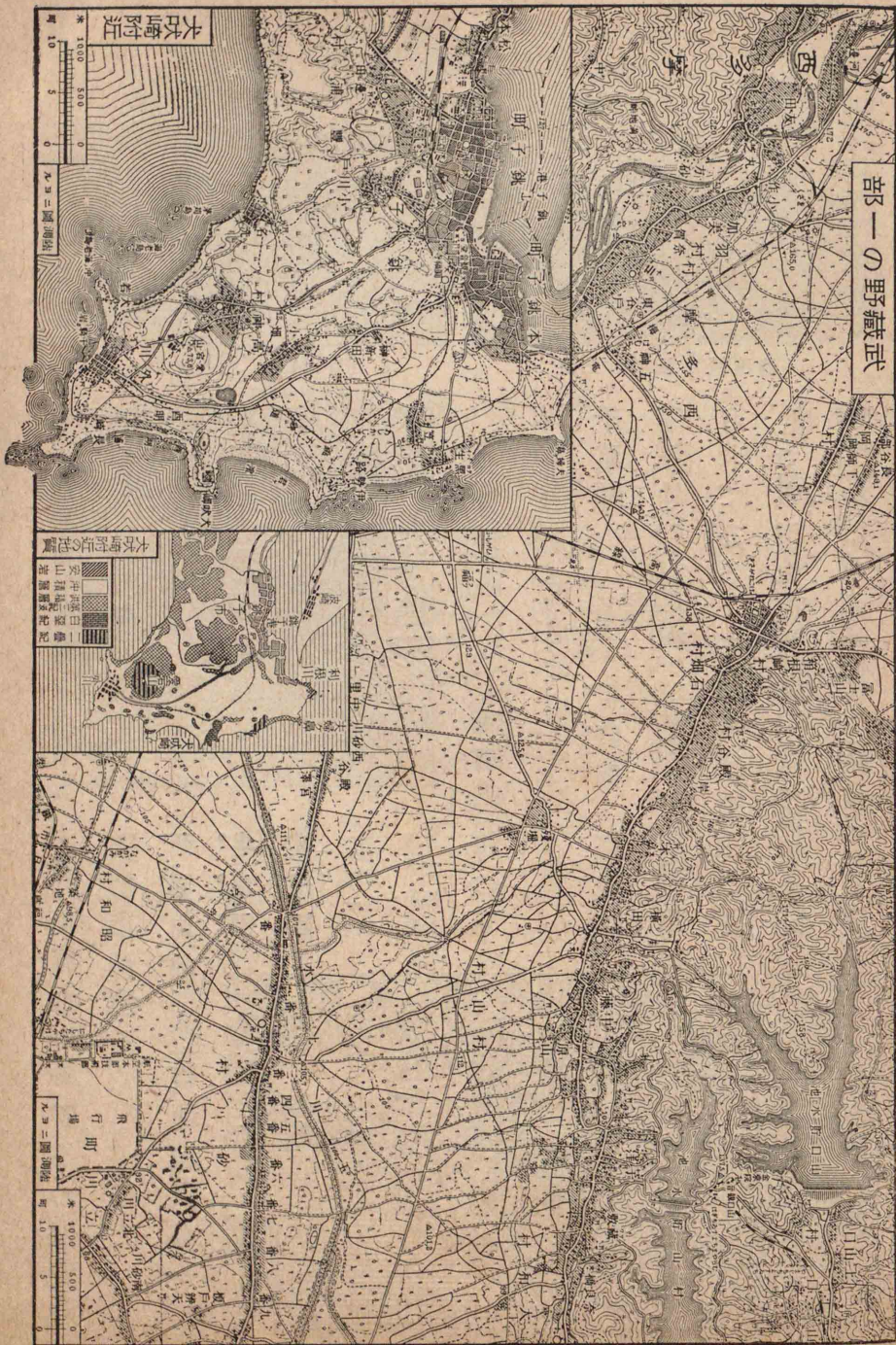
五 聚落・生活

東京府 面積 三、四萬平方人、人口 三、七〇萬人、密度 三、九七〇人、平野部 東京市は帝國の首府で、政治・經濟・學術・工業・交通の大中心をなし、ニューヨークに次ぐ世界第二の大都會である。市街は宮城を中心とした城下町で、臺地の山手(住宅區)と低地の下町(業區)とでは、大いに景觀を異にしてゐる。

都心部の霞關・丸の内は役所區・會社區で、晝夜により人口を

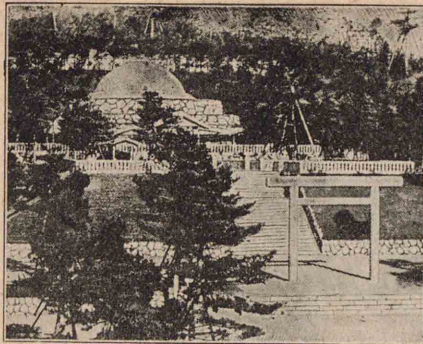






部一の野蔵武

地方誌 關東地方(聚落生活)



陵御摩多



寺草淺

著しく異にする。その他諸官衙近衛第一兩師團司令部大審院控訴院帝國議會議事堂外國大使館帝國大學等があり、公園社寺も多く、内外の遊覽客が集る。

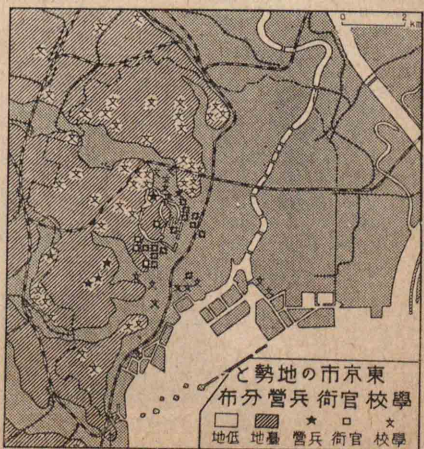
立川には、飛行聯隊があり、八王子市(大絹織地)は、山麓の養蠶機業地を代表する。

西部山地 浅川には多摩御陵があり、高尾山は村山山口兩貯水池と共に遊覽地となつた。

神奈川縣 平野部 川崎市は、新式の工業市(鋼管、電球)で、横濱市は工業地である外、東京の外港、東日本の大關門で、生絲の輸出が多い。

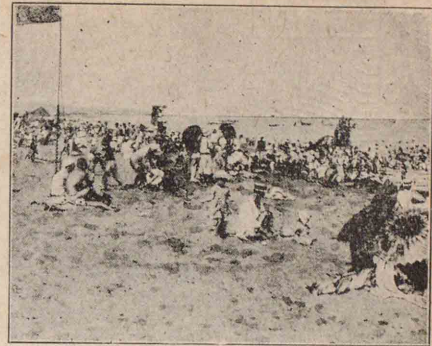
湘南地方は京濱に近く、史蹟に富み氣候がよく、鎌倉、逗子、

湘南地方は京濱に近く、史蹟に富み氣候がよく、鎌倉、逗子、

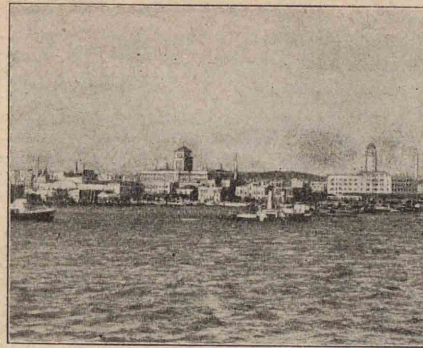


と勢地の市京東  
布分營兵衙官校學  
地低 地壘 營兵 衙官 校學

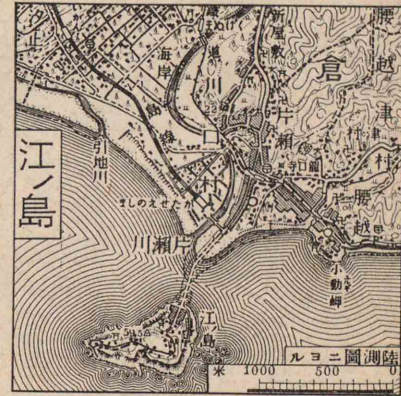




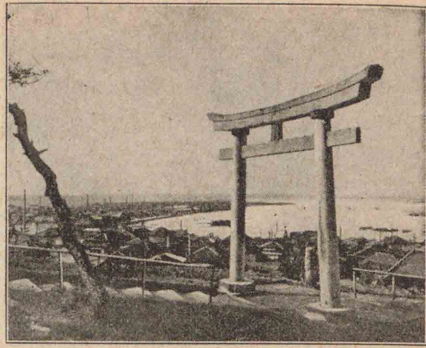
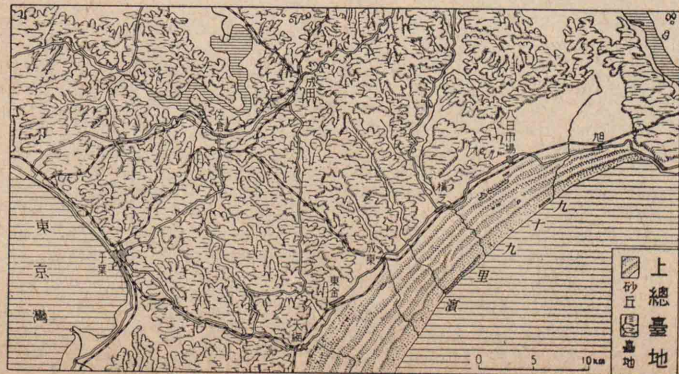
小田原(御幸濱)



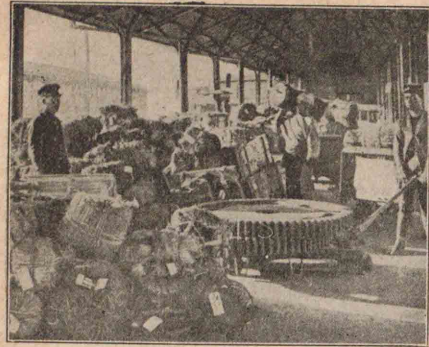
上海から見た横濱港



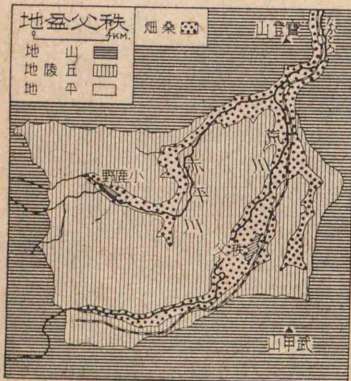
江島、平塚市、小田原等の保養遊覽都市が連る。西部山地、遊覽地箱根がある。半島部、横須賀市、第一海軍工廠が鎮守府の軍事要港がある。



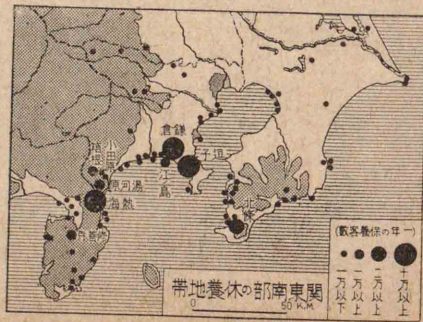
利根川の河口



川口驛物積出

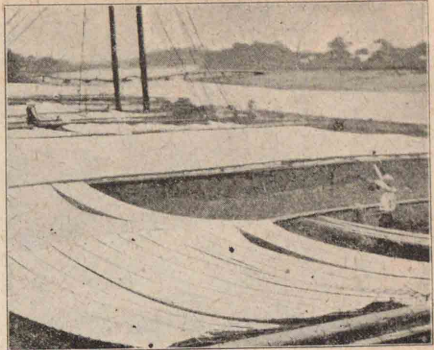


係が深い。河畔部の佐原(酒)、野田、銚子市(共に)流山(味噌)等は、醸造地帯を代表してゐる。佐原の東方に、軍神経津主命を祀る香取神宮がある。半島部、木更津、館山、北條(海軍航空隊がある)は、漁港、休養地としての色彩が濃い。埼玉縣、川口市(鐸物)、浦和市(東京通勤者住宅地)、大宮(工場)等の一帯は、京濱工業地帯の續きである。川越市(製絲)、熊谷市(繭生絲集散)、秩父(仙銘)は、山麓の養蠶機業地を代表し、熊谷には、航空士官學校がある。群馬縣、平野部、高崎市

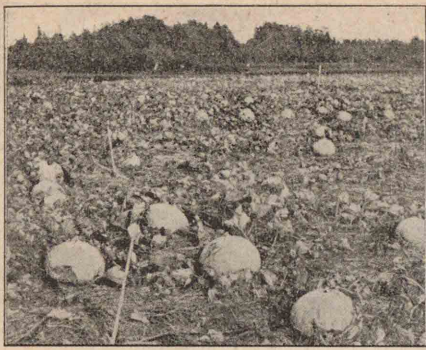


群馬縣、平野部、高崎市





足利の布晒し



干瓢 瓢 畑

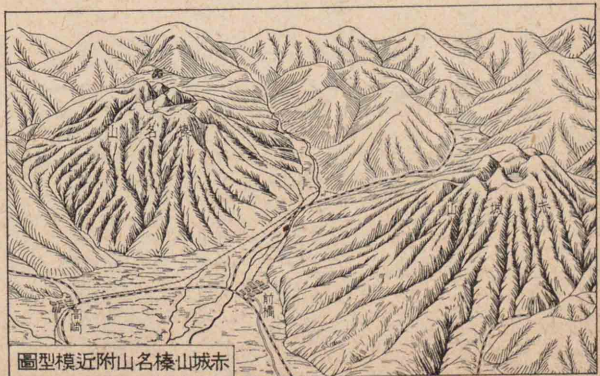
(繭生絲) 前橋市 (繭生絲絹織物の取引) 伊勢崎 (仙鶴桐生市) (羽二重絹織) 富岡 (絲製) は山麓の養蠶機業地帯を代表する。

北部山地 火山や温泉(伊香保、草津、四萬)が多く、避暑遊覽地帯である。

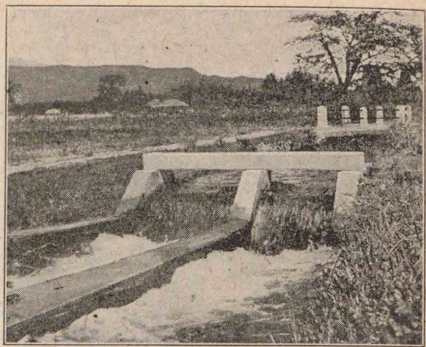
栃木縣 面積六四七方軒 人口二〇六萬人 平野部 山麓帯の養蠶機業地域に足利市(絹織) 佐野(縮絹) 栃木市(鹿沼製麻)がある。



小山は交通市、宇都宮市は第十四師團司令部の所在地で、附近に干瓢の産がある。 北部山地 日光(宮) 足尾(鐵山) 鹽原 那須(温泉)等、保養・鑛業地で、那須野



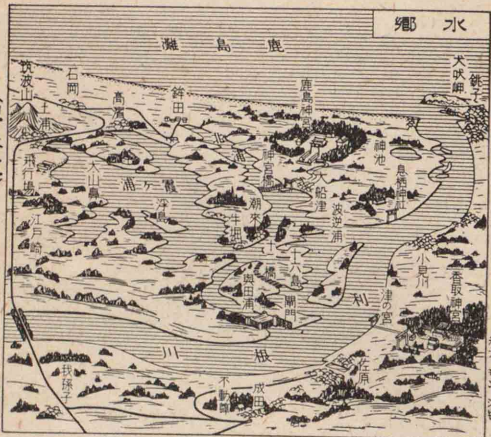
赤城山名附近模圖



那須開墾の疏水

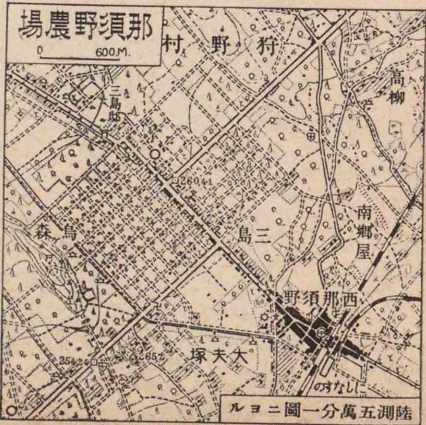


水郷(根下流)



水郷地方 著しい低地で、長大な堤防、地盛をした家家毎の舟、閘門式運河長

原には、大農場が開けた。 茨城縣 面積六〇九方軒 人口一五五萬人 平野部 結城は紬産地、土浦(油醬) 石岡(酒)は醸造地で、阿見に海軍航空隊がある。



陸測五萬分一圖ニヨル

宮(祭神武) 橋等特殊の景觀が豊かである。 水戸市は濱街道の城下町で、常磐公園がある。

北部山地 鑛業區で、常磐炭田の炭坑や、鑛山町日立がある。

附南方諸島 伊豆小笠原の諸島硫黃

列島(以上豆) 南鳥島等の總稱で東京府に屬し、高温多雨の亞熱帶海洋性









東山温泉

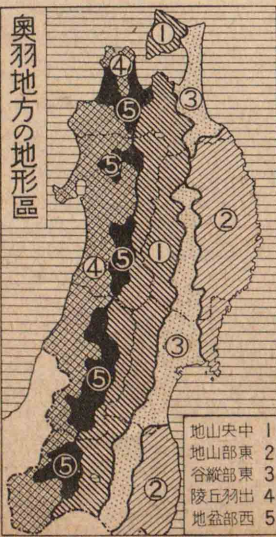


奥羽の風俗 (ペンモ)

地方誌 奥羽地方(概観、地形・気候・原始産業)

中央山地

奥羽山脈には、那須火山脈の恐入甲田岩手



あり、其の西方に火山を伴つた奥羽山脈と、出羽丘陵越後山脈との二列の若い山脈があり、地形上、五區に分れる。

行	政	區	劃
縣名	管轄區域	廳所在地	
福島縣	磐城大部・岩代	福島市	
宮城縣	磐城一部・陸前	仙台市	
岩手縣	陸前一部・陸奥	盛岡市	
青森縣	陸奥大部	青森市	
秋田縣	羽後大部・陸中	秋田市	
山形縣	羽前・羽後一部	山形市	

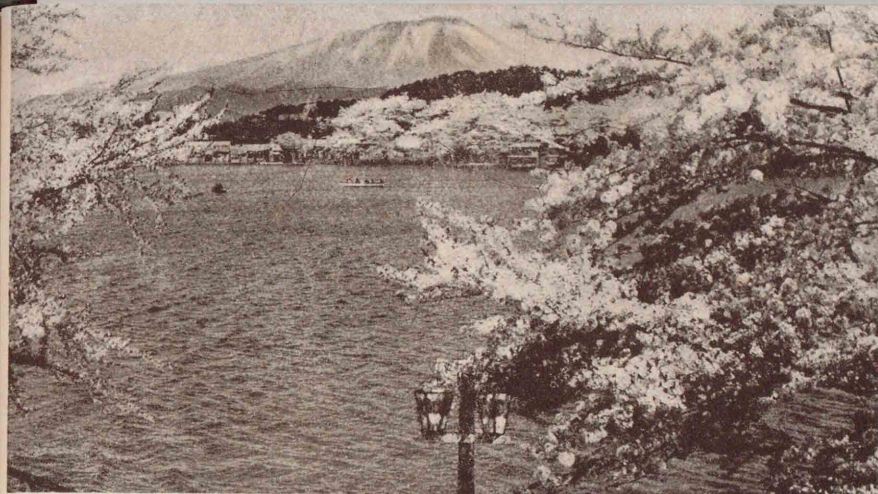
第二章 奥羽地方 一 概観

面積 六二万平方  
人口 六八萬人 人口密度 二〇四人

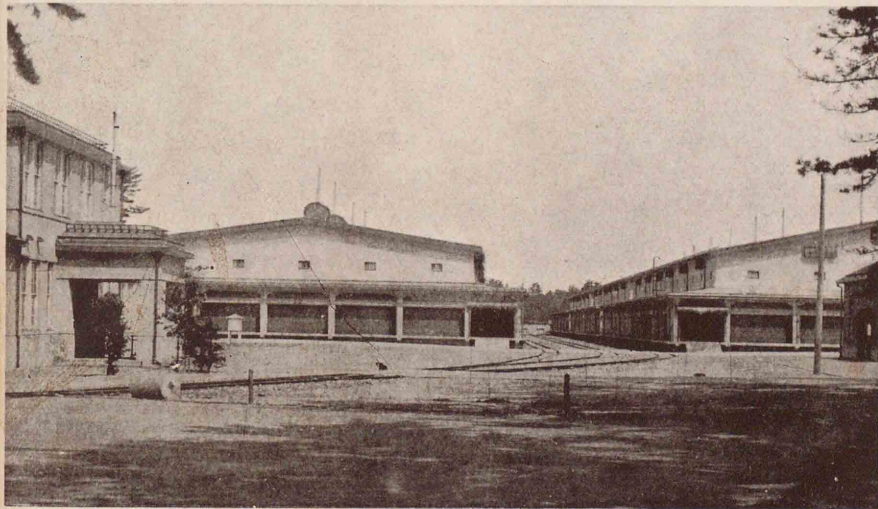
昔の陸奥出羽の地で、本州の北東部を占め、氣候が寒い上に文化の中心に遠いから開發がおくれた。行政上、六縣に分れてゐる。

二 地形氣候原始産業

地形區 東部に北上阿武隈の古い山地が



岩手山遠望 古來南部富士として多く歌に詠まれた名山である 圖は盛岡高松池から眺めたものである



酒田の國立米倉庫 庄内平野は庄内米の大産地である 昔は酒田から海路で積出した 今は陸運によるものが多いが酒田はやはり大集散地である

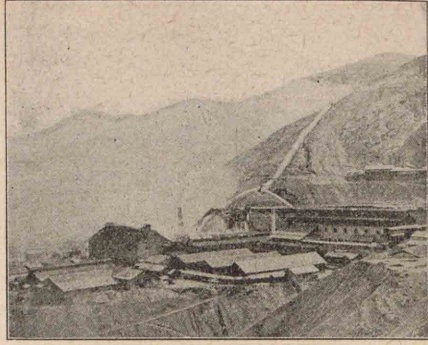


青森苹果の運搬 秋になると津輕平野南部の農家は苹果の收穫に忙しい ぎつしりと積込んだりヤカが幾臺となく續いて下つて来る





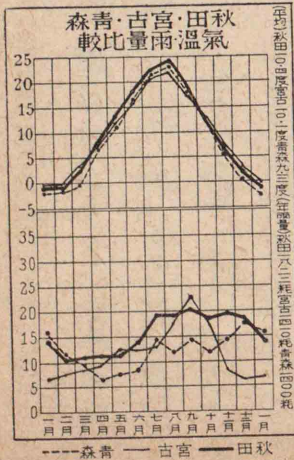
松島灣



尾去澤鑛山

地方誌 奥羽地方(地形・氣候・原始産業)

千島海流は北から、日本海流は南から來てゐる。従つて北部は、南東季節風の吹く夏には濃霧が発生し、氣温が下つて作物の發育を妨げる



東部山地 高原性の阿武隈北上兩山脈は、仙臺灣によつて分れ、北部には、リ阿斯式の小灣や、牡鹿半島、勝地松島などがある。

北部には銅・金・銀等の鑛業地帯(小坂尾去澤・花岡)が開け、各地に硫

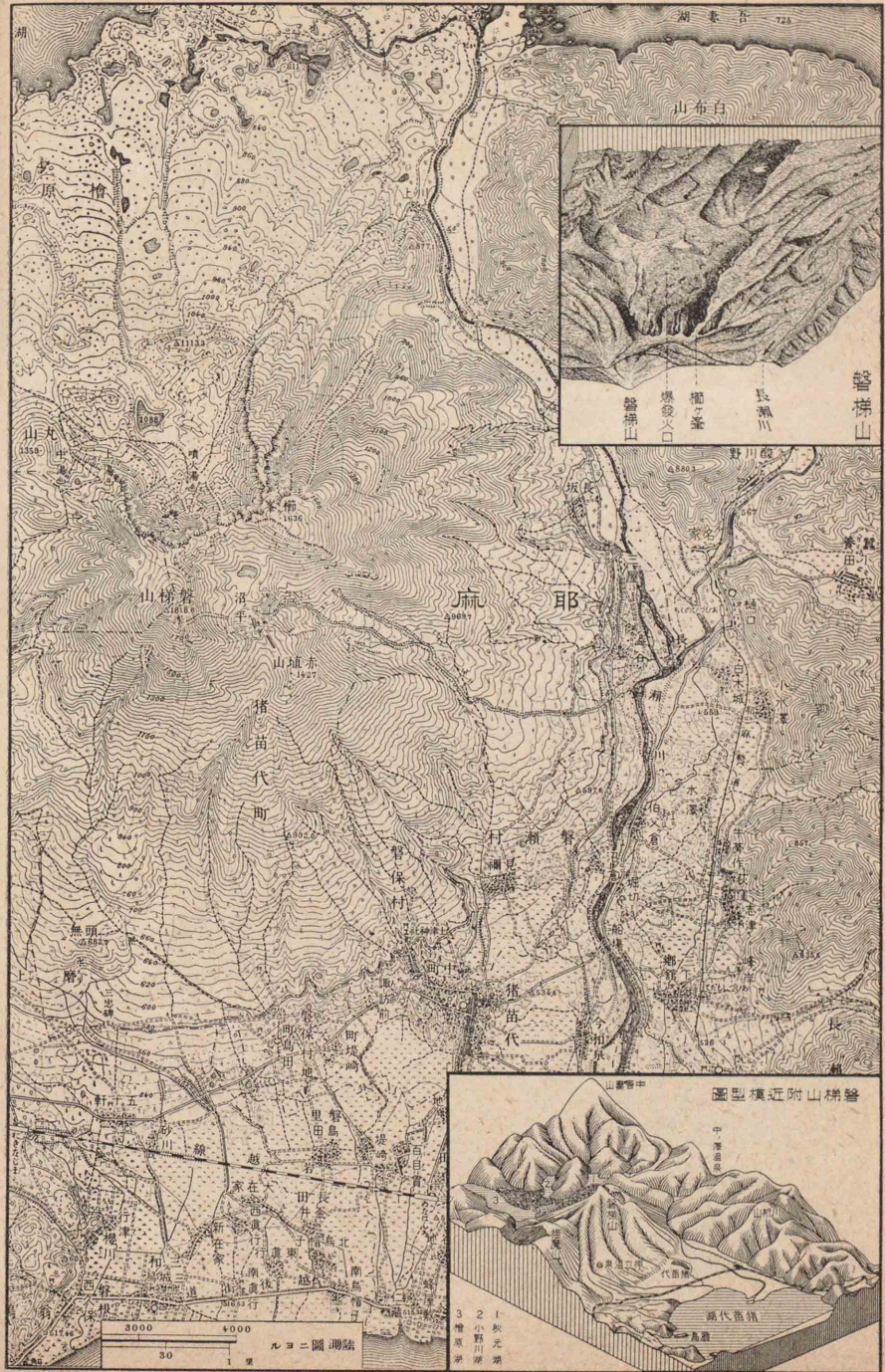
黄(松尾)の産が多い。

形としての景觀が濃い。北部に津輕海峽・陸奥灣及び津

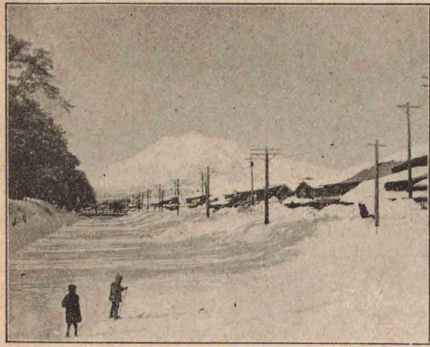
輕下北二半島がある。

磐梯(明治二十一年爆發)等の火山が噴出して分水嶺となり、花巻鬼首

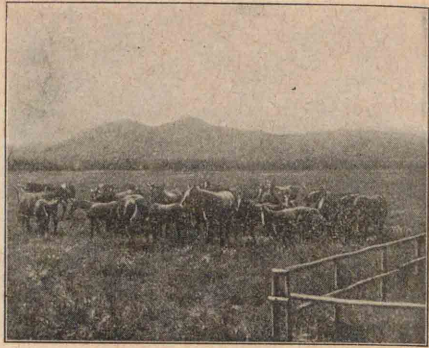
東山等の温泉・十和田・田澤猪苗代等の湖が連つて、火山地



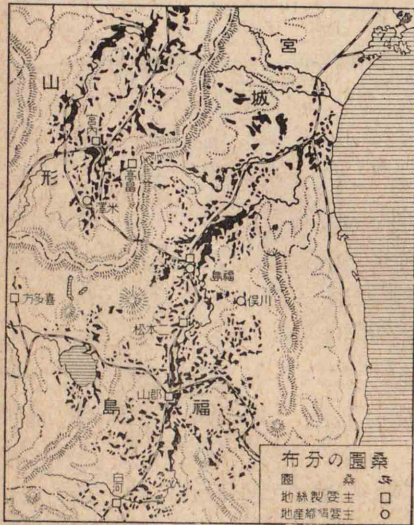




(りよ園公前弘) 山木岩

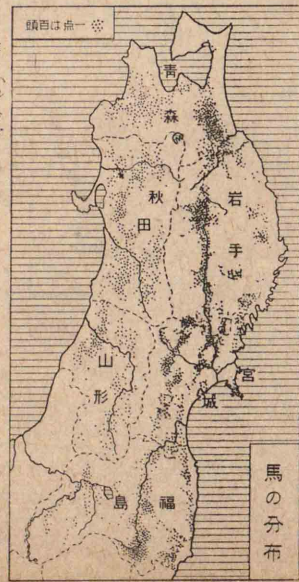


場牧馬種羽奥

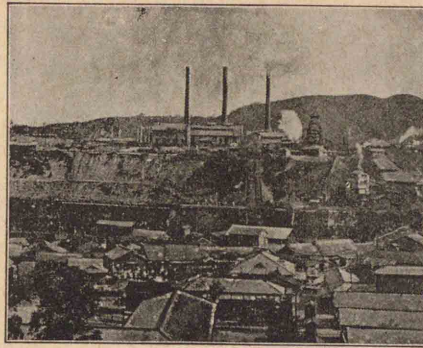


桑の園  
主製製地  
主産産地

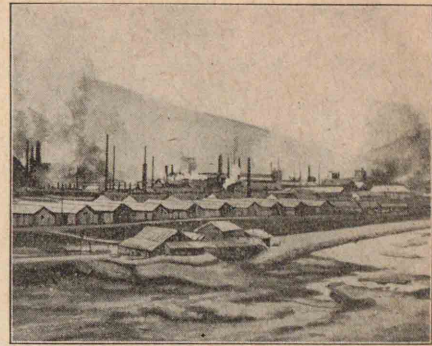
を造り、中央部に仙臺平野(陸前平野)がある。  
低地には米田が連る。岩手縣では、種(第一)大豆等の雜穀が作られる。低地兩側の斜面や三本木原は、牧馬に利用され、古來南部馬・三春駒の名が高く、主要な軍馬供給地である。阿武隈河谷は養蠶地帯で又煙草畑を見る。



出羽丘陵 低い山脈で、最上川より南は、高い越後山脈となつてゐる。岩木山(津輕)・鳥海山・月山

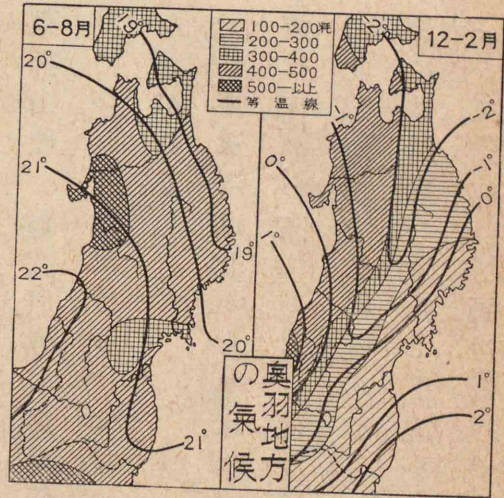


田炭磐常

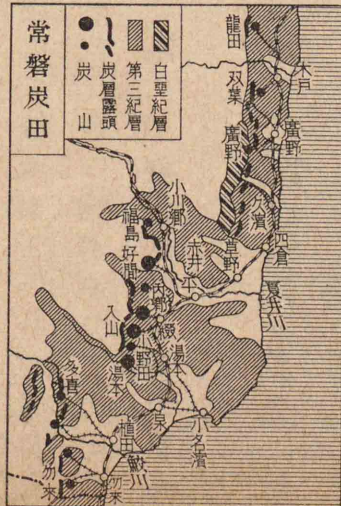


鐵石釜

が多い。鮎川は、捕鯨の根據地である。  
東部縦谷 北上・馬淵・阿武隈の三川によつて、中央・東部兩山地間に細長い谷



奥羽地方の氣候

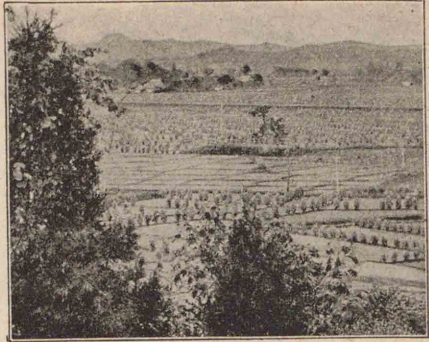


ことがある。  
砂鐵が多く、又釜石鐵山もあり、岩手縣は内地第一の産鐵縣である。阿武隈山地に石灰岩(四ツ倉セメ)を出し、南東に常磐炭田がある。リアス式の灣内には好漁港(釜石)があつて、鱒・烏



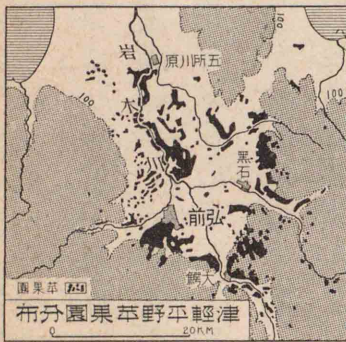


櫻桃採取



横手盆地

地方誌 奥羽地方(地形・氣候・原始産業)



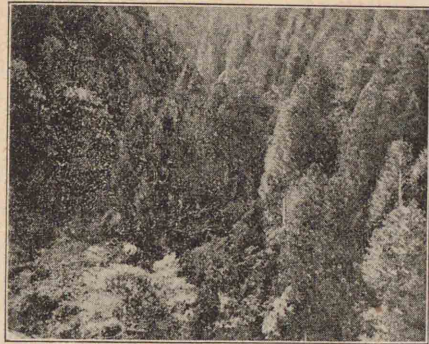
冬季は北西季節風の爲に深雪地帯となるが、晩春は急に暖くなつて、梅・櫻・桃李が一時に花を開き、夏季はかなりの高温となる。

盆地は米産が多く、この地方の需要を充した上、尙餘米は京濱・北海道・樺太に移出される。津輕盆地には蘋果、山形盆地には櫻桃、會津盆地に

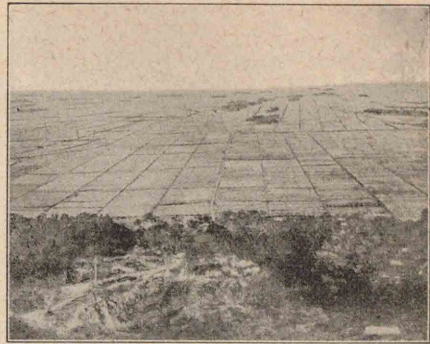
に送る。漁業は、東岸に及ばない。

西部盆地 奥羽

山脈と、出羽、越後山地との間には、大館、横手、新庄、山形、米澤、會津の諸盆地が南北に並び、北に津輕平野がある。



羅漢の美林



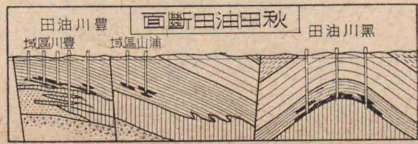
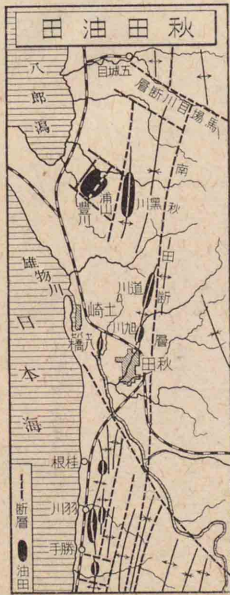
庄内平原

地方誌 奥羽地方(地形・氣候・原始産業)



油田 (院内八橋) があり、土崎港で製油する。

海岸の平野には米田が連り、北部には美林(津輕)があり、能代港で盛に製材して各地



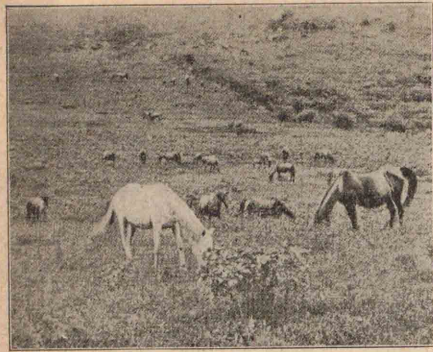
等、鳥海火山脈の諸火山が聳える。この山地を西に出た米代雄物最上諸川の下流に、秋田・庄内等の平野が開けてゐる。

海岸には砂丘が多く、男鹿半島の内側には、八郎潟がある。

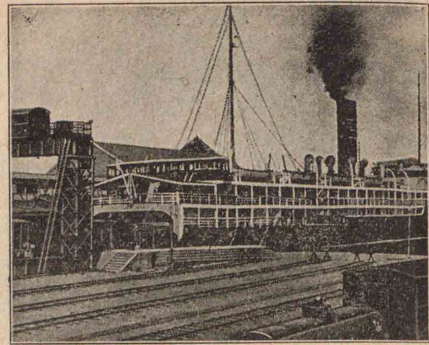
日本海は對馬海流が北上し、北西季節風の發達する冬季は、浪が荒く雪が多い。

銅・銀・金(荒川)の産が多く、秋田地方に





三春の駒放牧



青函連絡船

地方誌 奥羽地方(聚落生活)

地帯の代表聚落である。

郡山市(製糸)・二本松(製糸)・川俣(重羽)・福島市(繭生)は、共に養蠶牧馬

### 五 聚落生活

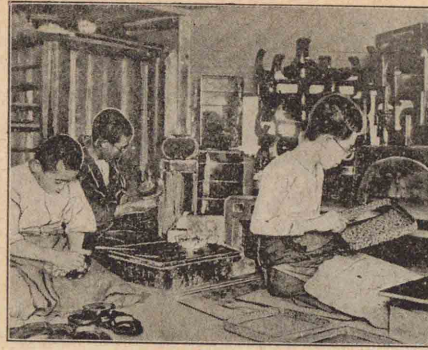
福島縣(面積三、七二万平方キロ、人口二、五五万人)・東部縦谷(中通)・白河(馬)・須賀川(繭)・三春(馬、草)力も侵入した。青森は、東京大阪兩市の商品を、北海道樺太に伸繼し、船川港釜石塩釜と共に開港場である。

して設けられた。これと並走する縦貫鐵道には、東北(東京)・奥羽(青森、秋田)の諸線があり、北海道に、青函・青室連絡船を通ずる。磐越(平津)・仙山(仙臺)・陸羽(目黒)・横黒(横手、瓦)・花輪(好摩)・米坂(米澤、坂町)等の横斷線は、多く横谷を通過して、表奥羽裏奥羽を連絡してゐる。海運は良港が乏しく、北東海面の夏の濃霧、西方海面の冬の吹雪や風浪に妨げられる。

商業 東京の商圏内にあるが、羽越線の開通で、大阪の勢力も侵入した。



南部鐵瓶造(盛岡)



津輕塗(弘前)

地方誌 奥羽地方(工業交通商業)

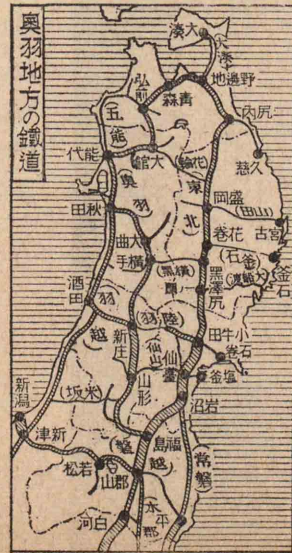
は柿の産が多く、米澤會津兩盆地は、養蠶地帯である。

### 三 工業

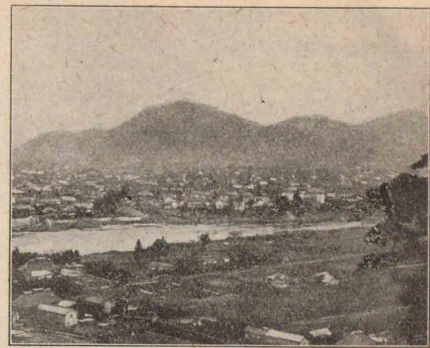
東部山地の産鐵地域に、釜石製鐵所があり、盛岡は、昔から南部鐵瓶の名産地である。常磐炭田地帯には諸種の工業(四ツ倉セメン、ト耐火煉瓦)が起り、阿武隈河谷、米澤盆地、山形盆地の養蠶地帯を背景として、製絲(郡山、二本、白河)・絹織(山形、米澤、羽二重)業地が起つてゐる。一般に近代式の製造工業は發達せず、漆器(會津塗、陶器(相馬))・木通細工(前弘)・埋木細工(臺)等の手藝品が、小規模に行はれてゐる。

### 四 交通商業

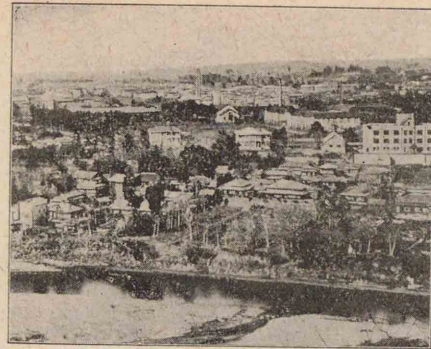
交通 街道は、勿來、白河、念珠等の關門を抜けて此の地方に入り、縦谷海岸に沿ひ早くから並行







福島市



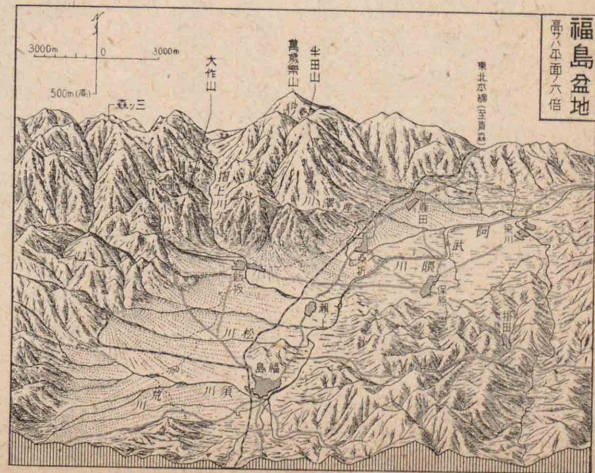
仙臺市

東部山地帯 平市(耐火煉瓦)・四ッ倉(耐火煉瓦)・小名濱(炭送港)は常磐炭田に立脚した聚落で、中村(馬相燒)・原町と共に濱通の要地である。

西部低地 猪苗代湖水を利用した工業(鉛製品製造)が起り、若松市(漆器)は、其の中心地である。

宮城縣 面積七、七〇方軒 人口一、三〇萬人 密度一七〇人

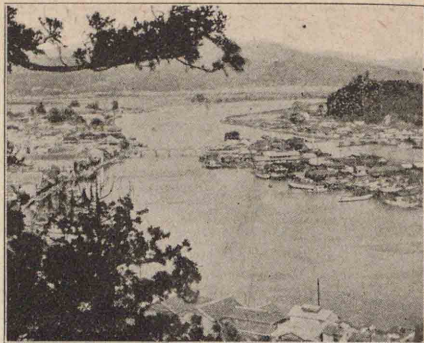
東部低地



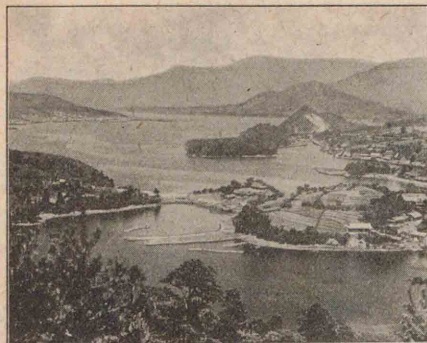
阿武隈流域は養蠶地帯で、白石(絲製)が中心、仙臺平野の仙臺市は、東北地方の學術(國大・東大)・軍事(第二師團)の中心をなし、椽(ウモレキ)・埋木細工(ザイグ)の名産がある。

外港塩釜は漁港を兼ね、其の前面に松島の勝地がある。

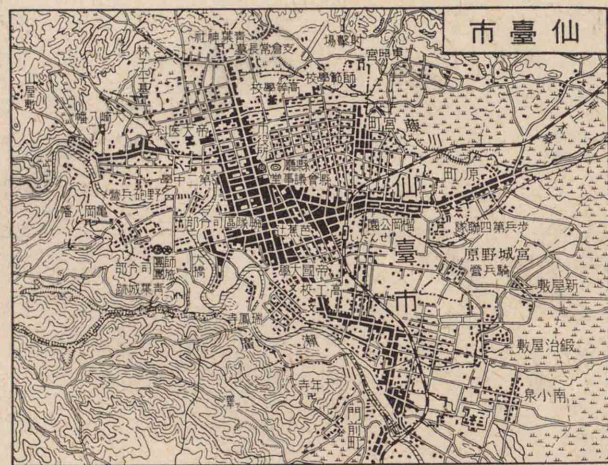
石巻市は昔は米を集散した



石巻市



大船渡港



盛岡市は南部鐵瓶を産し、盛な馬市が立つ。岩手山の裾野には、小岩井農場がある。

北上山地 後背地が狭いので、發達が望まれない。

大船渡(トミヤ)・古(ミヤ)は漁港、釜石市は製鐵地である。

が今は漁港である。

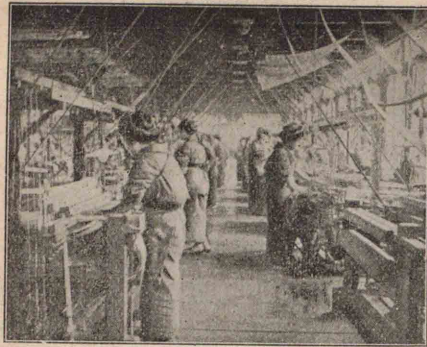
東部山地 氣仙沼・女川・鮎川等の漁港が多い。

中央山地 鍛冶屋澤は牧馬の中心地、鬼首鳴子は温泉地である。

岩手縣 面積一、五、三〇方軒 人口一、〇五萬人 密度六九人

東部低地 南門の一關は、石巻市に舟を通ずる。水澤は北上平野の中心、黒澤尻・花巻(温泉)は交通の要地である。





米澤織工場



流材の集結(手横)

外港である。

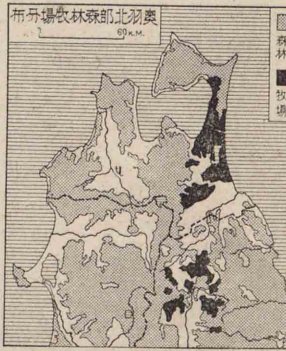
山形縣 面積九、三六〇平方  
人口一、三〇〇萬人  
密度二、三〇人

出羽丘陵地帯 庄内平野には米田が連

り、酒田市(酒)、鶴岡市(重米)は、平野の代表的都市である。

西部低地 新庄盆地(地方最上)の中心は新庄(米)、山形盆地(地方山)の中心は山形市(銅器、鐵器)、米澤盆地(地方賜)の中心は米澤市(米澤)で、各盆地には、米田、桑園、櫻桃園が廣い。

奥羽地方の特性 北邊的位置と冷涼氣候との爲産業が振はない。從



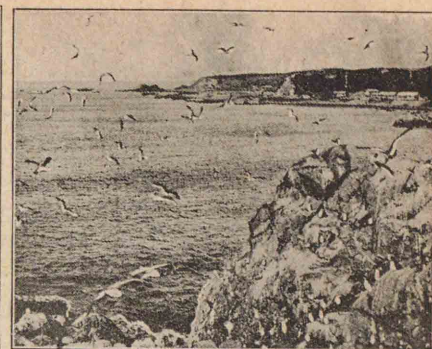
坂(銀、金)、尾去澤(銅)が著れる。

西部低地 大館盆地は大館(秋田杉、集散地)、横手盆地は横手が中心である。

出羽丘陵地帯 山地の發盛荒川、阿仁等には鑛業聚落が發達し、海岸に開けた平地に、能代港(材製)、秋田市、土崎港(米、石油)がある。船川港(開)は、秋田の



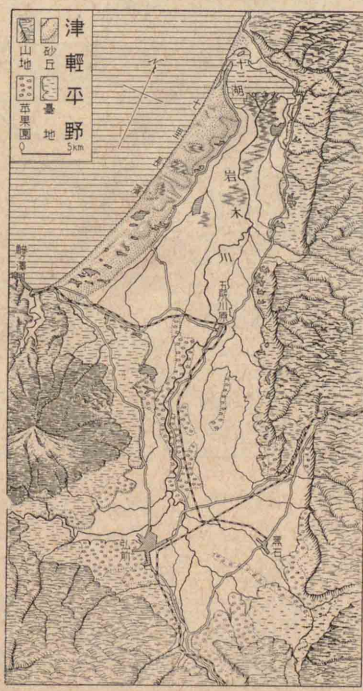
弘前城



八戸港(鳥燕)

秋田縣 面積二、六四〇平方  
人口一、〇四〇萬人  
密度三、九一人

中央山地 鹿角、盆地は鑛業地區で、小



青森縣 面積九、三三〇平方  
人口一、〇八〇萬人  
密度一、一八一人

東部低地 八戸市は

漁港、三本木、七戸を

中心とする一帯は

牧場、大湊は海軍の

要港である。

西部低地 青森市には青函、青蘭連絡船が發着し、津輕平野の弘前市は、第八師團司令部の所在地、米、苹果産地の中心で、津輕塗、木通細工を出す。



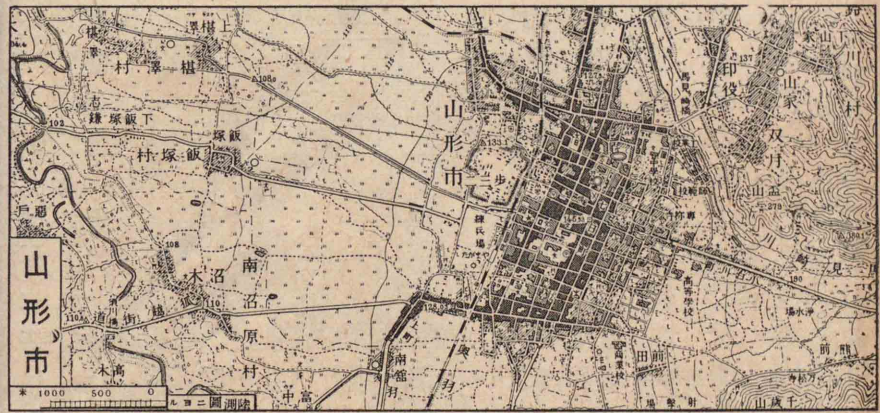




宮古湾の鮭漁



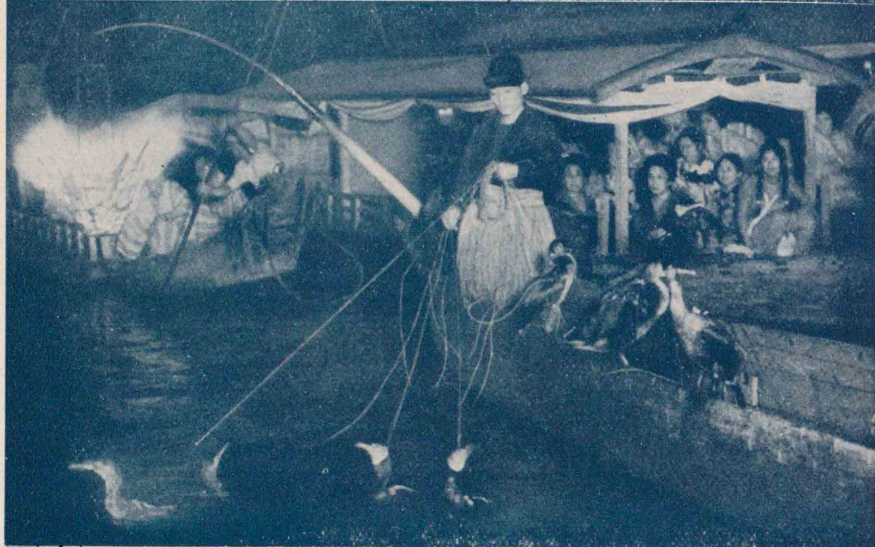
八郎湯の氷下曳



つて面積は関東地方の二倍あるが人口は二分一に過ぎない。生産地の縦谷盆地は、稍人口が稠密であるが、概して東半よりも西半に産業が起つてゐる。都市は昔ながらの城下町が主で、新興都市としては僅かに郡山釜石小坂等の工鑛業都市があるに過ぎない。人口一萬以上の都市は五一個で、一〇萬以上の都市は、仙臺が一つである。一般に經濟生活が困難で、福島山形地方では、東京方面に採り、青森秋田地方では、定期漁民として北海道や樺太の方面に出稼する。地形が南北に長く、中央に分水嶺があるので、南と北また東と西によつて、著しく事情を異にする。



高山市 飛騨の都高山は中央に宮川の清流があり小京都と呼ばれる 製絲・春慶塗・一位細工等を産し高山線が通じた

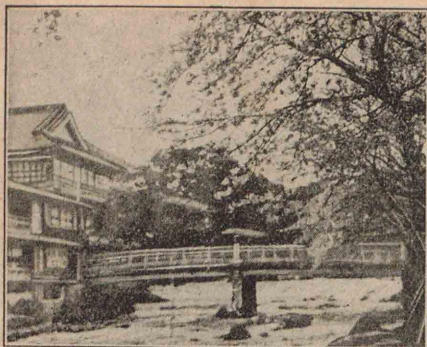


鶺鴒 長良川は鮎狩に鶺鴒を使ふが今は經濟的よりも觀賞的である 赤い篝火に照らされた風折烏帽子腰蓑の鶺鴒匠の糸の捌き等古典的情景である

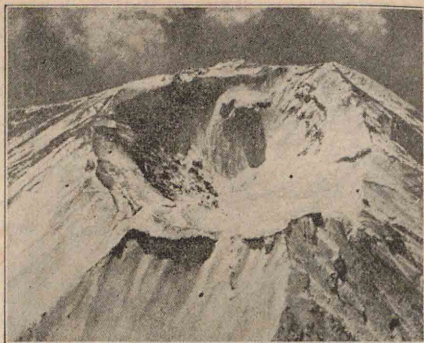


久能山に於ける苺栽培 苺の輸送は急を要する 京濱に近い久能山南側の急斜面は石垣を築いて温度を高くし良質の苺を産する





修善寺温泉



富士山の火口

地方誌 中部地方概観、地形氣候、原始産業

は南緯北緯兩山系の會合部である。能は南緯北緯兩山系の會合部である。能佐海溝と駿河相模兩灣の深海とを連ねる大地溝があり、ここに富士火山脈（火山）天城・愛鷹・富士・八ヶ岳・妙高・温冷）が活動して泉・伊東・熱海・修善寺・増富・諏訪）が活動してゐる。故に本州中幅が最も廣く、三國關

縣名	行政區劃	廳所在地
靜岡縣	伊豆大部・駿河・遠江	靜岡市
愛知縣	三河・尾張	名古屋
岐阜縣	美濃・飛驒	岐阜市
山梨縣	甲斐	甲府市
長野縣	信濃	長野市
新潟縣	越後・佐渡	新潟市
富山縣	越中	富山市
石川縣	加賀・能登	金澤市
福井縣	越前・若狹	福井市

本州の中央部に位し、西南日本と東北日本との接觸部である。舊帝都のあつた近畿地方と、新帝都のある關東地方との間に、披まり、兩文化の混合地域となつてゐる。行政上、九縣に分れる。

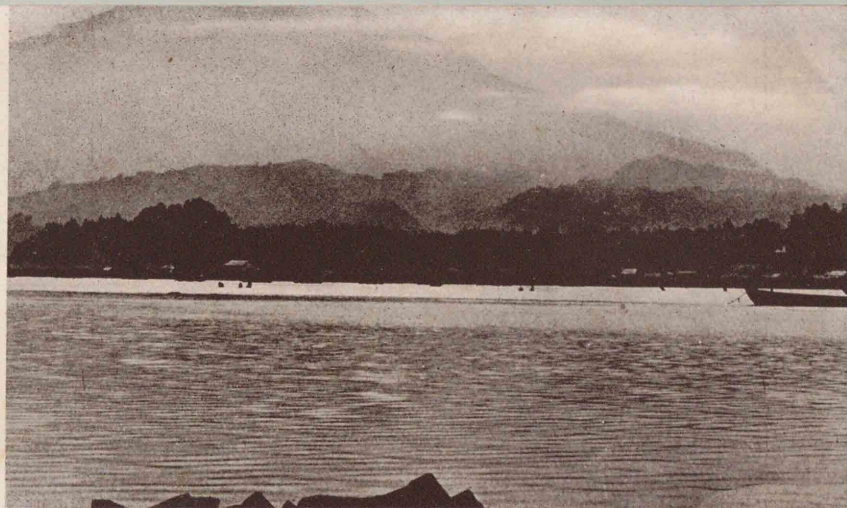
二 地形氣候原始産業



第三章 中部地方 一 概観

面積 六、七〇〇方軒 人口 二、三〇〇萬人 人口密度 二八人

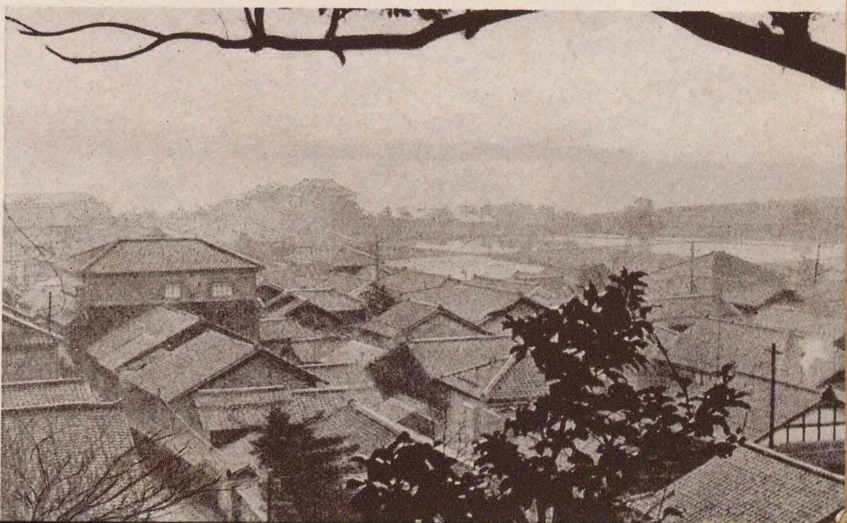
加茂湖と金北山 金北山は佐渡の最高峯で眺望が雄大である。加茂湖は國中地溝の東方にある鹹水湖で、湖口の沙嘴上に兩津町が開けてゐる。



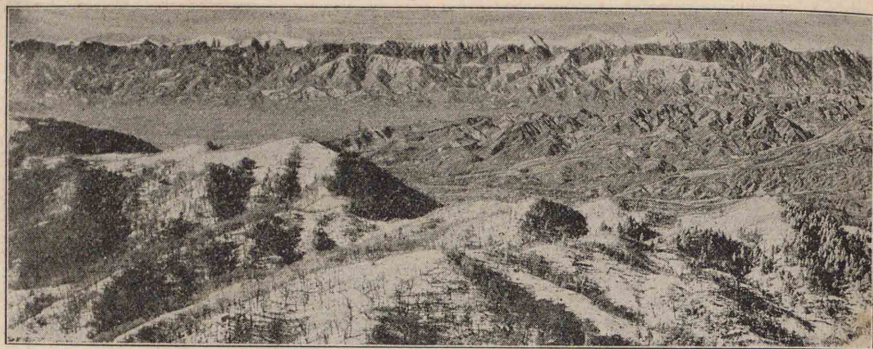
金澤市街 前田氏百萬石の城下町で金澤城や兼六公園等がある。羽二重・九谷燒等の工藝品を産し、北陸第一の都會である。



和倉温泉 七尾灣に臨み無色透明の鹽類泉である。附近は魚釣に海水浴に舟遊びによく、御成山・圓山公園・和倉神社等がある。

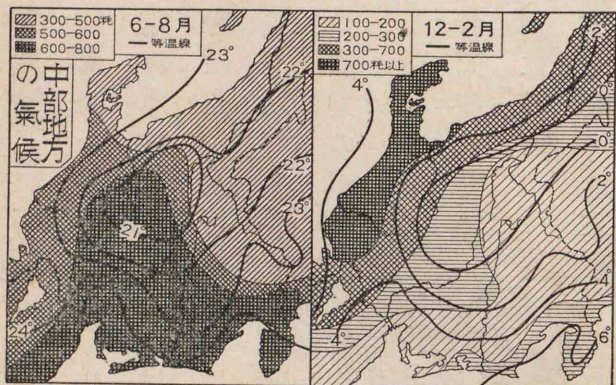






(真寫線外赤) 望遠脈山石赤・地盆府甲

地方誌 中部地方(地形・氣候・原始産業)

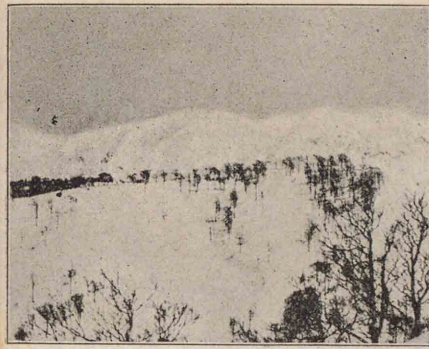
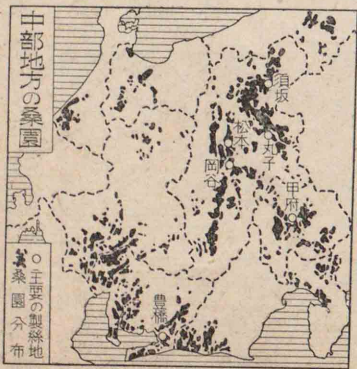


本州中部地方は中央高地により、裏日本表日本の兩氣候區に分たれ、高地内の諸盆地は、大陸性氣候の

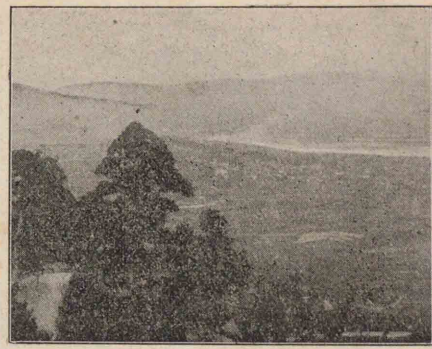
傾向を帯びて寒暑の差が厳しく、高地は冷涼である。

中央高地は鑛産に乏しく、亞鉛

鉛(神岡)、銅(小根尾・陶土(木曾山脈南端))が著れる。一般に桑園が多く



望遠の山白



平寺光善

地方誌 中部地方(地形・氣候・原始産業)

東(以上)赤石木曾飛驒(以上)等の山脈は高く且斜に並び、乗鞍白山那須等の諸火山も其の間に噴出してゐる。此の地形により次の三區に分れる。

中央高地

更に東部山地中部山地西部山地の三區に分れる。

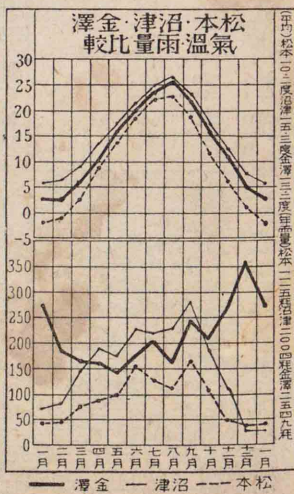
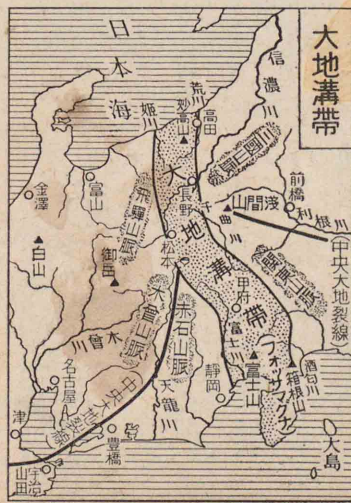
東部山地には、越後三國關東の三山脈及び淺間山を噴出した那須火山脈が連つてゐる。

中部山地は、姫川松本平、諏訪盆地、甲府盆地、富士川に連る

低地と、荒川善光寺平、佐久平郡内盆地より相模灣に出る低地との間に挟まれた大地。溝帯である。

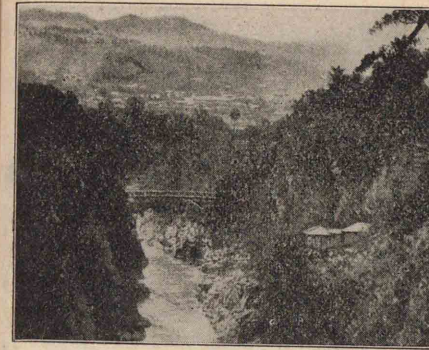
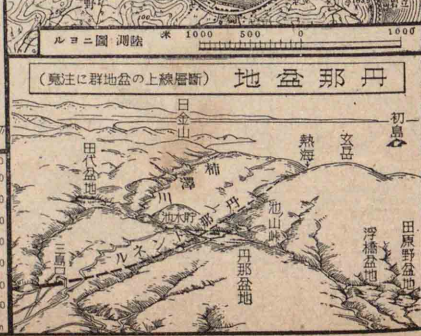
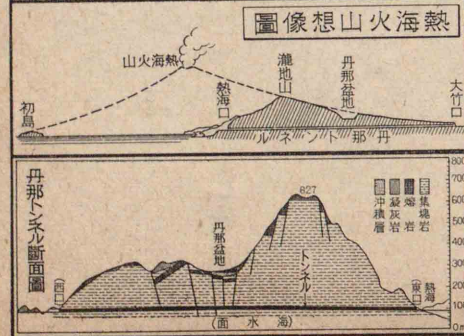
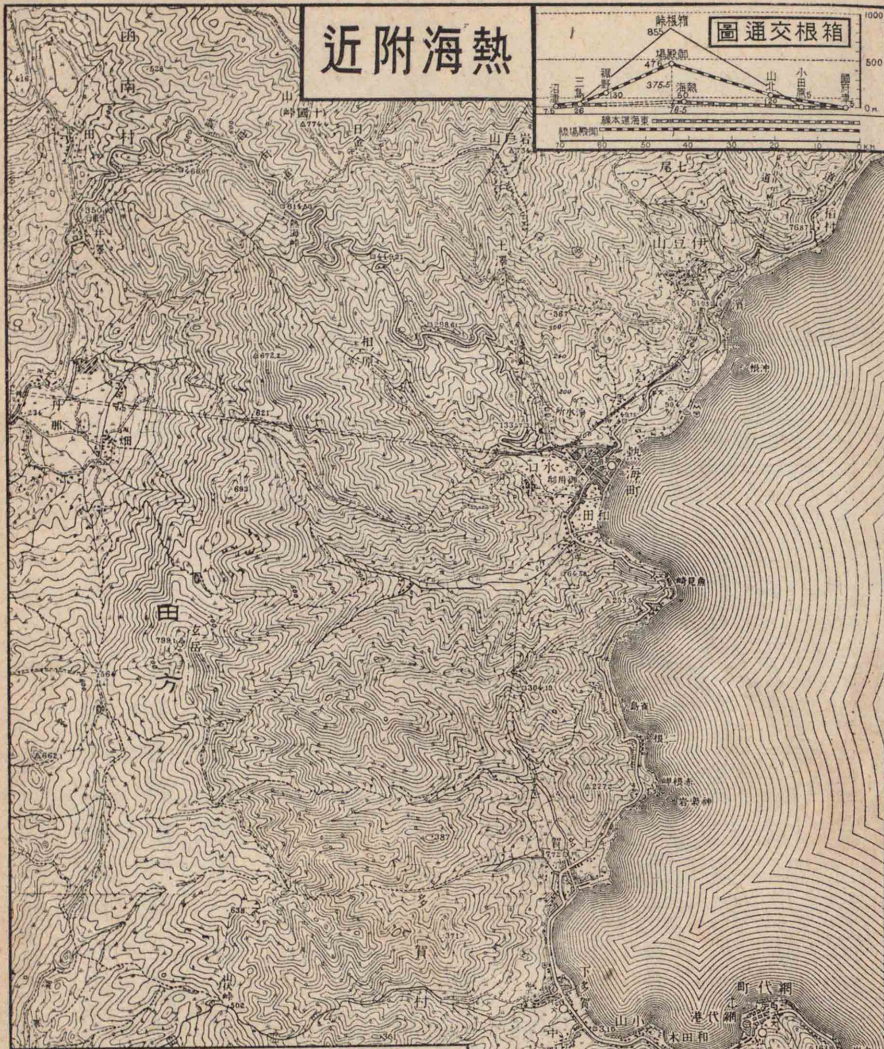
西部山地は、飛驒山脈、飛驒高原、乗鞍火山脈、岳(乗鞍岳、焼岳)を噴出する

木曾山脈、赤石山脈、石山脈、白山火山脈(白山)が連る廣い土地である。





# 近附海熱



天龍峽

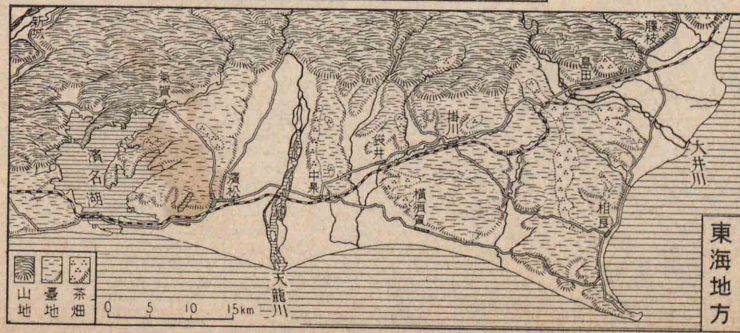
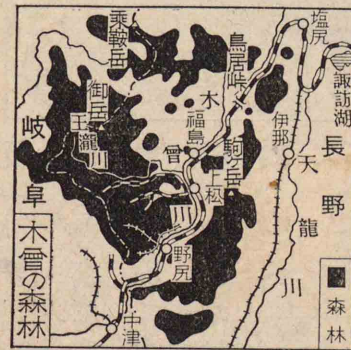


葡萄園(沼勝)

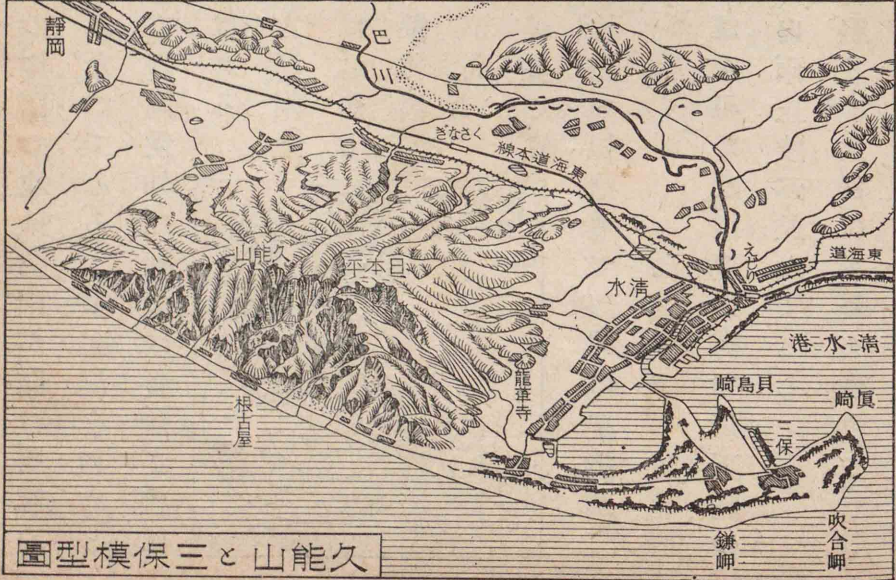
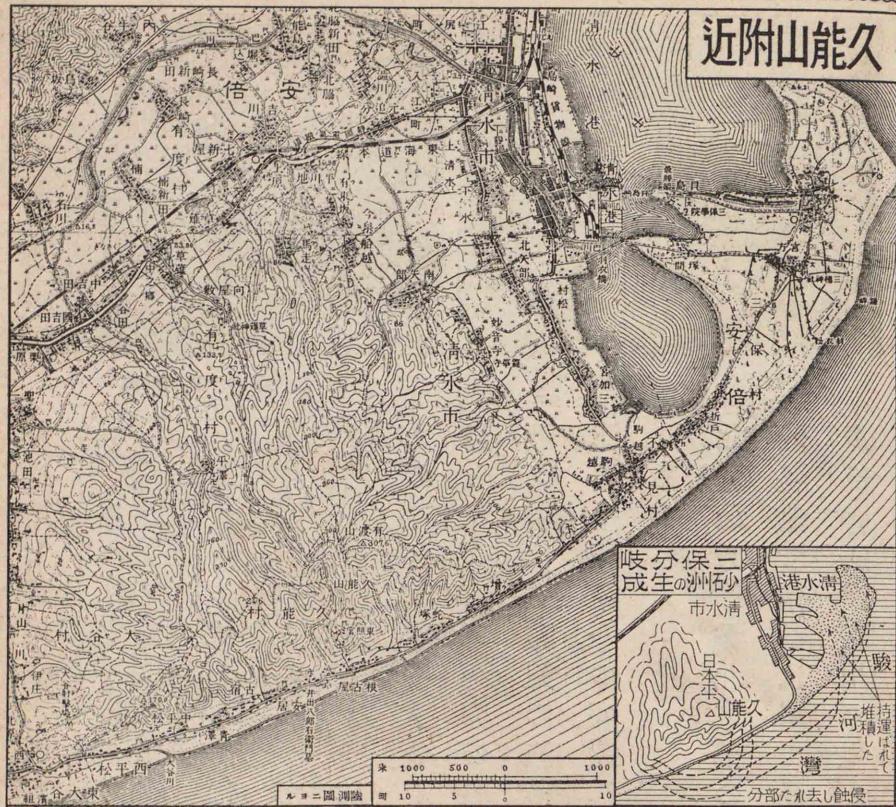
地方誌 中部地方(地形・氣候・原始産業)

養蠶(養蠶も盛)が盛で、善光寺平は苹果を、甲府盆地の扇状地は葡萄を産出する。山地は森林に富み、木曾・天龍の上流は扁柏、飛驒山脈は花柏、太平洋斜面は柾を産し、林業を以て生活するものが多し。木材は、木曾・天龍・大井諸川に筏として流したが、近來は鐵道で送つてゐる。

東海地方 伊豆半島には、富士火山脈が走り、火山温泉が多い。富士・安倍・大井・天龍等の荒川は、臺地を侵蝕して下り、下流に海





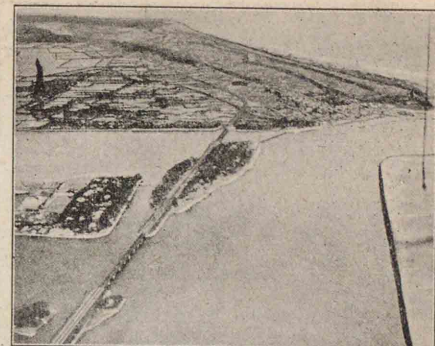


### 久能山附近

久能山と三保模範型圖

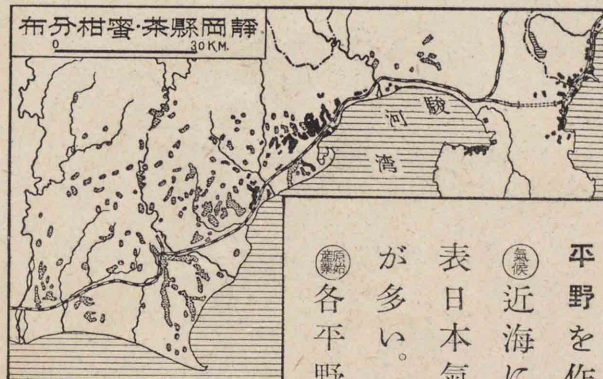


静岡の茶摘み



濱名湖(辨天島)

地方誌 中部地方(地形・気候・原始産業)



岸平野を作つてゐる。駿河湾岸に、田子浦、三保、松原があり、遠州灘沿岸は砂濱で、濱名湖が湛へてゐる。西部には渥美湾、知多湾、伊勢海と、渥美・知多二半島とがある。豊矢(矢矧)庄内、木曾揖斐の諸川は、肥沃な三河濃尾二平野を作つてゐる。

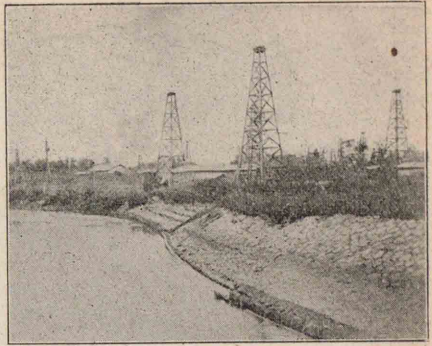
① 近海に日本海流が流れて、一帯は温暖な表日本気候區の一部となり、保養地、避寒地が多い。

② 各平野は、夏は米田(尾張米)、冬は麥畑が遠く連り、排水のよい臺地や丘陵に茶園(静岡縣の茶は、果樹園(蜜柑)、三角洲に梨園が開け、久能山の南斜面では石垣苺を栽培してゐる。富士の裾野、美濃の山地は、三椏楮

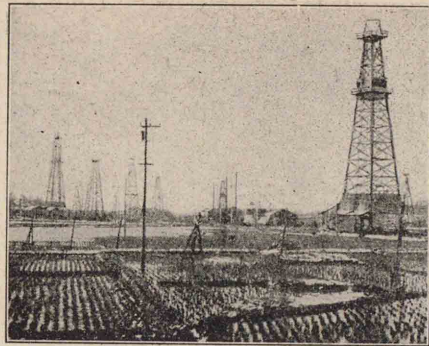




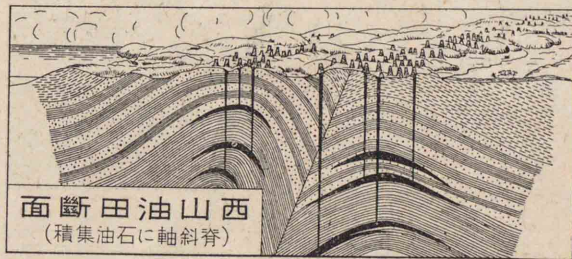




新津油田



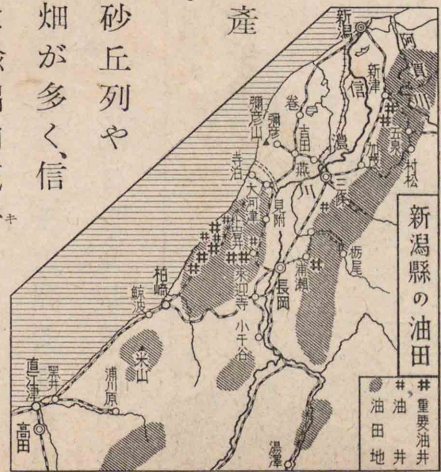
山西油田



灣岸には、リアス式の良灣が多い。

① 近海に對馬海流が流れ、冬は北西季節風の風上になり、裏日本深雪地帯を代表する。

② 東山、西山兩丘陵を初め、高田附近には大油田(柏崎新潟長岡は製油業)



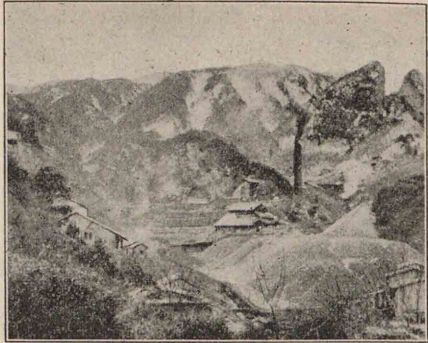
中心があり、佐渡は古い金産地(相)である。

越後平野の砂丘列や

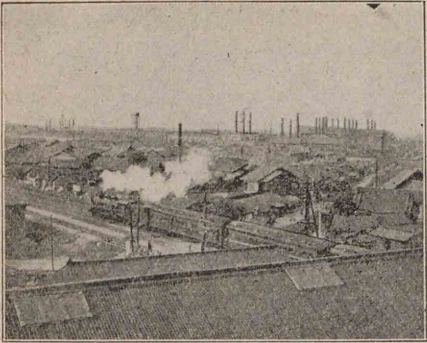
河畔には梨畑が多く、信濃川下流には輸出向花卉

の球根が作られ、富山、石川、福井の山麓地方には桑園が多い。

越後、富山、加賀、福井の諸平野は、米田が多いが、二毛作は餘り



佐渡相川の金山

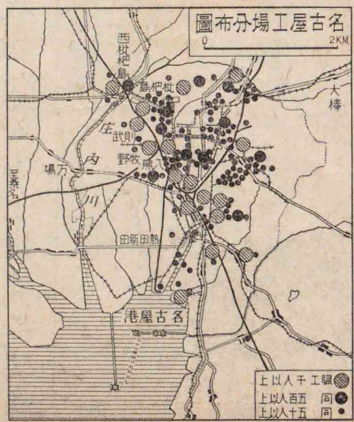
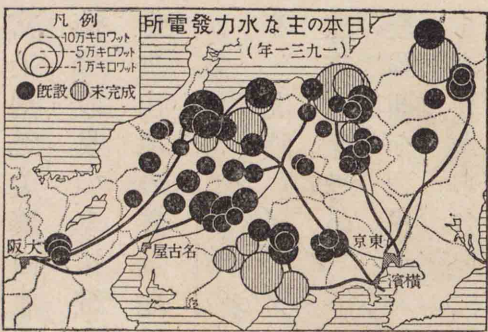


名古屋の工業地帯

行はれない。日本海方面には烏賊の漁獲が多く、魚津に送つて鰯とする。

### 三 工業

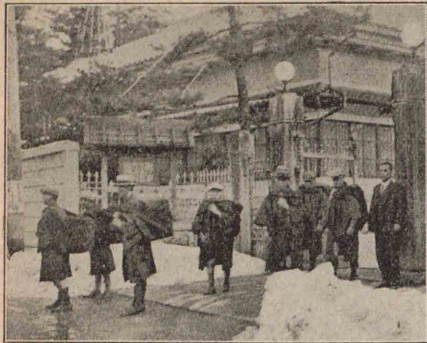
中央高地より水力電氣の供給を受けられ、且交通の便利



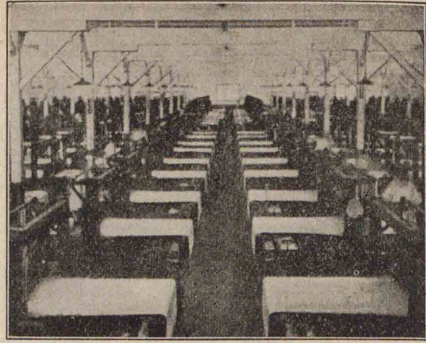
其の他飛行機、時計、車輛、硬質陶器、小麥粉(古屋以上名)、樂器綿織物、帽子(濱松以上)の産がある。木曾山脈の南端は、花崗岩の風

な東海地方に工業が発達してゐる。特に濃尾平野を控へた名古屋附近は、綿絲布(名古屋、濱松)、毛織物(大垣、岐阜)、絞本綿(鳴海、有松)の産が多く、





(山富) 人商行藥賣



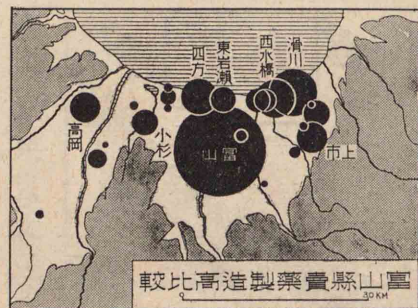
(井福) 場工重二羽

地方誌 中部地方(交通・商業)

交通 街道に東海道中山道北陸道があり、東海道中央(東京)北陸(直江津)の主要鐵道は、これに沿って開通し、關西・信越(新潟)・篠井

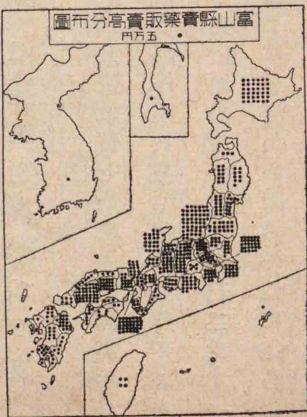
知られてゐる。

四 交通・商業

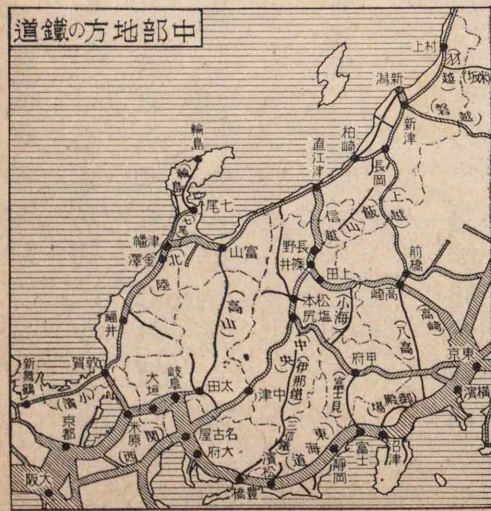


山富縣製鐵高比較

を伸ばしてある。陶土に恵まれた石川縣では、九谷焼を産し(九谷に起り、今は、小松附近に盛)



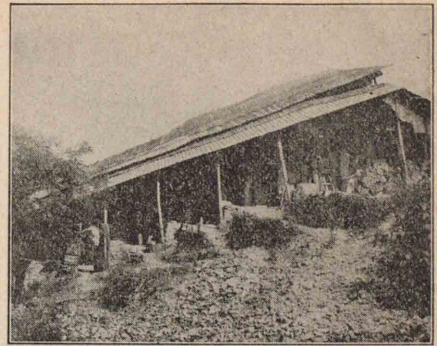
山富縣製鐵高比較



中部地方の鐵道



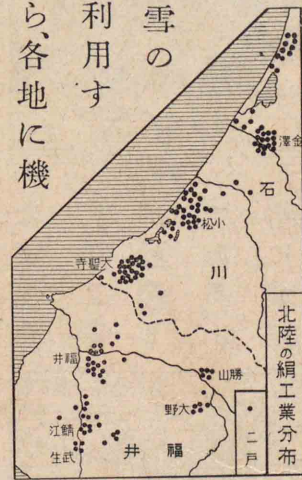
(市田上) 場市繭



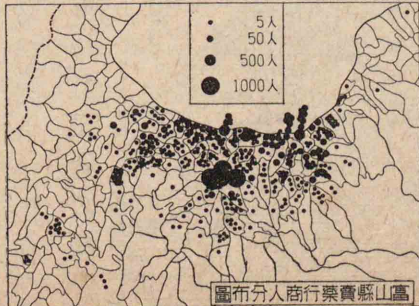
窯器陶の見治多

地方誌 中部地方(工業)

化した悪地であるが、良質の陶土があつて、一大窯業地帯(瀬戸・多治見)となり、又知多半島(常滑)に、土管の産がある。富士裾野・美濃山地は、紙(洋紙・駿河半紙・美濃紙)の製造が行はれ、静岡の漆器、岐阜の傘・提燈・團扇は、世に著れてゐる。中央山地の養蠶地域は、岡谷・須坂・松代・松本・上田等に、製絲が盛である。北陸 地方は、深雪の農閑期を利用して、織業が起り、引いて福井・石川・富山の輸出向羽二重・人絹織物等の盛大な絹織業にまで發展した。岡崎・敦賀にも、人絹製造が行はれる。富山縣の賣藥は發達し、遠く滿洲國・支那・南洋にまで勢力

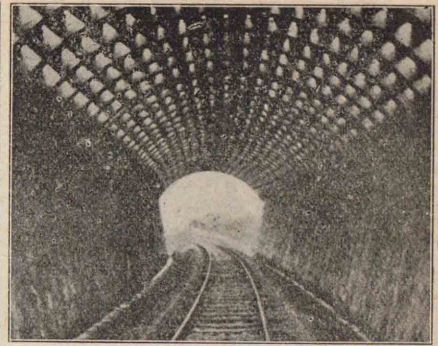


北陸の絹工業分布

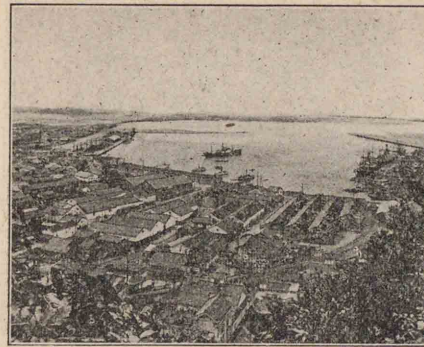


山富縣製鐵高比較

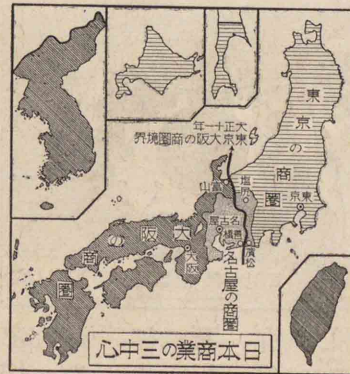




(線越上) トッセーノス



市 賀 敦  
昭和三十一年八月一日第九部許可證



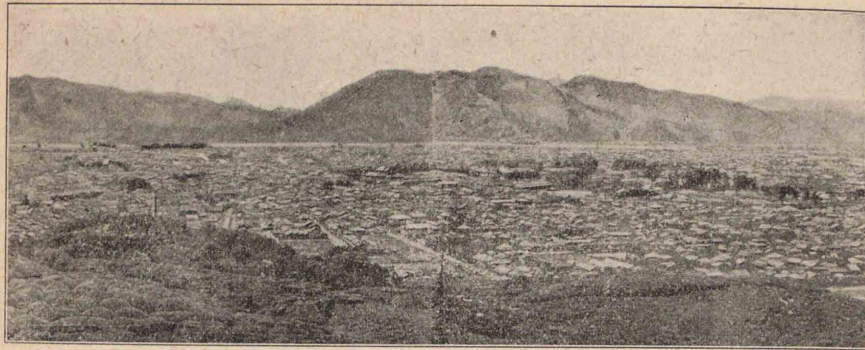
（篠井）高山（岐阜）小濱（新舞鶴）上越羽越の補助線がある。深雪地帯の鐵道には、スノーセット除雪車が備はつてゐる。名古屋・清水の兩開港は、航路を海外にも通じ、敦賀は、ウラヂウオストク（敦浦）及び北鮮諸港（日滿）との連絡港として、重要である。

航空路は、東京・名古屋・大阪・東京・新潟・東京・下田・清水・東京・富山・富山・大阪間に通じてゐる。

商業 東京・大阪の兩商圏は、東西の交通機關を利用して

本地方で混戦し、名古屋も亦、漸次兩者の間に勢力を展べつつある。

名古屋・清水・武豊・敦賀・七尾・伏木・新潟等の開港があるが、外國貿易は、尚横濱・神戸の後背地で、中央山地の生絲・北陸の羽二重・富士絹人絹織物は、横濱から世界各地に送られ、



(茶の山水清は景近) 市 岡 靜

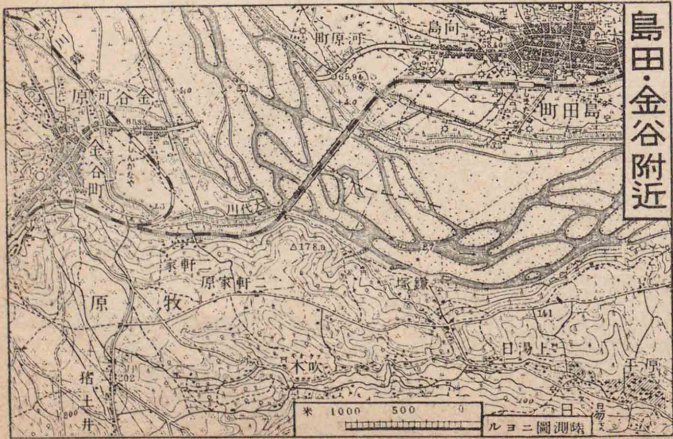
棉鐵材等の工業材料は、多く神戸から輸入される。

### 五 聚落生活

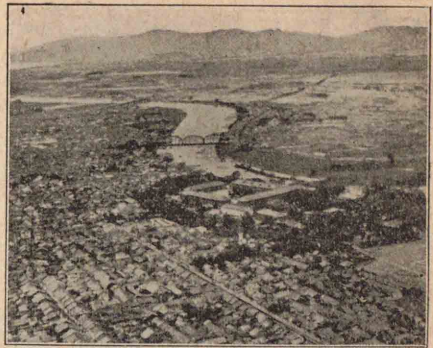
以下述べる東海地方は、静岡・愛知・岐阜・南部に互り、この地方の要部である。

静岡縣 面積 七、七〇〇方里  
人口 一、四〇〇萬人  
密度 一八〇人  
富士・火山脈  
地帯 熱海市・伊東・修善寺等  
の温泉地が多く、湘南に續く  
京濱人士の休養地帯である。  
富士の裾野地帯には、小山（織）  
大宮（紙製）等伏流利用の工業市  
が興つてゐる。

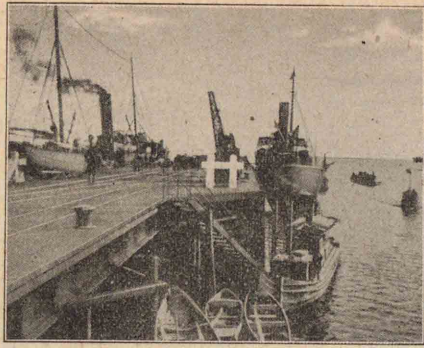
駿河灣岸 沼津市・興津等の  
保養地帯が連り、清水市は茶  
の輸出が多く、静岡市は茶を  
精製し、漆器・竹細工を出す。







豊橋市



名古屋港

島田金谷は、昔時は渡頭町として雑沓したが、今は島田は製材、金谷は茶の集散で若返った。

遠州灘方面 濱松市は新進の工業市(綿織物・楽器・帽子)で、三方ヶ原に飛行聯隊がある。

愛知縣 三河平野(東海地方) 豊橋市(絲製)岡崎市(徳川氏發祥地)などがあり、中京工業地帯の續きである。

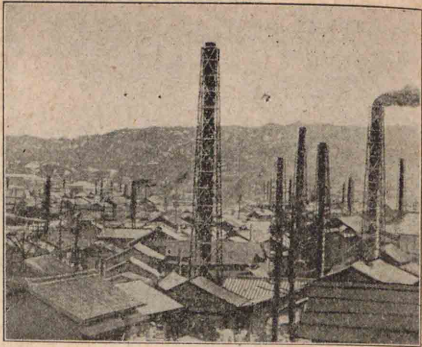
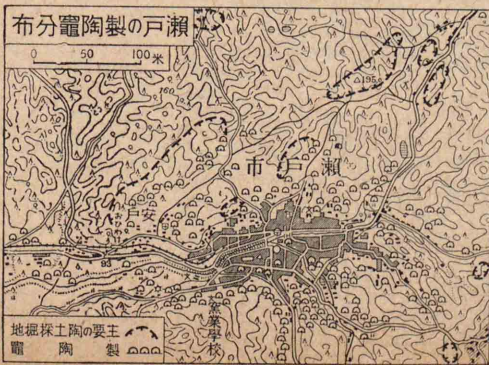
名古屋工業地帯 名古屋市は、本

州の地峡部に位する要地、徳川親

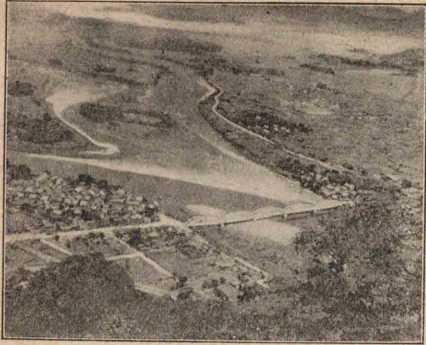
名古屋市の位置



藩の町で、新経、濟中、心で



瀬戸市



岐阜市(川良長は川)

ある。一宮市(機業)瀬戸市(窯業)半田市(龜崎半田成岩三)常滑(器粗陶)等と、一大工業地帯を形成してゐる。

岐阜縣 平野部 西濃は農業が盛で、中京工業

地の續きをなし、岐阜市(絹織物傘)美濃(紙美濃)大垣市(毛織物米)等の

工業市が連り、各務原には第一飛行團司令部がある。

東濃の丘陵地帯には、多治見(陶磁)中津(製紙)の工業地がある。

以下述べる中央高地は岐阜北部山梨長野諸縣に亘り、山間地域である。

飛騨高原 中央盆地の中心高山市は、生絲春慶塗水松細

工を産し、小京都の名がある。

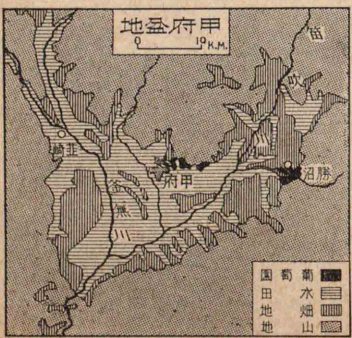
山梨縣 郡内地方 絹織(斐甲)

絹地で、谷村が中心となつてゐる。

甲府盆地 笛吹釜無諸川の複合扇

狀地で、東部の葡萄栽培地域の中心

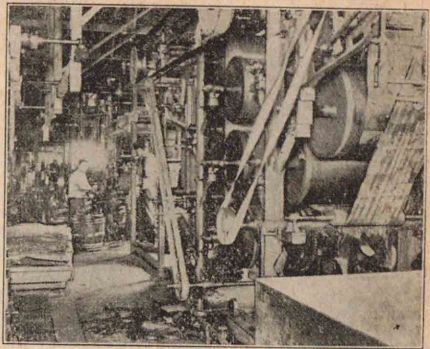
に勝沼がある。一般に桑園が多く



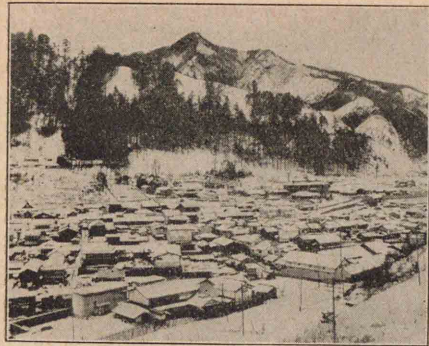






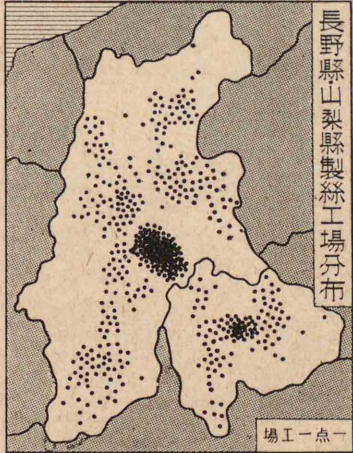


甲斐絹の工場(村谷)



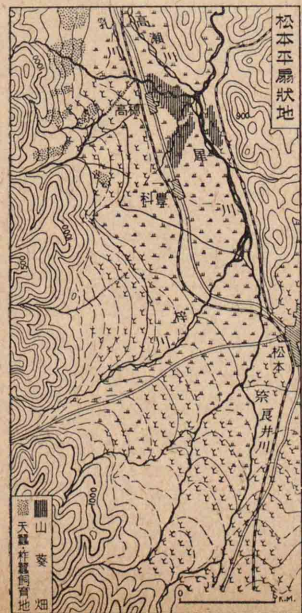
木曾の福島

中心の甲府市は、生絲葡萄酒水晶細工を産する。  
長野縣 面積一三、六〇〇平方  
人口一、七〇〇、〇〇〇人 諏訪盆地 上諏訪下諏訪は温泉宿場町  
岡谷市は、大製絲業地である。



長野縣山梨縣製絲工場分佈

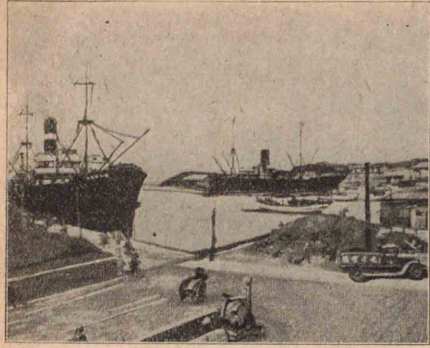
伊那谷 竝んだ扇狀地には桑園が開け、飯田市は其の中心である。  
木曾谷 福島は木曾林業の一中心で、附近に寢覺床の奇勝がある。



松本平 扇狀地は桑園が廣く、山葵が作られ、中心の松本市は、繭生絲蠶卵紙を多く取引する。



輕井澤



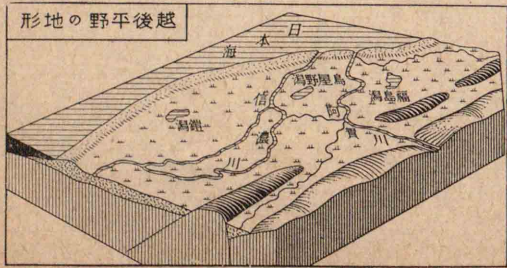
新潟港

佐久平 輕井澤は別莊地、小諸は製絲地で、附近に稻田養鯉が行はれる。  
上田盆地 養蠶製絲が盛で、上田市は其の中心聚落である。  
善光寺平 長野市は善光寺の門前町で、附近には苹果園、杏の樹が多い。河東地方(千曲川)は、桑園が多く、須坂・松代(製絲)が中心である。

以下述べる北陸地方は、新潟富山石川福井諸縣に互り、日本海斜面を占め、裏日本の代表地帯である。

新潟縣 面積三、五〇〇平方  
人口一、〇〇〇、〇〇〇人 上越 高田市は、赤倉と  
共に深雪(スキ)で名高く、直江津は交通の要地である。

下越 米作油田地帯の中心として、長岡市、新津、山麓小工業地域に、三條市、十日町、



越後平野の地形





富山平野

小千谷(以上絹織物)加茂がある。新發田は城下町、新潟市は天然の障害はあるが、盛な商工(製油、製紙、肥料)市である。

佐渡・兩津(夷と)は避難港、相川は古い鑛山(金)町である。

富山縣 面積四、五万平方人、人口八〇萬人、密度二八六

富山平野 富山

灣岸に新湊・

魚津滑川・氷

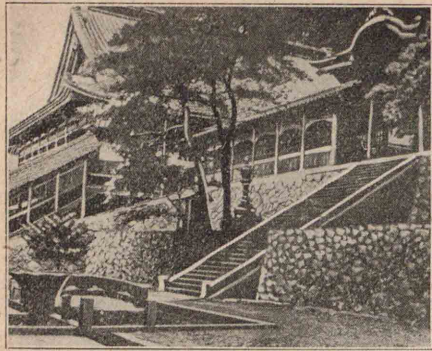
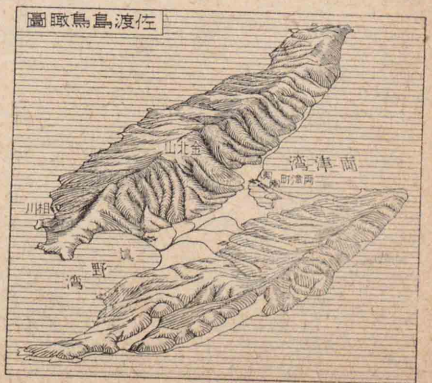
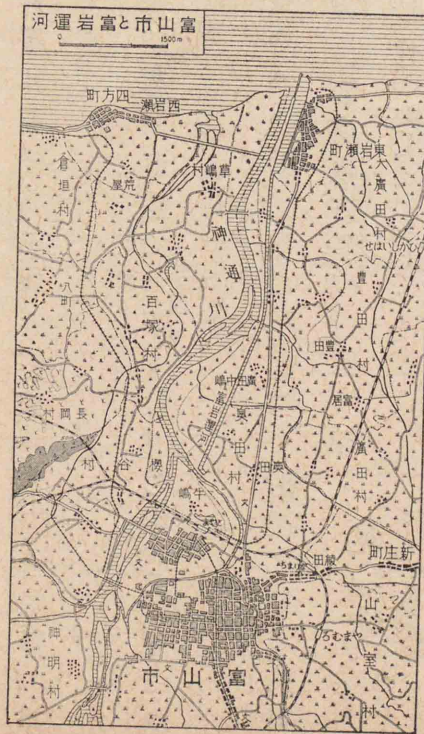
見の漁港が

連り、複合扇

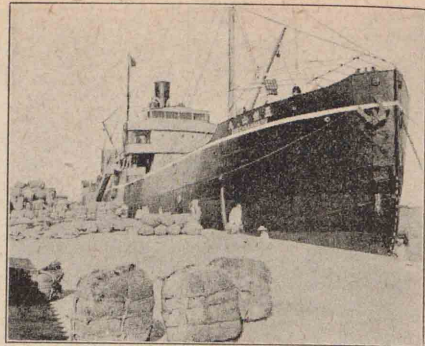
状地の平野

には、灌漑用

水路網が縦



(近附市井福) 寺平永



(し出積米) 港木伏

横に通じて散村が開け、越中米の産が多く、伏木はその積出港である。

東の中心富山市は賣藥、西の中心高岡市は銅器、漆器で著れる。山麓地方には養蠶が行はれ、城端は、羽二重佛壇を産する。

石川縣 面積四、五万平方人、人口七〇萬人、密度一八三

和倉がある。輪島は漆器を産する。

加賀平野 砂丘の内側には米田、臺地には桑園が多い。

中心の金澤市は、前田氏の城下町で、第九師團司令部がある。

白山火山麓近くに、山中山代等の温泉がある。小松

大聖寺は、古來九谷焼絹織物を産する。

福井縣 面積四、六万平方人、人口五〇萬人、密度一四二

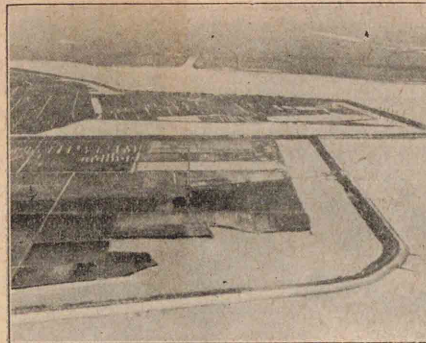
福井平野 我が國有数の羽二重・人絹織物、富士絹の産地をなし、城下町福井市(藤島神社、附近の)・大野

勝山はその中心で、武生は和紙(鳥ノ子奉書紙)・蚊帳を産する。

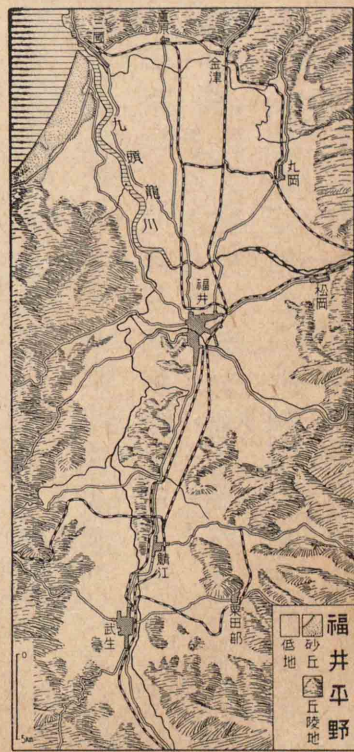




(近附田上)場牧の近附山間淺



流下川曾木

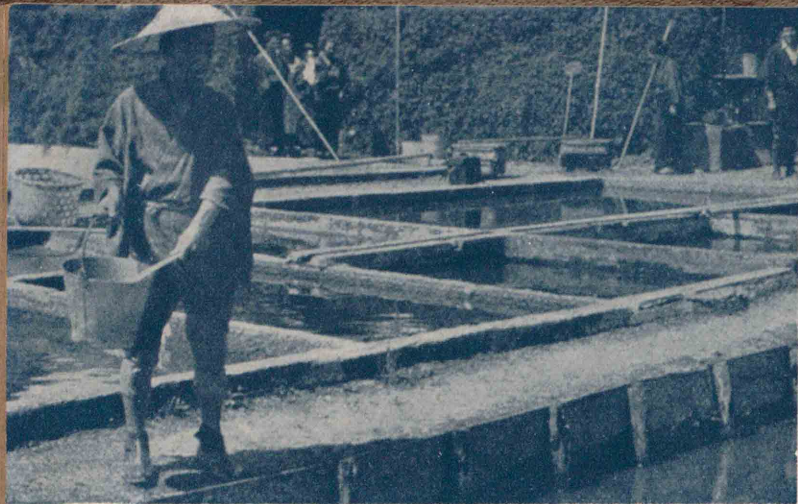


聚落がある。

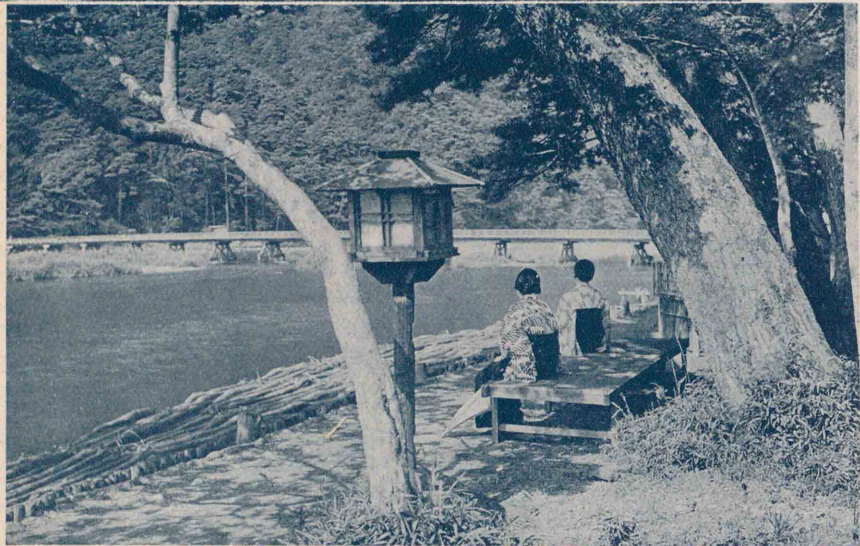
中部地方の特性 東海地方中央高地北陸地方によつて、地文人文が著しく異つてゐる。東海地方は土地の利用が最もよく行はれ多くの人口を收容し、都市密度も大で、大工業地帯がある。中央高地は土地利用の度が低く、人口都市の密度も少く、工業は起らない。北陸地方は地形に恵まれてゐるが、氣候に恵まれない。特に冬季には、勞働力が餘るから、各地に出稼するものが多い。新潟石川兩縣の酒杜氏サトウヅを始め、工女藥賣として中部の製絲機業地又は東京名古屋京阪地方に出稼する者多く、近來水力電氣に恵まれて、小規模の家内工業から、大規模の近代的工業に進んで來た。

若狹灣岸  
日ソ日滿間の重要連絡港である敦賀市や、小濱などの灣頭

郡山の金魚飼養 郡山の金魚は柳澤藩士ヤナギさわの娯樂的飼養に兆し維新に於ける離藩士の本業となり更に一般農家の副業に發展し京阪神・京濱・九州・中國・北海道に移出する外昭和二年からは米國にも販路を擴張した圖は米國の地理雜誌に出たものである



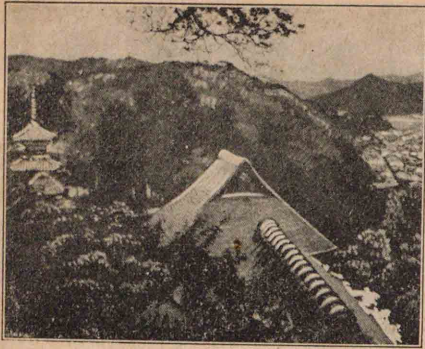
嵐山 保津川の京都盆地に出る所に嵐山の勝地がある 春の櫻花・秋の楓葉が鬱蒼たる綠樹に點綴して春秋の行人を樂しませる



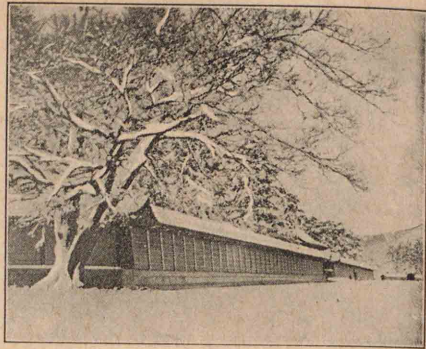
比叡山空中ケーブル 比叡山は餘り高くはないが近江京都兩盆地を俯瞰して眺がよく天台宗の總本山延暦寺があり空中ケーブルがある







泉 温 崎 城



所 御 都 京

地方誌 近畿地方(概観地形・気候・原始産業)

北<sup>ラ</sup>部<sup>アサ</sup>山<sup>コ</sup>地<sup>コ</sup> 高原性の中國山脈は、由<sup>ユ</sup>良<sup>カ</sup>川<sup>コ</sup>・朝<sup>カ</sup>來<sup>コ</sup>川<sup>コ</sup>等の河谷により、多くの山地に分れ、龜岡・福知

區に分けられる。

府縣名	管轄區域	廳所在地
滋賀縣	近江	大津市
京都府	山城・丹後・丹波一 半	京都市
大阪府	河内・和泉・攝津一 半	大阪市
兵庫縣	攝津一 半・丹波 馬・淡路	神戸市
三重縣	伊賀・伊勢・志摩・紀伊一 部	津市
奈良縣	大和	奈良市
和歌山縣	紀伊大部	和歌山市

本州島の地峽部に位し、永く帝都の所在地、文化の中心であつた爲上方と稱せられ、經濟の一大中心である。行政上、二府五縣に分れてゐる。

### 第四章 近畿地方 一 概観

#### 二 地形氣候原始産業

地形區 北に中國山脈、南に紀伊山脈が連り、中間の陷沒部に、多くの地壘や盆地や低地があり、域内は、三地形



面積 三、九六方軒  
人口 一、三九萬人  
人口密度 三三一人



三笠山 くだらかな山に萌出づる若草等「春日なる三笠の山に出でし月かも」と故郷の風物を忘れ得ない者は仲麻呂一人のみではないであらう



大根の收穫 大都會の周圍には必ず野菜栽培業が起る 人頭大もあるやうな大根 この圖は大坂郊外恩地の大根收穫の有様である

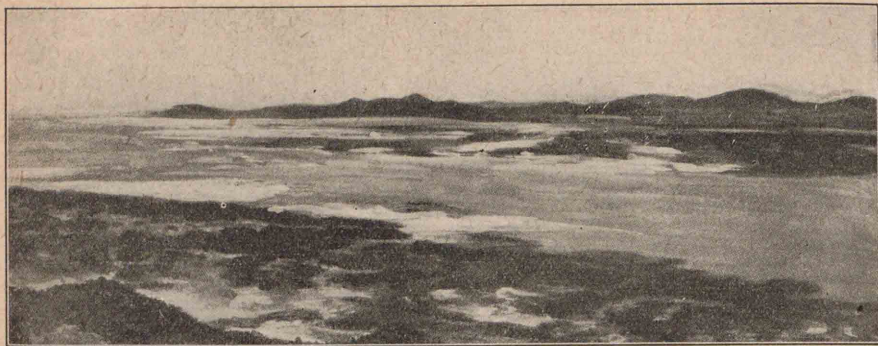


天橋立 靜かな海を眞一文字に延長すること二軒餘青松を戴く砂嘴は將に對岸に接しやうとしてゐる 邊鄙な處にありながら昔から名高い

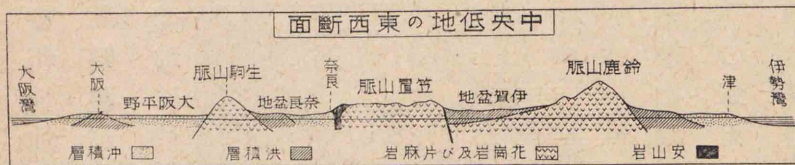
昭和十二年八月十六日舞鶴要港司令部檢閲済



地方誌 近畿地方(地形氣候・原始産業)

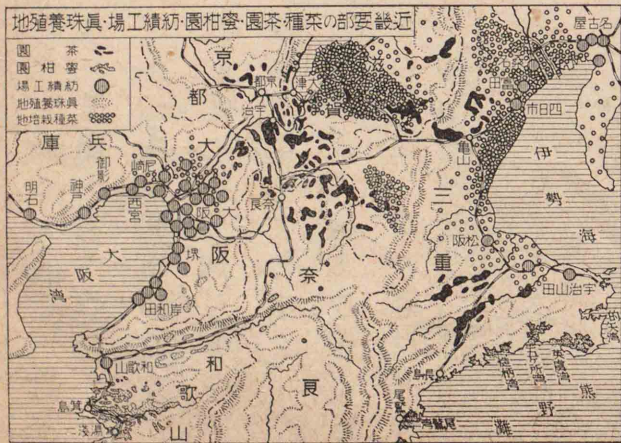


(望遠のらか山叡比)

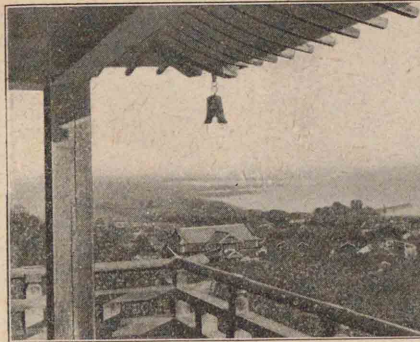


米田は諸平野に開け、裏作と

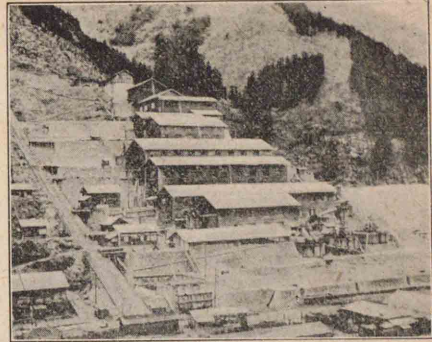
歩し、耕地が多い。人工灌漑が進  
は、瀬戸内式氣候となつてゐる。  
は、寒暑の差が多い。瀬戸内斜面  
京都奈良諸盆地は、寒暑の差が多  
は、寒暑の差が多い。瀬戸内斜面  
は、寒暑の差が多い。瀬戸内斜面  
は、寒暑の差が多い。瀬戸内斜面



地方誌 近畿地方(地形氣候・原始産業)

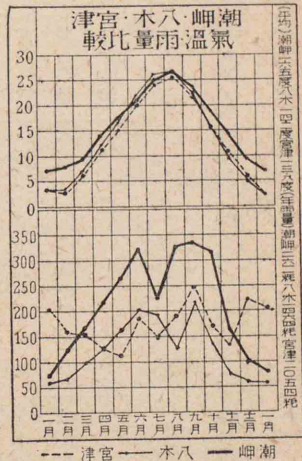


(寺井三は左)地盆江近

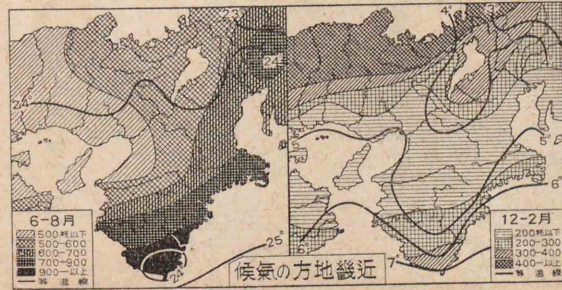


山鏡野生

原は牧牛(牛神戸)が行はれ、盆地、河谷には、  
桑園が連つてゐる。  
中央低地 鈴鹿比叡笠置金剛淡路  
等の地壘に挟まれて、近江伊賀京都奈良  
伊勢大坂播磨等の盆地や平野がある。  
三笠畝傍の火山、有馬温泉、寶塚冷  
泉は東西に並んでゐる。  
琵琶湖は近江盆地に湛へて、滋賀縣の六分一を



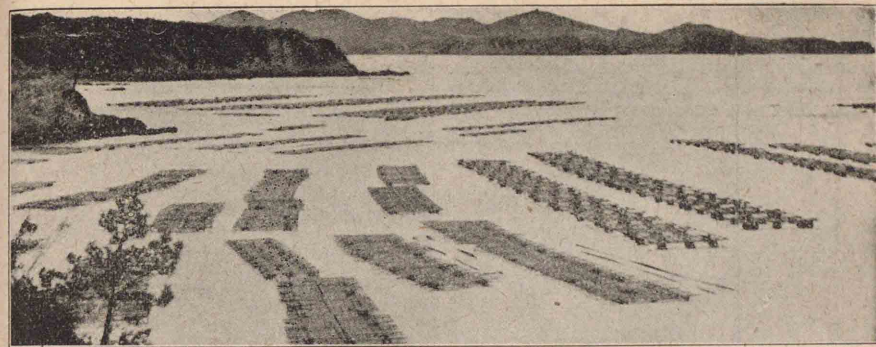
山豊岡等の盆地が挟まつて  
ある。白山火山脈が東西に  
連り、城崎温泉、玄武洞がある。  
山陰式氣候區に屬し、冬は  
雪が多い。









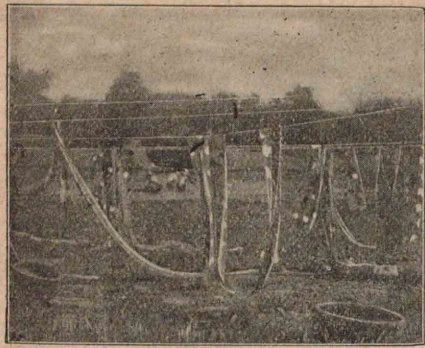
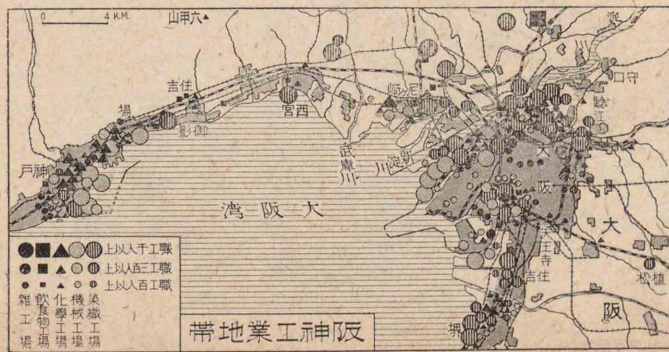


(るあてれらけ掛に袋が網金たれ入を貝珠真 灣虞英) 場殖養珠真

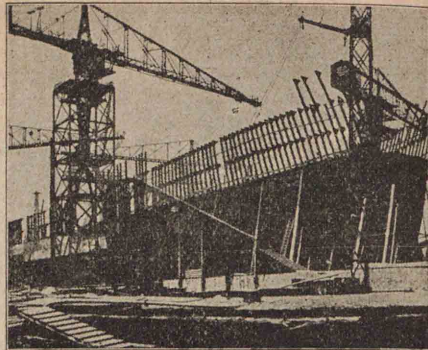
鯔、鯨等の漁獲が多い。東部の瀬谷の眞珠養殖は、日本獨特の産業である。

### 三 工業

阪神は京濱と並ぶ我が國第一の大工業地帯で、餘勢は四隣に及び、綿絲(大阪、神戸、尼崎、岸和田)・綿織物(大阪、神戸、尼崎、岸和田)・メリヤス(大阪、神戸、尼崎、岸和田)・肥料・藥品・麥粉・麥酒精糖(大阪)・硝子(大阪、神戸、尼崎)・石鹼(神戸)・セルロイド(大阪)等の製造が多い。伊勢海の沿岸は中京工業地帯の續きで、綿絲(四日市、津、松原)・陶器(四日市)の製造が行はれる。尙多量の水を必要とする人絹製造は、琵琶湖の排水部(宇治)に、宮水



(市都京) 染 禪 友

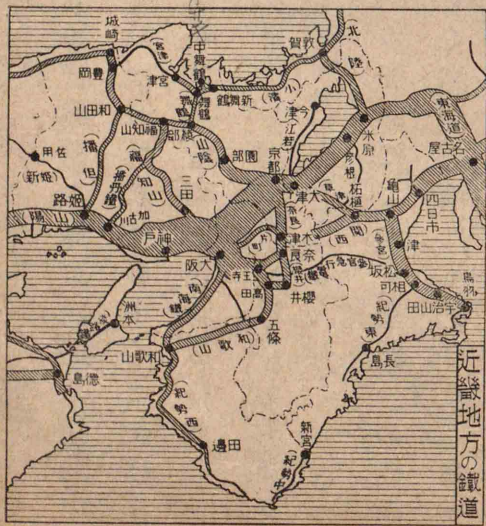


所 工 鐵 阪 大

(六甲山の花崗岩)と原料とに恵まれた灘地方には、清酒の醸造が行はれる。京都に美術工藝品(清水焼、粟田焼)・海南市に漆器、八幡附近に麻織物、滋賀縣北部・京都府北部の養蠶地帯に濱縮緬(長)・丹後縮緬(山)・兵庫縣の麥作地帯に醬油(龍野、加、奈良縣に賣藥の製造(高取)が行はれる。

### 四 交通・商業

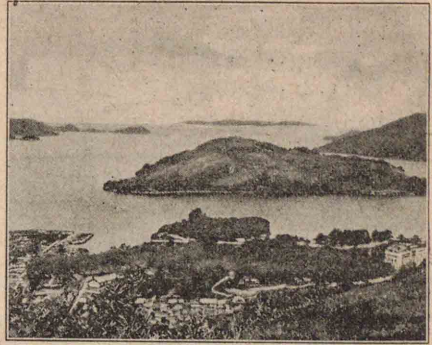
交通 本州の地峽部に位し、政治の中心であつた爲、街道(東海、北陸)が京都に集り、又東海道、山陽(神戸、下關、西(名古屋)、福知山(福知山、尼崎)、南海(和歌山)等多くの鐵道諸線も、阪神に集中してゐる。其の外山陰(京都、生駒)



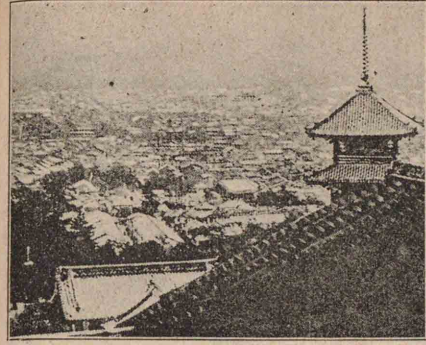








(瀬谷) 鳥羽 (瀬谷)



(眺望のらか山頂)市都京

工業地帯の延長としての景觀が濃い。

明野原には、飛行學校がある。神都の宇治山田市は、皇

大神宮で名高い。

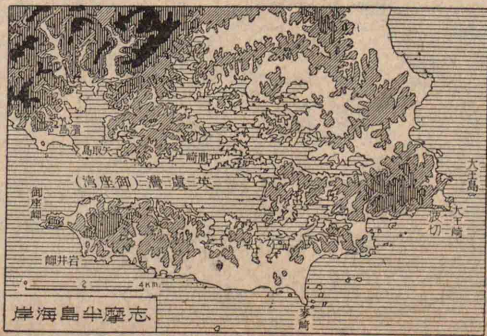
志摩半島(南部) 瀬谷が多く、鳥羽波切などの好漁港がある。

京都府 面積四、三二万平方人、人口一、七〇萬人、京都盆地(低地中央) 南東

の丘陵に茶園が多く、宇治は、玉露茶の産で名高い。

京都市は京都盆地の北部に位し、直交式の舊都である。

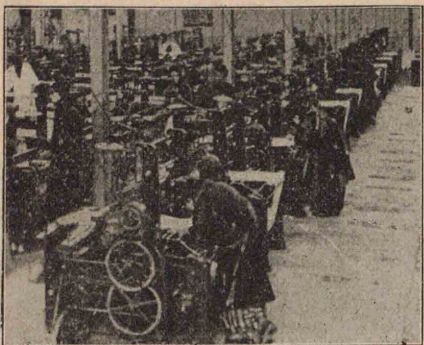
京都市は桓武天皇以來一千七十餘年間の帝都で、元盆地北部の中央に南面して建設されたが、其の西半は荒廢し、今は神社佛閣の多い東郊に發展した。西陣織友禪染清水焼粟田焼時繪京人形等純日本式美術工藝品を産する。又關西學術の中心で帝國大學府立醫科大學がある。伏見(市の一部)は清酒を産し、桃山御陵がある。



志摩半島海岸



(遠望工場絲製是部)町部綾



場工縮緬の山頂

丹波高原(山北部) 牧牛養蠶地帯で、綾部福知山市等は、之を

背景として發達した製絲地である。

北部山地(丹後) 若狭灣岸には、

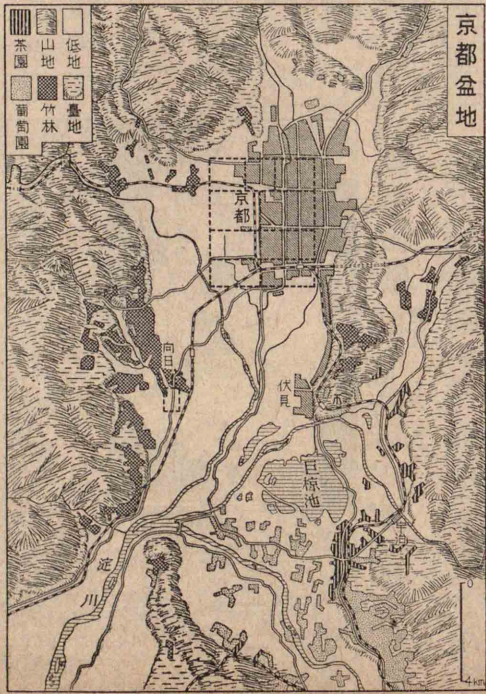
海軍要港中舞鶴、新舞鶴及び

商港の舞鶴、開港の宮津等がある。

奥丹後に砂嘴の天橋立、縮緬産地の山がある。

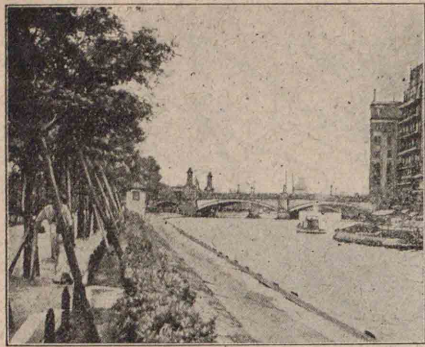
奈良縣 面積三、六九方人、人口一、六〇萬人、奈良盆地(低地中央) 奈良市は、平城京が、東大

寺興福寺の門前町として東方に移動した遊覽都市で、墨人形等の名産がある。郡山は綿絲、金魚、法隆寺は古刹、高

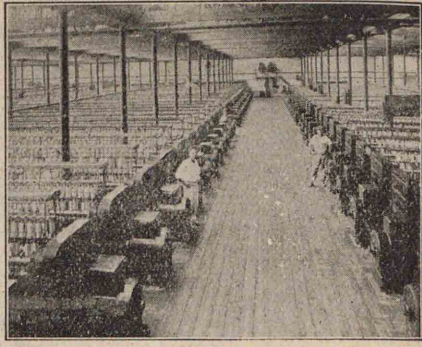


京都盆地





(園公島之中)心核の阪大



(市山歌和)場工績紡

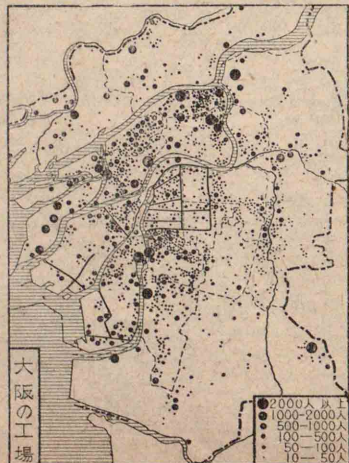
地方誌 近畿地方(聚落生活)

兵庫縣

面積 八、三三〇方  
人口 二、九〇〇人  
密度 三五二人

六甲山麓(中央低地)

南向きの温暖地で、温泉



**海岸(南部)** 南部は、甘藷畑の外、耕地が少いので、漁民海外移民が多い。

**新宮市**は、熊野材を集散し、田邊附近に白濱温泉がある。

**湯淺箕島**は、蜜柑を集散し、海南市は傘、漆器を産する。

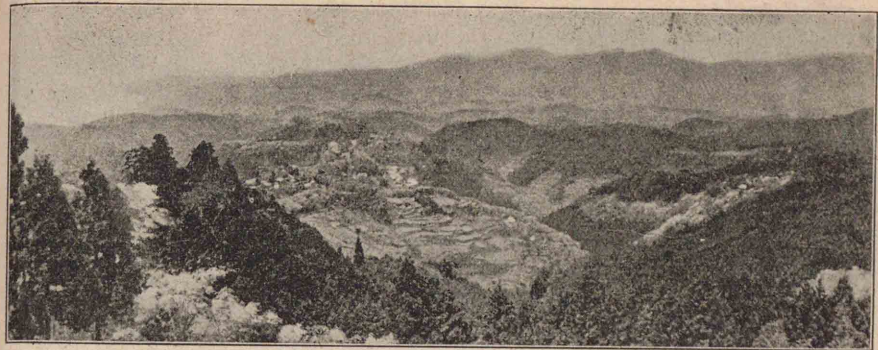
**紀ノ川地溝帯(南部)** 和歌山市は、紡績、捺染業が盛で、紀州ネルを産し、杉の取引が多い。

**大阪府** 面積一、八〇〇方  
人口 四、〇〇〇人  
密度 二、二二二人

**大阪府**は、阪神工業地区の核心で、布施

**市豊中市**は、其の接續市街をなし、岸和田市堺市は綿絲、綿布、池田は酒の産が多い。

**大阪市**は、豊臣氏以来、發展が著しく、高津宮址、四天王寺、大阪城は、南方から突出した臺地にある。商工業區域は、淀川の三角洲上に開け、帝國大學、商科大學等の學校が多く、教育都市ともなつた。附近の吹田は、麥酒の産地である。

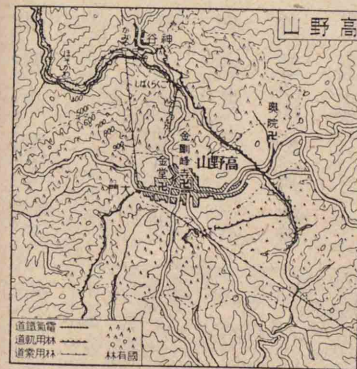


(よせ意注に林美と落聚の村街の上山) 山野吉

地方誌 近畿地方(聚落生活)

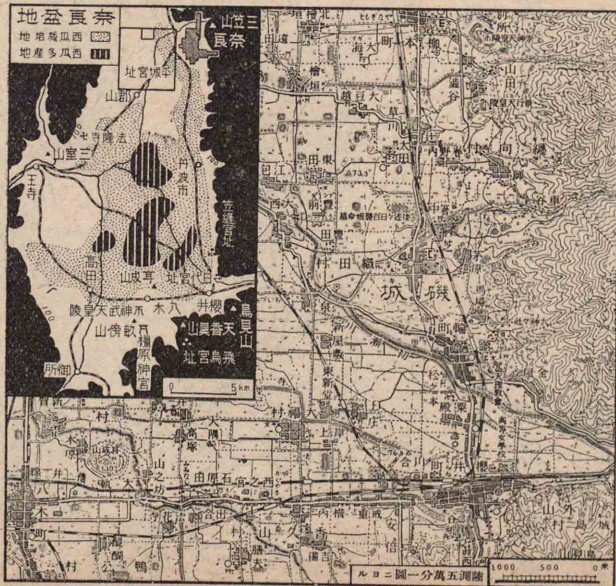
田は綿織物で名高い。山に次ぐ新興製薬地帯である。

**南部山地** 杉(樽材)の美林が多く、住民は、多く林業を專業として生活する。吉野は、史上に名高い。



**和歌山縣** 面積四、七三〇方  
人口 二、八〇〇人  
密度 五九二人

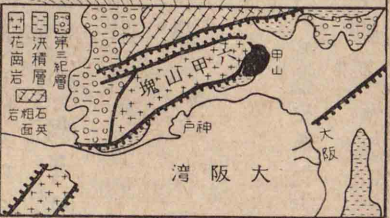
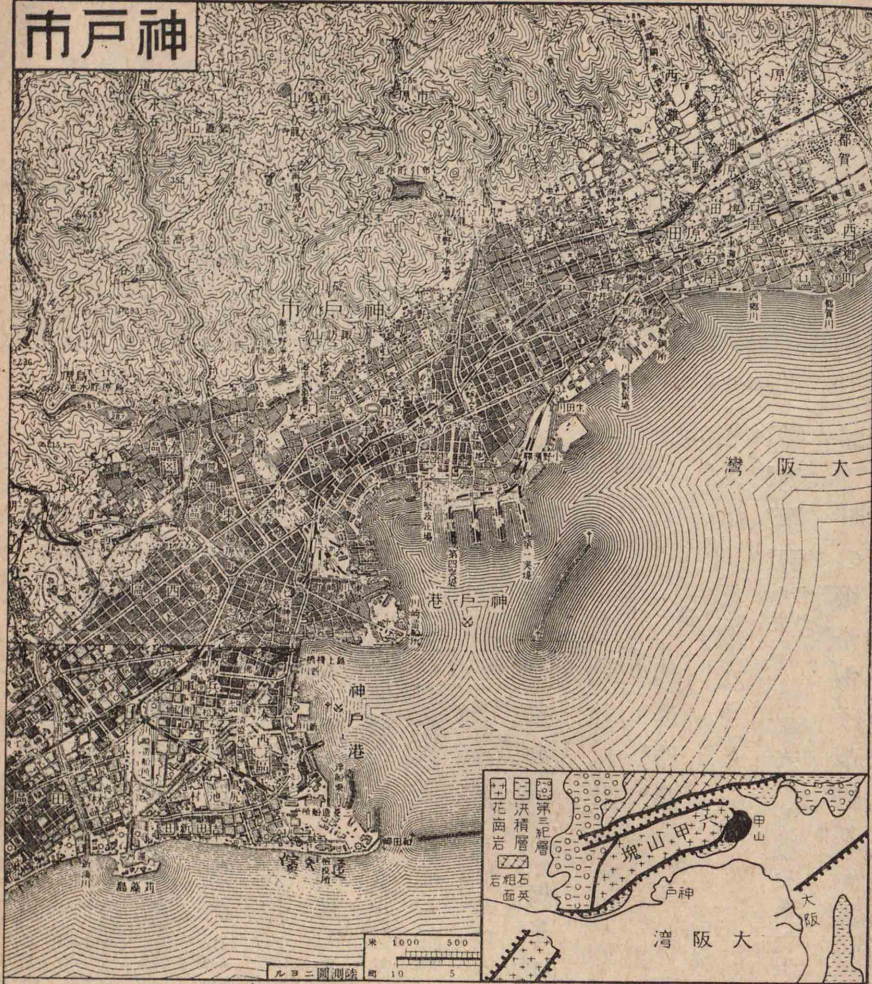
**山**は、金剛峰寺で知られ、杉の良材を出す。



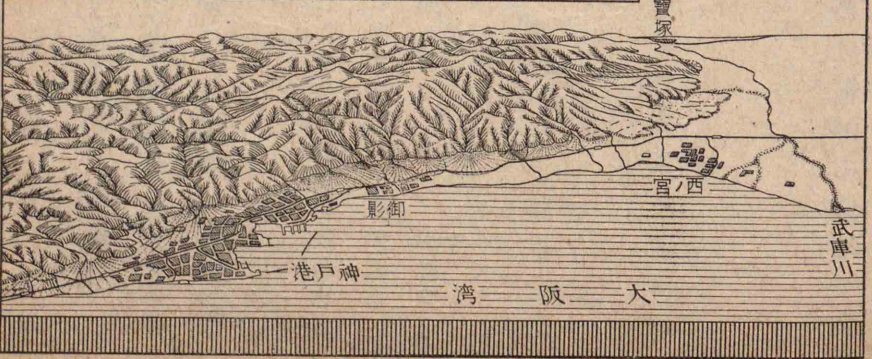
御所は大和緋の本場で、附近は富



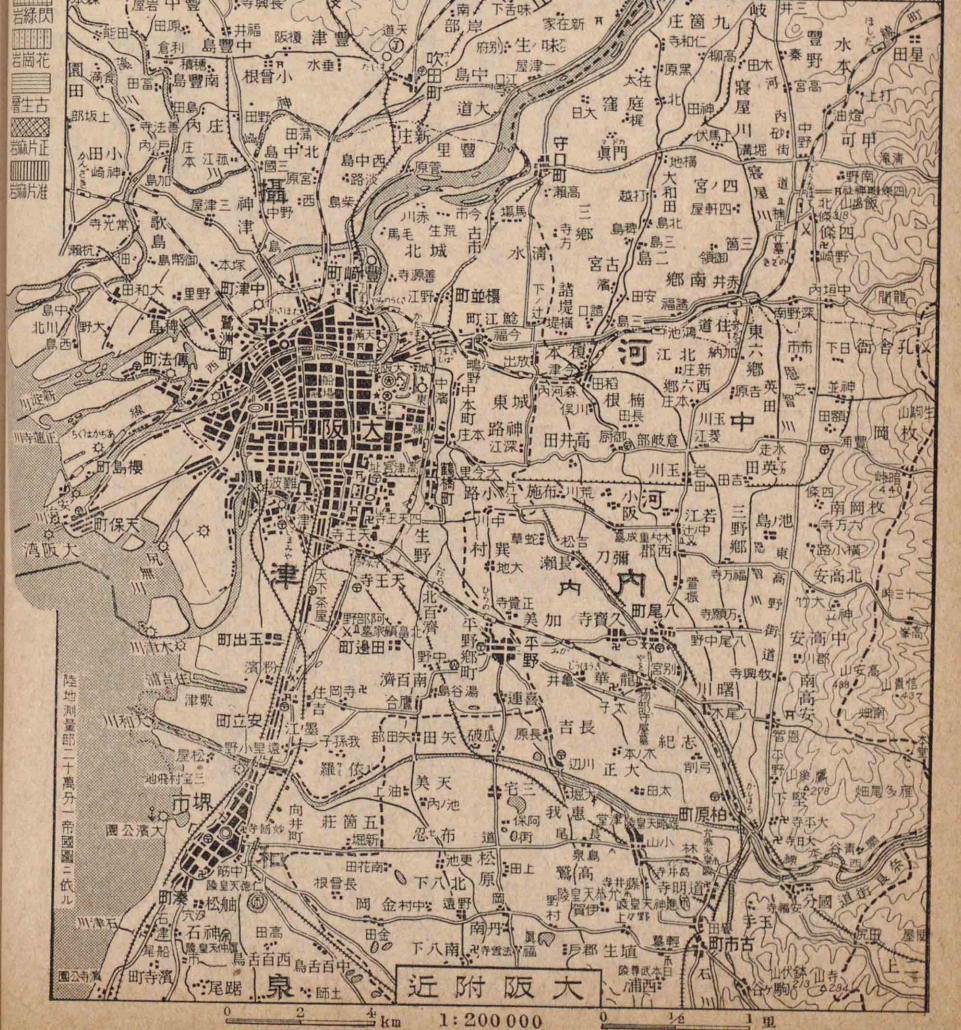
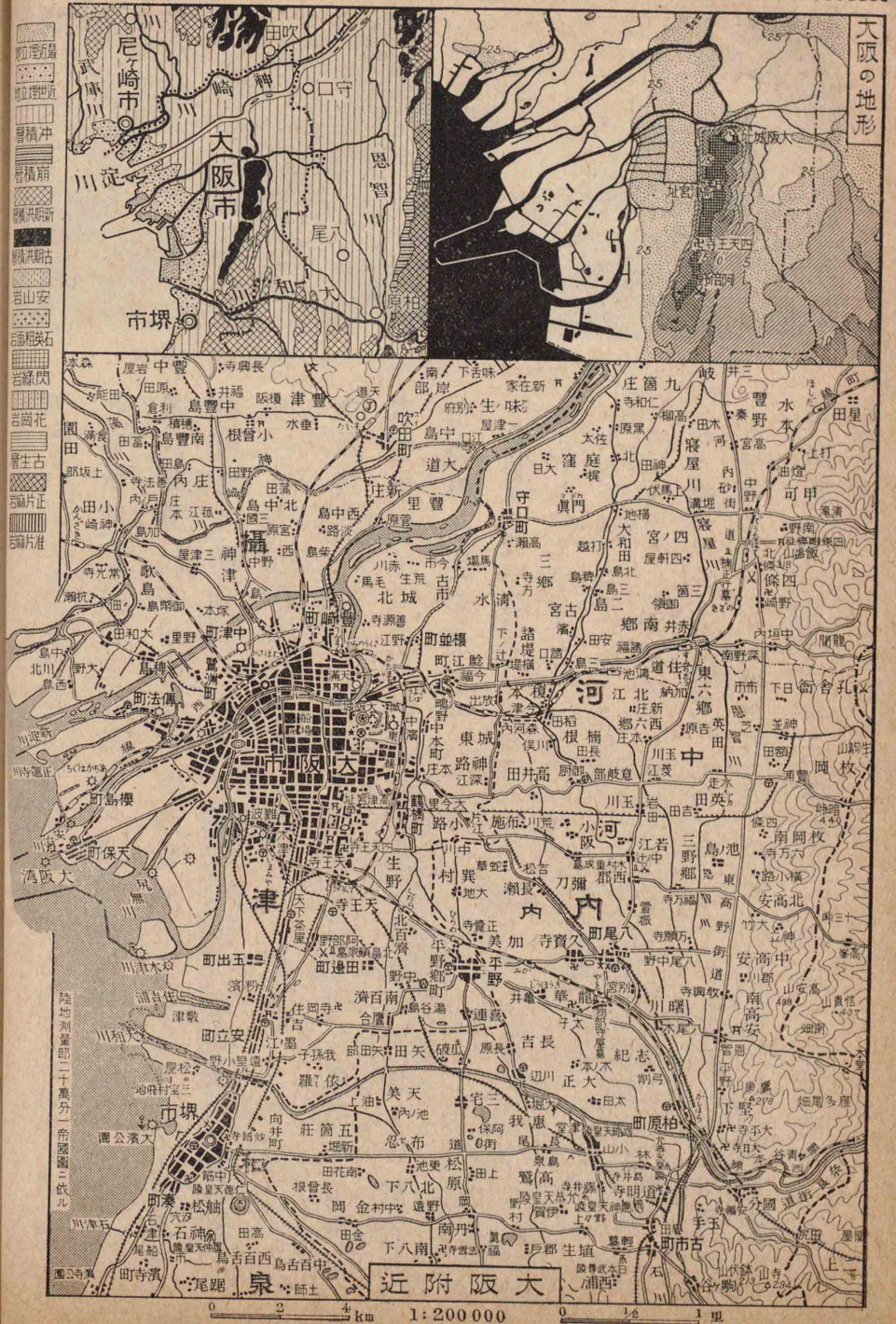
# 神戸市



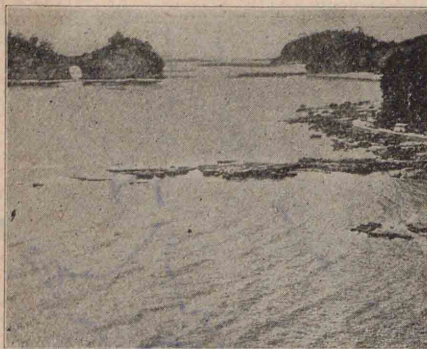
神戸市附近の扇状地断面図 (Compound fan) 注意



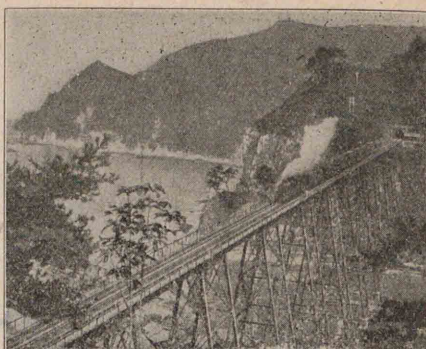
# 大阪の地形







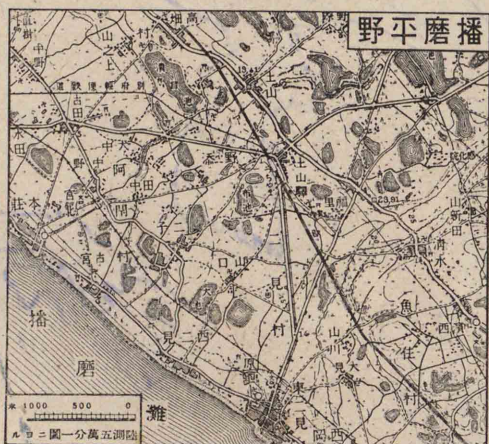
(泉温濱白) 地養保の神阪京



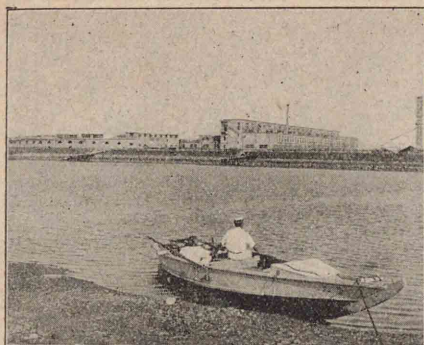
橋陸部餘

地方誌 近畿地方(特性)

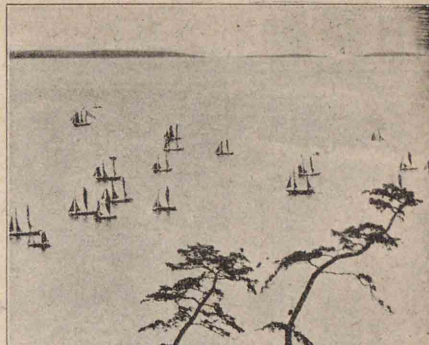
**近畿地方の特性** 地形歴史交通産業の關係から、中央低地の人口は關東平野よりも稠密で、人口一萬以上の都市が八十四個を數へ、尙續々新興都市が起つてゐる。中央の工業地區に聚落が集り、其の附近に蔬菜栽培が榮え、風景・氣温・温泉・交通に恵まれた地域に保養地帯が起り、又中心部と周邊部とが密接な關係にあることは、關東濃尾の兩地方に似てゐる。關東平野には、散村が多いが、奈良近江京都諸盆地の村落には、條理の正しい集村が多い。



赤穂は製鹽の中心となつてゐる。但馬地方(山北部)銀銅山の生野、陶器産地の出石、柳行李産地の豊岡、温泉地の城崎、陸橋で名高い餘部などがあつて、一般に山陰式の景觀を呈してゐる。



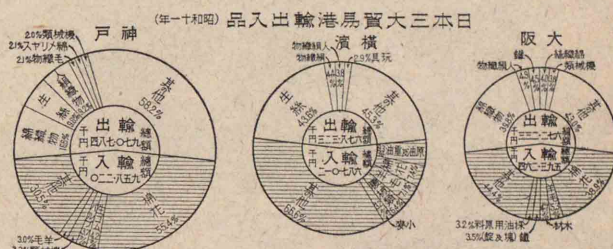
(場工油醬は景遠て流下の川古加)野平磨播



浦の磨須

地方誌 近畿地方(聚落生活)

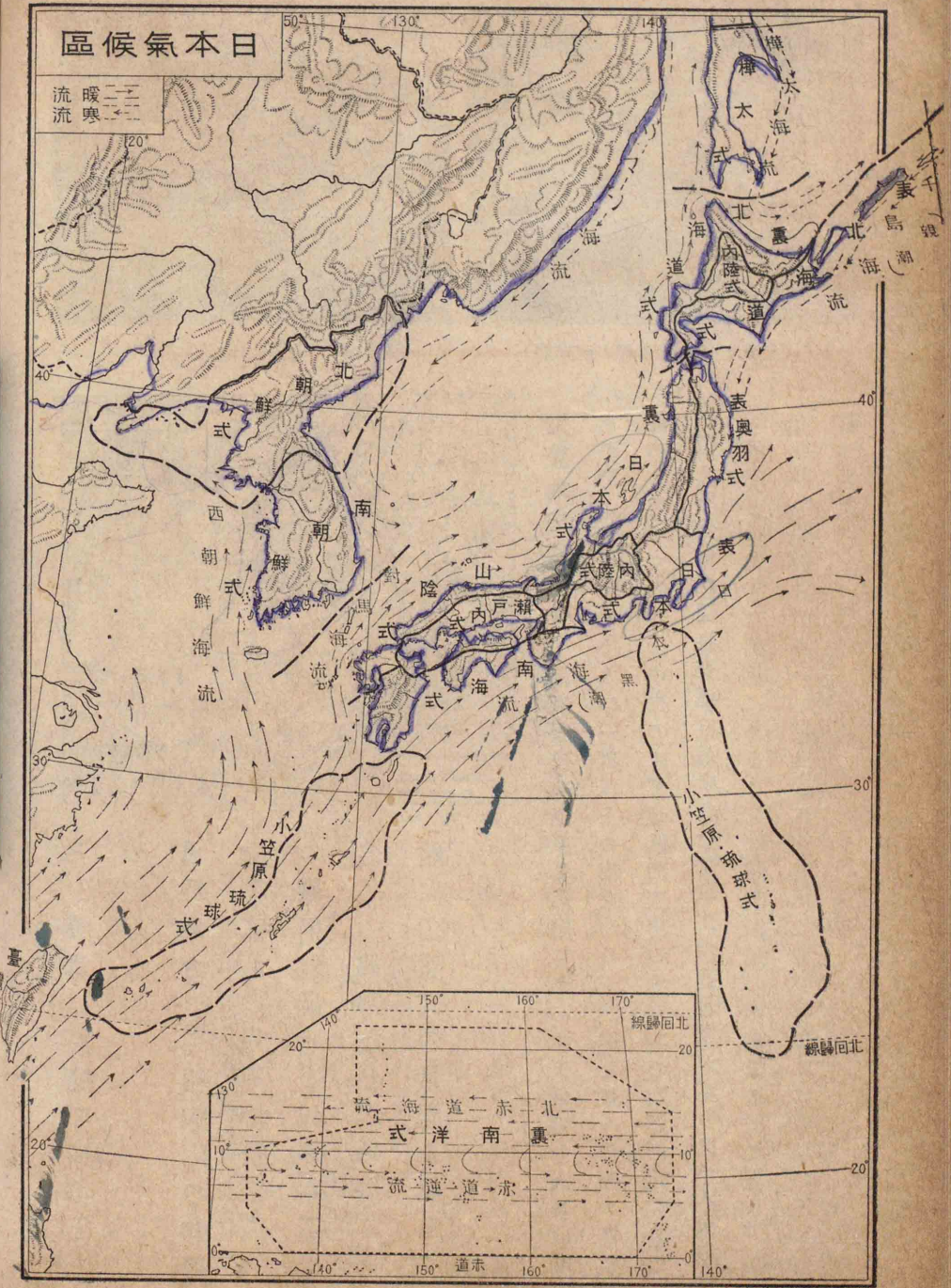
本は工業地である。播磨平野(中央低地)山陽式の景觀を備へ、米麥の産が多い。城下町の姫路市は草細工・毛織物、龍野は醬油の産地である。



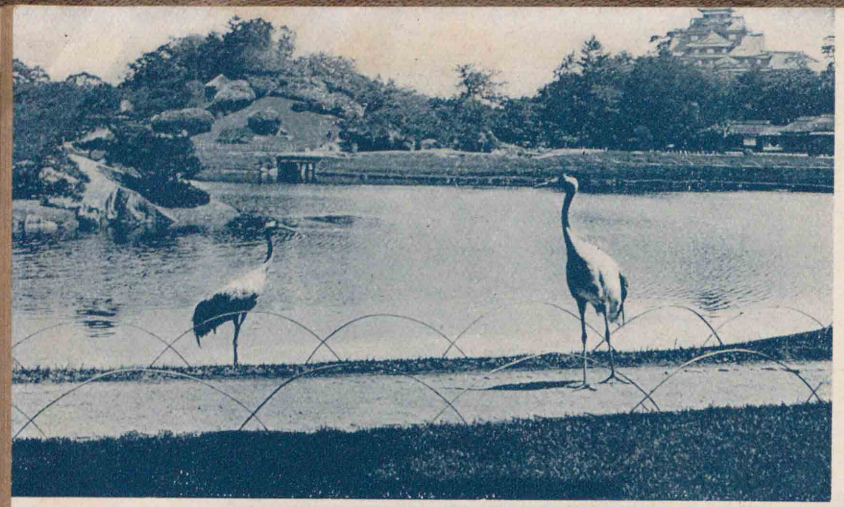
冷泉(寶塚)もあり、保養住宅區となつてゐる。尼崎市は硝子工業が盛で、西宮市、御影等を含む灘地方は、醸造で著れる。神戸市は天然の良港をなし、設備もよく、我が國の最大貿易港である。阪神間は阪神國道を通じ、尙東海道線阪神阪急等の鐵道、電車により連絡され、我が國屈指の生産都市と貿易都市とは一都市の如くなつてゐる。尙神戸は綿絲・燐寸樟腦・麥粉・ゴム・砂糖機械の大工業市である。須磨(神戸一部)・舞子・明石市(産地)は、淡路島を目前に望み、休養地帯である。淡路島(中央低地) 休養地區で、由良は要害地、



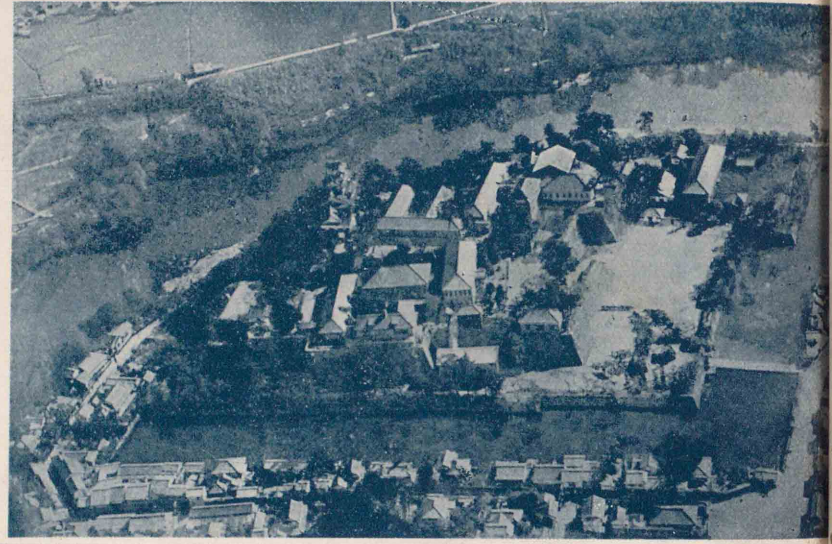
### 日本氣候區



後樂園 日本三公園の一つで元三十萬石池田侯の庭園である。純日本式の庭園としての落付いた風趣がある。



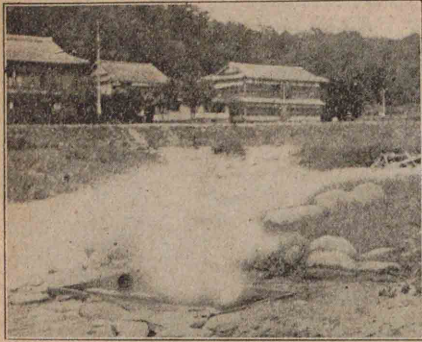
岡山城 旭川の右岸に沿ひ河川と丘陵とを有する近世式の城郭の輪郭を知ることが出来る。



尾道市 尾道市は略瀬戸内海の中央に位し昔は船の出入が多かつたが港が深くないので衰へた。圖は淨土寺公園から展望したものである。







大 山 三 朝 温 泉

地方誌 中國地方(概観、地形、氣候、原始産業)

中國山地 中國山脈は古い高原性山地で、大山(一七三三米、中)・三瓶山(一七三三米、中)を起した白山火山脈は、この山脈の北側に沿うて走り、脈中に三朝温泉がある。

中國山地は、山陰式(北)瀬戸内式(南)氣候

が東西に連り、三地形區に分れてゐる。

縣名	管轄區域	廳所在地
岡山縣	美作・備前・備中	岡山市
廣島縣	備後・安藝	廣島市
山口縣	周防・長門	山口市
島根縣	石見・出雲・隱岐	松江市
鳥取縣	伯耆・因幡	鳥取市

本州西部の半島で、近畿九州兩地方の中間に位し、近畿九州の兩文化をつなぐ廊下である。行政上、五縣に分れる。

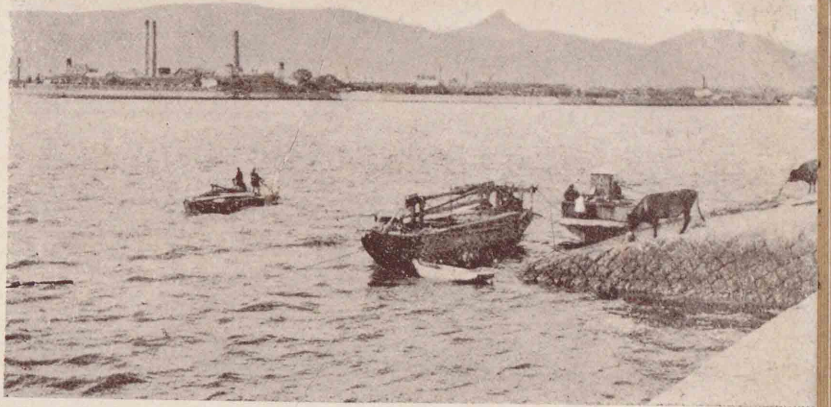
二 地形氣候原始産業

地形區 稍中央より北に偏つて中國山脈

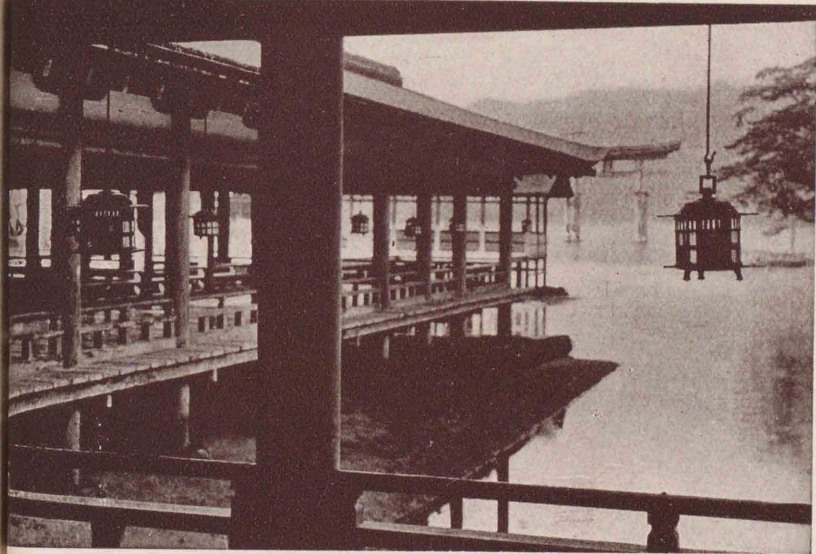


## 第五章 中國地方 一 概観

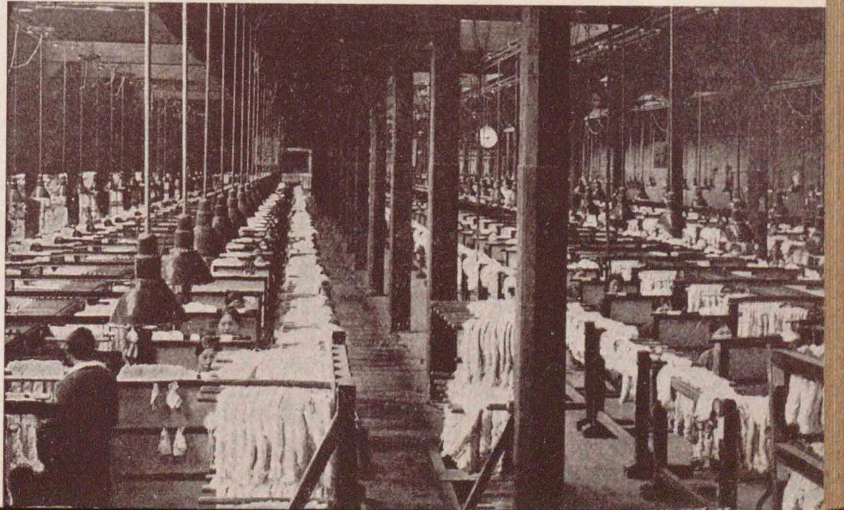
面積三、六九方軒 人口密度二七一人



廣島工業地域 大田川口の三角洲は工場地に適する向うの工場は人絹工場で附近に製材工場火力發電所等がある 右側にやがて鐘詰になる牛がある

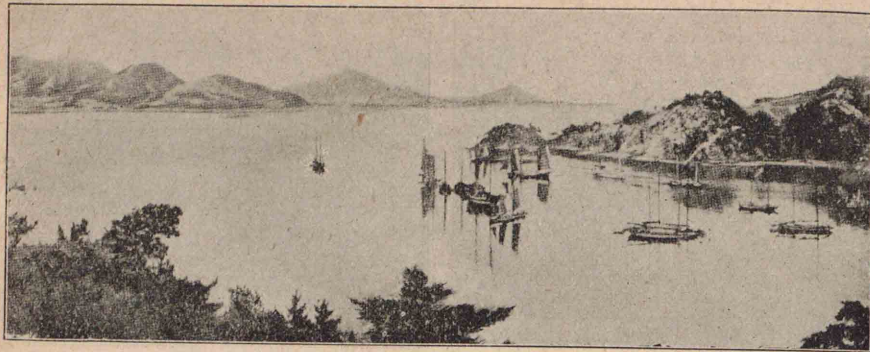


嚴島 砂濱のある浅い灣に海陸に跨つて嚴島神社の殿堂があり浮ぶ廻廊と大鳥居 夜は釣り燈籠が海水に映じて美しく日本三景の一つである

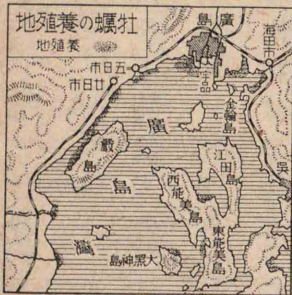
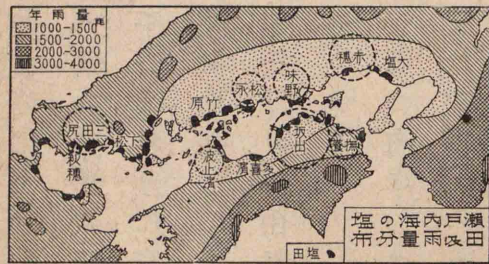


岩國人絹工場 帝國人絹株式會社の經營で我國人絹工業の鼻祖とも言ふべき殊勳の工場で岩國附近の麻里布にある 圖は工場の内景





(沖岡笠) 海内戸瀬

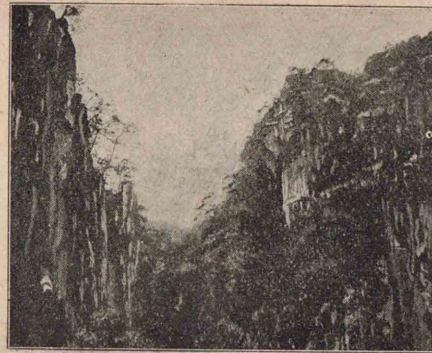


瀬戸内海の島嶼は又鯛鮓の産に富み、廣島灣兒島灣では牡蠣を養殖してゐる。

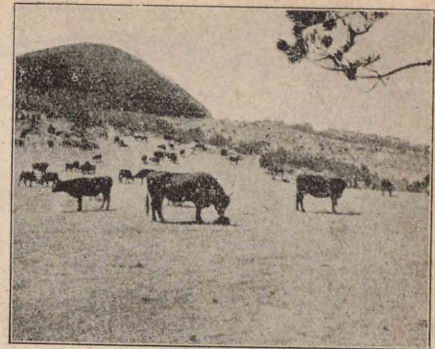


瀬戸内地溝帯 紀淡鳴門豊豫下關の四海峽によつて僅かに外海に通じ、其の中の稍廣い海面は灘といはれる。よく耕された島嶼變化極りない水路、白砂青松の海岸、青い海朗かな空は、眞に世界海上の公園で又日本唯一の海の国立公園である。海峽は潮流が急で鳴門海峽の如き一時間十八軒に上るが概して波が静かで、古來交通に利用され、沿岸住民は古くから海上に活動してゐる。現に

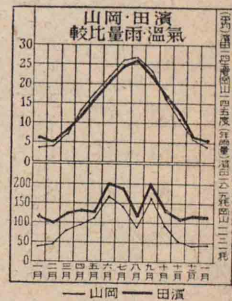
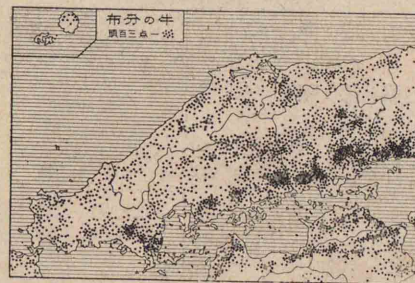
帝國最大の工業地貿易港軍港は皆この沿岸にある。又十州(播磨備前安藝周防長門)の鹽田と稱し、味野松永防府等を中心として、製鹽額は全國の九割を占める。



(溪豪) 流上川梁高

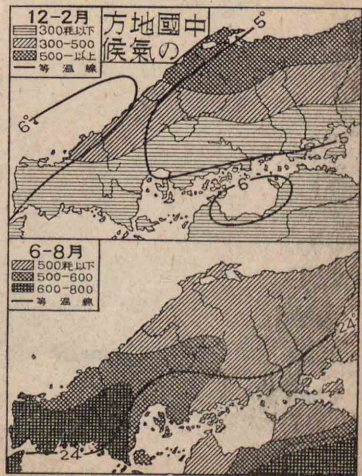


牛牧の地山 中

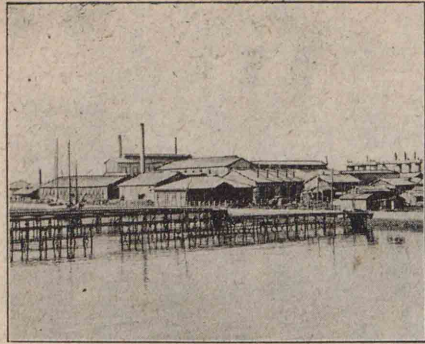


の境界となり、夏冬共に雨量が少い。日野川の上流にクローム鐵鑛、大嶺に石炭(無煙)がある。

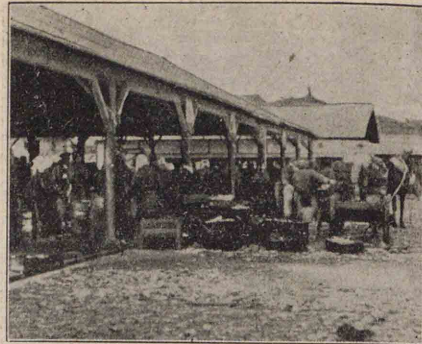
花崗岩地、石英粗面岩地が廣いから、石材、陶土の産も多い。山地には、牧牛が行はれて、生牛を阪神に送つてゐる。山陽地方 中國山脈の南斜面で、吉井旭、高粱三川は岡山平野、蘆田川は福山平野、大田川は廣島平野を作つてゐる。







(場工ムウシネグマ) 市部宇



(田濱) 場市魚の縣根島

地方誌 中國地方(工業)

工業は山陽方面に發達し、特に山口縣の南部は、北九州に續く新興工業地である。

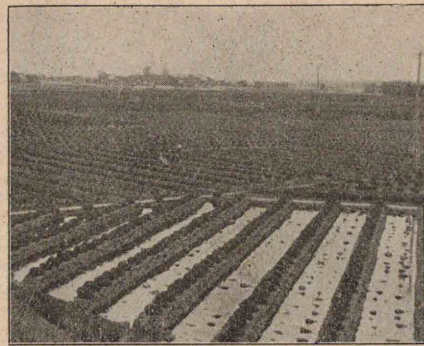
岡山縣の綿絲・綿布、岡山(敷倉)・廣島(原三)・山口(岩國附近)諸縣の人造絹絲、山口縣のセメント(宇部小野田)・肥料(下關彦島)・岡山縣の耐火煉瓦(三)・廣島縣の牛肉罐詰(原料はこの地方より得る外朝鮮支那より買入)・廣島(因)・山口(下關)・岡山(比日)諸縣の造船は、特に著れる。

小規模工業としては、備後(新)・清酒(三原西條)・赤瓦(石見)・備前(伊部)・萩焼があり、農家の副業としては、岡山・廣島兩縣の疊表・花筵(輸出)・麥稈眞田・經木眞田・石見半紙等がある。

### 三 工業

日本海方面は、烏賊・鯧・鯛の漁利が多く、山口縣民は朝鮮近海にまで出漁し、下關は大漁港である。

平野では米作が行はれ、山地に楮・砂丘地に桑を植ゑて蠶蠶を副業としてゐる。



野平川伊斐



地盆次三

地方誌 中國地方(地形・氣候・原始産業)

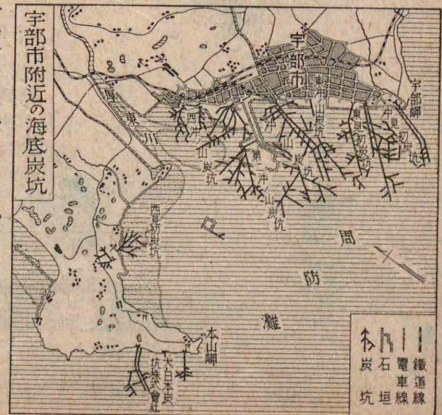
花崗岩の名産地で、宇部には我が國の主要炭田の一がある。

平野は米産に富み、下關は米の集散地として名高い。二毛作が行はれ、岡山縣は特に麥作が盛である。

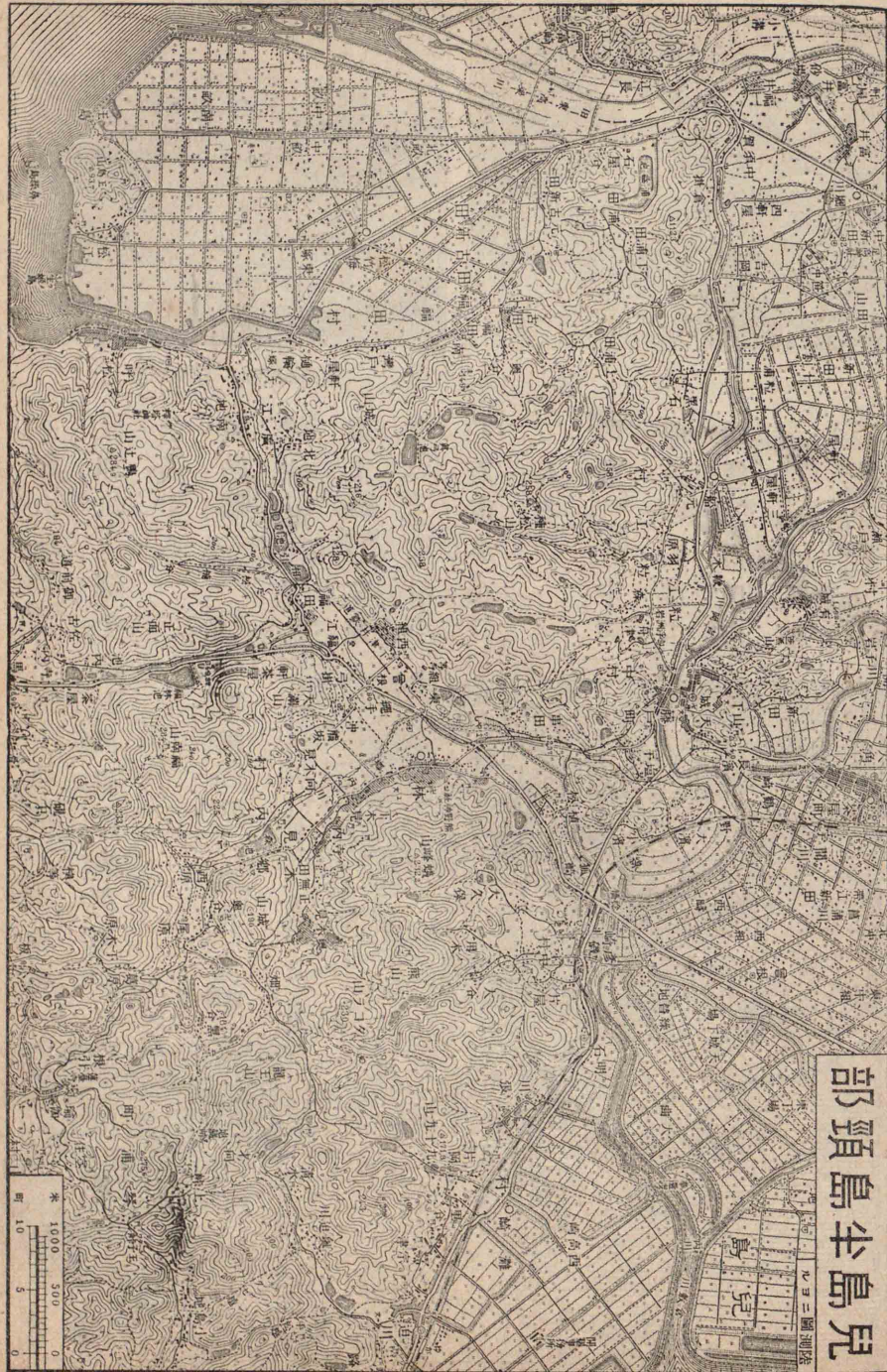


三備の海岸では藺草を栽培し、岡山・廣島兩縣の丘陵・島嶼には、桃・梨・蜜柑園が多い。

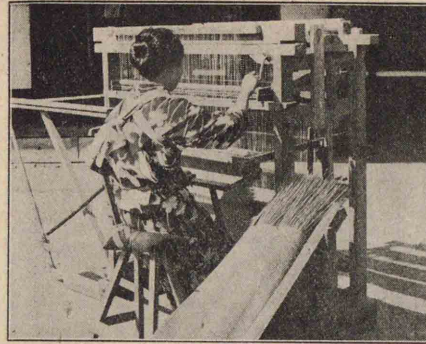
山陰地方(長流)は三次盆地から横谷を作つて出るが、平野を開かない。千代・天神・日野の流域には、僅かに鳥取・倉吉・米子の小平野がある。島根半島内側の宍道地溝帯には、砂嘴の夜見濱、瀉湖の中、海宍道湖・斐伊川(雲田)平野がある。



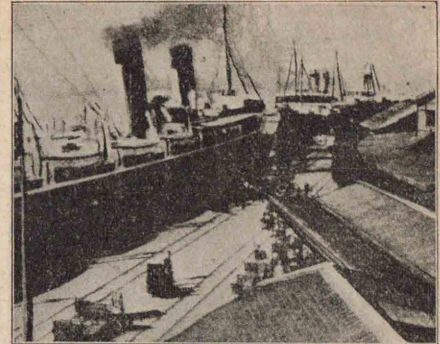




児島半島頸部



岡山の花菱製



下關の關釜連絡船  
昭和二十八年八月二十日下關警備司令部許可

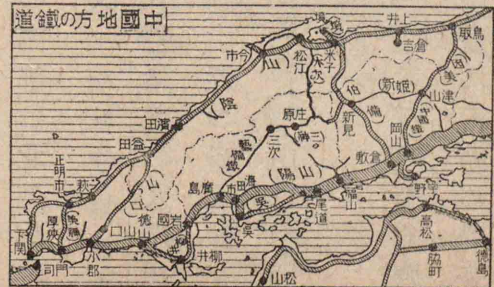
四 交通・商業

交通 山陽線(神戸)・山陰線(京都)は二大幹線で、山口(小郡)・美禰(厚狭)・伯備(倉敷)・因美(鳥取)・中國鐵道(山津山)等は、主に山陰・山陽を連絡してゐる。瀬戸内海は、内外の航路に當り、特に中國・四國間、阪神・北九州間の交通路である。下關は、朝鮮との交通が頻繁である。

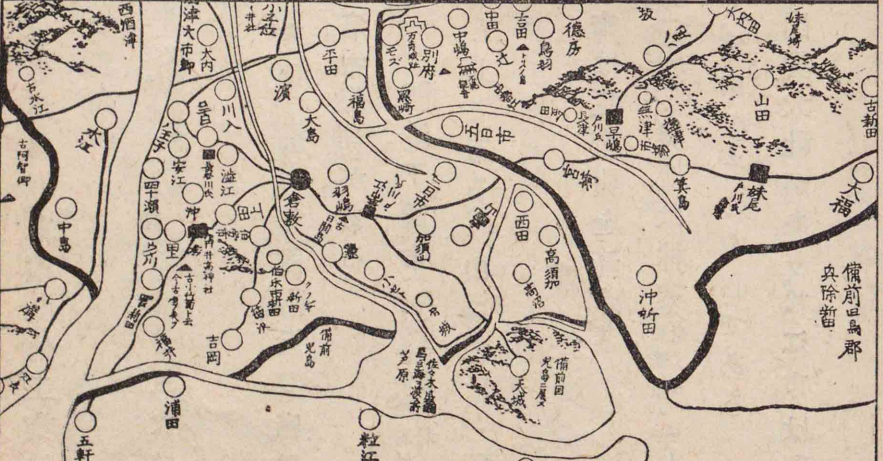
商業 大阪の商圏内にある。境濱・萩下關・徳山・尾道系・崎守野は、開港場であるが、外國貿易は、阪神の後背地であるに過ぎない。

五 聚落生活

岡山縣 面積七、〇〇〇方軒 人口一、三〇〇萬人  
 岡山市 倉敷市 玉島 笠岡(共に紡織業地)が並ぶ。  
 三石(耐火瓦)・伊部(備前)の窯業



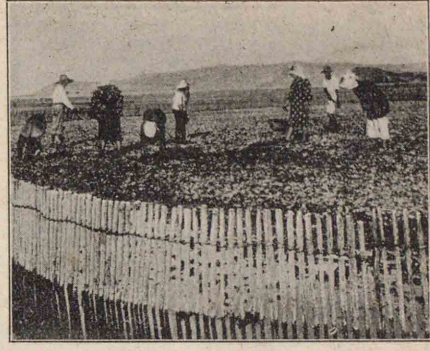




**備前国 児島之地**

○ 藤戸村  
此地古海中也  
藤戸海へ入る  
戸波と今  
備前名

萬永七年倉敷から發行したもので、備前が児島天城のあり、中層半島は、古一島の水路となつて、この間に、鎌倉時代に佐々木盛綱が酒を運ぶたに注風



市 島 廣

(殖養の蠶牡) 岸灣島廣

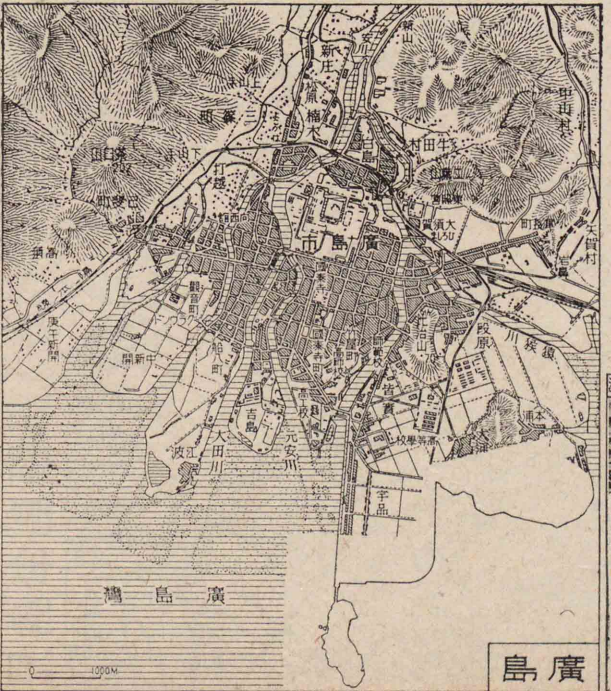
北・部・山・地(山・中・國) 牧牛地帯で、津山市は和紙生絲を産し、高粱は麥稈眞田を産する。

廣島縣 面積 八、四七〇平方  
人口 二、八〇〇萬人  
密度 三四

東・部(山・陽) 福山市 絲

市(酒)等の小工業市が連つてゐる。

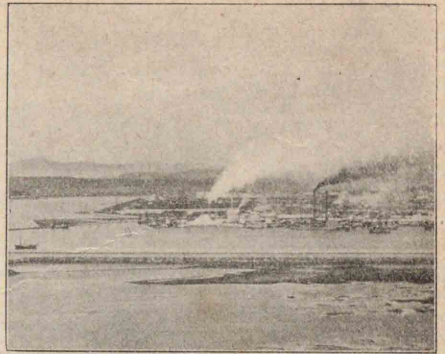
西・部(山・陽) 中國地方の要部で、西・條(酒)和・海(カ)田(カ)市(酒)等、日本製鋼所、吳市、廣島工場、第二海軍工廠、港海軍工廠、廣島市、尾(新市)肥(表)三(原)道(市)肥(表)三(原)市(酒)等の小工業市が連つてゐる。



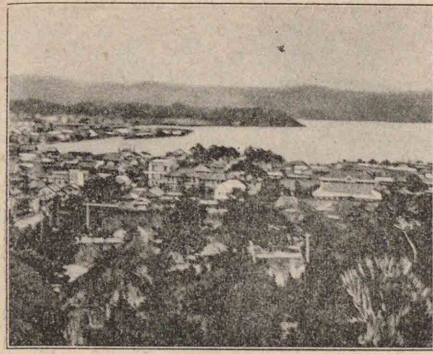
昭和十一年十月十七日陸軍運輸部繪製

昭和十一年九月十一日陸軍運輸部繪製





小野田のメセイ社会



松江市(前方は宍道湖)

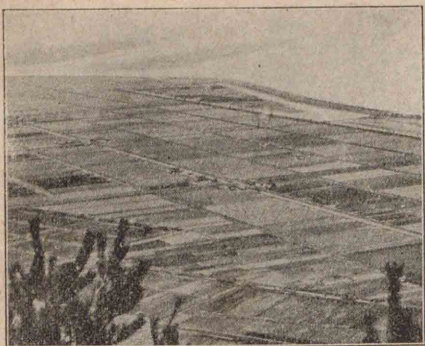
(海軍)・**廣島市**(軍隊輸送地として發)等があり、軍事關係工業地域である。**嚴島**は、嚴島神社で名高い。  
 三・**次盆地**(中國) 附近は牧牛(東城、神石、牛七塚)地帯で、三次が中心である。  
 山口縣(面積六〇二平方千米、人口二九萬人)・**瀬戸内海方面**(地方) 岩國附近の麻里布(絹)・**徳山市**(海軍燃料廠)・**下松**(船造)・**防府市**(製鹽)がある。  
**宇部市**(採炭、セメント)・**小野田**(セメント)・**開港下關市**(米大漁港、彦島に造船、窒素肥料)等

があり、大工業地とならうとしてゐる。**山口市**は、一教育地である。  
**日本海斜面**(地方) 開港萩市は、夏蜜柑を産する。  
**島根縣**(面積六、六五平方千米、人口七五萬人) **石見地方**(地方) 奥地は林業(和紙をも)、海岸は漁業(赤瓦をも)・小農業地で、**濱田**はその中心である。  
**出雲地方**(地方) **大社**には出雲大社があり、**松江市**は瑪瑙細工、出雲焼を産する。

**隱岐**(地方) 島前には牧牛が行はれ、島後に漁港、**西郷**がある。  
**鳥取縣**(面積三、四九平方千米、人口四二萬人) **米子平野**(地方) **米子市**は平野の中心で、**夜見濱**の先端に開港境がある。  
**倉吉平野**(地方) 平野で米作、海岸の砂丘で桑作が行はれ、**倉吉**(生絲、絹織物)は、其の中心である。  
**鳥取平野**(地方) 中心の**鳥取市**は生絲を産する。

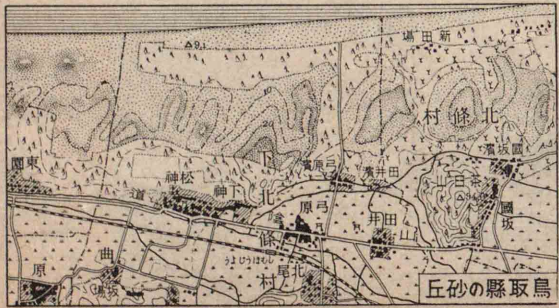


西郷港



山陽の水田(兒島半島)

**中國地方の特性** 山陰は古來朝鮮と交渉があり、出雲文化を開いたが、瀬戸内海が交通の中心舞臺となると共に衰へた。山陽は交通に恵まれ、次第に工業地帯としての景觀を備へつゝある。一般に陰陽により南北差が著しく、山陽は總人口の四分三を有し、人口一萬以上の都邑は三十五に達し、海外に發展するものが多い。山陰は一萬以上の都市は六個あるのみで、國內に出稼するものが多い。





### 第六章 四國地方

面積 一六、七三〇方軒  
人口 三、三〇萬人  
人口密度 一九人

#### 一 概観

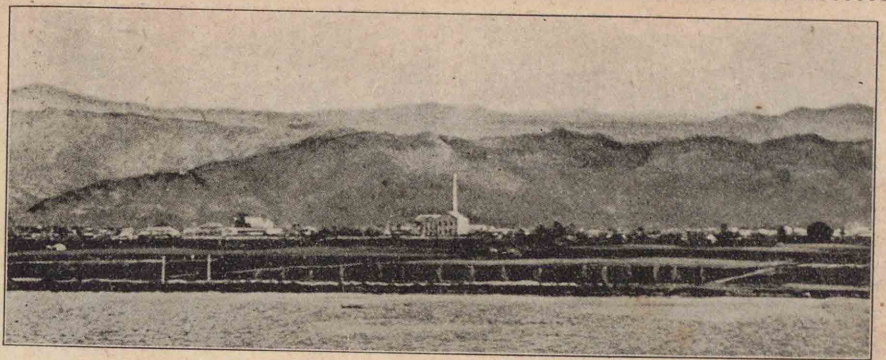
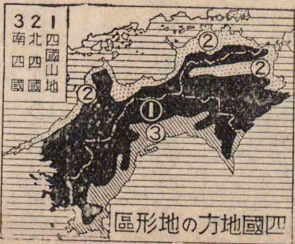
北は瀬戸内海を隔てて中國と相對し、南は太平洋に臨む。近畿・九州兩地方の中間的位置にあることは、中國地方に似てゐるが、兩地の南北の狀態は正反對である。行政上、四縣に分れる。

#### 二 地形氣候原始産業

##### 地形區

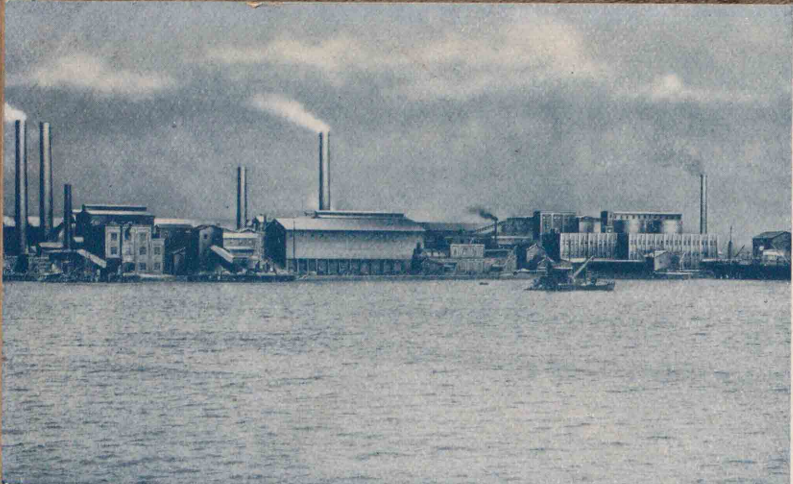
中央を四國山系が走り、三部に分れる。

四國山地 中央を四國山系が走り、三部に分れる。連り、劍石鎚(元々米、四國の最高峰)の高峯が聳える。豊後水道方面は、リアス式を呈してゐる。  
四國山脈は、本地方を南海式・瀬戸内式の兩氣候區に分けてゐる。

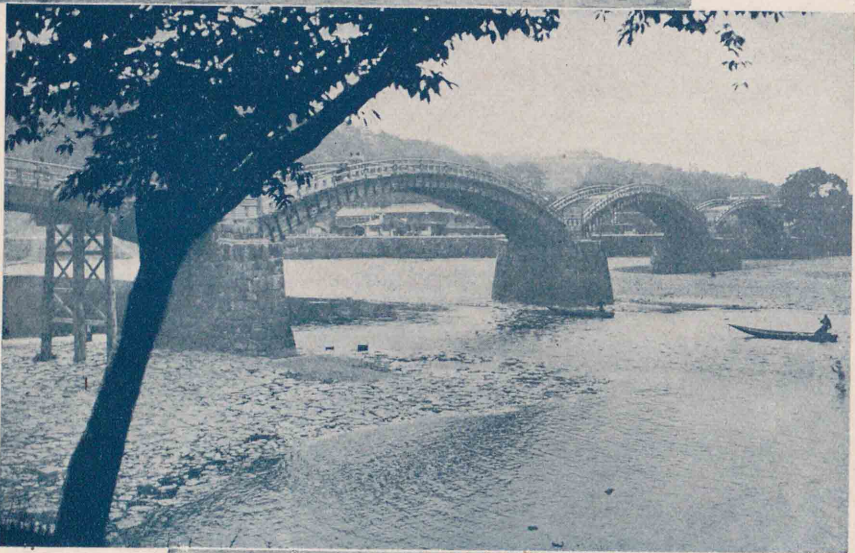


(部東の市知高は景近) 脈 山 國 四

縣名	管轄區域	廳所在地
香川縣	讚岐	高松市
愛媛縣	伊豫	松山市
高知縣	土佐	高知市
德島縣	阿波	德島市



宇部市のセメント工場 宇部炭坑は下松・徳山・小野田・宇部等の工業を起させた大原因である。宇部・小野田のセメント工場は廣大である。

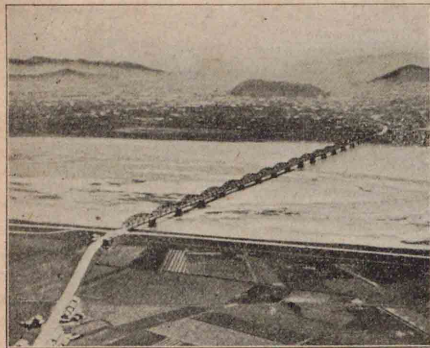


岩屋の鐘帯橋 錦川に架せられた奇橋。橋を包んだ橋畔からの眺は格別である。洪水に備へる架橋法で徳川時代の架橋術を誇る名橋である。

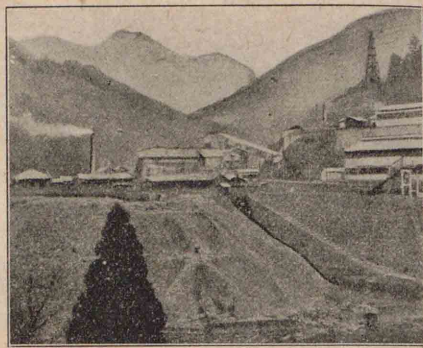


秋吉臺 秋吉臺は我が國最大のカルスト地形のある臺地で臺上はドリネ・カレン等荒涼な風景を呈してゐる。左上の森は長者ヶ森である。





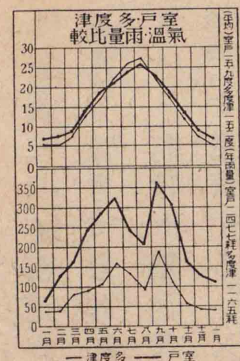
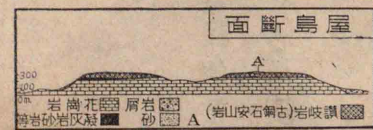
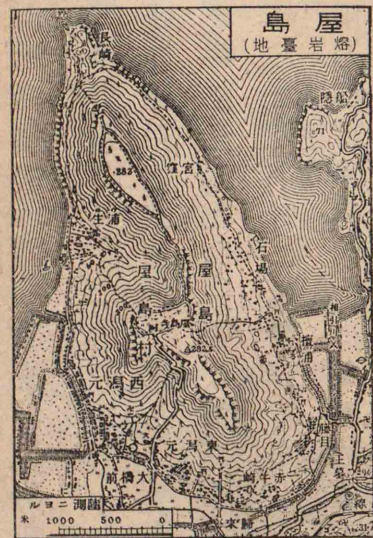
(市島徳は景遠)川野吉



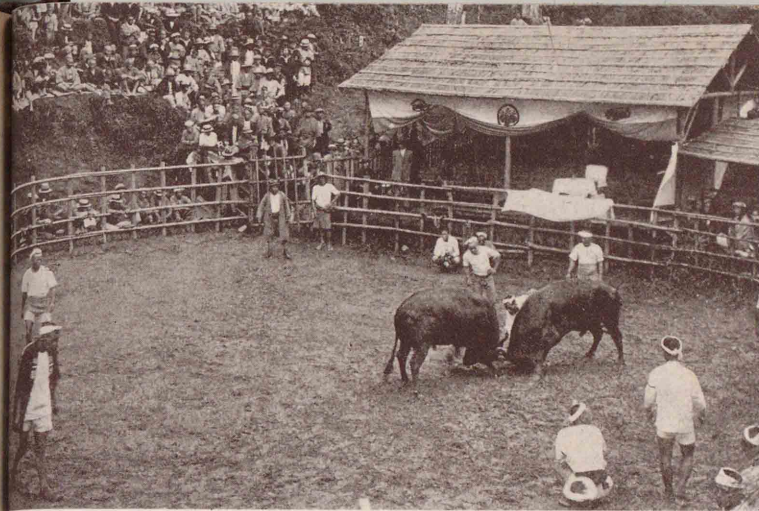
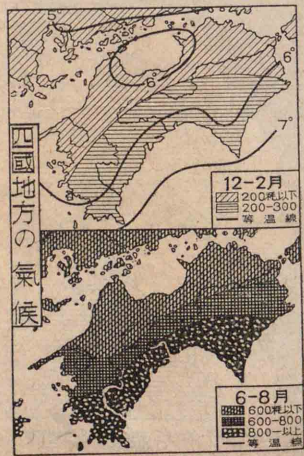
山銅子別

地方誌 四國地方(概観、地形、氣候、原始産業)

鑛産は別子の銅、徳島縣のアンチモニーが著れる。  
 北四國 讃岐  
 松山二平野・吉野  
 川地溝が主要部  
 である。瀬戸内  
 火山脈は、この部  
 を東西に走り、寒



山地には一般に密林が茂り、特に南斜面には杉、檜の深い森あり、樟脳をも産し、また愛媛縣の南西



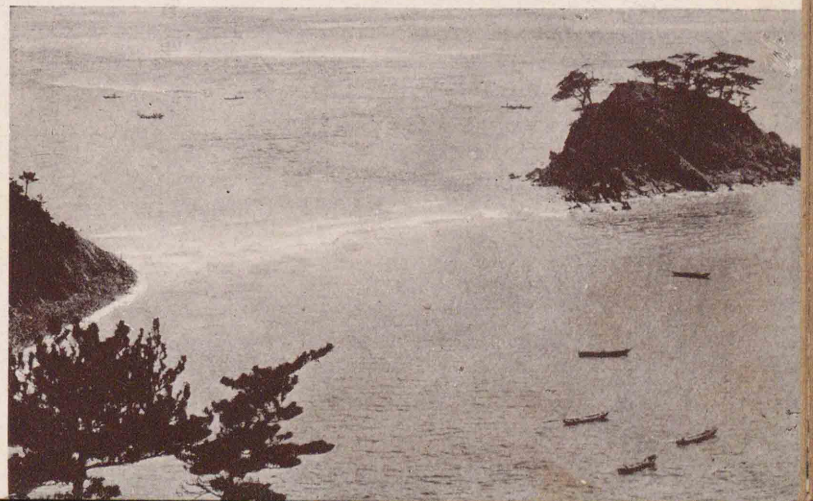
宇和島の闘牛 俗に「牛の突き合ひ」といひ農閑期に行はれる南豫の名物である。長く勝負がつかない時は双方の首に綱をかけて引き合わせる



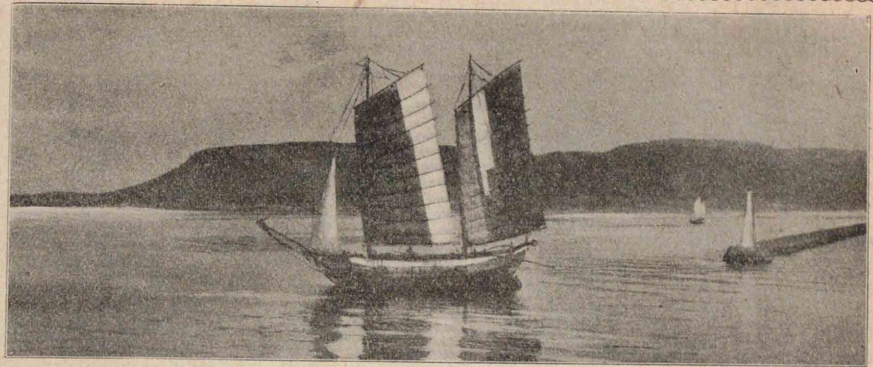
萩 毛利氏の舊城下 維新の元勳 夏蜜柑 萩の印象は深い 近景は鶴江臺で頂上までよく耕され向うの半島は指月山で麓に舊城址がある

鳴門海峡 和泉山脈・淡路南部・讃岐山脈は連続した砂岩の一大山系で中斷した部分が紀淡・鳴門の二海峡をなし、海峡中には砂岩の島嶼・岩礁が散んでゐる。特に鳴門海峡は廣い播磨灘の出口に當り潮汐干満につれて出入する海水は渦巻を作つて舟航を阻み特殊の勝景を作つてゐる。

昭和十二年八月十六日由良要塞司令部撮影







(島屋が地臺岩焙の方先) 島屋

霞溪(集塊岩の奇景)・五劍山・屋島焙岩(讚岐安山岩といふ)・臺地・飯野山道(後温)泉等がある。

① 一帯は溫和快晴の瀬戸内式氣候である。

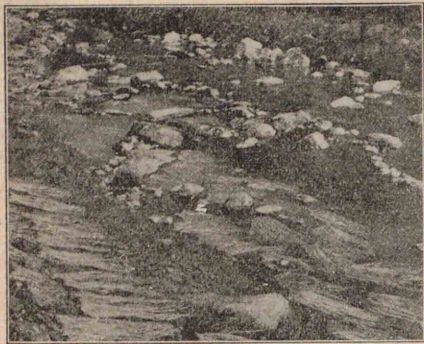
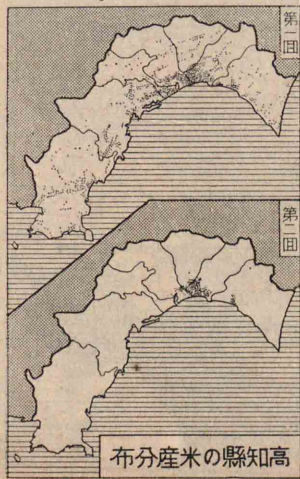
② 小豆島(セウドシマ)は花崗岩材を産し、北岸一帯は瀬戸内製鹽地帯(撫養坂出の波止濱)の主要部となり、平野に米・麥が作られ、丘陵・島嶼には蜜柑園・苹果園が開け、瀬戸内海に鯛・鱒(サクラ)の産が多い。

南四國 ③ 土佐灣は蹠跢(足ヲ)岬・室戸崎間に彎入し、仁淀川

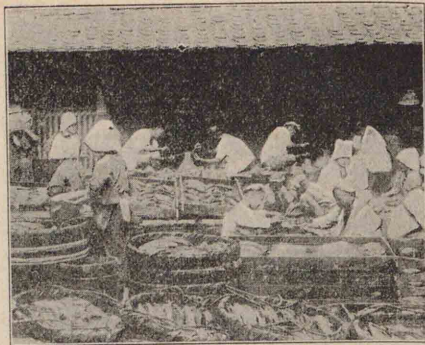
四萬十川が、之に注いでゐる。

④ 近海に日本海流が流れ、溫暖多雨地帯となつてゐる。

⑤ 高知地方では年二回の米作さへ行はれ、亞熱帶植物(樟樹)も生育する。又早期蔬菜を作つて、京阪・京濱に送る。近海は、鯉・鰯・鮪・鯨の水産に富



(近野伊)し晒川の榎三



(縣知高) 造製節鯉

み、特に高知縣は土佐節を産し、近年、遠洋漁業も盛に行はれるようになった。

### 三 工業

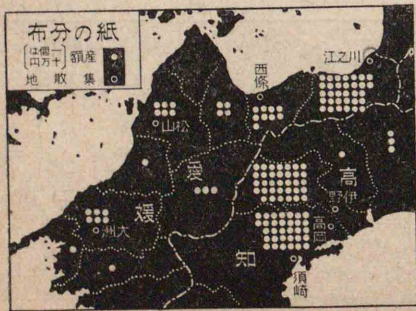
工業は中國地方のそれと同じく、瀬戸内方面に盛で、直島(生野鑛山附)・四阪島(銅)に製鍊愛媛(西今治)・德島(徳島)二縣には綿絲綿織物の工場がある。

香川縣の麥稈眞田・吹醬油(小豆)、愛媛縣(部)の陶磁器、高知のセメントも名がある。

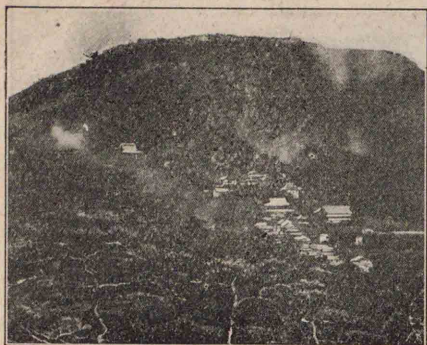
高知愛媛兩縣に互る山地の丘陵では、藩侯の副業獎勵で、楮三極を作つて和紙(土佐半紙)・楮(伊豫半紙)を植ゑて木臘を製造することが起り、以て現今に及んだ。今は高知伊野川之江等に、機械漉の和紙工場が出来て、其の産額は全國に比を見ない。

### 四 交通・商業

交通 鐵道は、隔つた小平野に別々に



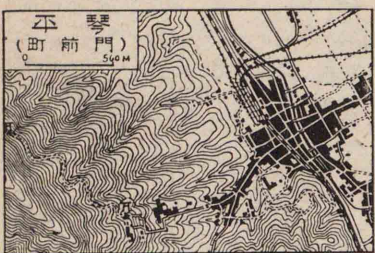




宮羅比刀金



(山野飯は景遠)野平岐讃



コトビ平は、象頭山腹に開けた金刀比羅宮の階段的門前町である。

愛媛縣 人口 二六万人 面積 五、六七方軒 密度 二〇六人

東 豫 (國北四)

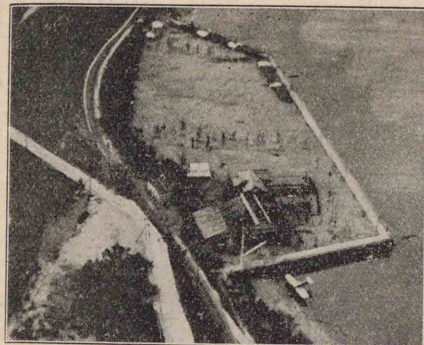
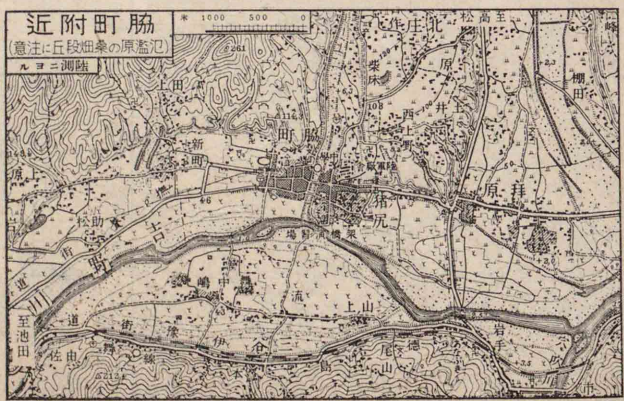
新居濱市は化學機械工業地、西條・今治市は綿工業地、波止濱は製鹽地である。

は製鹽地である。

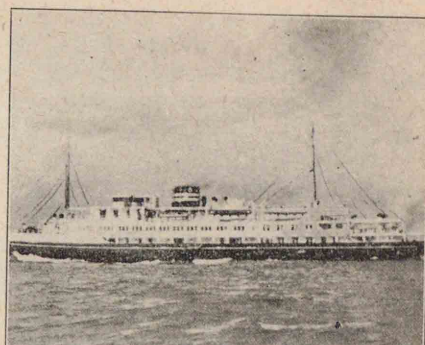
香川縣 面積 一、八五方軒 人口 七五萬人 密度 四〇三人

讃岐平野 (國北四) 灌溉用貯水池 (養鯉養蛙) が多く、耕地がよく開けて農産が多い。

高松市・丸龜市は城下町で、坂出は製鹽地である。多度津に、鐵道工場があり、善通寺は軍事町 (第十一師司令部) である。



(部北濱津三)場行飛山松

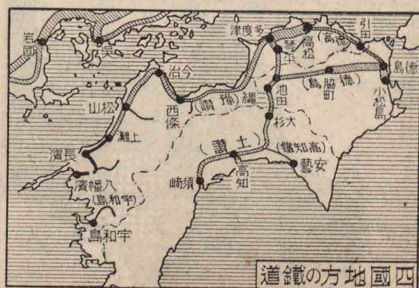


(丸きしに) 船路航海内

設けられたが、今は豫讃 (高松)・高德 (高松)・徳島 (徳島)・土讃 (須崎) 四線が出来て、各地の連絡が稍、便利になつた。

沿岸各港間及び各港と阪神・中國との水運は、割合に便利である。

航空路は大坂から松山を経て別府に至り、又徳島高知にも開けてゐる。



道鐵の方地國四

商業 阪神の商圏に屬し、高松・松山・徳島・高知は、地方商業の中心である。今治市は、本地方唯一の開港である。

五 聚落生活

徳島縣 面積 四、四四方軒 人口 七五萬人 密度 一七一人

吉野川地溝帯 (國北四) 徳島平野は水田が少く、池田は煙草を産する。脇町附近の藍畑は、近來多く桑園となつた。徳島市は城下町で、綿織物を産し、外港小松島は、大阪・神戸・和歌山との間に、連絡船を通じる。撫養





市島和宇の内灣式スアリ  
済可許部令司圖師一十第日九廿月六年三十和昭

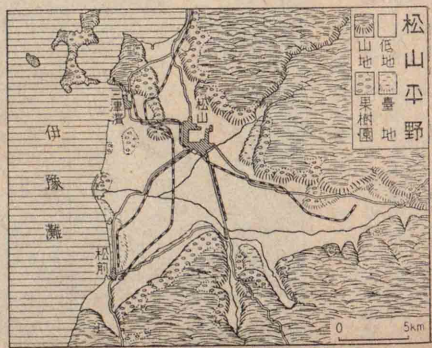
高知市 高知市は城下町で、セメント、和紙、生絲を産する。  
室戸崎方面(南四) 室戸岬(津)は漁業が盛で、海岸美で著れてゐる。

高知縣 面積七、〇四平方  
人口一、〇二七、〇〇〇人  
蹉陀岬方面(南四) 清水(鯨節)等の漁業聚落が多い。

四國地方の特性

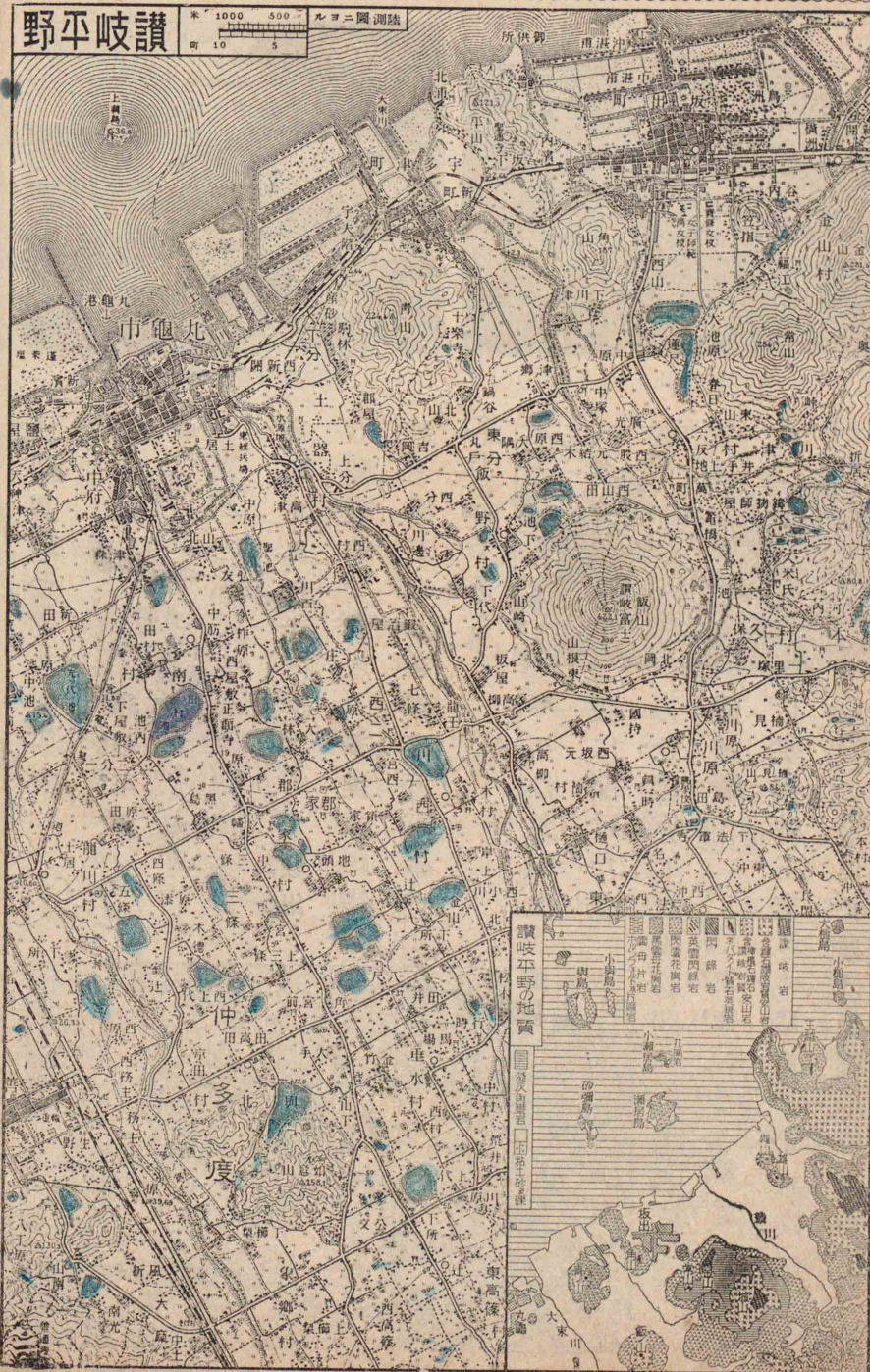
人口は内海方面に集り、殊に香川縣の人口密度は本

北豫(北四) 松山市は城下町で、伊豫  
紺綿、ネルを集散する。道後湯は温泉地、三津濱はその門戸である。  
南豫(南四) 肱川流域は木臘、和紙を産し、大洲は其の中心である。佐田岬以南のリアス式灣内に、地方的中心の八幡濱市、宇和島市がある。



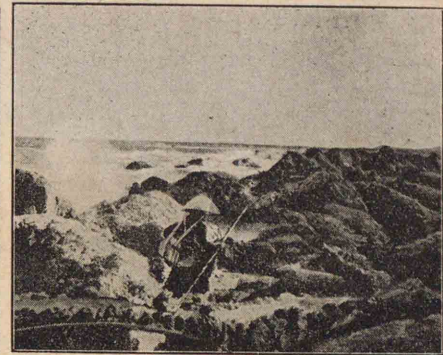
松山平野  
低地  
山地  
果樹園

野平岐讃

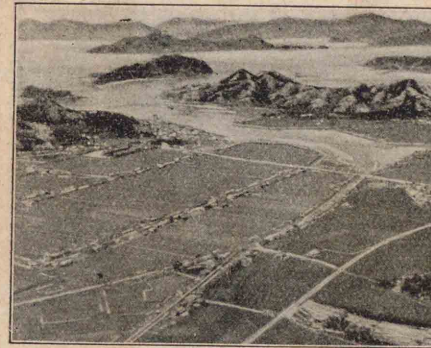


讃岐平野の地質  
讃岐平野の地質



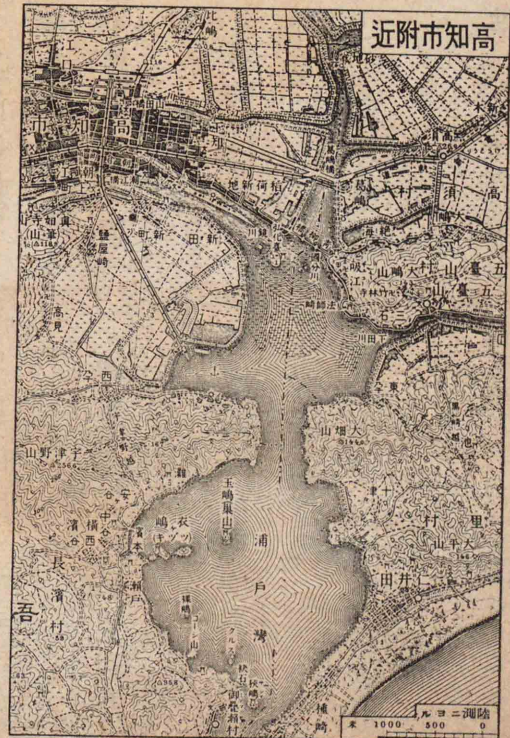


(崎戸室)美岸海な壯豪の國四南



(濱止波) 田塩の國四北

邦第六位で、縣外に出る海員、出稼人、移民が多い。南四國は久しく隔絶して、人口密度が尙小さい。要するに四國地方は、主要交通路より外れ、南北兩方面とも、平野が少くて大都市の發達がおそい。四國山脈を境界として、南北により景觀が著しく異つてゐるのに注意を要する。



青島 宮崎市の南方海上に浮ぶ周圍一軒程の小島で熱帶植物の種類は百七十種といはれ蒲葵が密林をなしてゐる所など内地には珍らしい



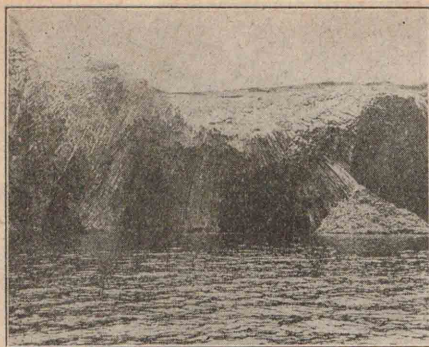
蘇鐵の林 南九州以南は温暖多雨で到る處に樟・蘇鐵・榕樹等の熱帶植物が生える 圖は宮崎縣南端都井岬の自生蘇鐵である



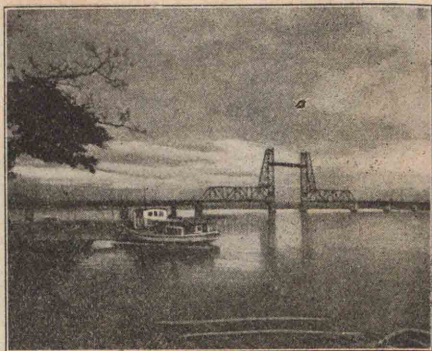
唐津港 昔から大陸との交通の盛な港で風景もよく史蹟にも富んでゐる 虹のやうな一大長橋は唐津灣に注ぐ松浦川に架したものである







(笠ツ七)景奇一の中脈火山白



(橋鐵の線賀佐は景遠)川後筑

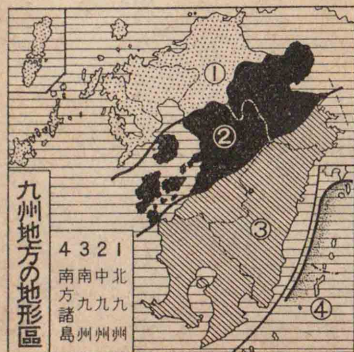
地方誌 九州地方(概観、地形、氣候、原始産業)

北九州 筑紫山脈は、多くの丘陵性山地となつて平野(筑豊・福岡)を挟み、白山火山脈は東西に連つてゐる。

弧とがあり、地形上、四區に分けられる。

行政區劃	管轄區域	廳所在地
福岡縣	筑前・筑後・豊前・豊後	福岡市
佐賀縣	肥前・半	佐賀市
長崎縣	肥前・半・壱岐・對馬	長崎市
熊本縣	肥後	熊本市
大分縣	豊前・半・豊後	大分市
宮崎縣	日向	宮崎市
鹿児島縣	大隅・薩摩	鹿児島市
沖縄縣	琉球	那覇市

地形區 筑紫九州二山脈と琉球



九州地方の地形區

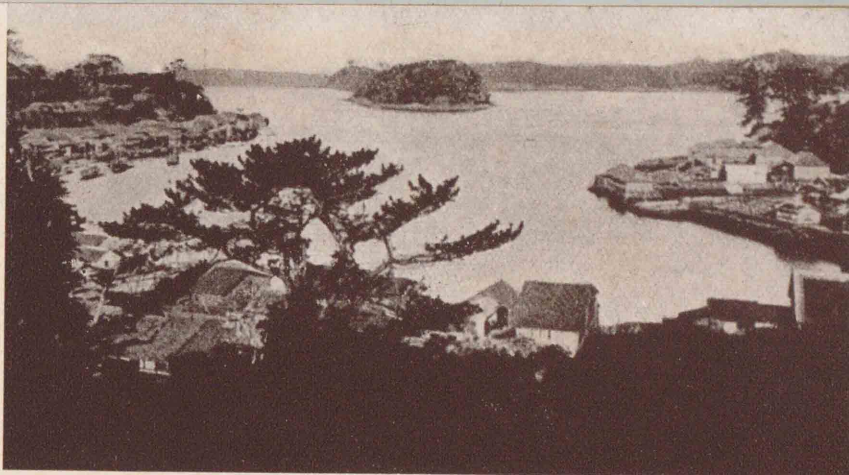
4 3 2 1  
南 中 北  
方 九 九  
諸 州 州  
島

## 第七章 九州地方 一 概観

内地の最西部で大陸に對する門戸となり、日本開闢史の初頭を飾つて以來横濱神戸が對外門戸となる迄久しく外國文化の輸入地であつたが、今は我が國産業上の尖端として重要である。行政上、八縣に分れてゐる。

### 二 地形氣候原始産業

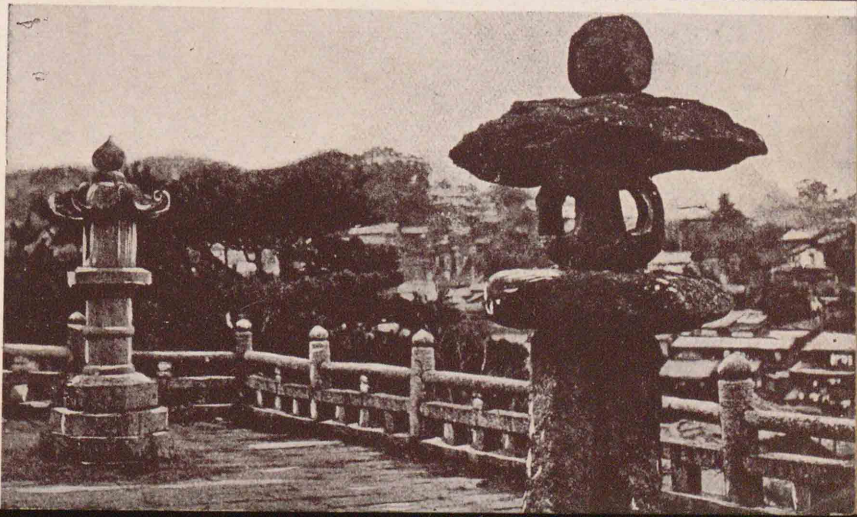
面積 四、四五万平方尺 人口 二〇二萬人 人口密度 三三一人



平戸港 嘗ては西洋文明の唯一の門戸であつた平戸も今は一漁港に過ぎない。その山水の美を利用して遊覽地として若返らうとしてゐる。

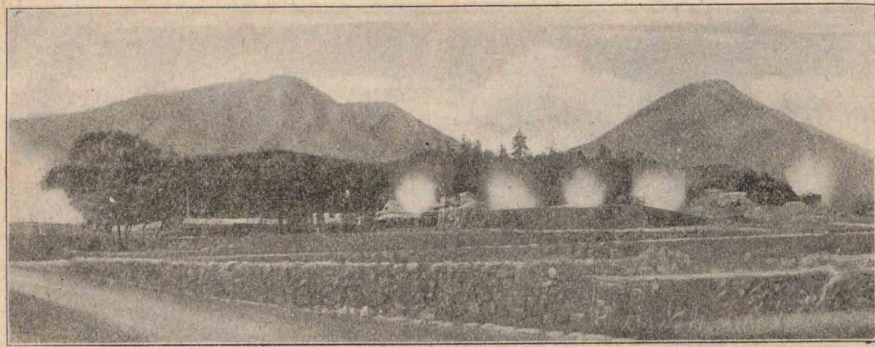


島原港 島原半島で最も賑ふ港で史上に名高い島原城址がある。眉山を背にし前面に九十九島が散在して景致に勝れ雲仙と切離せない名所である。



長崎港 長崎は古い開港で貿易上の勢力は門司に奪はれたが工業都市として若返つてゐる。圖は西山の中腹にある八坂神社の眺望臺から望んだ市の景観である。  
昭和十二年八月十四日長崎要塞司令部撮影



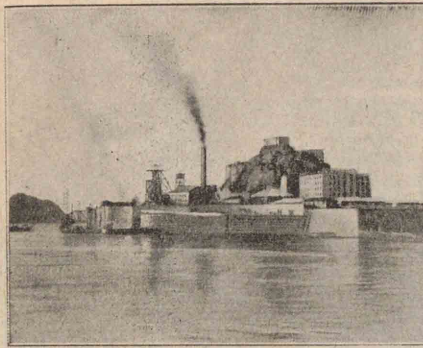
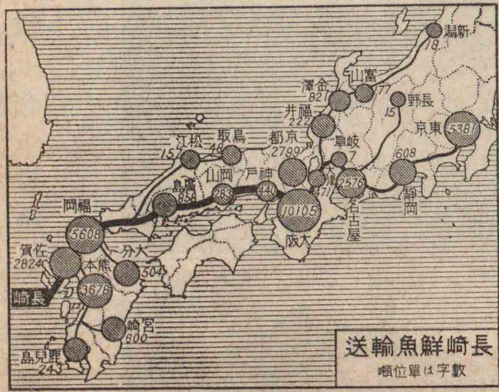


別府温泉の地獄湯(湯群)

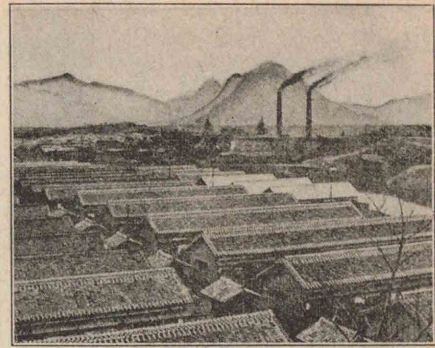
地方誌 九州地方(地形氣候・原始産業)

給する。諸平野には米田が開け、久留米・佐賀門司は、米の集散地である。二毛作が行はれ、麥・菜種の産が多い。筑紫平野の丘陵には、榎が多くて秋色麗しく、木蠟を産する。近海は烏賊・鰹・鯖・鯨・鰯等の漁獲が多く、對馬は鰯を産する。是等の海産物は、長崎・博多・唐津に集り、京濱・中華民國に迄送られる。トロール漁業は、戸畑を根據としてゐる。

**中九州** 筑紫山脈・九州山脈間には、主に火山岩・火山灰から成る土地が、九州島を斜斷してゐる。この地帯に、鶴見岳・由布岳・九重山・阿蘇山・雲仙岳・多良岳等の火山、別府・雲仙等の温泉が噴出し、集塊



島端



(川田井三) 田炭豐筑

地方誌 九州地方(地形氣候・原始産業)

海岸には、博多灣・大村灣有明海・壹岐・對馬・五島等が、複雑な海岸線を作つてゐる。

① 近海に對馬海流が流れ、山陰式氣候となつてゐる。

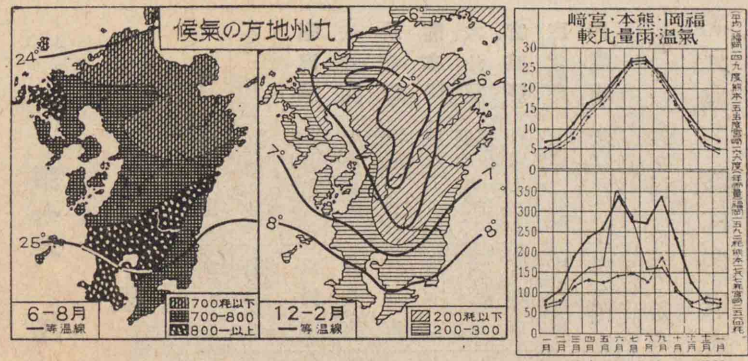
② 遠賀川流域

③ 筑紫平野

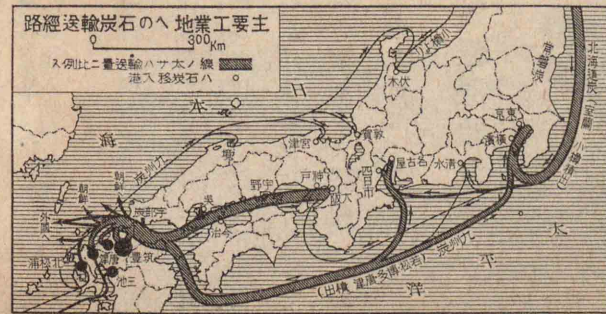
④ 南部(三池)・松浦川

⑤ 流域(唐津)・長崎縣

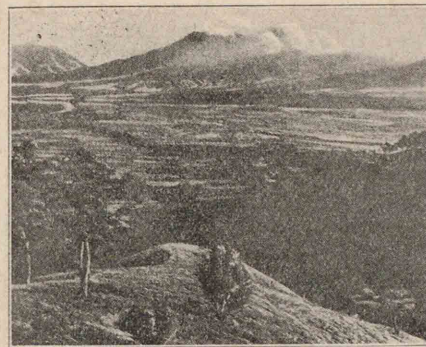
⑥ 肥前炭田・彼杵炭田・高島炭田(今は端島より掘採)には、石炭の埋藏が多く、我が國産炭額の過半を産し、遠く關東北陸より海外に供



陸より海外に供







阿蘇山の煙



九重山

地方誌 九州地方(地形氣候・原始産業)

岩の奇景耶馬溪がある。球磨川は、八代海岸に大三角洲を作り、其の對岸に天草島がある。

阿蘇火山は、

大きな舊火

口の中に中

央火口丘群

を噴出し、之

と外輪山と

の間の火口

原には三十

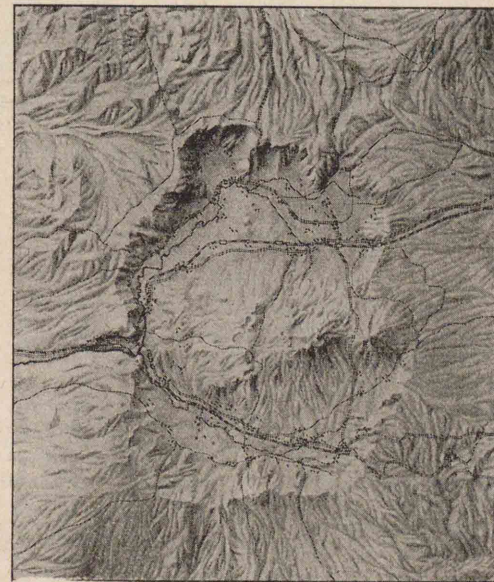
四箇町村、五

萬の住民が

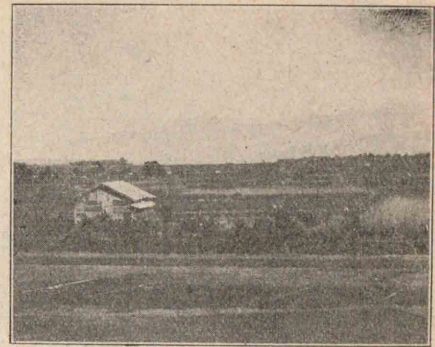
住み、交通路もこの火口原や河谷を利用して、東西を連絡してゐる。

④東部の大分平野は、瀬戸内式氣候で、西部の熊本平野は、稍大陸性氣候の傾向を帯びる。

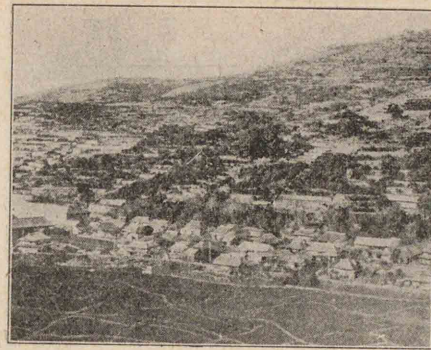
⑤火山岩山地に、鯛生馬上等の金産地がある。熊本平野





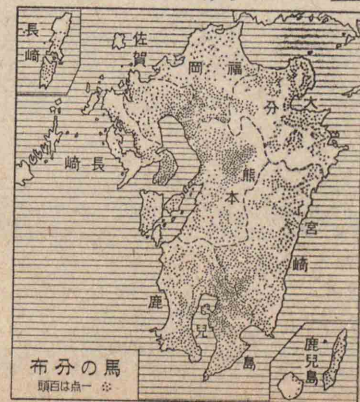


熊本平野



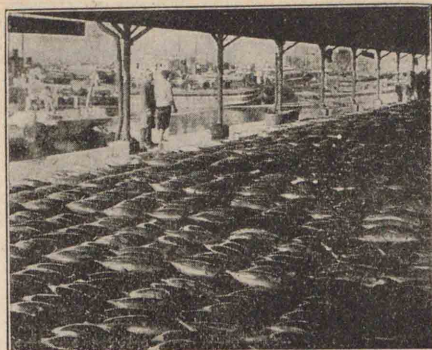
熊本附近の柑橋畑

(緑川下流)大分平野(大野川下流)は主要農産地で、熊本平野周囲の火山灰臺地は、栗・甘藷・柑橋の産が多く、桑園も開けた。又火山地方の裾野では、牧馬が盛に行はれる。

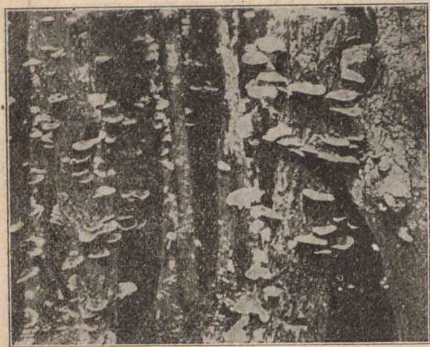


南九州 九州山脈が斜走し、脈中に祖母山市房山等の高山がある。豊後水道方面はリアス式海岸で、日向灘方面には、五箇瀬川一、瀬川・大淀川等が、日向海岸平野を流れてゐる。南部は鹿兒島灣地溝で、大隅・薩摩の二半島に分れ、霧島・櫻島・開聞の諸火山を連ねる霧島火山脈がある。土地が南方にある上に、暖流の影響を受ける爲、高温多雨の南海式氣候である。

山野串木野の金見立(宮崎)尾平(大分)の錫はこの部の山地に



枕崎の鯨漁



椎茸栽培(宮崎縣)

産し、嶺峯の銅と共に名高い。

諸所の海岸平野は農業地で、甘藷・煙草

(指宿)野菜・柑橋

が作られ、火山

の裾野や火山

灰に蔽れた輕

石層の臺地に

は、牛馬を放牧してゐるが、近時農耕地

として、次第に開墾されつつある。

氣温が高いから樟が生育し、青島には、

熱帯性植物が自生してゐる。大分・宮

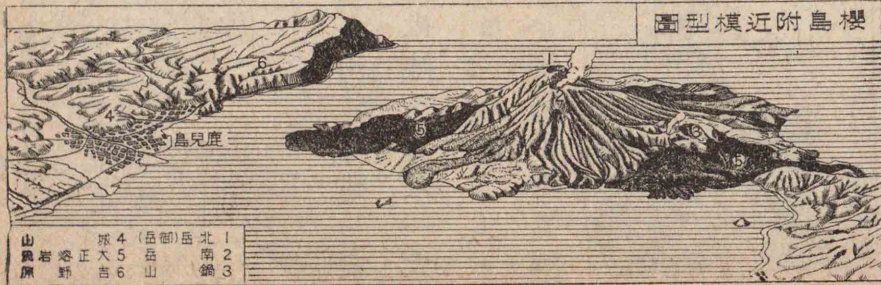
崎兩縣には、杉・檜の良材や、薪炭・椎茸の

産が多い。水産は、暖流魚の代表であ

る鯉(薩摩節は)の漁獲が多い。

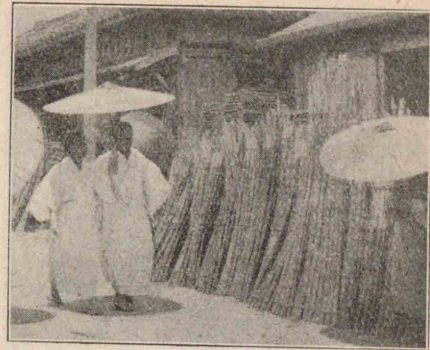


櫻島附近模範型圖

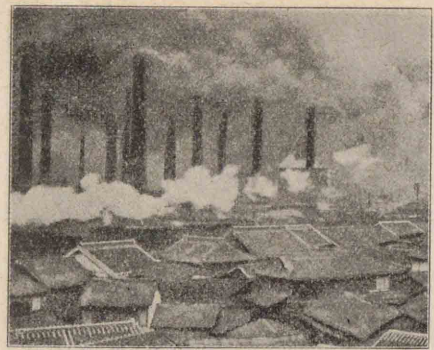


山嶺 4 5 6 (宮崎) 北 1 2 3 南 4 5 6 嶺 3





琉球の甘藷市場

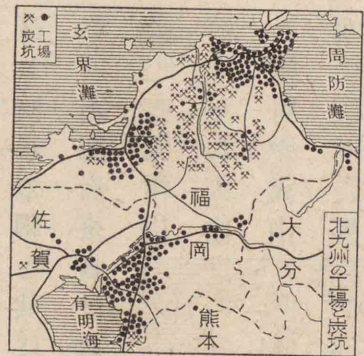


黒郷の八幡市  
昭和二十年九月十九日撮影許可

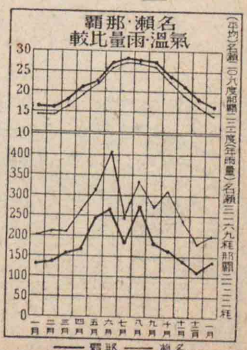
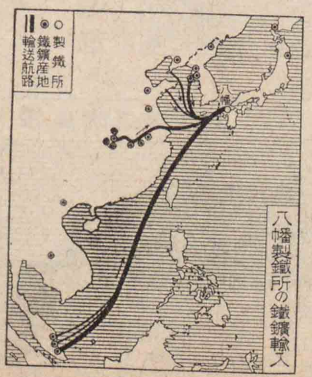
南方諸島 東支那海と太平洋との間の列島で、屋久島の八重岳(五三三)は九州地方の最高峰である。亞熱帯氣候で雨が多く、屋久杉、榕樹、芭蕉、龍舌蘭、阿旦が繁茂し、甘藷、甘蔗を多く栽培する。琉球諸島には、珊瑚礁が多い。

### 三 工業

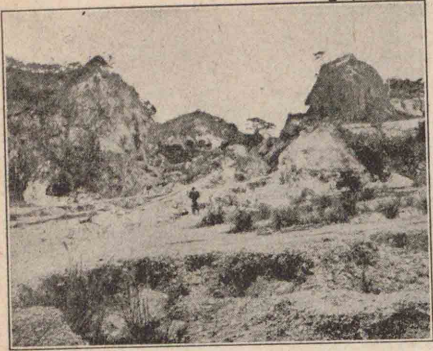
工業は位置・燃料・努力・交通に恵まれた、北九州に勃興してゐる。殊に門司・小倉・戸畑・若松・八幡・折尾は、連続した一大工業市(北九州工業地帯)で、陸軍造兵工廠(小倉)・製鐵所(八幡)を始めとし、大工場が連り、鐵機械・小麥粉・砂糖・麥酒・洋紙・綿絲・セメント・硝子・肥料工業・藥品・電線等の近代工業が



製鐵所  
鐵鑛産地  
輸送船路



久留米の米染色

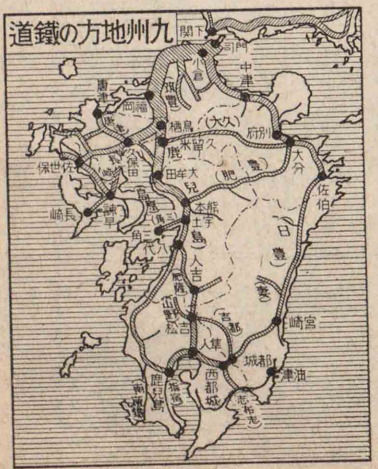


有田の陶土採掘場

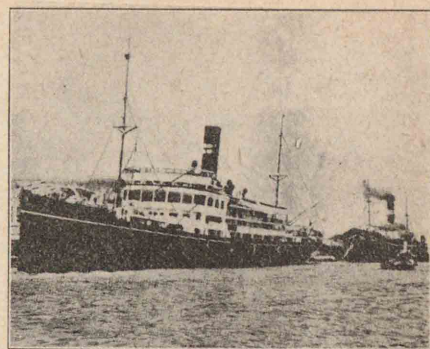
勃興してゐる。又餘勢は四隣に及び、長崎・佐世保に造船・大牟田に紡績及び化學機械、佐賀關に金銀銅の製鍊、大分・中津に綿絲工業が起つてゐる。尙各地に、窒素肥料工業(延岡)・織物(久留米・耕摩・同上・布大)・地下足袋・タイヤ(留米以上)・清酒(河柳)・泡盛(那)・陶磁器(石英粗面岩地)・疊表(分)・製藥(佐)の工業が行はれる。

### 四 交通商業

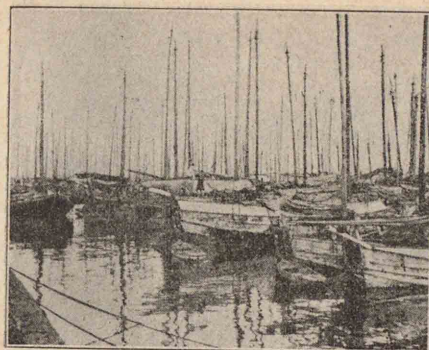
交通 鐵道網は北・西九州が最も密で、南・東九州が最も粗である。鹿兒島線(門司・熊本)は北は關門連絡船に連り、南は三太郎越の難所を通過して、南北九州を連絡してゐる。日豊線(小倉・宮崎)は東岸の各地を通過して、鹿兒島線に連り、



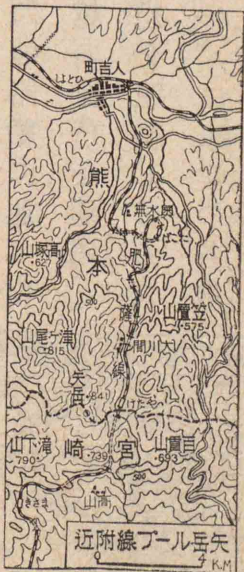




石炭積出の門司港  
昭和二十八年八月二十日閣下要部許可證



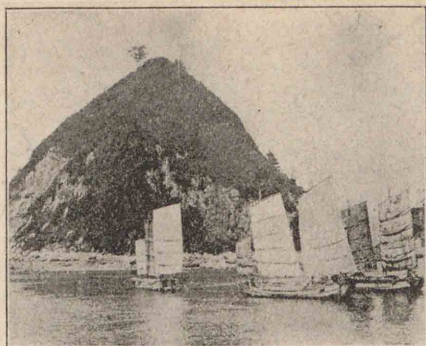
若松港



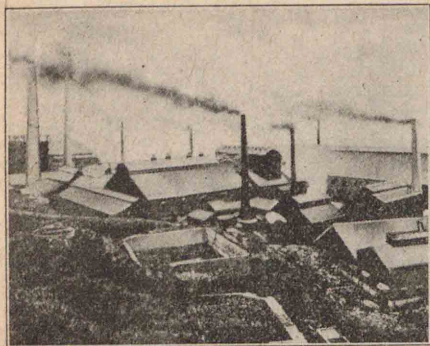
矢岳フル線

以て九州の大環状線をなしてゐる。肥薩線(八代)は、ルー  
プ線で九州山脈の矢岳を越え、日豊線に連る。豊肥線は阿蘇火口原を横断して、  
鹿兒島・日豊兩線を結び、長崎線(長崎)は、北九  
州の産炭地や工業地と、長崎とを連結してゐる。  
門司は瀬戸内海の咽喉を扼し、且石炭積込地で、長崎と共  
に北九州工業地の門戸であるから、出入の船舶数が、神戸  
に次いで多い。鹿兒島は、琉球・臺灣航路の要港である。  
定期航空路には、大阪・福岡(熊本)・福岡・臺北・大阪・別府・東京・福岡・大連等の諸  
線がある。

**商業** 北九州は頗る活氣を呈し、遠く阪神・東京・滿鮮・支那



三 角 港



戸畑市(カラス工場)  
昭和二十年十月九日閣下要部許可證

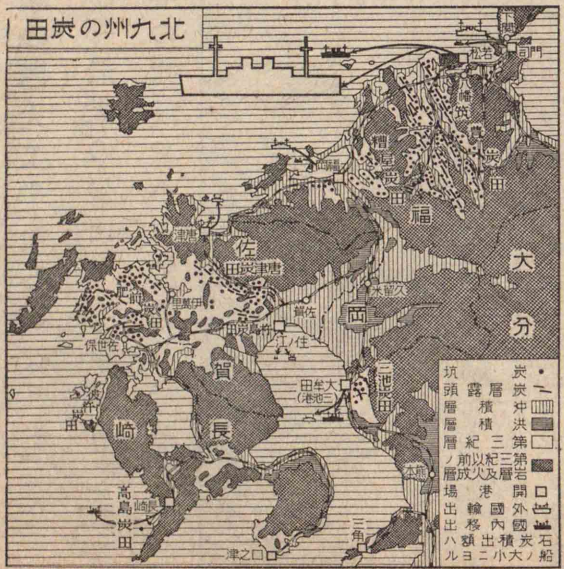
と取引する。地方商業の中心は、福岡(北)・熊本(中)・鹿兒島(南)  
である。外國貿易は、阪神に從屬せず獨立して行はれ、門司・長崎が  
二大門戸で、綿絲・綿布・精糖・石炭を輸出し、棉豆・粕を輸入す  
る。右の外、若松・三池・  
唐津・博多・住江・口津・三  
角・嚴原・鹿兒島・那覇の  
十開港がある。

五 聚落生活

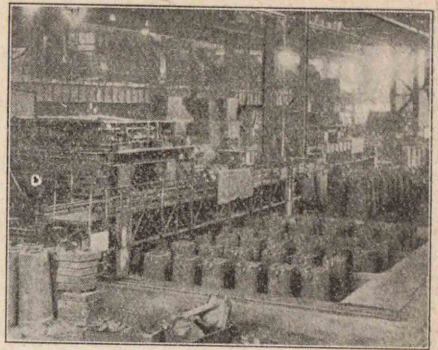
**福岡縣** 面積 四、九〇〇方  
人口 二、七〇萬人  
密度 五、五八人

が稠密で、十個の市がある。  
**河海工業地帯**(北九)  
連続した大工業地域

**門司市**(セルメン・糖) **小倉市**(鐵製品・洋紙・電) **戸畑市**(板ガラス) **若松**







八幡橋の製鐵所  
昭和二十年八月二十二日閣下要部令許可



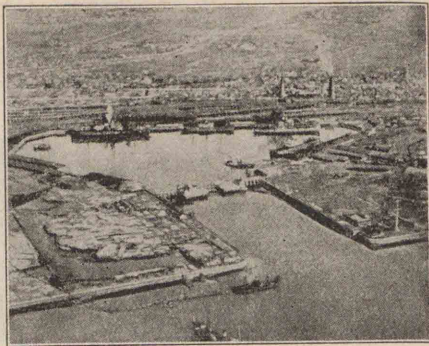
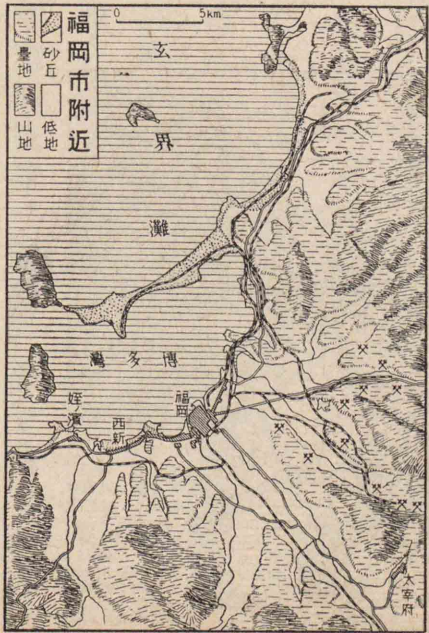
福岡市

市(造船・鑄物)・八幡市(製鐵・製釘・化學工)等の大工業市が連り、阪神京濱・中京と共に我が國の四大工業地といはれる。

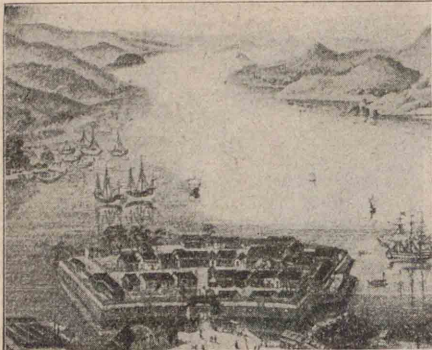
筑豊炭田地方(北九) 本邦最大の炭田で、大浦田川(井三)・二瀬直方市(飯塚市)後藤寺等の炭坑都市が発達してゐる。

福岡平野(北九) 福岡市は九州文化(九州)の中心で、博多織・博多人形を産し、太宰府は昔時鎮西の要地であつた。

筑紫平野(北九) 大農産地帯で、久留米市は米・木蠟(日本)の取引地、足袋・タイヤ・久留米紺を産し、第十二師團司令部がある。太刀洗は飛行聯隊の所在地である。三池炭田を背景とした大牟田市



三池港(門式)



文政年間長崎の港  
昭和三十一年七月廿六日長崎要部令許可

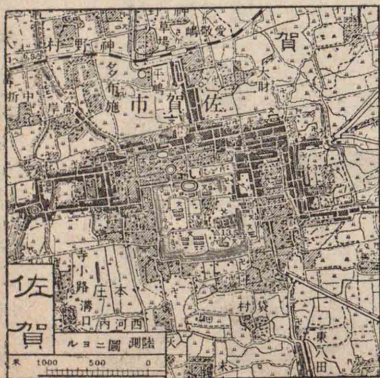
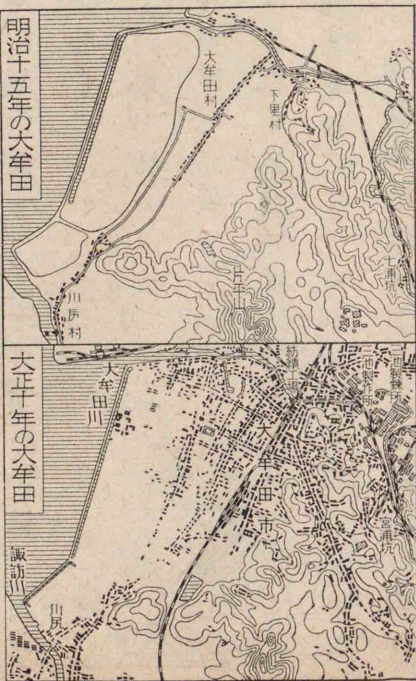
には、綿絲紡績化學工業が起つてゐる。

佐賀縣 面積二、四九方軒 人口九、九萬人 密度二、八〇人

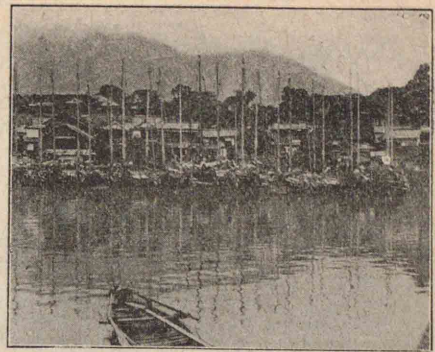
筑紫平野(北九) 鳥栖は製藥地、佐賀市は米の取引地、唐津市は石炭の輸出地である。

西部窯業地帯(北九) 有田は有田焼(伊萬里)の産地で、外港伊萬里は漁港である。

長崎縣 面積四、七六方軒 人口一、三〇萬人 密度二、八〇人 灣入が多い。山勝であるから甘藷作が榮え、海外移住者又は漁民が多く、漁獲高は他府縣に冠絶してゐる。







島原港

半島部(州北九) 佐世保市(第三海軍工廠の鎮) 大村(軍航空隊に海等の軍事)

市長崎市(綿糸の開港がある) 島原半島(州中九) 雲仙嶽は内外人の休養地

で島原は史上に名高い。 島嶼部(州北九) 漁業地で、五島の福

江平戸島の平戸(名高い) 壹岐の勝本、

對馬の嚴原(港開)等漁港が多い。

大分縣(面積六、三萬方尺 人口一、五萬人) 周防灘斜面(州中九)

で、豊前米木材を集散する。

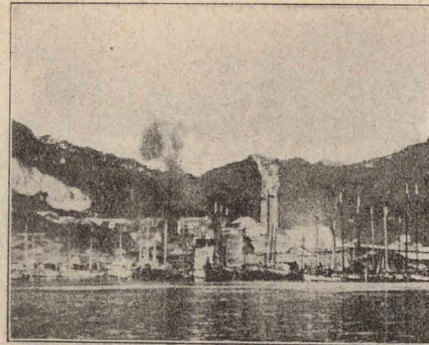
別府灣斜面(州中九) 國東半島では、七

島蘭が栽培され、杵築は七島表を集

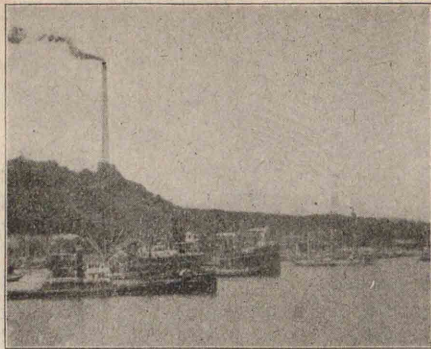
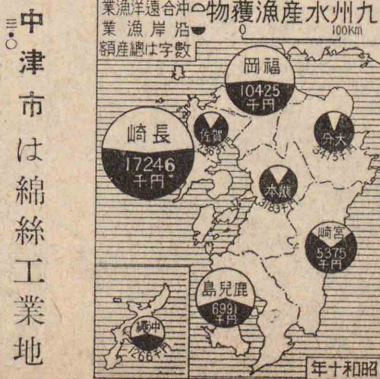
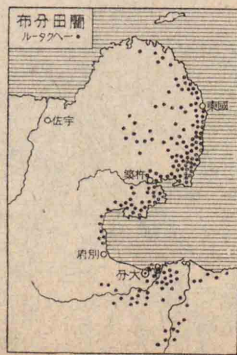
散する。別府市は京都で、大分市は

綿糸セメントを産する。

豊後水道方面(州南九) 佐賀關は精鍊地、リアス灣内の臼杵



大分メソント工場



佐賀關の鍊製所 昭和二十八年八月二十三日 豐原製鋼部調査

佐伯(海軍航空隊所在地)は漁港である。

熊本縣(面積七、四萬方尺 人口一、三六萬人) 熊本平野(州中九)

の門戸に開港

三角がある。

球磨川上流

(州南九) 山地は

木材、椎茸、薪炭

を産し、人吉で

集散する。

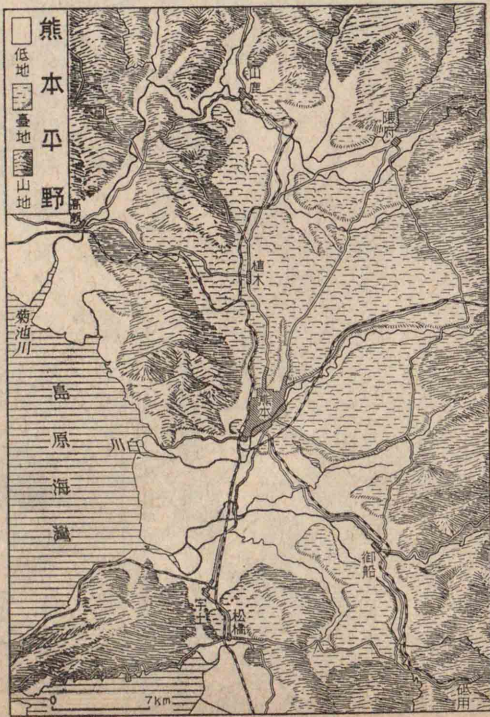
八代海岸(州中九)

中心の八代に、セメント、洋紙、製材の工業が行はれる。

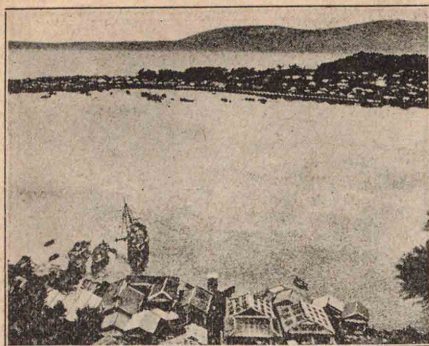
侯は窒素肥料の製造が盛である。

天草島には丘陵臺地が多く、甘藷を栽培し、又陶土、無煙炭を産する。島内

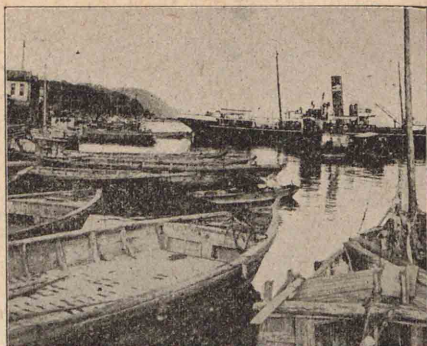
球磨川の三角洲上には、西瓜の産が多く、







(るあで港口火)港川山



港島兒鹿

地方誌 九州地方(聚落生活)

沖繩縣 面積三、三六方軒 人口二、五九萬人 密度二、四八人 氣温が高く、榕樹蒲葵が茂つてゐる。山勝の小島で

大島の名瀬(大島紬)が最大聚落である。

薩南諸島(南方) 種子島(製糖)・屋久島(杉)・奄美諸島から成り、

野菜を供給する。山川枕崎は、漁港で鰹節を産する。

出水・指宿は煙草を出す。谷山は錫を産出し、又鹿兒島に

薩摩(州南九) 鹿兒島市は城下町で、薩摩紆・薩摩焼を産し、

國分は、垂水と共に煙草を産する。

地で、鹿屋には海軍航空隊がある。

平野の笠野原は、大農式の移住開墾

鹿兒島縣 面積九、〇方軒 人口二、五九萬人 密度二、七五人 大隅(州南九) 肝屬

霧島山麓(州南九) 都城市は繭茶・小林は菜種・馬を産する。

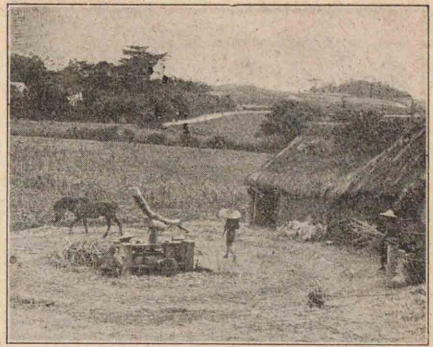
を産し、宮崎市は生絲・清酒を産する。

宮崎縣 面積七、七三万方軒 人口一、八〇萬人 密度二、二五人 日向・平野(州南九) 延岡市は窒素肥料・人絹

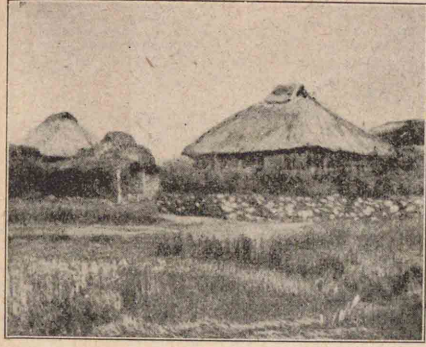
には出稼する者が多く。







(縣繩沖) りぼし蔗甘



(垣石ぐ防を風強) 家民の島米久

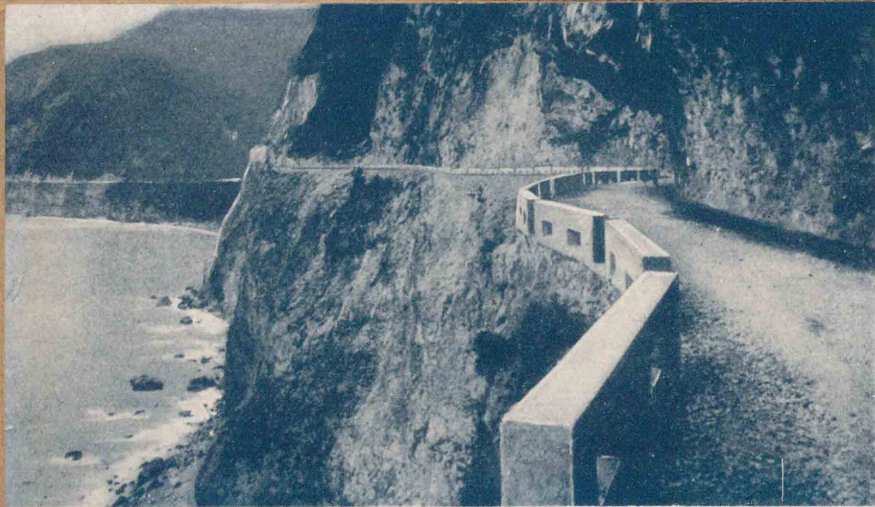
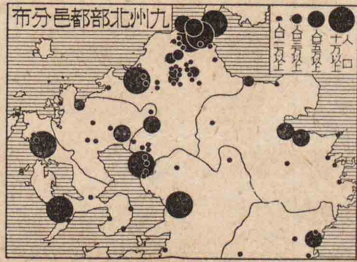
るから住民は多く甘藷を作り、米で泡盛を醸し、甘蔗で黒砂糖を製する。芭蕉布(芭蕉の織)、漆器、琉球絣を産し、豚山羊(共に内)を飼養する。人口が稠密で縣外に活躍する者が多い。

**沖繩諸島**(南方諸島) 開港の那覇市(ナハツニ市)は絣、上布、芭蕉布、砂糖、夏帽、子、琉球塗を産し、首里市(シユリ市)は舊都である。

**先島諸島** 八重山群島は良質の上布を産出する。

**大東列島** キタダイトウシマ 北大東島、ミナトダイトウシマ 沖大東(ラサ)島は燐礦を産する。

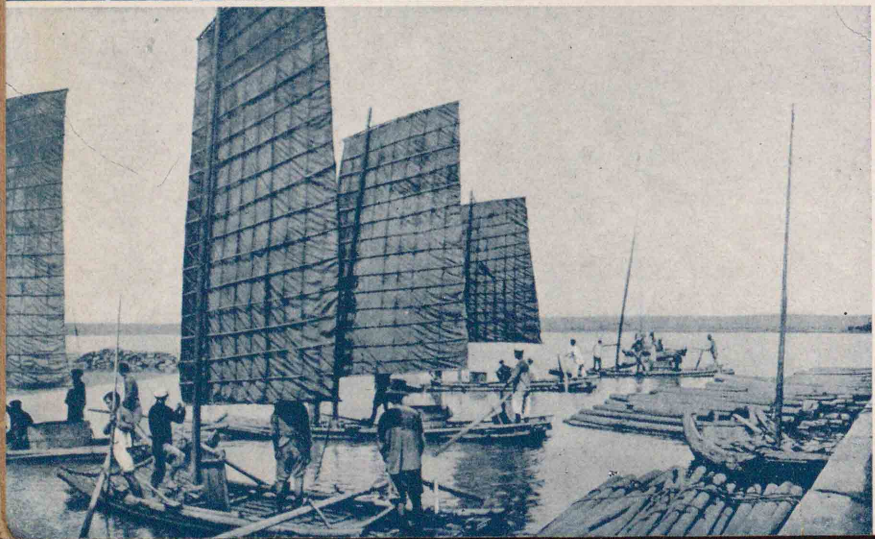
**九州地方の特性** 北九州は、夙に外國との交通が開け、近年工業が発達して人口が急増し新興都市が續出した。殊に筑豊炭田の炭坑聚落群及び洞海附近の工業都市群が顯著である。南九州は早く神代に開けたが近代工業を招く要素を缺き、人口が疎で、農村型の聚落が多く、九州の背面としての生活景を現してゐる。



臺灣東岸 蘇澳・花蓮港間の海岸は模式的の斷層崖であるが今や圖のやうな道路が出来て自動車を通るやうになつた

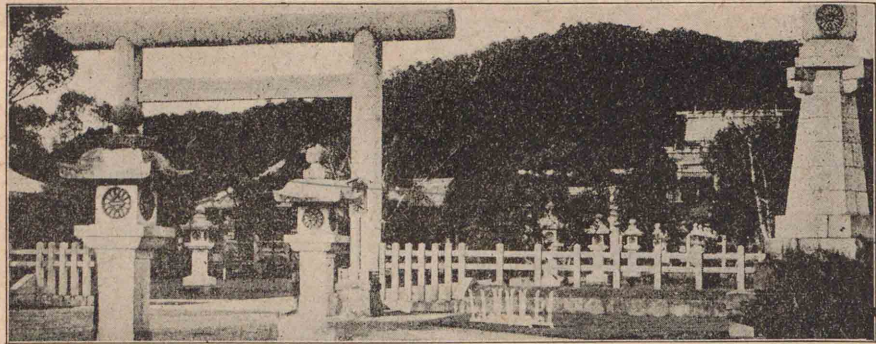


紅頭嶼 火燒島と共に臺灣火山脈に屬するヤミ族が住み農漁業を營んでゐる 自然上人文上興味のある島である



竹筏 マチクの得られる臺灣西岸の淺海では盛に竹筏を用ひる 帆を上げた幾つかの竹筏は今將に出發しようとしてゐる





(心中の結團邦同るす躍活に端尖長生の方南)社神灣臺

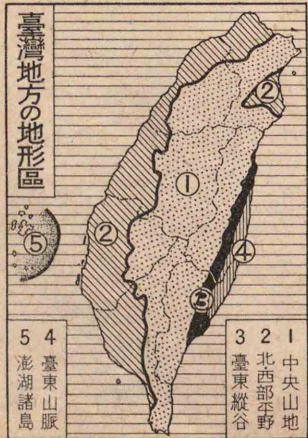
地方誌 臺灣地方(概観、地形、氣候、原始産業)

帝國の南西端に位し、海を隔ててフィリピン・中華民国と對し、我が國南西方の重要な生・長・尖・端である。低緯度地方にあつて、經濟は豊かで、夙に財政が獨立してゐる。

**二 地形氣候原始産業**

**地形區** 中央に臺灣山脈蕃界嶺が連り、其の東に、臺東縱谷を隔てて臺東山脈があり、四地形區に分けられる。

**中央山地** ① **島軸の臺灣山脈** 中には、**新高山**(明治天皇御命名) **次高山**(今上天皇御命名)を始め、高峯が相並ぶ。此の高山性山脈の西は、**中山性の蕃界嶺山脈**(阿里山脈)が、前山となつてゐる。

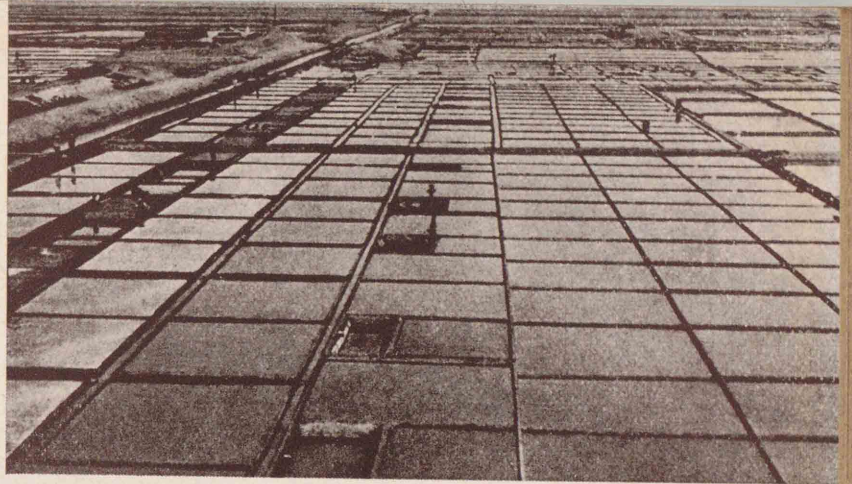


### 第八章 臺灣地方

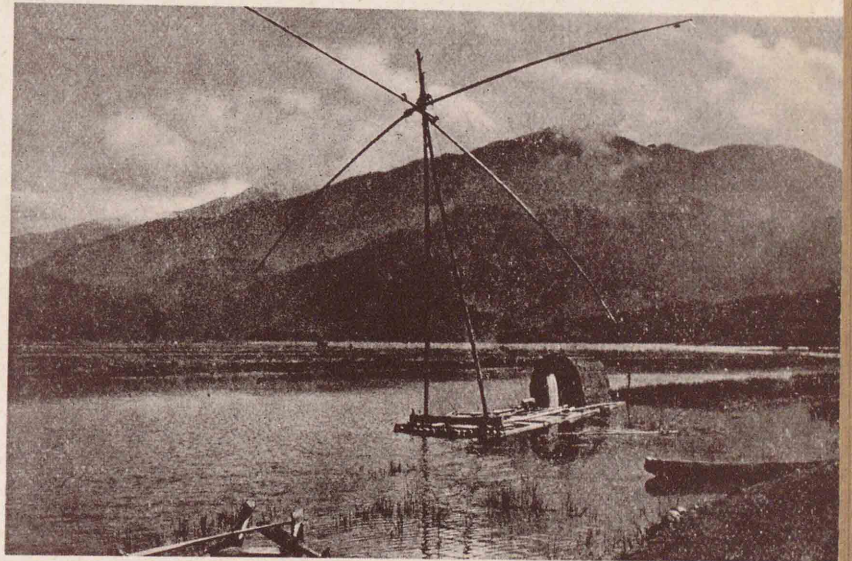
#### 一 概観

面積 三、六二万平方千米 人口密度 一四一人

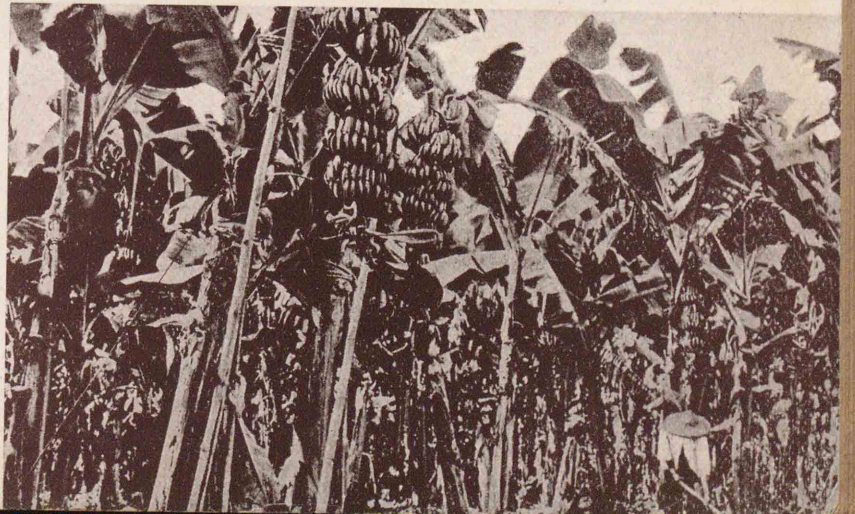
臺灣の製鹽 臺灣西岸は鹽の一大産地で内地へ多く移出する。日照の強い熱帯地の天日製鹽は内地と異るところがある。



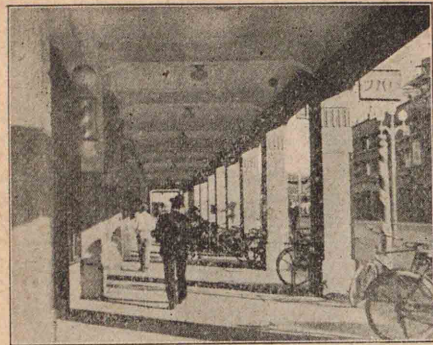
日月潭 蕃人が丸木舟を浮べ湖岸の部落から蕃婦が米・粟を搗く杵音の聞える仙境であつたが發電所が設けられ蕃社は他處へ移つた。



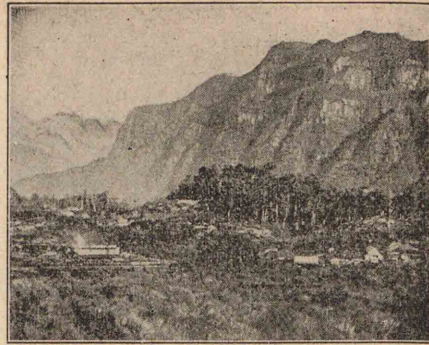
臺灣のパナナ畑 臺灣のパナナは植付けてから一ヶ年餘で結實する。年産額一千五百萬圓で青果中第一位を占めてゐる。







脚子亭(暑をさ防ぐ屋敷のしき)

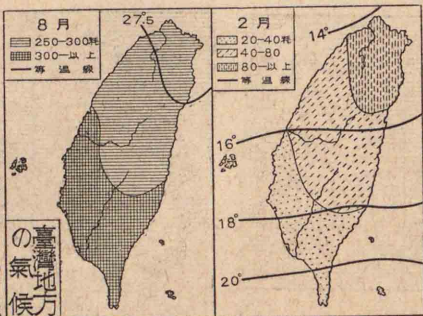


阿里山

地方誌 臺灣地方(地形・氣候・原始産業)

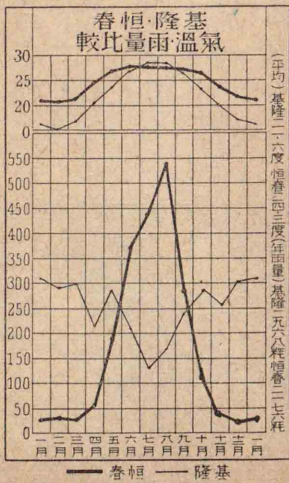
① 温暖であるから此の平野には、

漑する。いから埤圳(埤は溜池圳)を作つて灌



臺灣平野の中部は極めて雨量が少

は南西、冬は北東の季節風が發達し、夏は風上の南部が雨季、風下の北部が乾季となり、冬は之に反する。初秋には、屢、颱風が來て害を及ぼす。

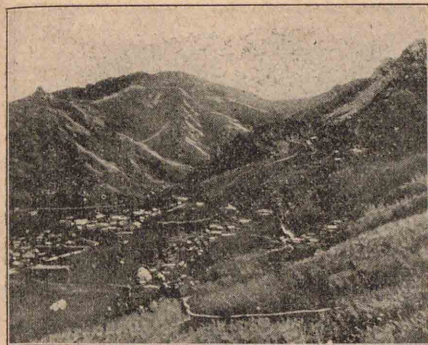


がある。西部に、大甲濁水、下淡水等の諸溪の作つた臺灣平野がある。

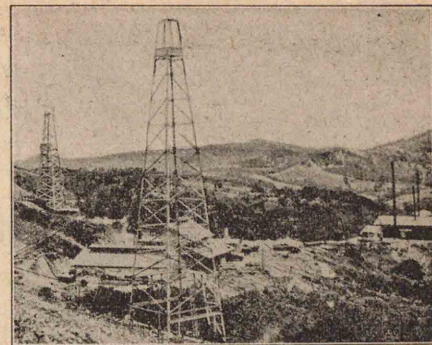
② 北回歸線が略中央を横ぎり、氣候は亞熱帶性で、夏



嘉南大圳



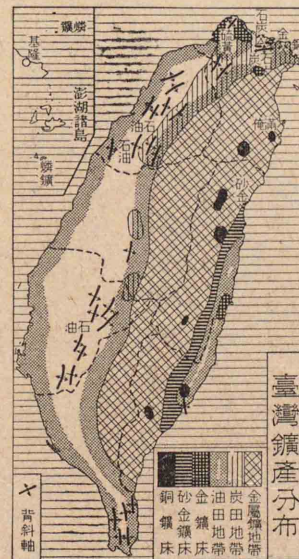
金山瓜石礦山



出礦坑

地方誌 臺灣地方(地形・氣候・原始産業)

③ 亞熱帶・熱帶に跨る地域で、中央山地は、高地氣候となり、冷涼である。④ 蕃界嶺山脈は含油層が多く、出礦坑で採油してゐる。



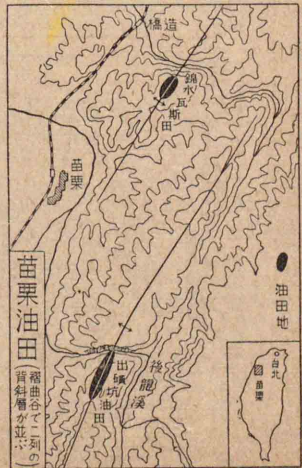
臺灣礦産分布

仙山・太平山の美林は、盛に伐採されてゐる。北西部平野 ⑤ 北部に宜蘭平野と、大屯火山群・蕃界嶺間の臺北盆地と

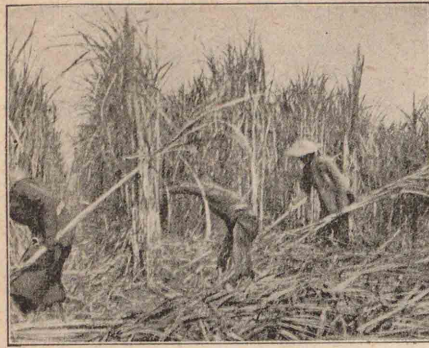


臺灣の森林

金瓜石瑞芳に金銅、基隆附近では石炭を産する。高山上には寒帶植物があり、下ると檜紅檜の原生林がある。阿里山・八



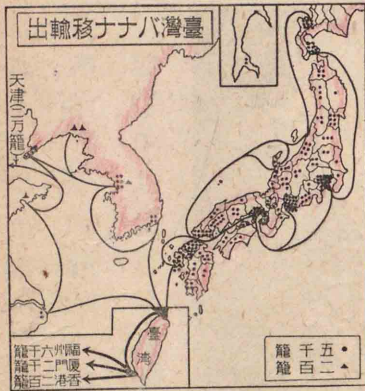




甘蔗刈り取り

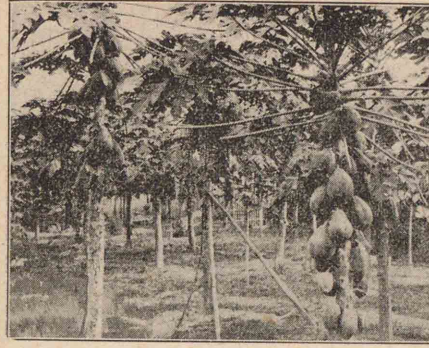
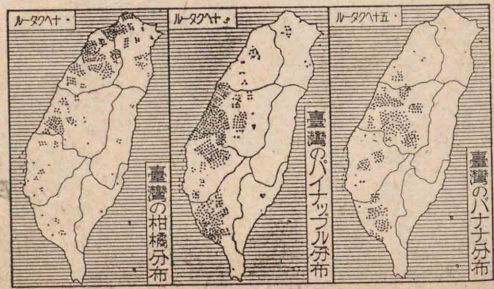


臺灣茶の摘み

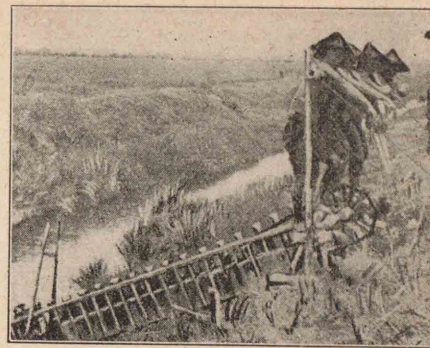


出輸移ナナハ灣臺... 龍千五・龍百二... 地中華民国に送られる。

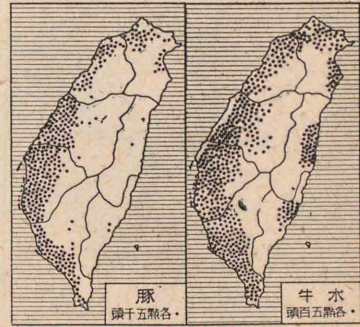
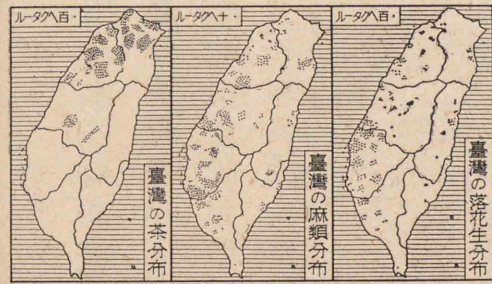
作られ、臺北で精製し、基隆から輸出する。中にも烏龍茶はアメリカに、包種茶は南洋に送られる。甘蔗園は平野の中部以南に廣く、甘藷は米に次ぐ常食物...



瓜 木

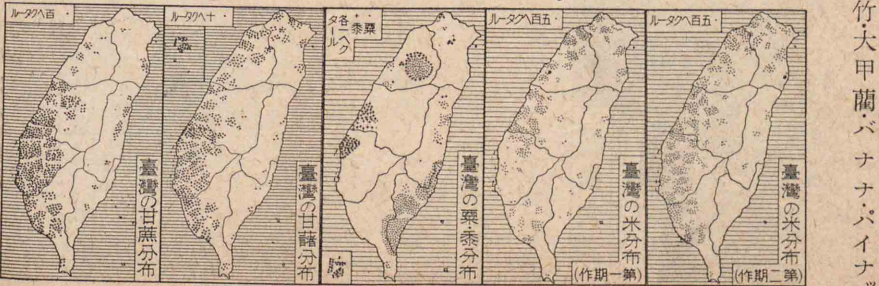


龍骨車(水車)による灌漑

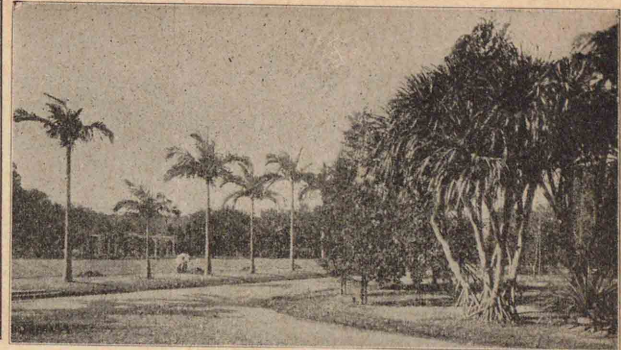


農が主産業で、米(收穫内)は北部の丘陵(臺北)に取引地で、基隆から内地に送る。茶(年十數)は各地に作られ、彰化、臺中はその取引地で、基隆から内地に送る。

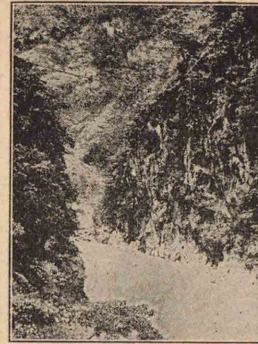
榕樹、檳榔樹、へゴ林、投樹、竹、大甲、蘭、バナナ、パイナップル、木瓜(果實を外から採る)がよく生育する。丘陵地は熱帯闊葉樹林帯をなし、樟は本島森林の王といはれる。





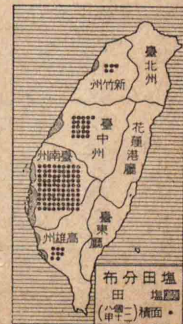


(園物植の北臺 右てつ向) 樹投林



峽、間、魯、太

される。中部南部の少雨地には天日製鹽が行はれ、沿岸の砂嘴や潟湖の多い地帯では、虱目魚、鰻、牡蠣を養殖する。



臺東縱谷・臺東山脈

中央山地は、大斷層崖を以て臺東地溝帯に急下し、地溝の東に



臺南附近地形圖

は臺東山脈がある。花蓮溪・秀姑巒溪・卑南溪等は、峽谷(等間峽)を作つて地溝中に入り、これに沿うて流れてゐる。

内地人・本島人の移住者によつて次第に開かれ、米・甘蔗・落花生が栽培されてゐる。

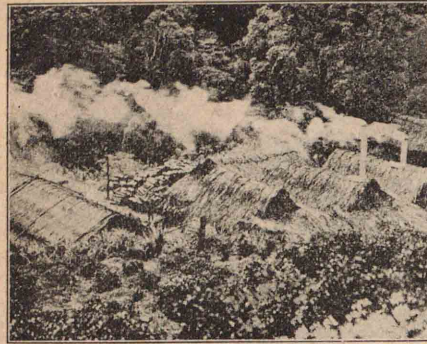
三 工業

工業は未だ萌芽時代で、大抵原始産業地域に、直接原料を得て起つてゐる。

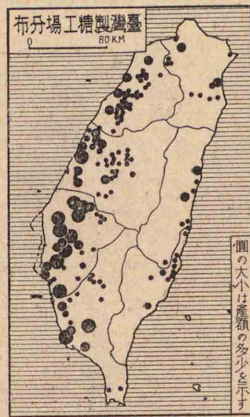
甘蔗園中に、高く煙突を抜いた製糖工場は、南部の平野に



取採ルブナイバの部南灣臺

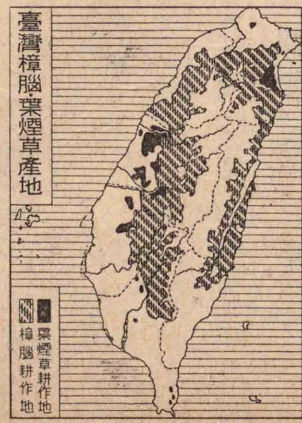


所造製腦樟の地山



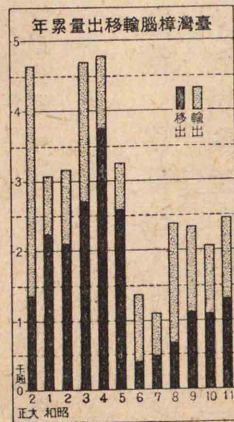
布分場工機製腦臺

地帯では、粗製樟腦を作り、更に臺北で精製し、世界各地に送ら



臺灣樟腦葉煙草産地

樟腦耕作地



年累量出移輸腦樟灣臺

造や煙草の製造も、近年興つて來た。

四 交通・商業

交通 臺灣平野は鐵道網が



臺灣地方の鐵道

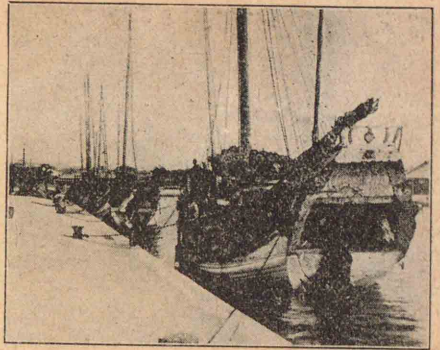
見られ、中部パイナップルの多い地にはその罐詰工場が起り、樟樹の多い

林投樹葉麻・大甲藺でパナマ帽・大甲蓆を作り、竹材で紙器具を家内工業的に作られ、尙酒の釀









クンヤジと河運の南臺



烟草煙人地内の谷縱東臺

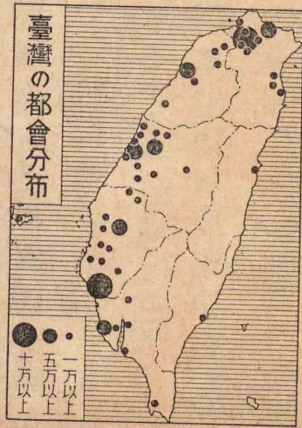
大甲は大甲帽・大甲蓆の産地、臺中市はバナナの大市場で、彰化市と共に、米・甘藷・落花生を集散する。斗六は樟腦を集散し、嘉義市は製材・製糖地で、第三飛行團司令部がある。

臺南市は本島の古都(開山神社(祭神鄭成功)、赤崁樓、蘭人城址がある)、高雄市は本島の南門、鳳山はパイナップルの市場である。屏東市には、大製糖工場、陸軍飛行聯隊がある。

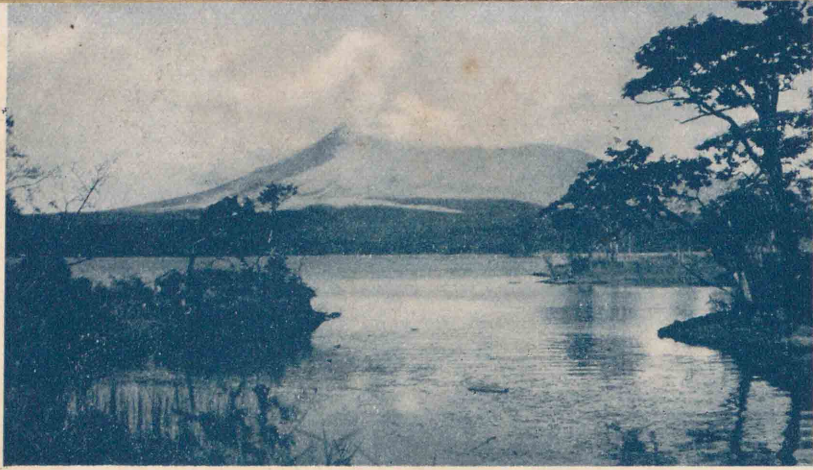
附澎湖諸島 平均二十米の低島で、馬公は良灣をなし、海軍の要港である。

臺東縦谷 臺東花蓮港は、其の兩門戸である。

臺灣地方の特性 住民は、多く西部の大生産地に集まり、栽培業に従事し、裕福で、都市の密度も、此の部に大である。臺東平野は、新植民地的氣分の處である。一般に文化の進むにつれ、支那風が内地風に改まりつつある。



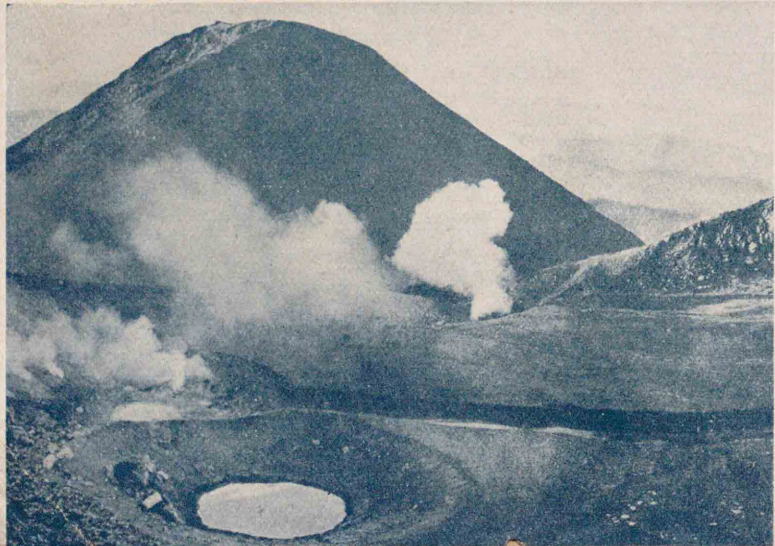
臺灣の都會分佈



大沼と駒岳 大沼小沼は駒岳の噴火による堰塞湖で、大小無数の小島が浮び、青い樹木を戴いてゐる。北海道廳の經營する大沼公園として有名である。



眞駒内の牧場 牧草の平原に悠々と草食む乳牛の群。北海道ならではの見られぬ風景である。眞駒内に北海道廳種畜場がある。



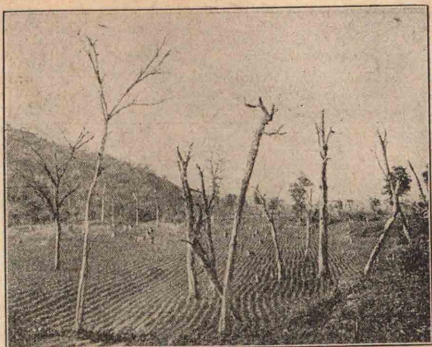
雌阿寒岳頂上 風斜路・阿寒の二火山群は復雑雄大な火山景觀を呈し、共に國立公園となつてゐる。圖の近景は雌阿寒岳頂上の多くの火口中の一小火口湖で、前方に見えるのは雌阿寒岳の南方に聳える阿寒富士である。



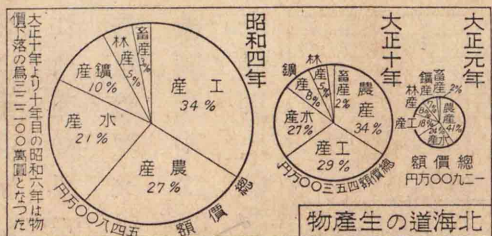
地方誌 北海道地方(概観、地形・気候・原始産業)



(岳庭恵は景遠) 湖笏支

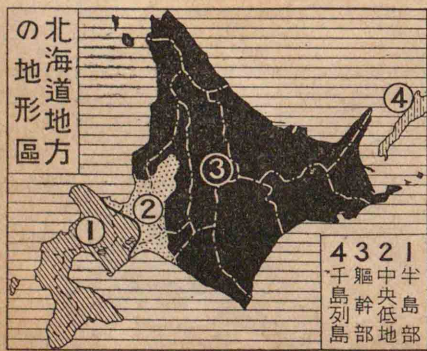


(勝十) 地 墾 開



**半島部** 那須火山脈が連り、羊蹄山(マッカ)や有珠、樽前、駒の諸岳、登別、定山溪の温泉、支笏、洞爺、大沼等の湖沼

地形區 軀幹部は、蝦夷山系と千島弧とが會合した高峻な地域である。西部は那須火山脈が活動した地域で、軀幹部との間に廣い陥没低地があり、四地形區に分けられる。



二 地形・気候・原始産業

日本列島の最北部に位し、昔の蝦夷の地で、明治維新後漸く注目され、移輸入作物の氣候化に成功し、水陸の生産が激増して、我が國重要寶庫の一となつてゐる。

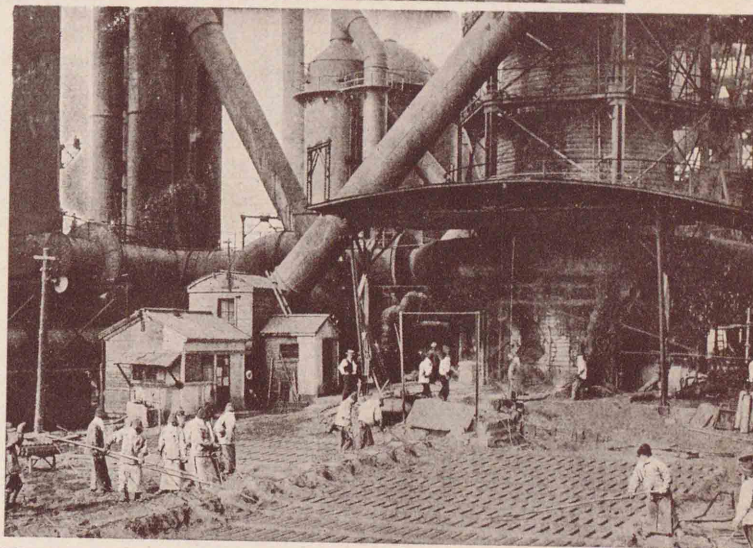
第九章 北海道地方

一 概観

面積 六、七五万平方  
人口 三、七萬人  
人口密度 三人



鮭の湖上 石狩川の鮭漁は北海道産を代表する産卵の爲十月から翌年一月まで湖上し殊に十二月が盛で漁獲も其の時が最も盛である

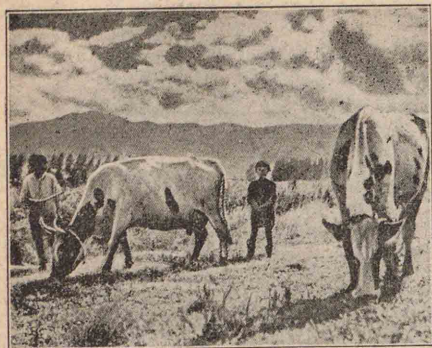


室蘭日本製鋼所 夕張炭田を控へ支那等から鐵礦を輸入して輪西の大工場で鐵を製し室蘭工場での鐵を種々の特殊鋼に製する



大雪山 北海道の中央にある一大火山帯の總稱で高山植物・大雪田・大瀑布・御花畑・山容の雄大・眺望の豁達等他の追隨を許さない





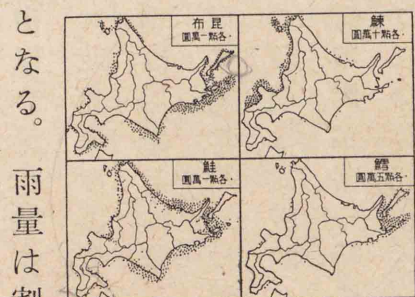
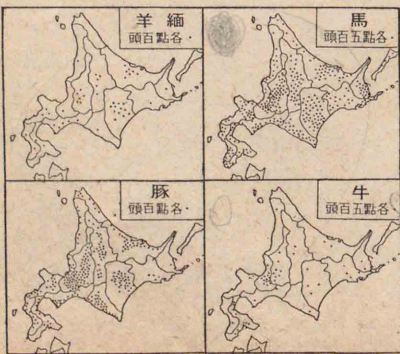
牛牧の外郊幌札



(るみてつ取を鮭) 川狩石

地方誌 北海道地方(地形・氣候・原始産業)

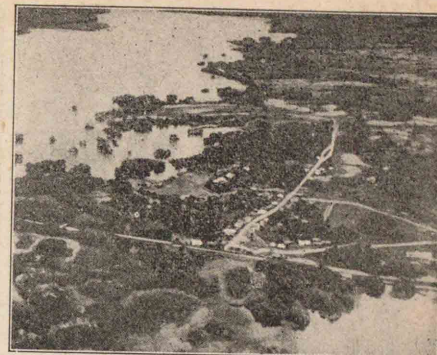
その間に、天鹽河谷や名寄旭川富良野三盆地が並ぶ。山脈と、天鹽夕張二山脈とから成り、**軀幹部**、**蝦夷山系**は北見日高兩て、**放牧**が盛である。羊、豚の放牧が盛である。大農法により、米・豌豆・麥・玉蜀黍馬鈴薯を多く産する。未墾地が極めて、**牧場**に利用されて、牛、馬、**羊**、**豚**の放牧が盛である。



となる。雨量は割合に少い。**大農法**により、米・豌豆・麥・玉蜀黍馬鈴薯を多く産する。未墾地が極めて、**牧場**に利用されて、牛、馬、**羊**、**豚**の放牧が盛である。**烏賊・鯖**などの漁利が多く、火山岩は、よい**昆布**となつてゐる。**中央低地**、**石狩・釧路**兩平野の地で、**石狩川**は小樽灣に入つてゐる。**近海**に、對馬海流が流れてゐる。冬季は稍雪が多いが、夏季は比較的高溫



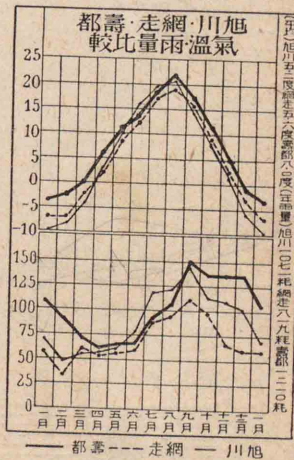
(雲八) 獲收の薯鈴馬



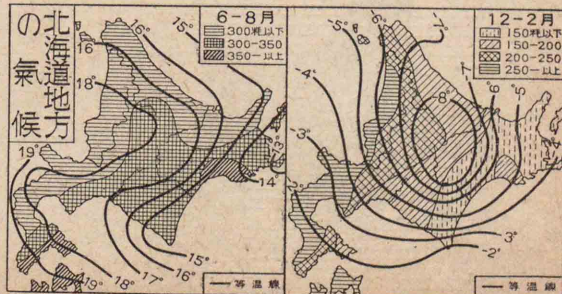
園公沼大

地方誌 北海道地方(地形・氣候・原始産業)

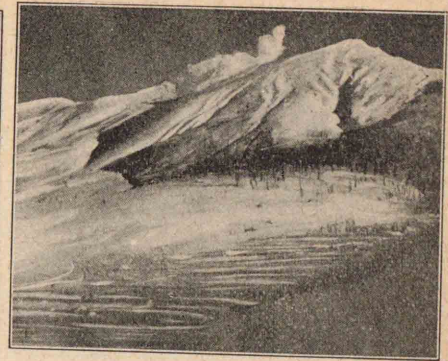
がある。**千島對馬**二海流が兩側の海を流れ、冷涼で、夏季の温度は足りない。**鑛産物**は、**靜狩**に金・銀、**稻倉石**に満、**幌別**に硫黄が出る。夏季の温度が



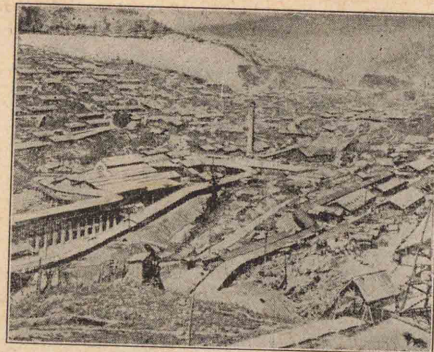
足らないので、農業は振はないが、**俱知安**盆地には、米・麥・大豆・馬鈴薯が作られ、又余市附近は**苹果**を産する。







十勝岳

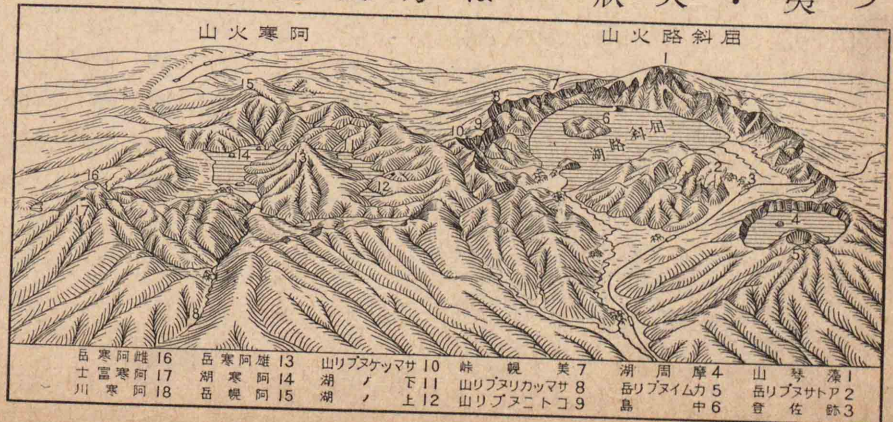


夕張炭坑

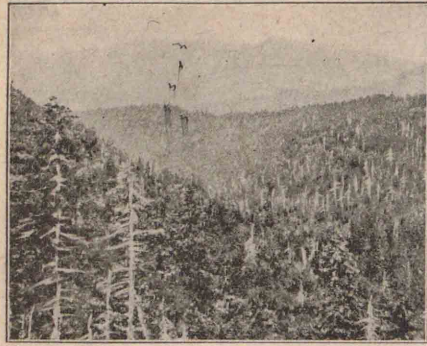
千島列島弧は千島火山脈を伴つて、雄阿寒岳雌阿寒岳を連ね、蝦夷山系との會合部に、大雪山(旭嶽を含む)十勝岳層雲峽を有する。石狩天鹽十勝の諸川は、こゝから放射狀に流出してゐる。

對馬海流は北岸を、千島海流は南岸を流れ、従つて根室釧路地方は、北見海岸よりも氣温が低く、夏季は屢、濃霧に苦しめられる。内陸の盆地、平野は風が靜かで、夏季の氣温は比較的に高い。

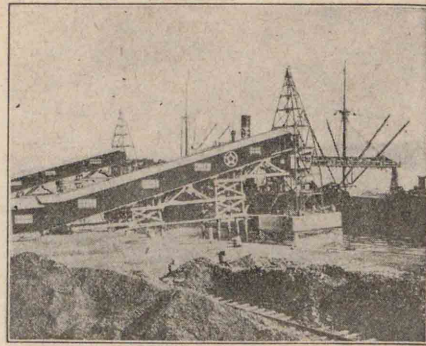
石炭が多く、特に夕張山脈西麓の石狩炭田(内美、新夕張、高知、志内、幌)は、筑豊



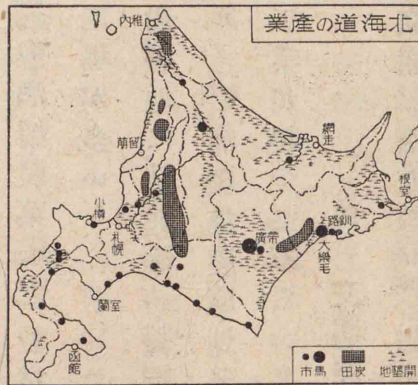
16	阿寒山	13	阿寒山	10	マツマサ湖	7	阿寒湖	4	阿寒湖	1	阿寒山
17	阿寒山	14	阿寒山	11	下湖	8	阿寒湖	5	阿寒湖	2	阿寒山
18	阿寒山	15	阿寒山	12	上湖	9	阿寒湖	6	阿寒湖	3	阿寒山



(流上川狩石)林松楡・松夷蝦

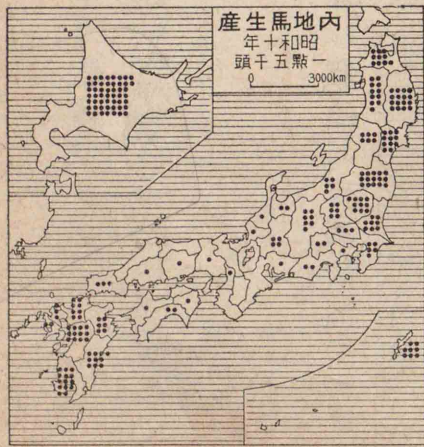


(蘭室) 出積の炭狩石

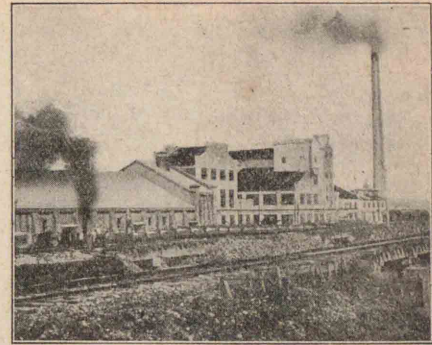


炭田に次ぐ大炭山で、この石炭は小樽、室蘭から積出される。尙鴻舞には金銀、硫黄山(半島)には硫黄の産がある。名寄、旭川、富良野の諸盆地には、新開の米田が遠く連り、麥、玉蜀黍、馬鈴薯も多く作られ、尙名寄盆地に

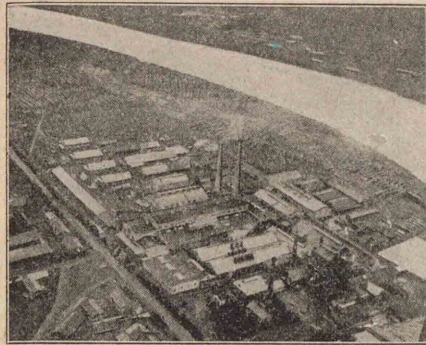
は除蟲菊、十勝平野には甜菜、亞麻、野付牛方面には薄荷の産が多い。根室、釧路方面は、濃霧の爲日射を妨げられ、農作が振はない。しかし雨が少く、太平洋方面一帯(新、白、棘)は牧馬が盛で、大樂毛には盛な







場工糖菜紺の廣帯



場工紙製の別江

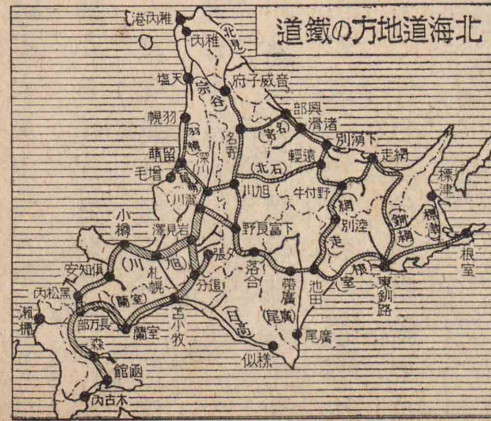
馬市が立つ。  
山地には蝦夷松、樅、檜の天然林が多い。  
水産には、昆布(釧路花咲方面)・鱈・鮭(海上根室)・鯨(利尻)の産が多く、主として函館に送られる。

### 三 工業

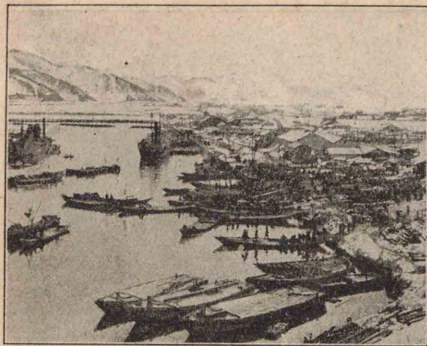
工業は、中央低地及び其の附近に發達し、麥酒・清酒・澱粉・麻・煉乳(札幌)・製紙(江別)・鐵鋼・兵器(室蘭)・酒精製菓(旭川)・製材(小樽)の工場が多い。  
尙各地に、造船・罐詰・製網(函館)・パルプ(釧路)・甜菜糖・製麻・煉乳(帯廣)の工業が起つてゐる。

### 四 交通・商業

交通 函館線(函館)・根室線(根室)



水流の岸海見北



港 萌 留

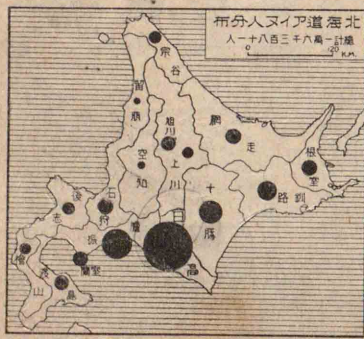
宗谷線(稚内)・室蘭線(長萬部)は主要鐵道をなし、外に名寄(名寄)・石北(旭川)・網走(池田)・釧網(釧路)の諸線及び數多の炭坑線がある。交通不便な地方では、尙驛(驛)が残つてゐる。  
海上交通は早く開けたが、殊にオホーツク海方面の冬春季(五月中旬)の流水(大きなものは、水面上六米)、太平洋方面の夏の濃霧は、一大障害である。小樽は、ウラチウオストク・羅津に航路を通じ、函館には青函連絡線、稚内には稚泊連絡線が發着する。  
航空路は東京から札幌に達してゐる。

商業 札幌は、道内商業の中心である。

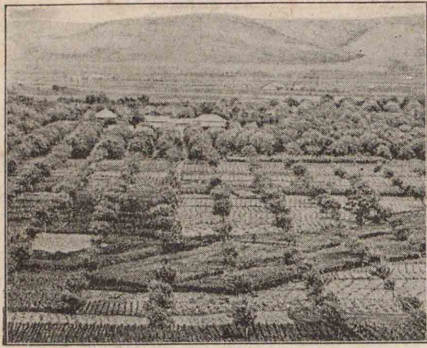
小樽・函館は、東京・大阪・樺太・シベリア・中華民國と取引し、室蘭・釧路・根室・留萌と共に開港である。

### 五 住民政治

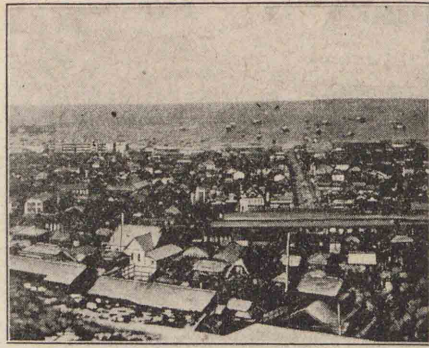
住民 原住民のアイヌ人は、今は一







園果萃の市余



市樽小

る。余市は苹果の産が多く、岩内と共に漁港である。室蘭市は、石炭木材の移輸出地で、壯大な製鋼製鐵所がある。

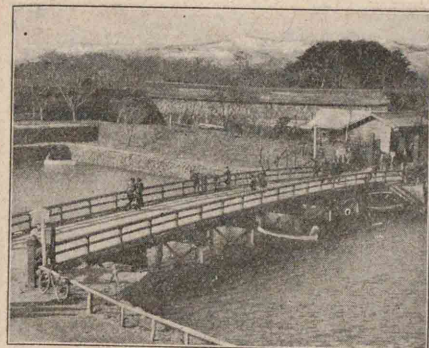
**中央低地** 苦小牧(支笏湖の水電利用の製紙業)は工業市、小樽市は本島金融の中心(銀行が)で、札幌市には北海道帝國大學があり、工業が盛である。江別岩見澤砂川瀧川は、農産の中心である。

**軀幹部** 石狩炭田には、美唄、夕張等の大炭坑聚落が起つてゐる。留萌は開港、名寄は交通市である。旭川市には第七師團司令部があり、米木材の集散、工業(酒菓)が行はれてゐる。

**帯廣市**は甜菜糖産地、池田は農産中心、釧路



布分園果萃の近附市余



(址城郭稜五) 外郊館函



(取平) 落部ヌイア

町村には、自治制が布かれてゐる。

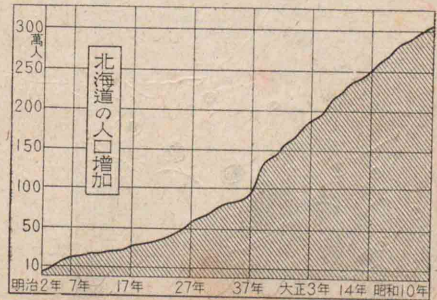
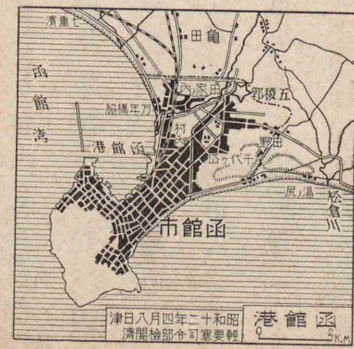
**半島部** 函館市は漁港(製網)開港で、大沼附近には養狐が行はれる。雲は酪業地、倶知安は農産中心である。

六 聚落生活

支廳	管轄區域	支廳所在地
渡島支廳	(後志島一部)	函館市
檜山支廳	(後志島一部)	江差
後志支廳	(後志大部)	倶知安
膽振支廳	(膽振大部)	室蘭市
石狩支廳	(石狩一部)	札幌市
空知支廳	(石狩一部)	岩見澤
日高支廳	(日高大部)	浦河
上川支廳	(天孫各一部)	旭川市
留萌支廳	(天孫一部)	留萌
宗谷支廳	(北見一部)	稚内
十勝支廳	(北見一部)	帯廣市
釧路支廳	(根室手島)	釧路市
根室支廳	(根室手島)	根室市
網走支廳	(北見大部)	網走

萬六千に減じた。明治維新以後、奥羽北陸等の移住者が来て、今は總人口三百萬を超えてゐる。

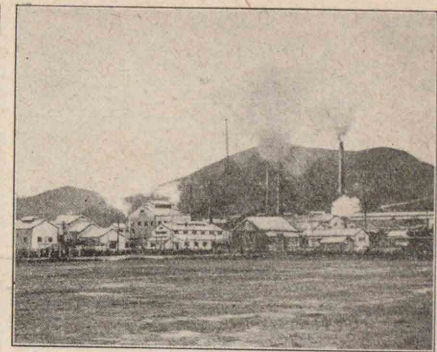
**政治 行政上、七** 市十四支廳に分れ、北海道廳長官が之を統轄する。



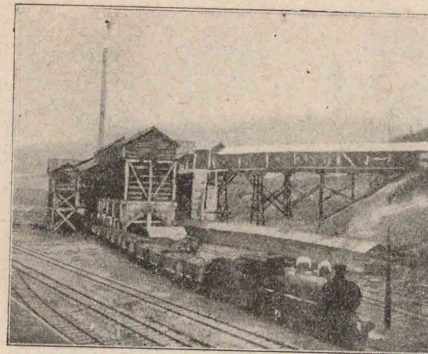








幌内の石油炭液化工厂



川上炭山

幌内平野には幌内川が流れ其の流域は所謂ツンドラをなしてゐる。

氣候 西海岸に對馬海流が流れ、

本斗・眞岡の不凍港がある。

東岸は、樺太海

流に洗はれて、數香は我が國の最寒地

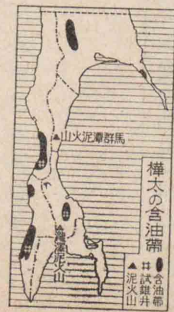
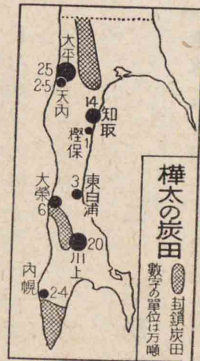
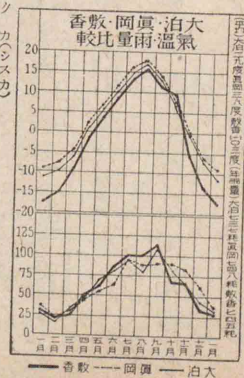
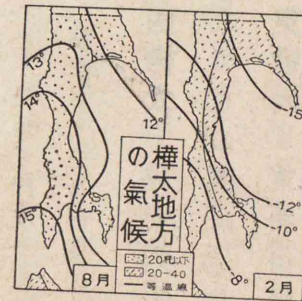
(年平均)で、大泊では、冬期碎氷船を用ひ

てゐる。

産業 石炭が

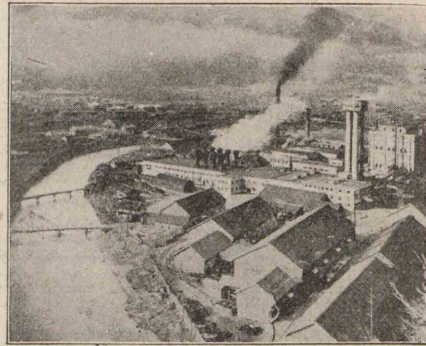
多く(概算三、川

上・惠須取・知取・泊居・内幌で採掘し

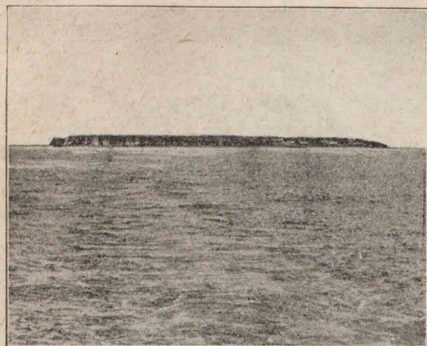


てゐる。石油は、近頃試掘中である。

農作物に、豆類・麥類(時・馬鈴薯)がある。原野が廣く牧草が繁茂してゐるから、牧畜が有望で、又養狐業も盛になつた。



豊原の紙製パルプ工場



海豹島

樺松・蝦夷松・落

葉松・白楊の原

生林が、全島の

八割を占め、蓄

積量五億石に及び、製紙パルプ

(香)の原料となる。沿岸の浅處は魚族の生育

場で、よい昆布礁があり、小川は鮭鱒の溯上を

呼び、爲に水産は本島の最富源をなし、漁期に

は、内地漁民が渡來する。鯨は西岸に、鮭・鱒・鱈

蟹・昆布は地峽部

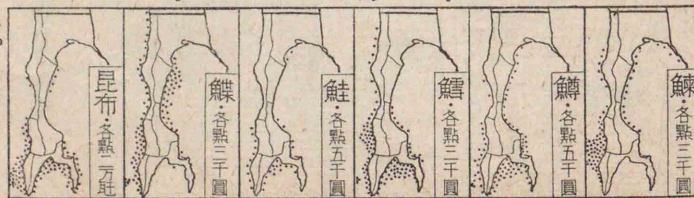
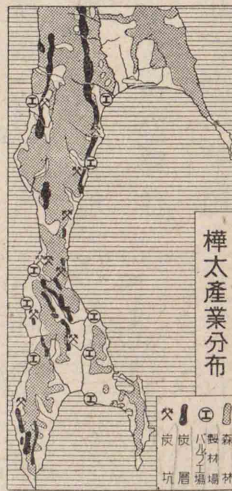
以南の海に、鰈は

東西兩海岸に多い。

海豹島は鰮鰯の繁殖地で

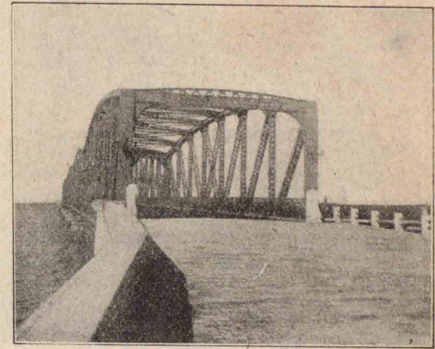
年々夏季には、三萬餘頭が上陸する。

樺太産業分布

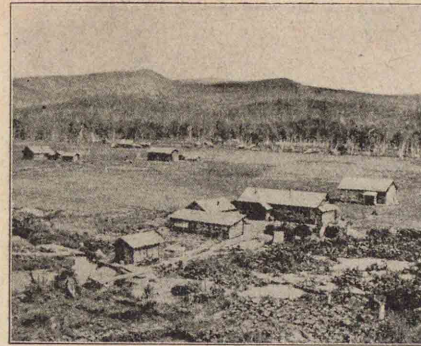




地方誌 樺太地方(交通・商業・住民・政治)



大泊棧橋



惠須取の植民部落

### 三 交通・商業

樺太廳鐵道本線(大泊・榮濱)・同西海岸線(本斗・泊居)・樺太鐵道(合香・豊眞線(手井))等、次第に備はつた。

大泊に無線電信局があり、大泊眞岡は開港で、多く小樽と取引する。

### 四 住民・政治

土人は、アイヌ・ニクブ・ン・オロッコの諸族に分

れるが、

支廳名 總數二

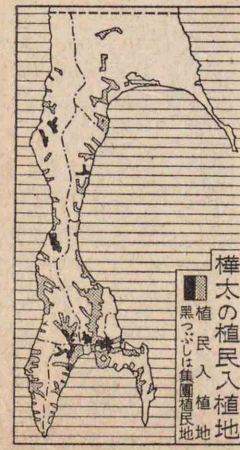
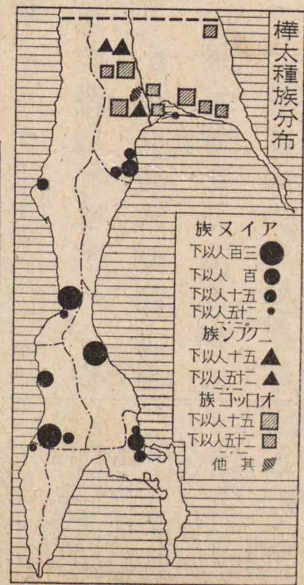
大泊 千人に

眞岡 過ぎない。

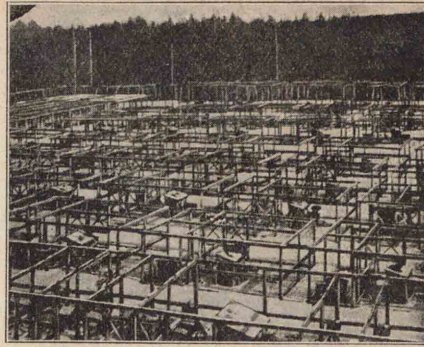
本斗 内地人は、奥羽地

元泊 方からの移住

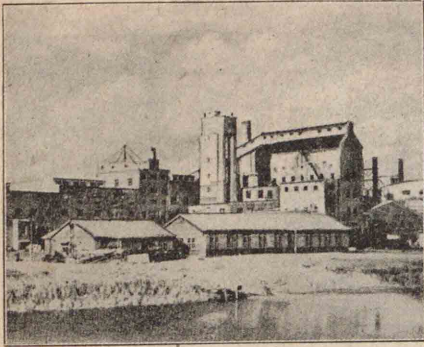
香泊 民が多い。樺



地方誌 樺太地方(聚落生活)



養狐場(大泊)



敷香(人絹工場)

### 五 聚落生活

太廳(豊原)の下に、七支廳があつて全島を治める。

中央低地南部 大泊は本島の南門で、木材・水産物を集散

し、養狐が行はれる。豊原市は本島の政治・文化の中心で、

農事試験場がある。落

合に、パルプ工場がある。

中央低地北部 知取・敷

香等の漁港・新興パルプ

工業地がある。

西樺太 漁業が盛で、石

炭(恵須取泊)が多く、恵須取

泊居・眞岡等の漁港・パルプ工業地・製紙業地が並んでゐる。

本斗は、この地帯の南門である。

北樺太 ロシア領で、大正十四年の日露條約の結果オハ油田・ツエ炭田の

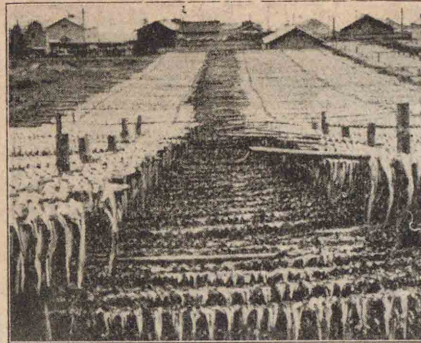




地方誌 樺太地方(特性)



朝鮮總督府 半島の統治の中樞として營まれた五階建鐵筋コンクリート造で數十種の大理石を配り詰め宏壯美麗で中央塔の高さは約五十四米ある



鱈の乾燥

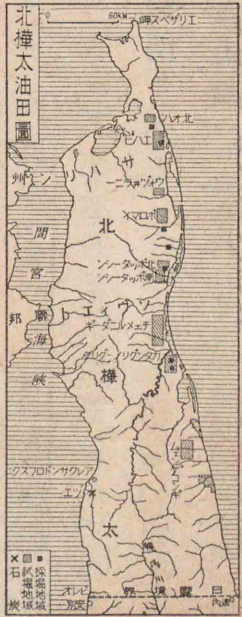


ツエ炭坑

採掘權が我が國に歸し、一千五百人の邦人が之に従業してゐる。

樺太地方の特性

初期の産業は奪掠的で、其の第一歩は漁業より初まり次に林業に移り、更に是を元としてパルプ工業が起つた。漁利林利が衰弱期となると、礦業に及ぶ順序であるが樺太廳は、今大部の炭田を封鎖してゐる。かかる奪掠經濟の後には、農牧業が起る順序であるが、まだ樺太には農牧業の見るべきものはない。



京城 遠くに見えるのは北漢山の一部で其の前の尖峯は白岳で白岳麓の堂々たる建物は總督府である。葺狀の民家は洋式の建築となり景觀が改つた

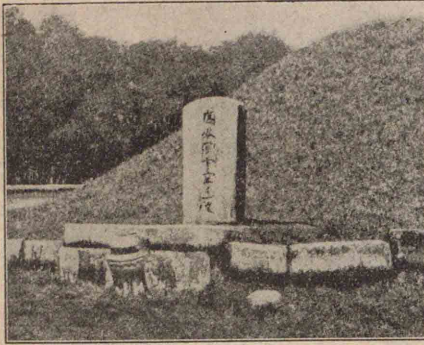


京城南大門 京城は丘陵間の盆地に發達した城市で南大門は其の玄關である。古風な城門と近代建築發展する朝鮮の儂がしのばれる

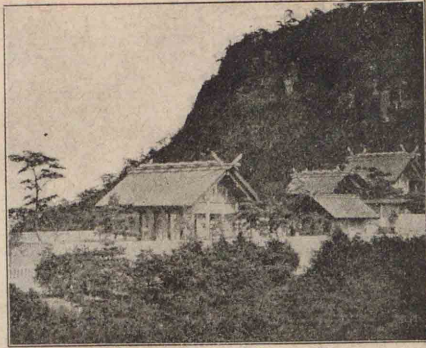




地方誌 朝鮮地方(概観、地形氣候、原始産業)



國那任たゐてし麗に國我らかく早  
(海金) 墓の王露首金の



宮 神 鮮 朝

行政区劃	道名	廳所在地
咸鏡北道	羅南	咸興府
咸鏡南道	咸興府	咸興府
平安北道	新義州府	新義州府
平安南道	平壤府	平壤府
黃海道	海州	海州
江原道	春川	京城府
京畿道	京城府	京城府
忠清北道	清州	清州
忠清南道	大田府	大田府
全羅北道	全州府	全州府
全羅南道	光州府	光州府
慶尙北道	大邱府	大邱府
慶尙南道	釜山府	釜山府

### 第十一章 朝鮮地方

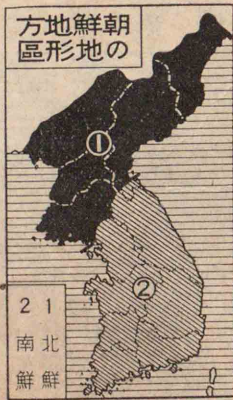
#### 一 概観

内地大陸間の半島で、古から内地と關係が深く、邦人が大陸に發展する廊下として重要である。行政上十三道に分れてゐる。

#### 二 地形氣候、原始産業

**地形區** 北部には狼林、咸鏡江南妙香山嶺、南部には太白廣州車嶺、嶺小白の諸山脈があり、東朝鮮灣、江華灣間の楸哥嶺地溝によつて、北朝鮮南朝鮮の二地形區に分れる。

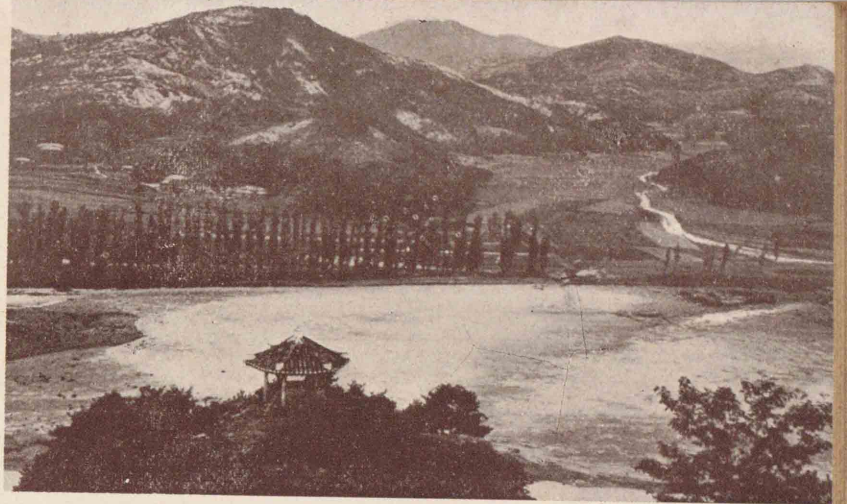
**北鮮** 狼林(平安)山脈の東に咸鏡山脈、西に妙香山脈がある。鴨綠江・豆滿(門)江は、長白



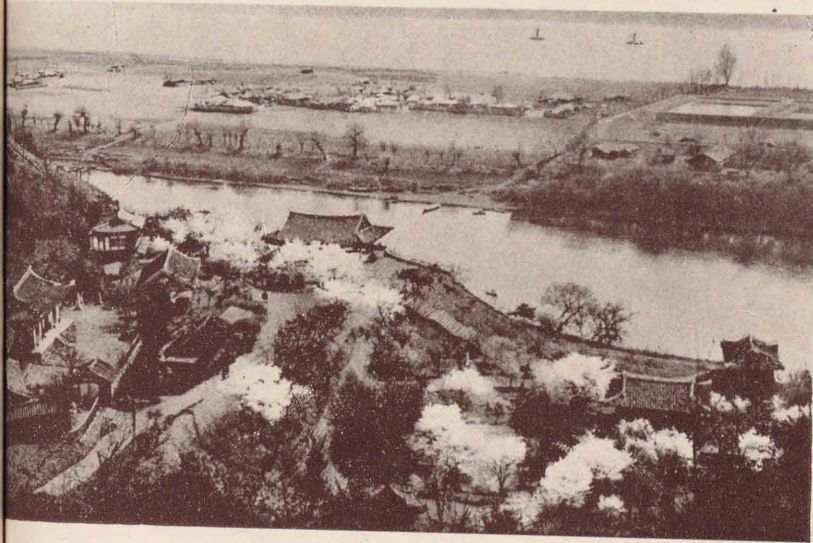
方地鮮朝  
區形地の

2 1  
南 北  
鮮 鮮

面積 三〇、六九方軒  
人口 三、五〇萬人  
人口密度 一四一人



扶餘 百濟の舊都として附近に溶花巖・平濟塔・迎日臺等の遺蹟が多い 湖南線などに恵まれないが河船湖航の經濟都市である

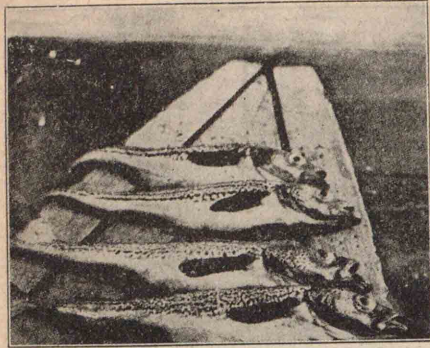


平壤牡丹臺 山形が牡丹花に似てゐるのでこの名がある 文祿・日清兩役の戰跡である 大同江は曲流し江中に綾羅島が見える



春川の牛頭山 内地と朝鮮とは古來密接な關係があつた 我が古史に素戔嗚尊は新羅に渡り曾尸茂利に居られたと書いてあるが圖の牛頭山はこの靈地であると傳へられてゐる

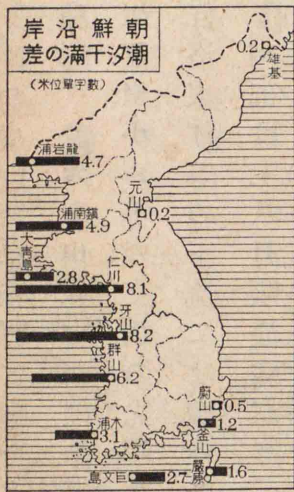




魚太明

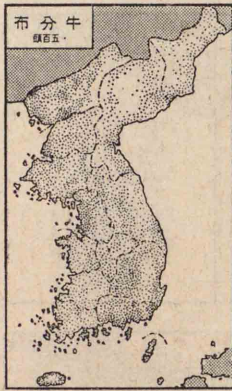


畑蔘人の城開



津で盛に製材する水産は東岸に明太魚が漁獲され、潮汐干満の差が多

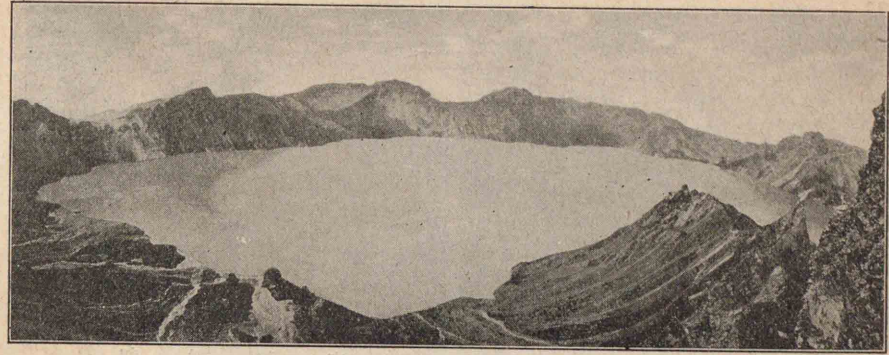
と共に二大富源で、鴨綠・豆滿の河谷では、紅松・唐檜・落葉松を伐採し、新義州・城



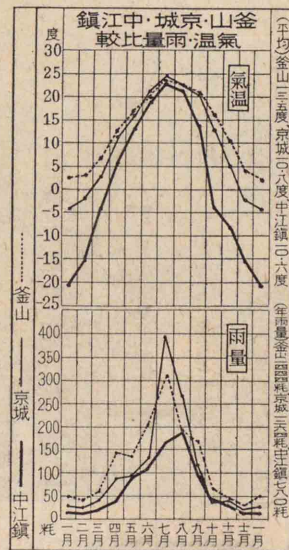
牧牛(至四十頭)乃が行はれ、内地に多くの生牛・牛皮を供給する。林産(は全鮮の七割)は、森林その大部は北に、鑛産



米は南鮮に劣るが、粟・稗・大豆・馬鈴薯・芋・果人蔘は多い。

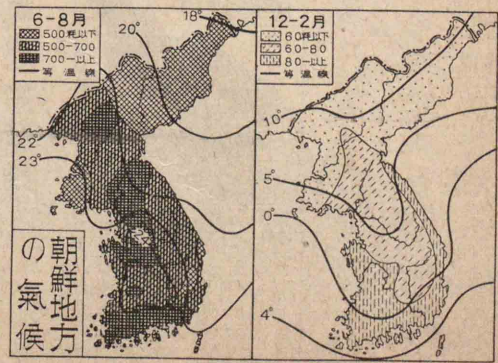


(潭王龍湖口火)頂山頭白

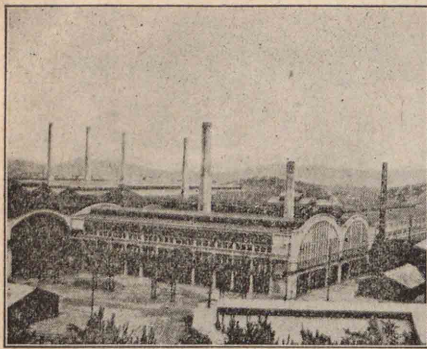


未開發の鑛山が多く、鑛業は、將來この地方に於ける重要産業の一となるであらう。

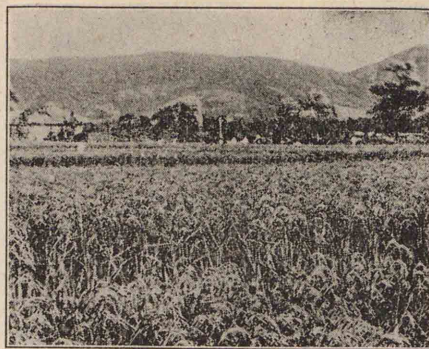
山脈(滿洲)の南側の國境を流れ、白頭山は、兩河の分水嶺となつてゐる。西部には清川江や、平壤平野を流れる大同江がある。  
①東岸は、リマン海流(流)が流れて、氣温が低い、西岸は、西朝鮮海流が流れて、氣温が比較的に高い。大陸の影響が多く、冬は河川が凍る。  
鑛産に富み、金(昌城・大榆洞)・鐵(茂山・利原)・黒鉛(興)・石炭(寺洞・無焰炭)の産が多い。今尙







兼二浦製鐵所

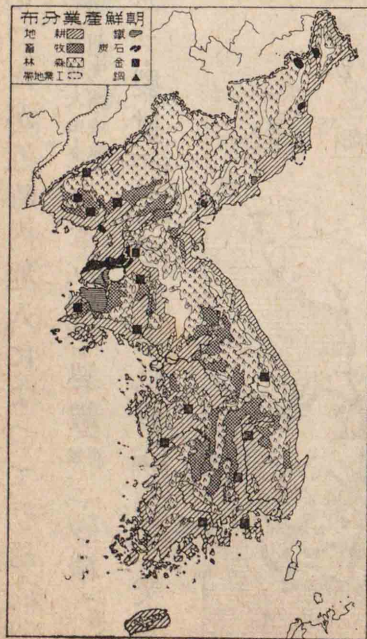


米田(京城附近)

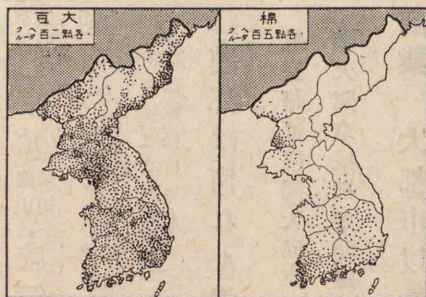
小規模の工業(織物)

三工業

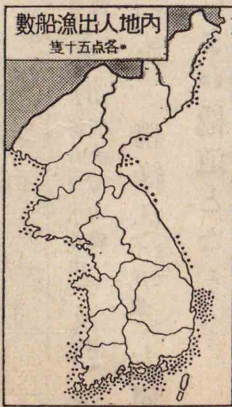
に盛である。製鹽は、朱安



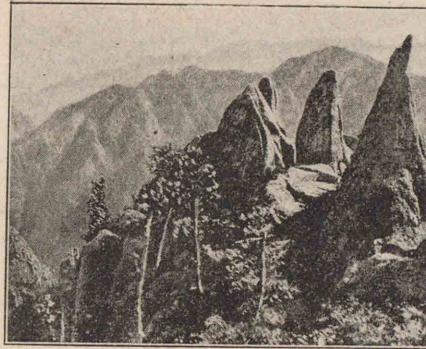
る。漁業は内地人(中國・九州)によつて發達し、鱈・鯖・鯛(以上南部)・明太



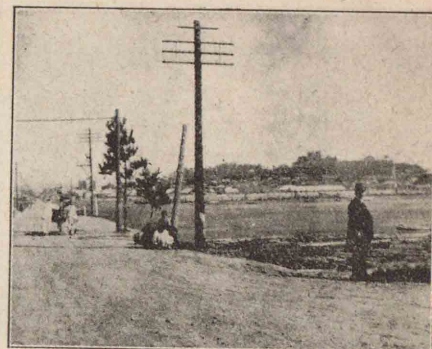
草・棉・梨を産し、養蠶も行はれ、牛・豚・馬、雞も飼はれ



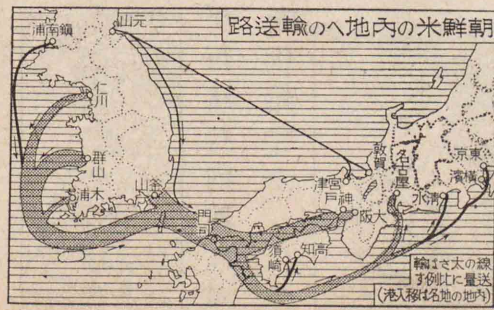
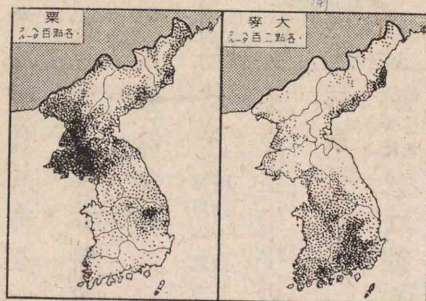
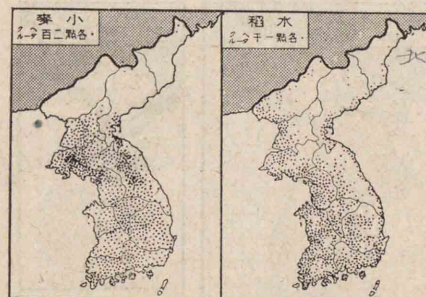
雨量が少い。礦産に、金(山稷)・石炭(陟三)がある。米は、産額が多くて内地に供給し、大麥・小麥・煙



金剛山(外剛金山物相)



仁川の千潮(仁川は近海に上流は海に流るる)



く、雨の少い西岸(廣梁灣等)に鹽を産する。南鮮(嶺南) 太白山脈中には、金剛山の名山がある。廣州・車嶺・蘆嶺・小白等の支脈の先端は沈んで遠淺となり、漢江・錦江・洛東江等の下流には、廣い平野がある。南部は七・八月頃濃霧が多いが、氣温は高い。南東季節風の吹く夏は、東部・南部が雨季となり、北西季節風の吹く冬季は、全半島が乾季となる。一般に





(物漬)人婦鮮朝むしそいに事家



(州全)場市牛

地方誌 朝鮮地方(住民政治,聚落生活)

### 南鮮

慶尙忠清全羅の南北六道で、主要農産地である。

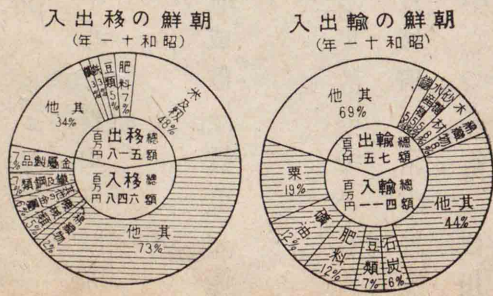
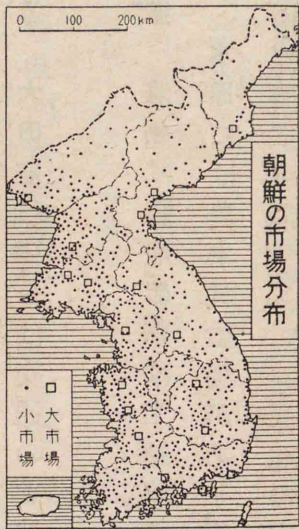
住民 大部は朝鮮人で、内地人は五十萬に及んでゐる。  
政治 總督は政務を、朝鮮軍司令官は軍事を統べ、十三道に知事が居り、道の下に、府・郡・島(郡島の島面)がある。

### 六 聚落生活

が開か  
れる。  
取引は  
内地相  
手が主  
で、滿支米英が之に次ぐ。

貿易港に、釜山仁川鎮南浦群山新義州龍巖浦木浦元山城津清津羅津雄基がある。

### 五 住民政治



(釣魚の上水)江同大の冬



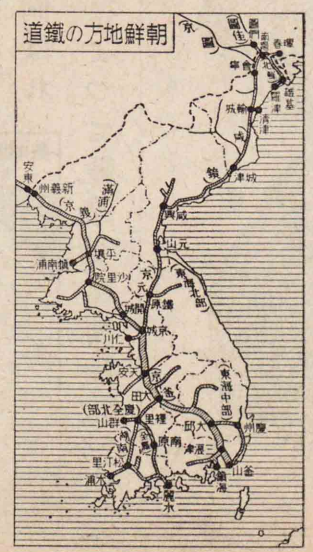
驛城京心中の通交

地方誌 朝鮮地方(交通・商業)

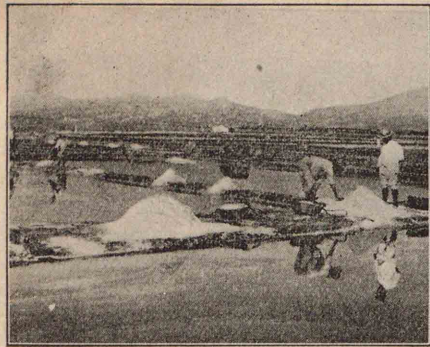
清酒(陶磁器)は古くからあつたが、近時内地人によつて、紡織(釜山木浦)・製絲(京城大田全)・皮革(大田永登浦)・製鐵(兼浦)・砂糖(平壤)・セメント(里勝湖)・パルプ・製材(以上新義州)・窒素肥料(興)の工業が起つて來た。

### 四 交通・商業

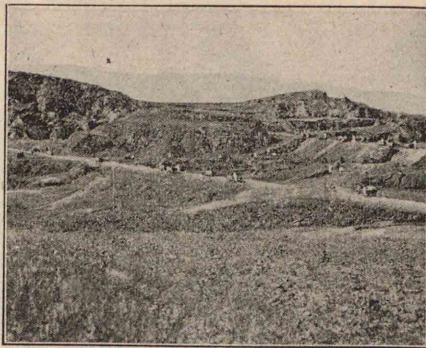
交通 近來は自動車(カマ)が轆に代り、京釜(京城釜山)・京義(京城新義州)・京元(京城元山)・咸鏡(元山咸鏡)・湖南(大田木浦)・全羅(麗水里)・北鮮鐵道(清津南陽羅津)・東海(蔚山慶元山)及び慶全(西部線、三浪津、晉州)等の鐵道が備つた。鴨綠江(中江鎮)・大同江・漢江は、何れも汽船を通じ、冬はよい橇道となる。  
航空路は、福岡大邱京城平壤新義州を連ねて大連に達する。また新義州奉天間京城裡里間、琿春清津間にも開かれてゐる。  
商業 大都市以外では、常設の商店が少く、所々に定期市







廣梁灣鹽田



載寧鐵山

地方誌 朝鮮地方(聚落生活)

中江鎮は流筏の起點、新義州府では、

平安北道 山地は、金産が多く鴨綠江の上流は、森林が廣く。

地である。

石炭の積出港で、廣梁灣は、天日製鹽

府は工業市(兵器砂糖七、鎮南浦府は鐵

平安南道 寺洞は炭坑地、古都平壤

がある。

(金)等、鑛産地が多く、兼二浦に製鐵所

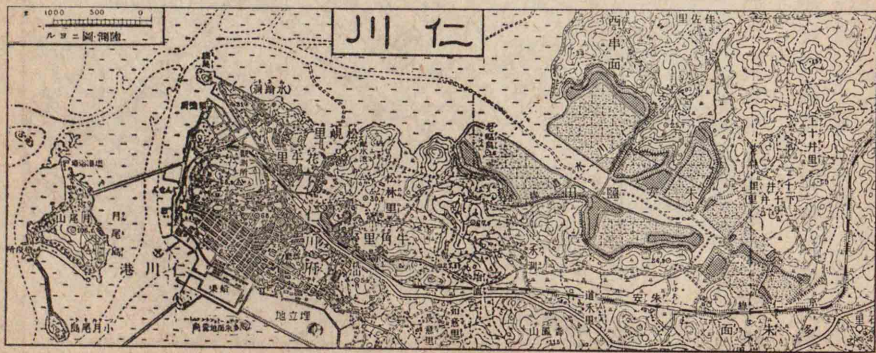
北鮮 黃海道 載寧、殷栗(以上)遂安

江原道 春川には素戔鳴尊の遺蹟と言はれ

る牛頭山があり、長箭は漁港である。

府は對支取引が多く、開城府には人

蔘の特産がある。



木浦港の棉積出



慶州外郊(新羅代の天文台)

地方誌 朝鮮地方(聚落生活)

慶尚南道 釜山府は半島の南門、馬山府は米、水産物を集

散する。鎮海は海軍の要港で、蔚山は漁港である。

慶尚北道 慶州は新羅の舊都、大邱府は盛な定期市(穀類

梨、果)が行はれる。

全羅南道 米、楡(米國種)の大産地で、内地人の農家が多い。

木浦府は棉、水産物の積出港で、又精米業地である。光州

府は農産の中心、麗水は下關との連絡港である。

全羅北道 全州府、裡里は、湖南平野の中心で、群山府は、米

の積出港である。

忠清南道 大田府(内地人)は交通の要地、成歡は眞瓜を産

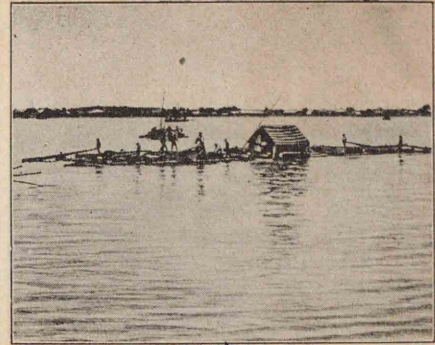
する。

忠清北道 清州は勝地、忠州は米、煙草の集散地である。

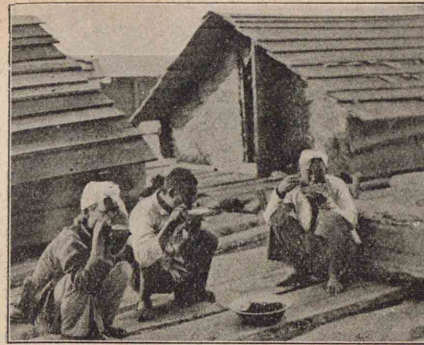
京畿道 水原には農事試験場があり、京城府は、全半島の

政治、學術、經濟、軍事(師團司令部)交通の中心である。仁川



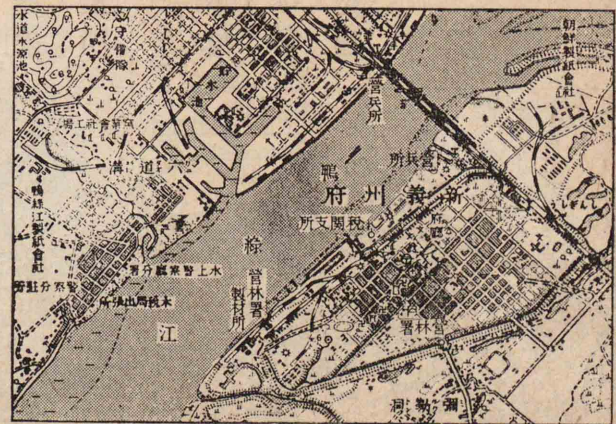


鴨綠江の流筏



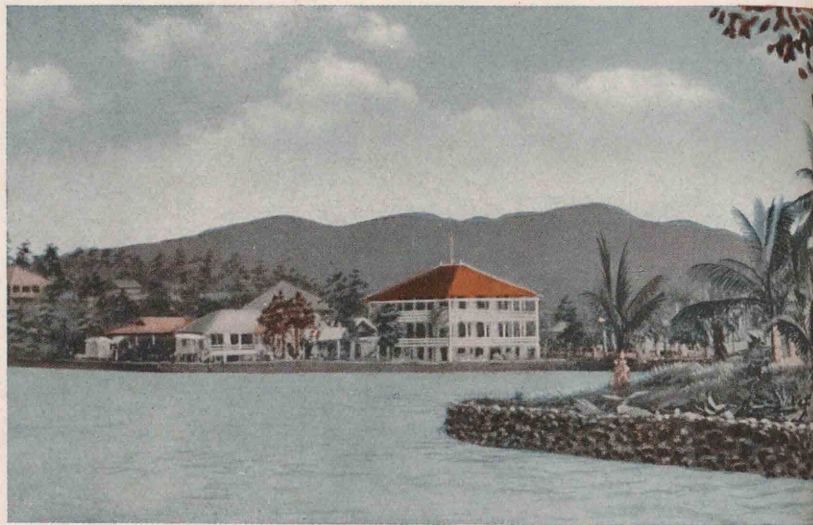
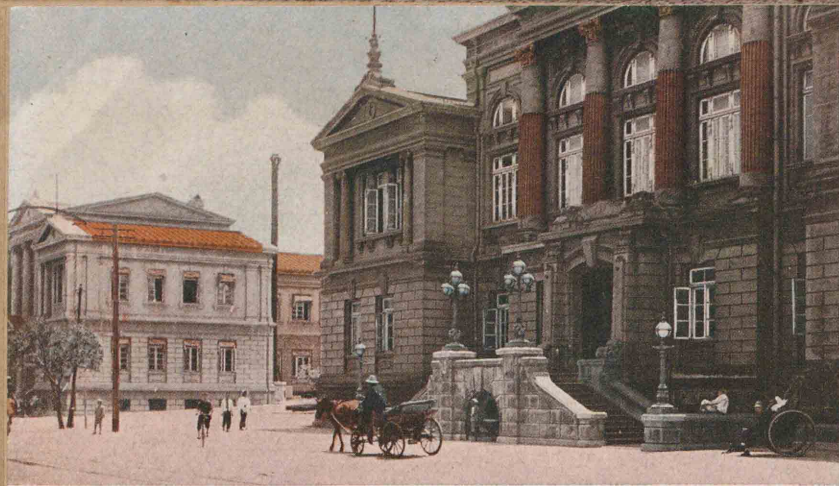
鴨綠江上滿洲國人の筏

木材・パルプ・燐寸軸木の製造が盛である。  
 咸鏡南道 元山府は開港場(大豆、生牛、米)の集散地、咸興府は農産物(大豆、生牛、米)の集散地、咸鏡北道 日滿交通の要衝地で、羅津府をはじめ、雄基、清津府、城津は日滿の連絡港である。  
 羅南には第十九師團司令部、會寧には第二飛行團司令部がある。



朝鮮地方の特性 南鮮北鮮によつて情勢を異にし、北部は鑛農林工業地、南部は農業地である。全人口の七割は農民で、密度は南鮮に多く、農民は、小作農が大部で、北朝鮮には火田民もゐる。

大連滿鐵本社 南滿洲鐵道株式會社は明治三十八年に設立され其の後増資して今は八億圓の大會社となつた 滿洲開拓の母である

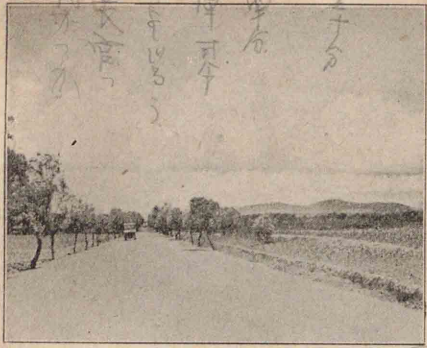


ヤップ島海底電信所 ヤップ島は海底電線の仲繼所として重要な位置にある 琉球との間の線は我が所有線である

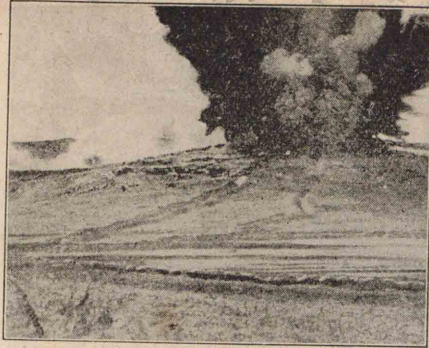


パラオ島からアラカベ山遠望 鬱蒼たる森から高く抜き出るココヤシに纏繞植物が纏ふ 青空と碧海と紫のアラカベ山とが相應じて熱帯氣分がする





(金山路大) 州東關、低の山



(雞東役縣日) 河血山屍

地方誌 關東州地方(概観、地形氣候、原始産業)

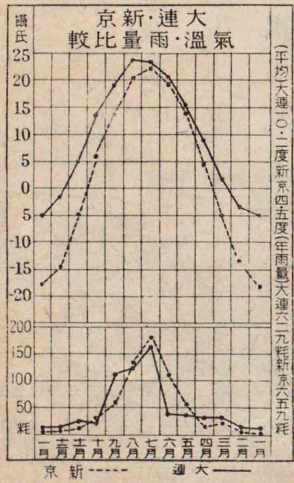
日露戦役によつて、ロシアの租借權を受けついで地で、渤海灣の喉元滿洲國の門戸に當り、我が大陸發展の生長尖端である。

二 地形氣候、原始産業

区域内には丘陵性の本幹山脈が連り、金州・大連・二灣が彎入して、複雑な海岸線をなしてゐる。

寒暑の差が甚しく、雨量は夏のみが多い。

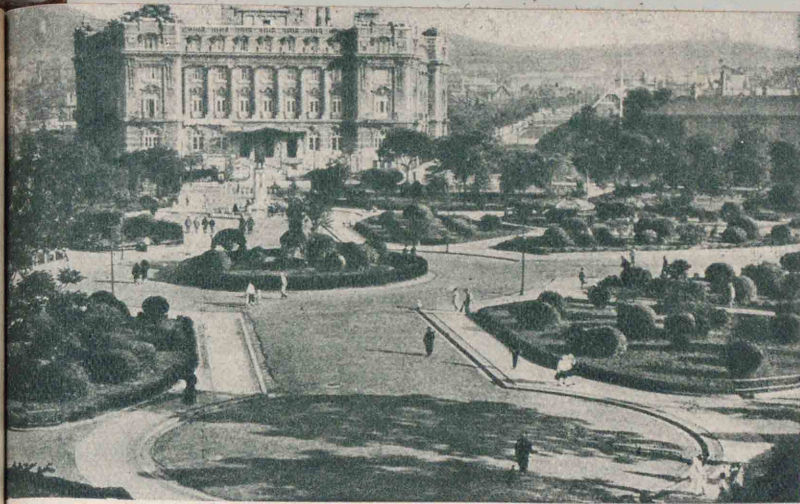
土地は瘠せてゐるが、住民は勤勉でよく土地を耕し、大豆・高粱・玉蜀黍を産し、都市附近には蔬菜栽培、村落には養蠶が行はれる。



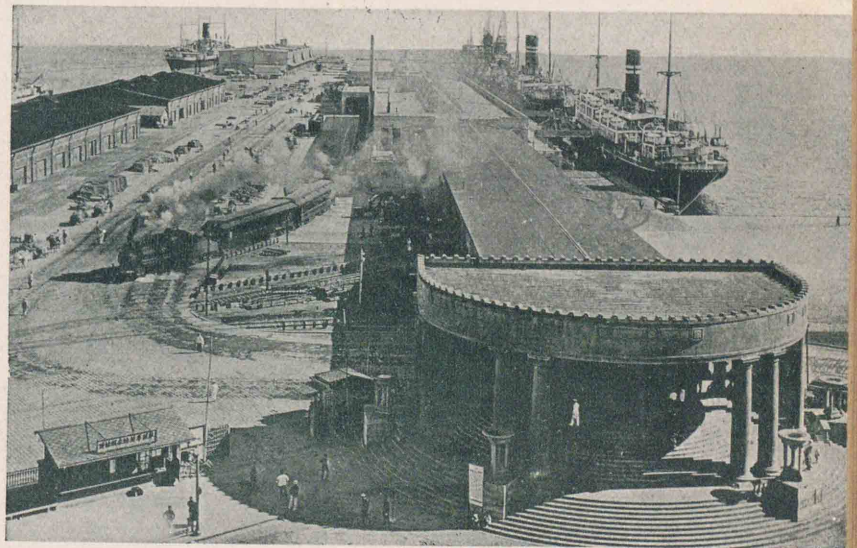
第十二章 關東州地方

一 概観

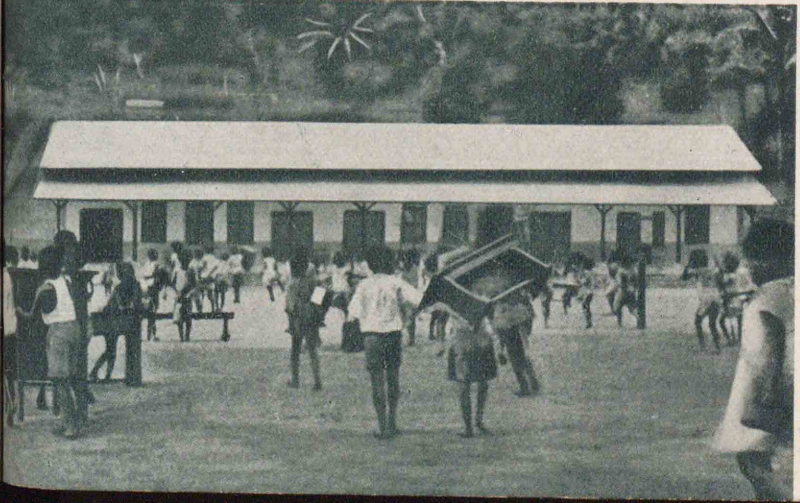
面積 三、七五方里  
人口 一、六八萬人  
人口密度 四二一人



大連大廣場 大連大廣場の美觀は我が大陸發展の旺盛の一端を窺ひ得るものである。大建築はヤマトホテルである。  
昭和十二年九月一日旅順要港司令部繪畫課



昭和十二年九月一日旅順要港司令部繪畫課  
大連埠頭 滿洲國の大支關大連港は其の規模が宏大で岸壁には同時に數多の巨船が碇泊することが出来る。其のよい位置は更に發達を促すであらう

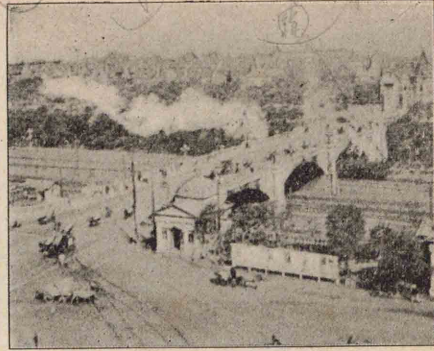


バラ才島の公學校 深緑の森蔭に眞白なコンクリート校舎がある。一週間の課業を終へて大掃除をしてゐるところ。我が文化はこゝから入る



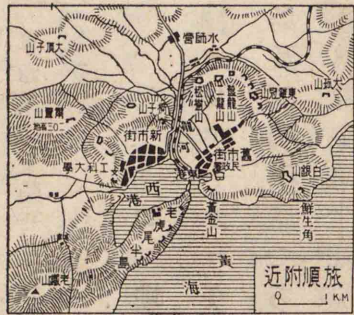


山の豆大の洲満



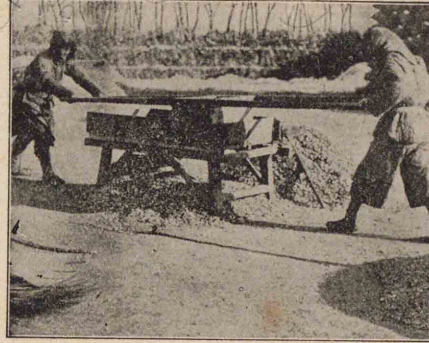
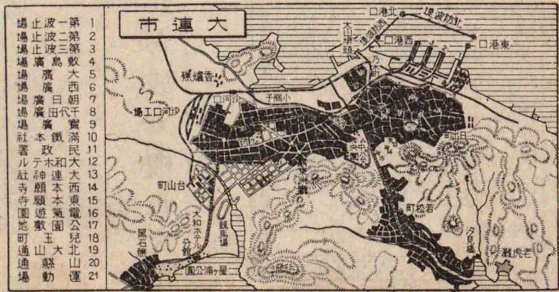
橋本日の連大

地方誌 關東州地方(聚落,特性)



大連市には、關東州廳・南滿洲鐵道株式會社があり、西郊の沙河口は工業聚落である。旅順市の東港は海軍の要港、西港は大連の補充貿易港で、高等法院・工科大学がある。

關東州地方の特性 鐵路航空路の集中、要塞的政治市、文明國の威力を十分に現した交通工業貿易都市の存在、富裕安全に幸福な生活を送る漢族何れも強國日本の生長尖端としての特性をよく現してゐる。



(穫收花生落)民州東關むし樂を和平



(窩子窰)山の鹽

地方誌 關東州地方(交通・工業・商業,住民政治)

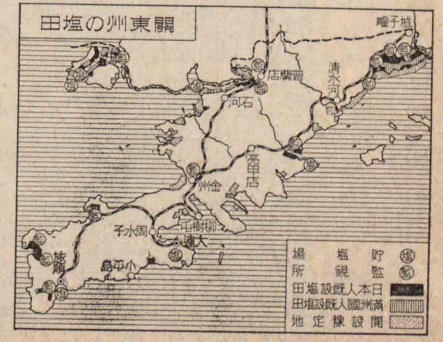
近海は漁利が多く、天日製鹽(窰子窩)が盛である。

### 三 交通・工業・商業

大連は、内外に航路を開き、連京線(大連奉天)の起點で、豆油・豆粕を製し、大豆・豆粕・豆油・石炭・小豆と共に輸出する。又硝子・煉瓦・セメント(周子綿絲)を産して、輸入の綿布・煙草・機械・金屬製品と共に、滿洲國に供給する。中繼貿易が多いから、自由港制が布かれ、滿洲商圏の中心となつてゐる。

### 四 住民政治

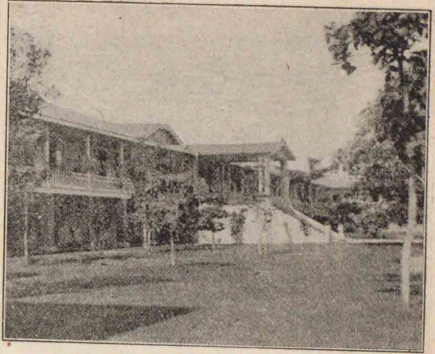
帝國の統治以來漢族の來住が相次ぎ、人口は百萬(内地人を遙に超えた)。大連に關東州廳、その下に五民政署(金州・旅順・高店)があり、新京の駐滿全權大使(關東軍司令官)の監督の下に、行政が行はれる。



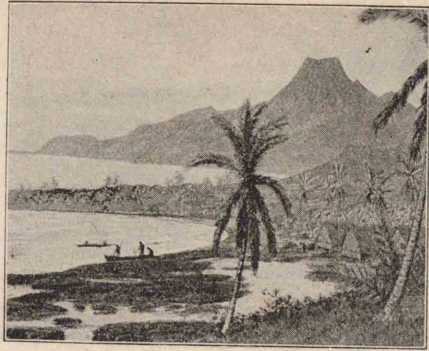
170 内大船下... (Handwritten notes at the top of page 153)

830 51mm... (Handwritten notes at the top of page 152)





南洋廳



南洋の火山島(ガバ島)

### 第十三章 南洋群島地方 概観

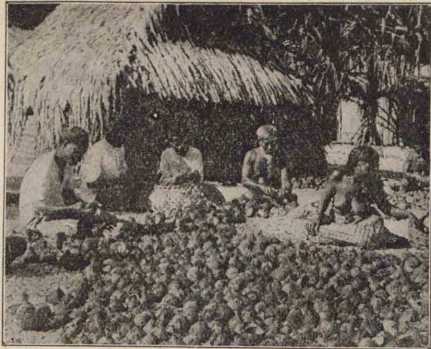
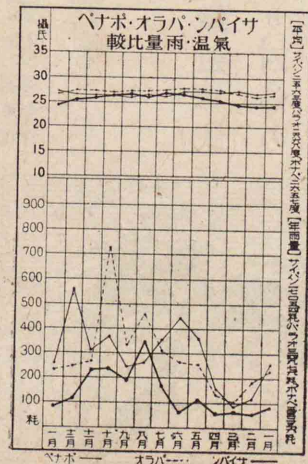
面積 三、四万平方キロメートル 人口 二〇三萬人 人口密度 四八人

ミクロネシア(小島)の大部である。財政は獨立し、土民の教化も著しく、軍備施設を禁ぜられ、大富源も望まれないが、我が南方發展上、大切な處である。

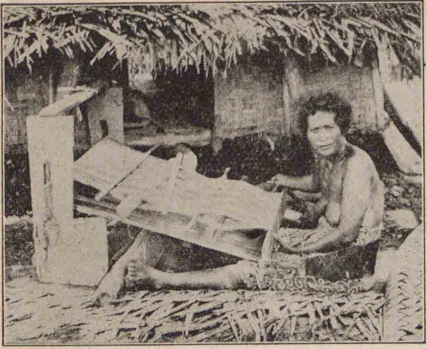
#### 二 地形氣候原始産業

① マリアナ・カロリン・マーシャル三群島から成り、概ね火山島及び珊瑚島である。

② 熱帯海洋性氣候で、北東貿易風帯にあるのと驟雨との爲、凌ぎ易く、四季の變化(年中二、三度)晝夜長短の差が少い。



コブラ製造(ヤール島)



カナカ族の織機

椰子が作られ、サイパン島等で、甘蔗が栽培され、コブラ・砂糖が主産物である。水産に、貝殻(ボタン)・海參がある。燐礦(アンリグール)・ボーキサイトは、有望な礦産である。

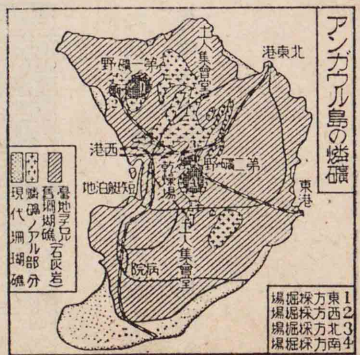
#### 三 交通・商業・住民・政治

交通商業 サイパン・パラオ・ヤップ・ヤルト・アンガウルは開港で横濱と取引する。

住民 土人はカナカ・チャモロに分れ、總數五萬である。内地人は五萬三千人で、沖繩縣よりの移民が多い。

政治 コロール島に南洋廳を置き、管下を、サイパン・パラオ・ヤップ・トラク・ポナペ・ヤルトの六支廳に分けて、統治してゐる。

#### 四 處誌



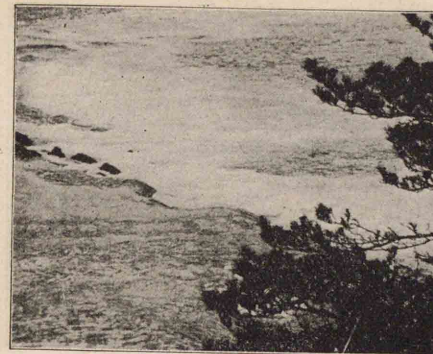




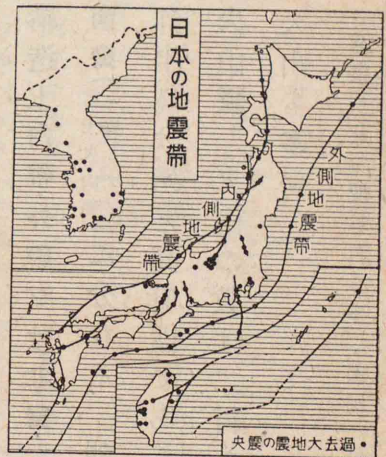




(東京東) 災震の年二十正大

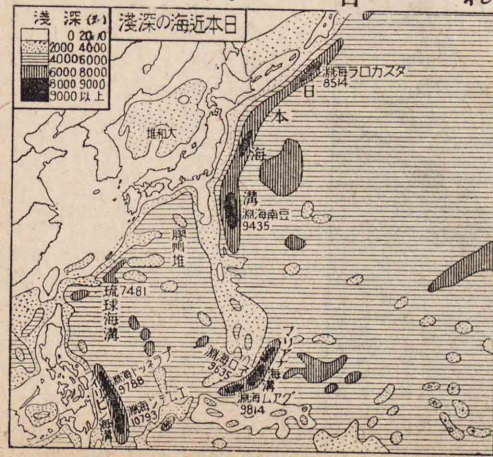


映海門鳴



地震 地震が多く(古來大地震) 内に内外兩地震帯に起る地震は被害が大きい。

河川 短く且急流で、水運の便が少く、水害の憂があるが、灌漑・發電に利用される。朝



鮮半島の河は稍大きく且流れが緩やかで、水運の便がある。湖沼 大抵は淡水の小湖で、各方面に利用される。平地 河岸海岸にのみ存し、又山間には盆地が多い。平地が狭い結果、農業は小規模に行はれる。

海岸線 出入が多く、良港灣に富んでゐる。特に北西九州が著しい。

### 第二節 海洋

近海 外側には深い日本・マリアナ・パラオ・琉球等の海溝があり、内側には日本海・オホーツク海・黄海・東支那海・瀬戸内海等の縁海があつて、是等は概して浅い。

海流 日本對馬の二暖流、千島樺太リマンの三寒流があり、氣候産業に影響してゐる。

潮汐 干満の差は、黄海岸(仁川附)・有明海岸(三池)・太平洋岸に多く、日本海岸(佐渡)は少い。



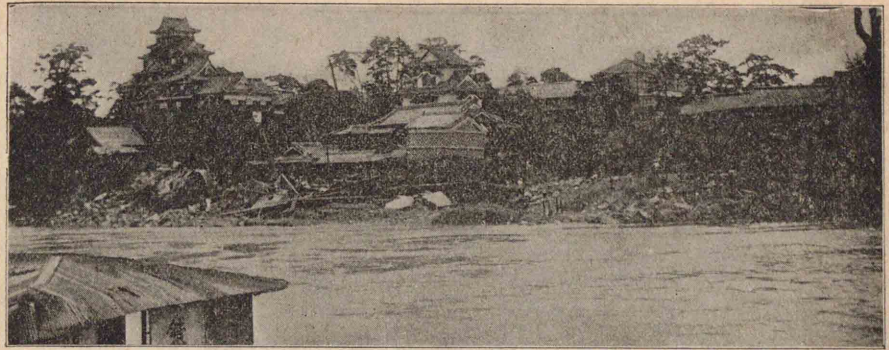
### 第三節 氣候

臺灣式(亞熱帶性)・表日本式・表奥羽式・裏日本式・南海式・山陰式・瀬



(牧放の鹿馴) 帶ラドンツ謂所の太樺





(近附城山岡日二十月九年九和昭) 状惨の水洪大

總括 自然地理(氣候)

戸内式・内陸式(州本  
中部・北海)表北海道  
式・裏北海道式・樺  
太式(帶亞性寒)朝鮮式  
(性大陸)小笠原琉球  
式・裏南洋式(海熱帶  
性)に分れる。

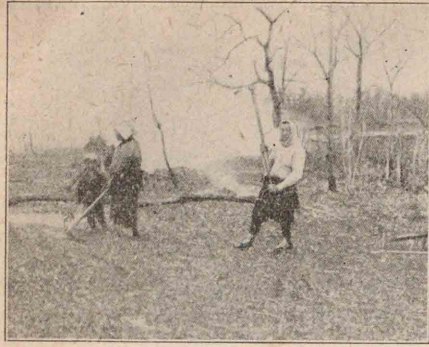
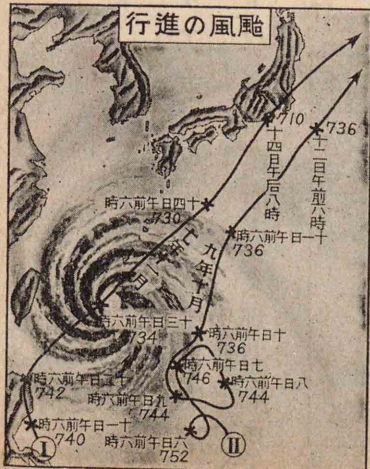
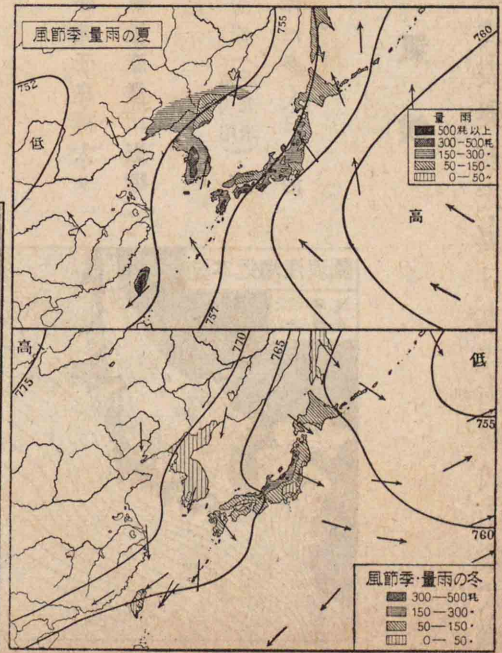
気温 差が多く琉

球小笠原は年平均二十度を超えるが、  
樺太北東部では零度以下である。

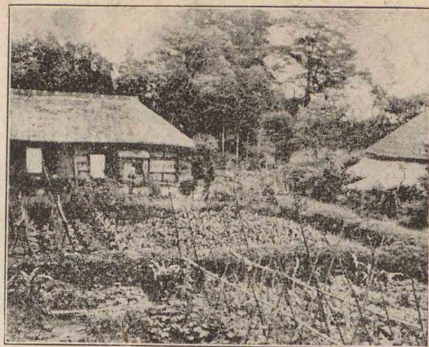
季節風は、夏冬によつて異り、其の交替  
期(九月)には、屢低氣壓が襲來する。

濃霧 寒暖二海流の關係で、北東日本  
に屢起り、気温を下げ、航海を妨げる。

雨量 緯度の關係上臺灣(火燒寮)南洋

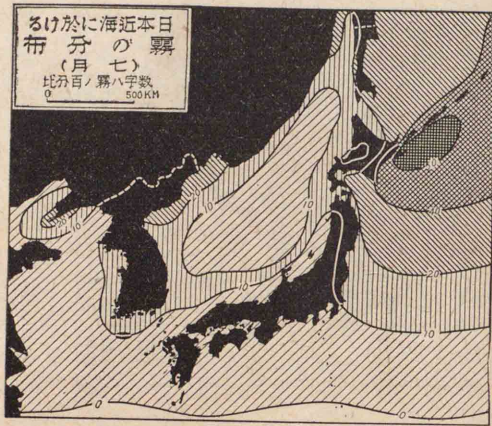


(路劍道海北) 墾開の野原



(めたい少が地耕) 業農的約集用利地宅 け於に縣木栃

總括 人文地理(産業)



## 第二章 人文地理

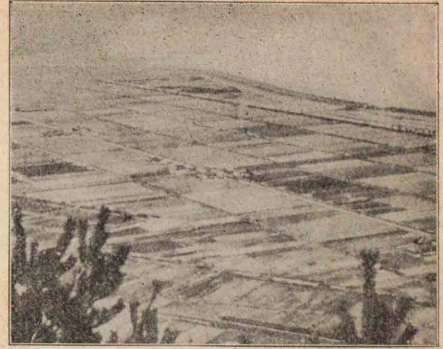
### 第一節 産業

#### 一 農業

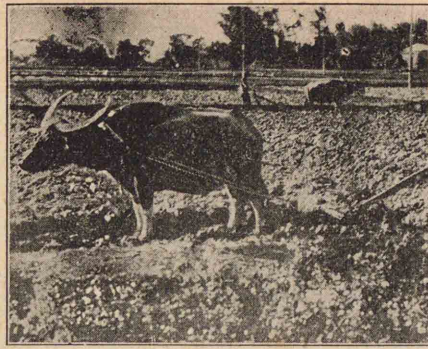
農を立國の大本とし、明治維新以來政府の奨勵により、耕地を開き耕作法を改めたので、農業は急激に進歩した。耕地は土地の傾斜三十度を限度とするから、地形

は多雨で樺太北朝鮮關東州(旅順)は少雨である。風向山脈の關係で、本州・四國・九州の南岸、朝鮮の南部は、夏に雨が多く、本州の日本海岸は、冬に雨雪が多い。東北地方以南では初夏に梅雨がある。氣候が多様であるから、生物の種類が甚だ多く、宗谷海峽・津輕海峽・奄美大島・近海・朝鮮海峽は分布上の重要な境界線となつてゐる。



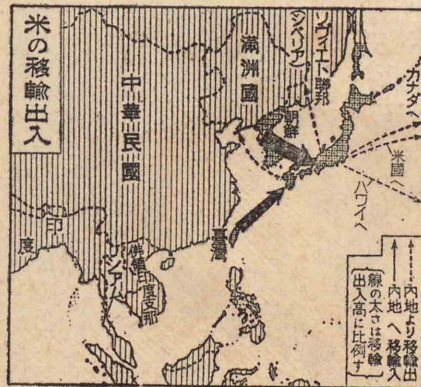
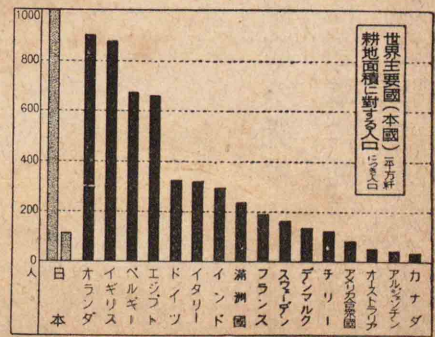
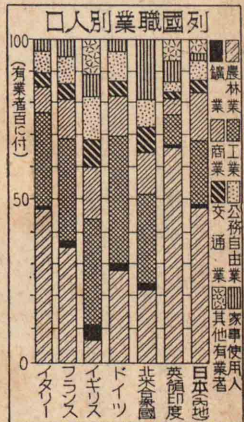


(田水の地開新)島半島兒

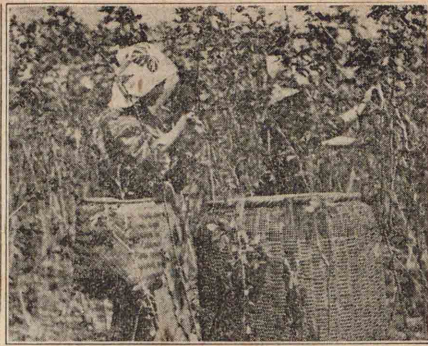


竹耕の灣臺るよに牛水

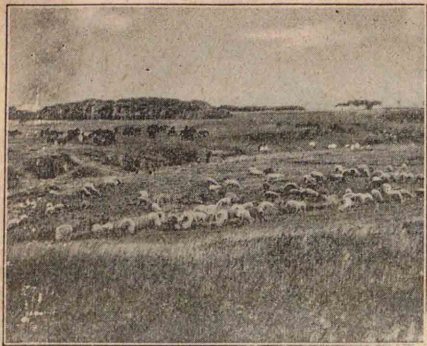
上面積に比して廣くない。農業者國民の約五割を占め、農家一戸の平均耕地は、僅かに一ヘクタールに過ぎず、列強に比し頗る少い。



主要農産物 農産物の總額は約二十六億圓(内地)で、收穫の多少は國家經濟に大影響を與へる。米は年産額一億(内地)に及ぶ。臺灣朝鮮よりは年々内地への移出が多い。大麥は關東朝鮮稷麥は、中國、四國、九州、小麥は、關東九州朝鮮に多い。大豆は朝鮮、奥羽九州、甘藷は臺灣九州、甘藷は臺灣が主産地



(縣野長)み摘桑



(羊は養)牧放の近附峠勝十

である。茶は、輸出農産物の首位で、静岡、京都、鹿兒島、三重、埼玉の諸府縣に多く、緑茶を主とし、臺灣では烏龍茶、包種茶を主とする。

### 二 養蠶業

世界一の養蠶國で、主に排水佳良で、水田とすることの出来ない土地が多い地方、即ち奥羽濃尾平野間に盛である。

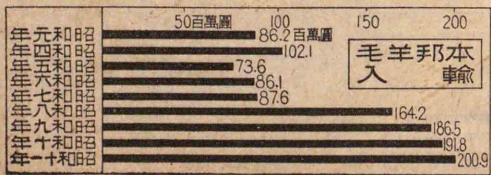
産額 繭は總産額三億圓、長野縣が第一で、群馬、愛知、埼玉、山梨、茨城、三重、岐阜、福島の諸縣が之に次ぐ。

### 三 牧畜業

牧馬は東日本、牧牛は西日本に盛である。豚は臺灣、沖繩、鹿兒島に多く、朝鮮の牛、豚は内地よりも多い。雞は愛知、鹿兒島、千葉、静岡、朝鮮、臺灣に多い。牧羊は振はず、羊毛の輸入が莫大である。

### 四 林業

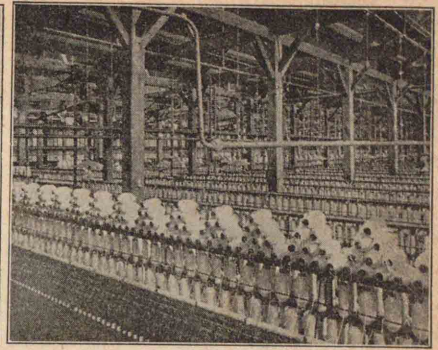
製紙工業の盛大、建築物の激増等によつて不足をつげ、北米、シベリア等から輸入してゐる。



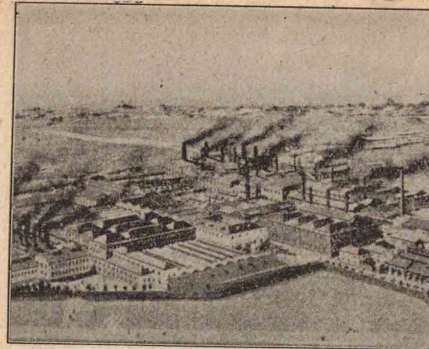








(阪大) 室紡精の紡鐘



(屋古名) 場工社會器陶本日

済可許部令司關師三第日七月七年三十和昭

西歐諸國・北米東岸と共に、世界有数の工業地帯をなし、阪神(紡績造船・京濱(雑工業)・中京(織物業)・北九州(製鐵・セメ)の四大工業地帯がある。

主要工業物 織物は我が屈指の工業品で、綿織物は近畿東海瀬戸内海岸地方特に愛知縣(七分)・大阪府の産額が多く、綿絲紡績は大阪(二)・愛知兵庫の諸府縣が盛である。生絲は長野愛知群馬山梨埼玉福島の諸縣絹織物は、福井(羽二重)・京都(縮緬・壁)・石川(富士絹)・群馬(銘仙・富)の諸府縣が盛である。絹織物は、福井群馬二縣に多い。絹綿交織物は、京都愛知福井新潟麻織物麻交織物は、滋賀兵庫大阪富山晒染物は大阪京都和歌山、メリヤスは大阪東京愛知兵庫等の諸府縣に盛である。陶磁器は愛知(四分)・岐阜京都三重大阪佐賀瓦煉瓦は愛知(六分)・兵庫岡山硝子製品は愛知(五分)・大阪(七分)・京都漆器は静岡愛知京都和歌山石川福井肥料(植物)は兵庫静岡福岡清酒は兵庫(三分)福岡京都廣島砂糖は臺灣沖繩を主産地とする。

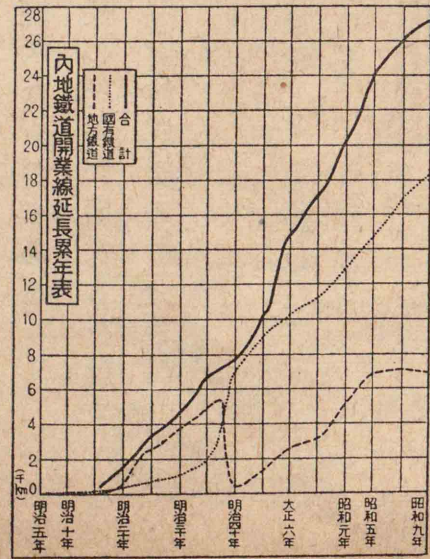
第二節 交通

一 道路

自然的道路(原始的)と人工的道路(石木材土瀝青煉瓦)とあり、自動車の發達と共に、益々重要となつた。

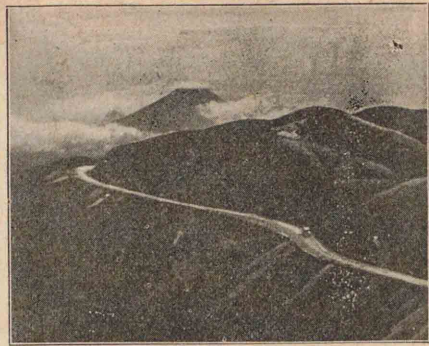
二 鐵道

國有主義で、内地は狭軌(三呎六吋)・朝鮮は標準式(四呎八吋半)が多く、總延長約三萬千(内地二萬二千、外地八千)に及んでゐる。

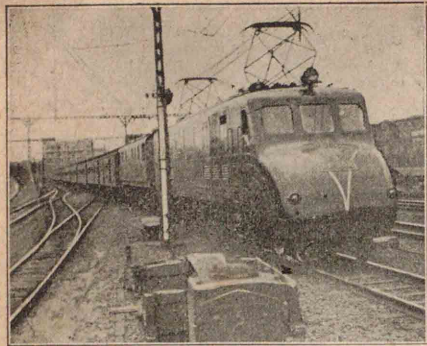


鐵道の分布 内地の幹線鐵道は、東北函館宗谷根室東海道・山陽・山陰・鹿兒島等で、臺灣には縦貫線、朝鮮には京釜京義の二幹線がある。關東近畿の平地北九州の炭坑地、臺灣平野の糖業地は、線路網が最も密で、大都市には高架鐵道地下鐵道も敷設せられてゐる。

三 水運



一エウヰイラドの峠國十根箱



車關機氣電型線流

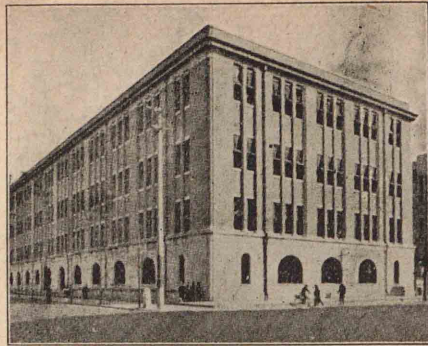




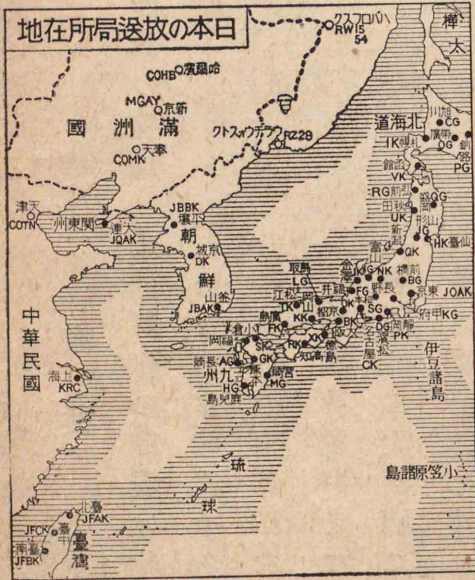




(年一十和昭) 中語通て話電線無と丸父鉄の中海航  
日七月八



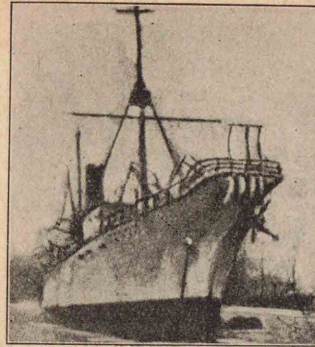
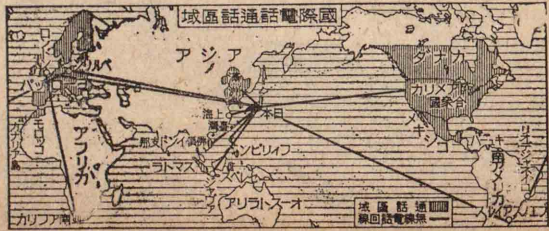
局話電央中京東



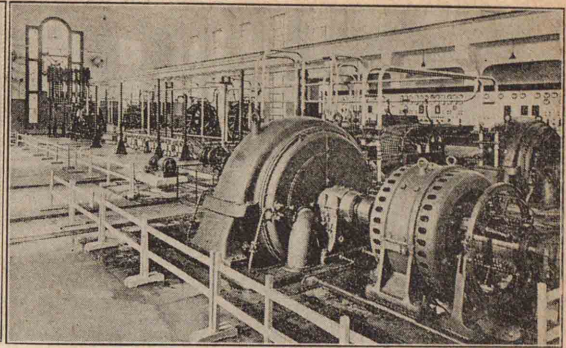
海(こ)で(歐洲)間の上海線とが、最も利用される。  
無線電信は近年著しく發達し、東京大阪の  
兩局は、海外諸國と通信する。  
明治二十三年に創設せられ、有線電話は著  
しく發達し、尙加入申込が殺到するが、經費

七 電話

の係上の關  
その係上の關  
を充たし得ない。  
ラチオ放送局は約  
三十所に設けられ、  
對外無線電話も開

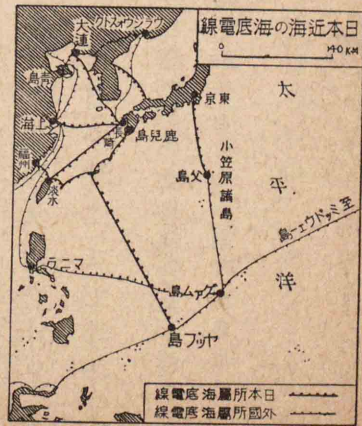
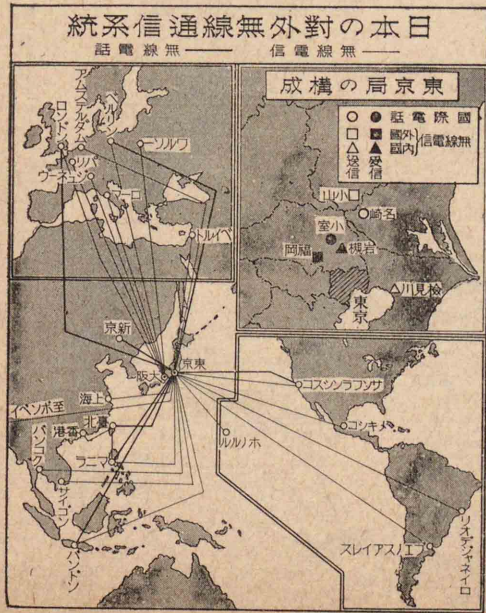


船設敷線電底海



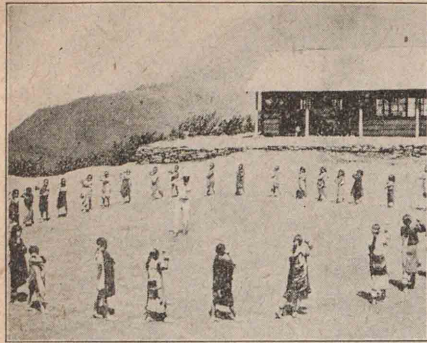
部内所信送美佐依

明治初年に郵便制度を創設し、  
同十年萬國郵便聯合に加盟し、  
今やその發達は歐米諸國を凌  
駕してゐる。急を要するもの  
には飛行郵便がある。  
六 電信  
明治二年、東京横濱  
間に初めて電信を  
通じ、明治十二年に  
は、萬國電信條約に  
加盟した。  
海底電線は、東京父  
島(平洋線に續く)間の  
小笠原線と、長崎上

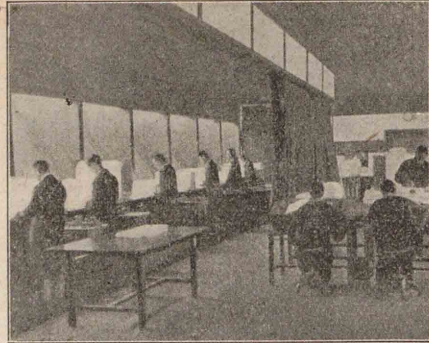




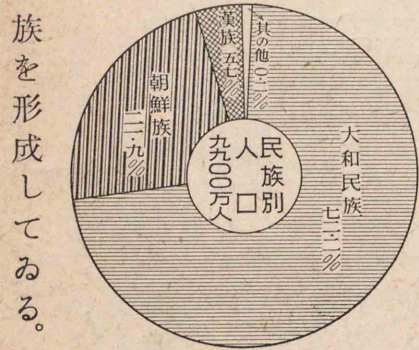
總括 人文地理(住民)



戲遊の童兒族砂高の山板角灣臺



所查檢糸生濱橫



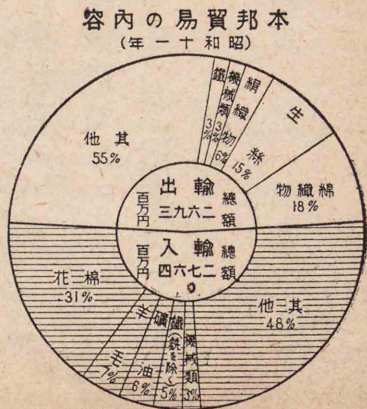
族を形成してゐる。多いが、よくこれに同化して團結鞏固な日本民



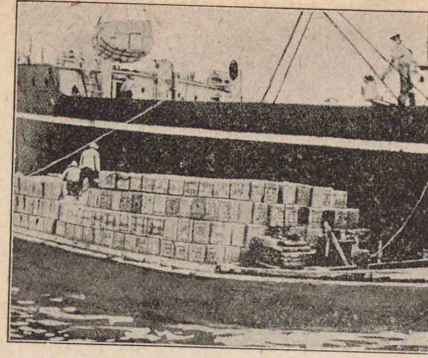
輸出 米國關東州印度を主要顧客とし、綿織物生絲を主輸出品とする。  
 輸入 米國印度滿洲國との取引が主で、棉花羊毛礦油が主輸入品である。

### 第四節 住民 一種族

大和族は全人口の八割を占め、優秀民族として特有の美風を有する。其他朝鮮人漢族も



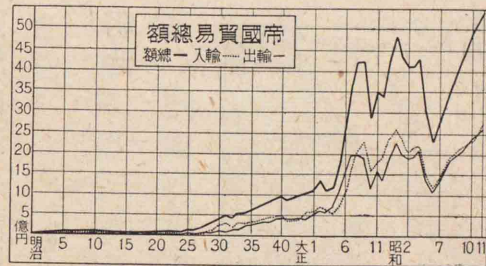
總括 人文地理(商業)



み込積の茶の港水清



(近附橋本日) 區心核業商京東



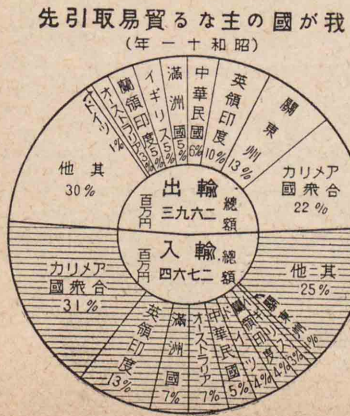
取引する。開港は内地に三十七港樺太に二港、臺灣に七港、朝鮮に十二港、南洋に五港、關東州に二港ある。

貿易 貿易額は年五十數億円で、其の約八三割を、神戸橫濱大阪で商圏 二大商圏に分れ、東京は東日本、大阪は西日本の中心である。

### 商業の種類

### 第三節 商業

設されてゐる。







民移本日の國洲滿くつに路歸り終を務農の日一

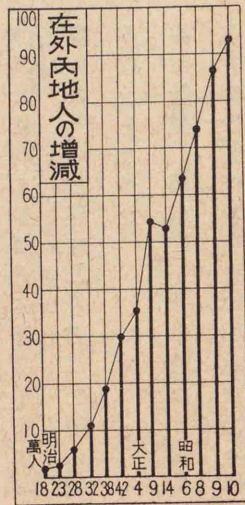
總括 人文地理(住民)

我が國の方言 徳川時代に關所を設けて交  
接な關係がある。  
國語と國家 國語の統一は、國家の統治と密

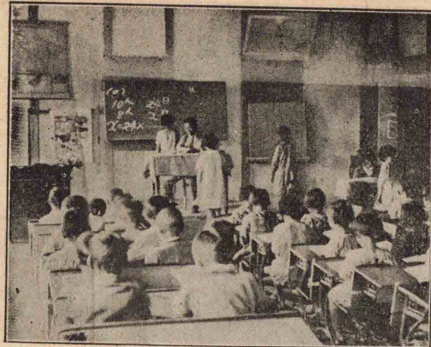
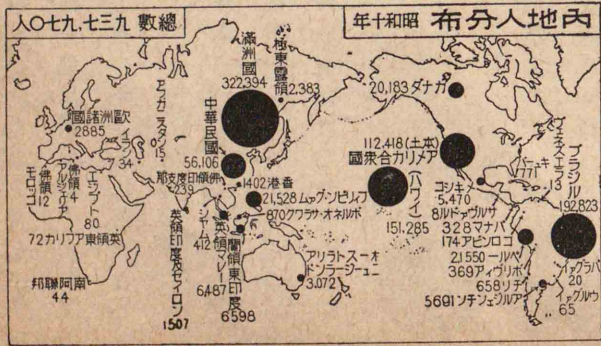
三 言語

近年滿洲國への移民が急増した。  
數は約九十萬である。  
移住 内地人植民(ある者) 數は約百  
萬で、總人口の三分五厘、移民(ある者)  
數は約九十萬である。

を第一とし關東州の七十九人、臺灣の三人、内  
地の一人などが之に次いでゐる。



人口増加の二要素 人口の増加には、自然的増加(出生が死亡より多い)と社會的増  
加(來住者が往住)との二がある。  
我が國の自然的増加は、人口一千  
に對し一四で、列強に比して多い。  
社會的増加は、樺太の百三十五人



校學小の民移本日ルジラブ



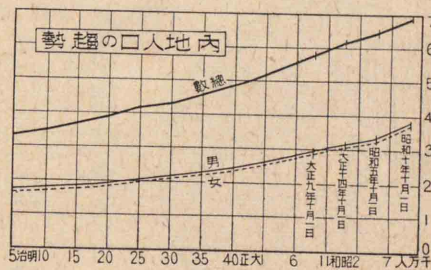
(座銀京東)部密稠口人

總括 人文地理(住民)

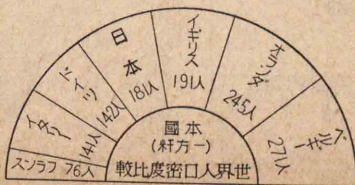
尙アイヌ・高砂・ニクブン・オロコ・カナカ・チャモロ等少數の種族がある。

二 人口

國勢調査 我が國の國勢調査は第一回  
は大正九年、第二回は昭和五  
年、第三回は昭和十年に行は  
れた。



人口と密度 總數は九千九  
百萬を算し、密度(一方)百四十  
五人、内地人口密度は、百八十



一人を算し、東京・大阪二府は特に稠密である。  
男女の割合 内地人口は女一〇〇に對し男一〇一・六で、男女數は略平均  
されてゐる。  
人口の増加 全版圖の人口増加は、年約一百万で、人口・食  
糧・移植民問題の考慮が必要である。

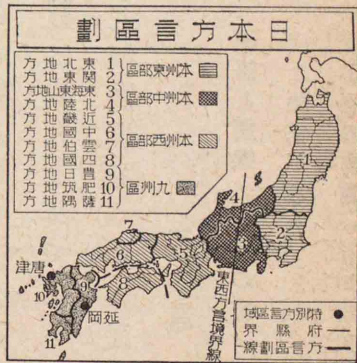




(教も語本日 りる備設のて) 校學小人古蒙



(しと市都園田) 布調園田市京東



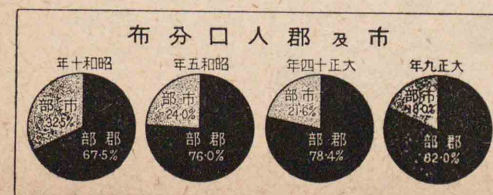
漸次標準語に統一されて来た。

### 第五節 都市

都市は、城下町として發達したものが多く、近年、人口が都市に集中する傾向が著しく、東京は六百萬、大阪は三百萬となり、名古屋、京都も百萬を超え、神戸、横濱、京城は五十萬以上となつた。

都市計畫 都市はその膨脹につれて生ずる都會生活の害を除き、福利を増進する爲に、種々の設備をしてゐる。

街路 都市計畫中、重要なものは道路系統である。街路は



少年團 彌宗  
日本臣民 コウイナ

通を不便にした爲、各地特有の方言を生ずるに至つた。沖繩辯、鹿兒島辯、土佐辯、大阪辯、仙臺辯、出雲辯等は互に理解するに困難なことがある。

國語の普及 現今國語の外、朝鮮語、支那語等があるが、交通の發達、教育の普及によつて、

通行を便にし、衛生上の障害を除くばかりでなく、美觀を必要とする。

### 第六節 政治

#### 一 國家

國體 我が國は 皇統連綿、世界絶美の君主國である。

政體 立憲政體で、天皇は大權を統べ給ひ、その下に、立法、司法、行政の三機關がある。

外交 條約國は四十有餘で、大使公使を派遣し、要地に、總領事領事を駐在せしめてゐる。尙、新興の滿洲國とは、防守同盟を結んでゐる。

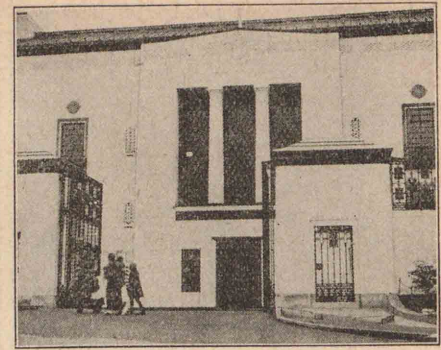
#### 二 軍 政

全國皆兵の制度で、天皇が親しくこれを統率し給ふ。

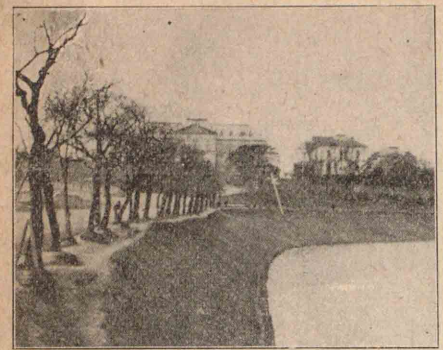
陸軍 内地に十四ヶ師團があり、外に東京に近衛師團、朝鮮に二ヶ師團、臺灣及び滿洲國に守備隊を置いてゐる。

參謀本部は、國防用兵を司る。

海軍 軍艦は、主力艦九隻(外に航空母艦四隻)三十四萬噸と、補助艦百



館使大國米るあに京東



(部量測地陸は方左)部本謀參







結  
論



英國威發揚新大日本帝國大使館・關東軍司令部(部)

### 第四編 結論

我が國の特性 以上學んだ事を考へ合せて、我が國の特性をまとめると、大凡次の様になる。

#### 自然的條件

#### 特性

一 位置的條件 要部アジア大陸の列島の位置

イ、大陸を制し、又防に便

ロ、大陸へ商業的政的進出に便

ハ、海洋發展 水産業優勢、海軍海運の發達

二 地形的條件 褶曲擾亂地域 地域の狭小

イ、火山國、地震國、勤勉進取優美の國民性

ロ、鑛産資源の貧弱

イ、耕地の過少、集約農業

ロ、農産資源の貧弱、人口過多

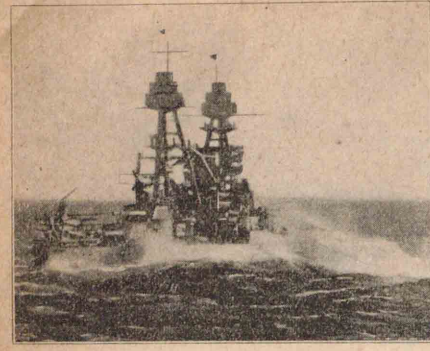
三 氣候的條件 溫帶季節風帶

イ、米作の發達、資性溫順な米食國民

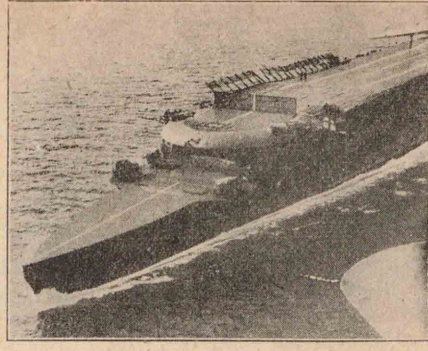
ロ、黄色人種の國、溫寒熱各地に移民可能

實に我が國が世界に比べもののない國體を有し、天祖

結  
論



英國の戰艦ナゾリア號

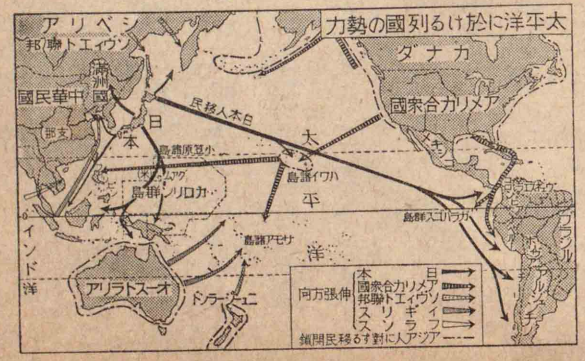


英國の空母リョウフ號

天照大神の御神勅の如く、無窮發展の必然性を有することは地理科の上からも證據立てられる。

太平洋時代 文明が進むと、原料不足、生産過多、人口増加、資本横溢に苦しむやうになり、之が對策として、列強は未開發地として残つてゐる太平洋方面に、勢力を延ばして來た。

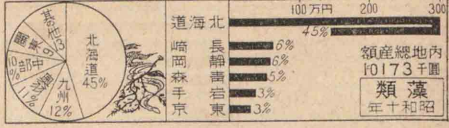
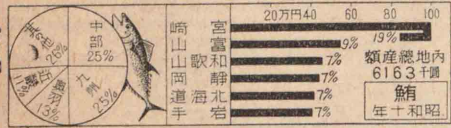
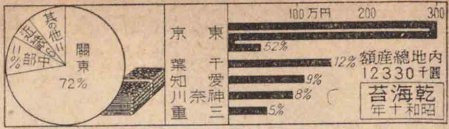
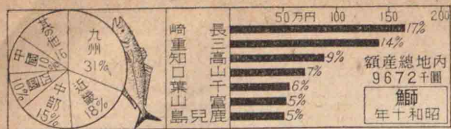
時局の重大性 現今太平洋に勢力を有する國は、米英ソヴェト聯邦佛蘭の諸國で、我が國は是等の勢力の間に挟まり、商品の賣行、移民、資本の投下、原料の買入に極めて困難な立場にある。近時滿洲國の成立、支那事變の戦捷によつて、我が國の政治的、經濟的勢力が大陸に進出し、我が國體と



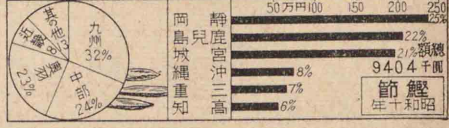
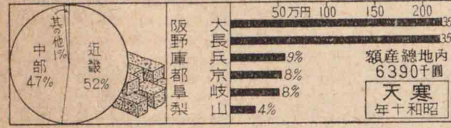
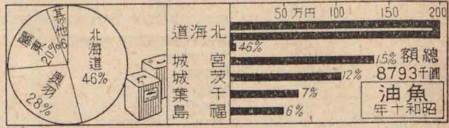
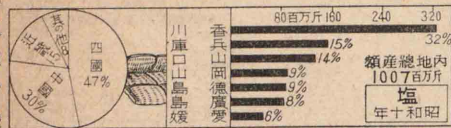




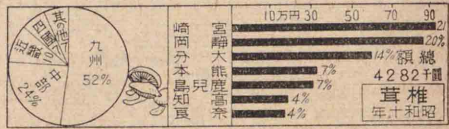
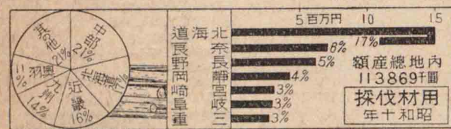




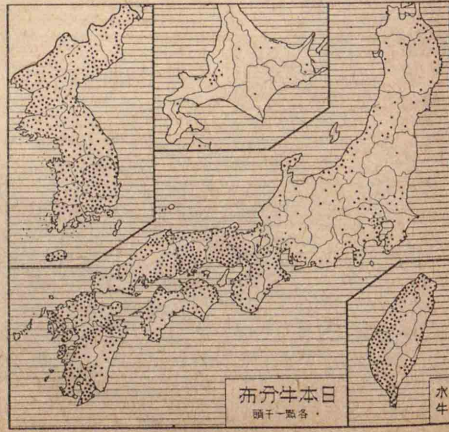
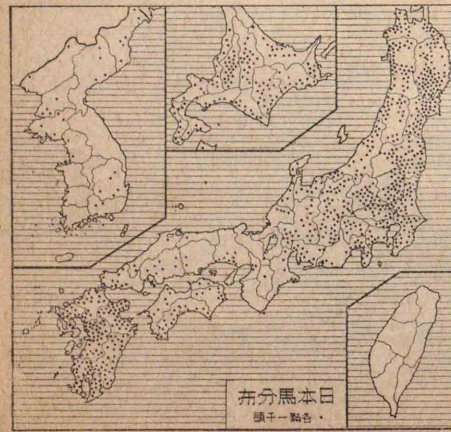
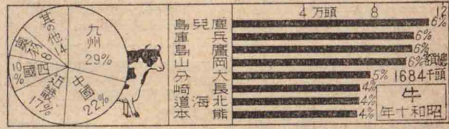
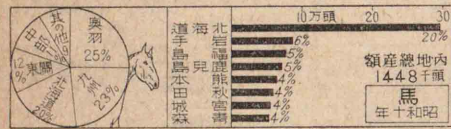
水産製造物



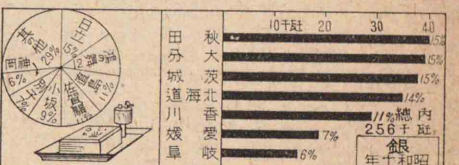
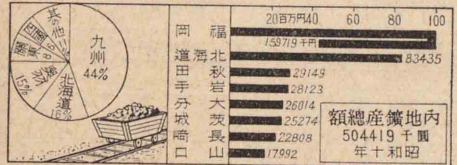
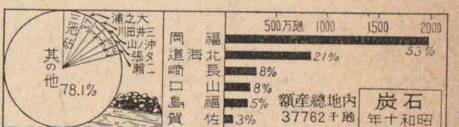
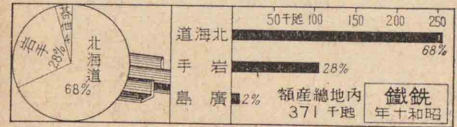
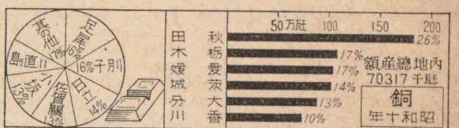
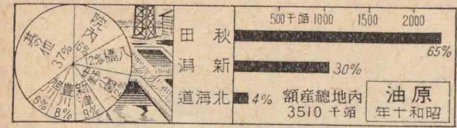
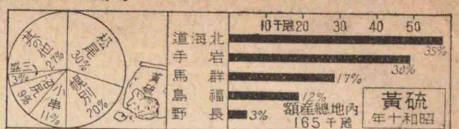
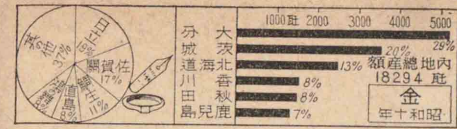
林産物



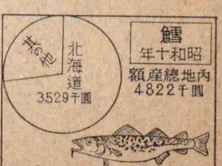
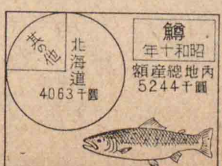
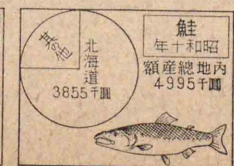
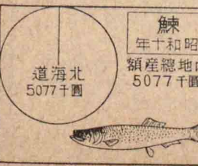
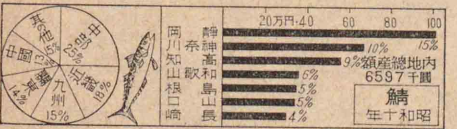
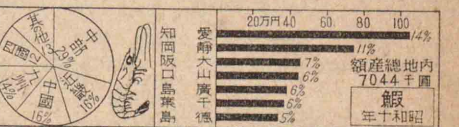
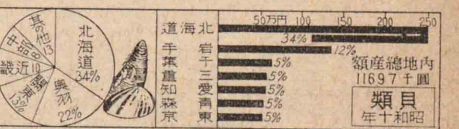
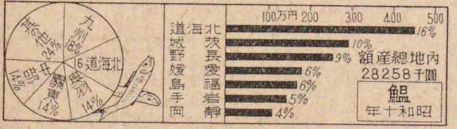
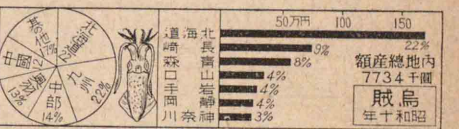
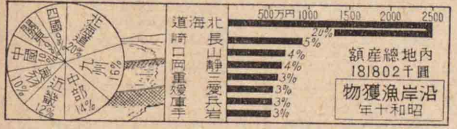
畜産



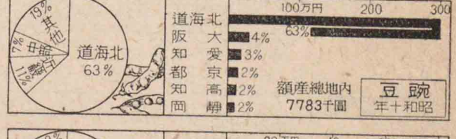
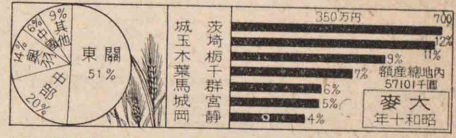
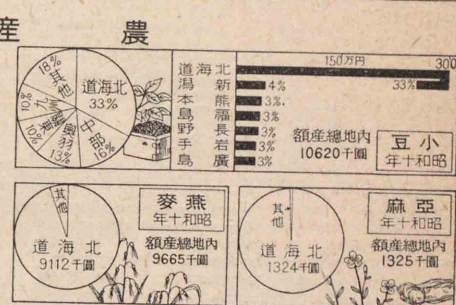
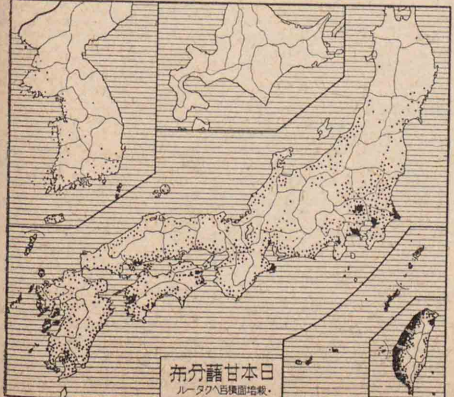
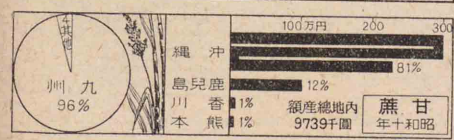
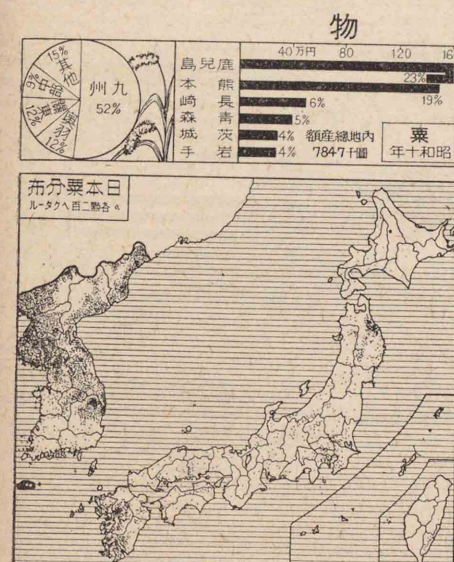
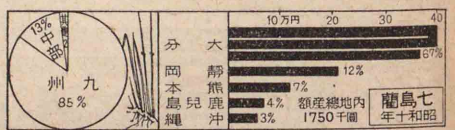
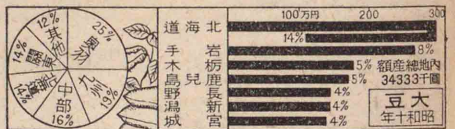
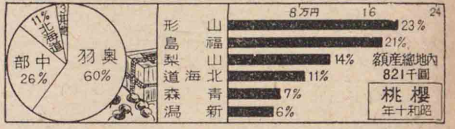
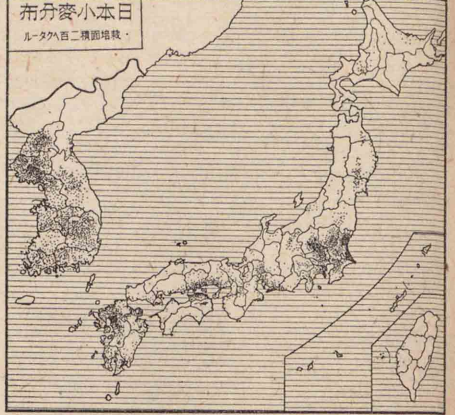
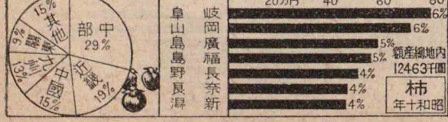
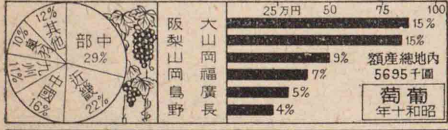
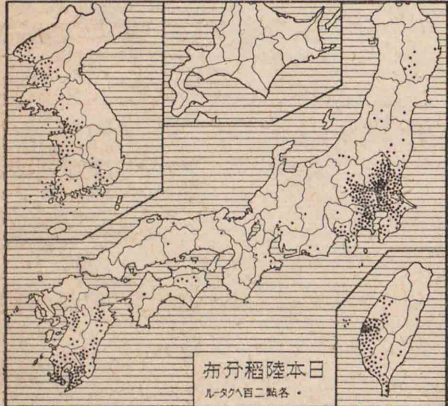
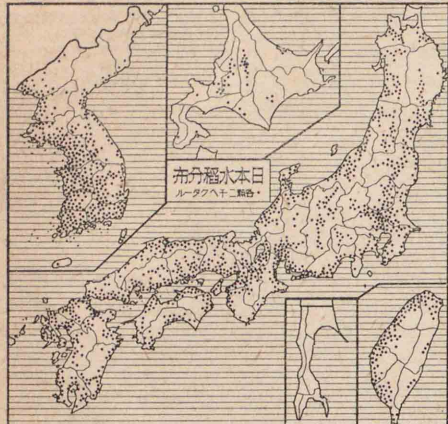
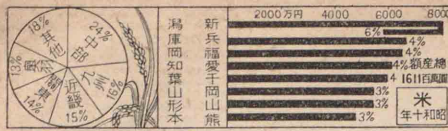
物産鑛



沿岸漁獲物



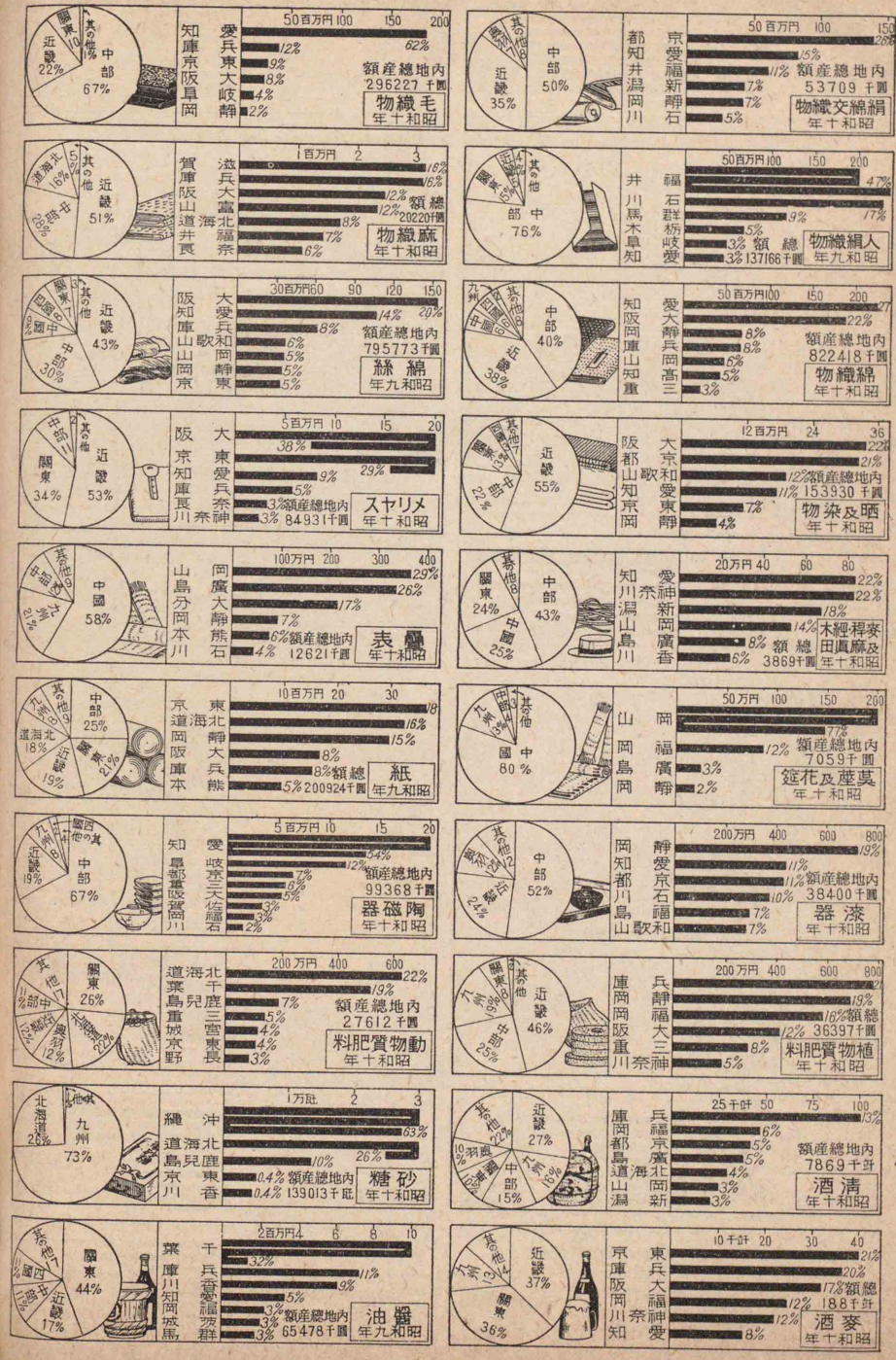












昭和十三年六月廿七日  
昭和十二年六月廿四日  
昭和十一年六月十八日

發行所 東京市神田區西神田一丁目三番地  
株式會社 帝國書院  
振替口座東京六七一〇  
電話九段(33)四一三六  
四四二二  
四四二七

著者 守屋荒美雄  
發行者 株式會社 帝國書院  
代表者 守屋紀美雄  
印刷者 根本力三  
東京市牛込區市谷加賀町一丁目一二

新合子女新選地理 日本篇  
定價金壹圓〇五錢

所有權者 製複許不

發賣所 東京市神田區西神田一丁目三番地  
株式會社 帝國書院  
振替口座東京六七一〇  
電話九段(33)四一三六  
四四二二  
四四二七

關西販賣所 三宅莊藏書店  
大阪市東區橫堀四丁目三番地  
振替口座大阪六九番







水山の國祖



雲仙國立公園 (雲仙岳とゴルフリンクス)



吉野國立公園 (都賀湖)



瀬戸内海國立公園 (鞆港と仙崎島)



阿蘇國立公園 (大活動中の阿蘇山)



中部山岳國立公園 (絶ヶ岳)



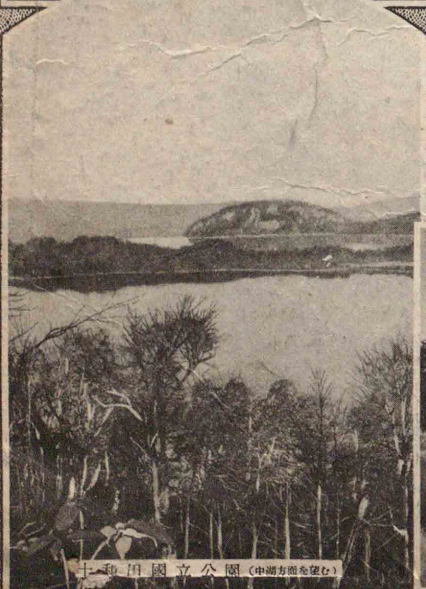
日光國立公園 (尾瀬ヶ原)



霧島國立公園 (高千穂峯と御鉢)



富士箱根國立公園 (富士と白根湖)



十和田國立公園 (中湖方面を望む)



大山國立公園 (上野垣より大山を望む)



阿寒國立公園 (ペンク湖と羅阿夢花)



大雪山國立公園 (新穂峠)



色子  
用  
印

庫  
8  
80

広島大学図書  
2000039780  
